２０１１

■2011/05/06（金） マルクス経済学宇野理論とともに

表題の御著書を柴垣和夫先生が出版されました。先生の理論とともに人生についてもかかれていて、よみやすいので、おすすめです。

■2011/04/20（水）ｋ区議会選挙

中野区にお住まいの方におしらせです。うちのだいざぶろうさんが、立候補しました。情熱のある頼りになるひとですから、どうかよろしくおねがいいたします。

■2011/04/08（金） 地震と津波原発

日本がたいへんなことになっています。被害が
おおきかった、地域の方々にお見舞い申し上げます。そして、東京のわたしたちも、なかなか気持ちがはれません。でも、みんな負けずに元気をだして、いきましょう。

■2011/03/09（水） 最近読んだ本

中国を知るために篠原司三島由紀夫のきた夏、兵どもが夢の先高橋公、御所のお庭、ブント私史島成郎、しまひろ子なんだか時間はあっても停滞ぎみです。

■2011/02/07（月） 名古屋市長選挙 トリプル選挙圧勝

河村たかしさんは、やりましたね。旭丘高校の１年後輩で、親しくしています。それにしても政治家は商売でやるものではないという信念は、大きな支持をえたのです。強引ともいえる手法で、ついにやりきりました。総理になるといっていますが、組織防衛や、自己保身がないので、党の代表になるための推薦人がいないのが、げんじつです。とまれがんばってくださいね。おめでとうございます。

■2011/01/21（金） 日本の国土が、外国森本にかわれてる

対馬や北海道の土地を中国や、韓国に飼われていることにたいして、やっと政府が規制に向けた取り組みをはじめたようだ。国土、人民。主権どれをなくしても国はなりたたない・国を滅ぼさないようにしっかりとした政治をお願いします。

■2011/01/03（月） あけましておめでとうございます。

長らくごぶさたいたしました。１月１日の日経新聞にとりあげてもらっていますので、ごらんください。今年こそなお一層がんばっていきます。ことしもよろしくおねがいいたします。

２０１０

■2010/10/10（日）管内閣

ヒナ壇には、かっての同僚がずらり、仙谷、大畠、細川、岡崎と社会党時代の新勢力でした。なんともゆめのような、不思議なこうけいです。いい政治にしてくれるかな。

2010/08/06（金）広島原爆慰霊式典

秋葉さんが、ことしも平和宣言をのべ朝の時間をみていました。もうずいぶんめから、市長をしていますが、昔ニューウエイブの会でいっしょです。政府でも大勢がかつやくしてます。わたしは、とっくに引退をしていますが、まぶしいですね。いいいみで。

■2010/07/18（日）仙谷さんの歴史観に失望

慰安婦もんだいは、今や歴史学者の懸命などりょくで、ねつ造はあきらかです。いまさら、保障をもちだすとは、どんな勉強をしてるのでしょう。仙谷さんあy頭をひやしてくださいね。それともあなたは、反日の闘士なのですか。大変重大な問題です。

■2010/07/15（木）参院選

稚拙で、傲慢、危険きわまりない民主党の独裁にはどめが、かかったことは、よろこばしいです。あとは、９月以降小沢が独裁権力をつくらなければいいですが、日本を大切に、人々を幸せにする、政治をねがいます。

■2010/05/27（木）それでも民主党は、負けない

うんざりするほどの総理の軽さ。詐欺師のような内閣、その上金には汚い幹事長、しかし、小沢というおとこは、勝手の自民党のやり方を踏襲し、医師会、歯科医師会、農協そのた、おもだった、業界団体をしめあげて、民主支持を画策してきた。それに労組を加え投票率がさがれば、さがるほど、これらの組織票がきいてくる。社民を切れない理由もあろうというものです。もんなの党は、参院選で、そこそこ議席をかくほして、過半数をわった、民主を支えることになるでしょう。自民党もいまや、存在感はないですし、いくつもの新党もたいした力にならないとおもわれます。マイナス票というものでもあればいいのですが、そうおもうのは、私一人ではないでしょう。

■2010/05/10（月）孫たちがきてくれました。

３人の孫をみなつれてきてくれたのは、はじめてです。いちばんしたは、もうじき3カ月。下の子がなくと、ままよりはやく、２歳半のおねいちゃんが、かけよって、なでなで、チューでなだめます。6才のおにいちゃんは、自分の遊びにけんめいで、知らぬ顔。やはり女の子はちがいますね。私にも3歳下のおとうとが、いますが、私もこんなだったのかしら。いまでも60過ぎた弟はかわいいですから。、

■2010/04/28（水）心配したとうりの民主党

あれもこれもいきずまり、危惧した様になり、残念です。私の心配が杞憂になればよかったのですが。

■2010/04/25（日）おひさしぶりです

パソコン入力こわれてました。今日からふっかつします。

■2010/03/17（水）鳩山邦夫の離党

まずここから、新党はむりでしょう。せいぜい自民党の分裂といったところでしょう。政界話はうんざりばなしばかり。

■2010/03/11（木）いうまいと、おもえど、はらのたつ、民主党

夫婦別姓の熱心なひとは、千葉や、福島だけじゃない、小宮山という東大闘争のころの東大学長の加藤一郎の娘もそうである。加藤は石井こうき議員が刺殺されたあと、民主党にすりよって、娘を選挙にだし、その加藤はといえば、官僚との癒着で、民法改正をすすめてきた。売国亡国の手先は、戦後すぐからたくさんいたのであるが、それらが、いま勢いをえて、日本の解体をおしすすめている。外国人の参政権も反対、朝鮮学校への無償かもおかしいホントに皆さんよくかんがえてください。昔の左翼だったからでは、孫子に不幸をもたらすかもしれません。

■2010/03/02（火）若松会の会報みつかる

本棚に挟まっていた封筒の差出人ははははだった。２００１年６月の消印。なまみは、陸軍経理学校の同窓会誌であった。母すでにこの世にいない、しかし、きちんとした、母の字をみて、なつかしさとともに。さみしさと何とも言えない気持がこみあげて。涙がこぼれます。そのなかには、父がかいた、私の軍歴というものもあり、昭和１５年の入隊とうじから、終戦に至るまでの動きを知ることができる。父は、終戦をシンガポールでむかえ、その後イギリス軍によって、レンバン島に抑留され、２１年７月最後の帰還兵として、名古屋にかえった。そして昭和２２年４月２５日私がうまれました。話はとびますが、３年前急死した小阪修平さんの思想としての全共闘運動をよみかえしていますが、彼はわたしより、１週間早い４月１８日岡山にうまれています。
色々のおもいでや、なつかしさや、さみしさや、で、妙な気分におかされる、春です。ますます、歴史の研究に興味がでます。時代はその時代人にしかわからない。それを。かるがryしく。予断と偏見で、断罪することは、わたしには、とうていできまっせん。論文にした、幸徳秋水についてもつくずくそうおもいました。政治家の無知による、断罪はみのがすことが、できません。

■2010/02/26（金）娘の第3子の名前ようやくきまりました。

長男が太陽、長女が菫、で、名字の庭野に関係した名前をつけたくて苦労したようですが暁にきまりました。００年先の世界をムルことになる、この子たちの世界が平和で、すこやかなものであることを祈るばあさんです。

■2010/02/24（水）おい夫婦きてくれる。

おいの雅夫君と奥さんの和子ちゃん、４月に転勤になるから、その前にきてくれた。弟負債と東京プリンスホテルの清水で食事、東京タワーのましたで、タワーにつきがかかり、にっこりと、していました。和子ちゃんが、奥ちゃんこと奥村真さんのことをしっていて、おどろくと同時に、ここで、奥ちゃんのこと話してるのを天国できいてるのだとおもえました。奥ちゃんが芝居をやっていたのは、しってましたが、テレビにもよくでていたのです。私の母と名古屋の女学校の同窓だった、母堂がなくなられ、三重の家を処分して、自分も荻窪から、大青梅にこしたと連絡をくれていた矢先の事故でした。色々のご縁にはおどろきます。

■2010/02/11（木）立松さん続き

産経新聞は、詳しく訃報をほうじてました。高橋三千綱さんが、大親友として。コメント。昨秋飲んだ時は元気だった。中上けんじさんと3人とよくのんだ。４０年来の親友と。たかはしさんは、私の落選後後援会長をひきうけてくれたし、中上さんは、選挙中ついて、応援してくれた。中上さんは１９９２年私が自衛隊より先にカンボジアを視察中訃報をうけとりました。プノンペンであった、仲田厚仁さんとの約束果たせぬまま、かれは、7ヶ月後ゲリラにやられて、命をおとしました。

■2010/02/10（水）立松和平さんがなくなりました。

昨日夕方たまたまテレビを見ていたら訃報が流れまさか夢ではないかとおもいました。９０年選挙では、長谷さんだから特別と応援をしてくれたのは、当時もうテレビでもうれていた、立松さんには、大変なことだったと思います。その後もいろいろ活躍していて、元気が当たり前とおもっているだけに、どうしてもしんじられません。６２歳とは、何があってもおかしくないそんな年なんでしょうか。ご冥福をお祈りします。合掌

■2010/01/29（金）民主の批判はあきました。

外国人の参政権は推進の学者が完全に反対になりました。憲法違反はあきらかえすから。小沢一郎の沖縄の土地習得はおどろきました。まるで、不動産やですね。赤坂青山にも複数の不動産を所有。かわった政治家ですね。

■2010/01/14（木）外国人参政権

憲法違反でしょう。赤松大臣が民団による衆議院選挙応援の見返りの参政権といいましたが、外国人の選挙関与は公職選挙法できんしされています。政治資金の疑惑と共に売国政策までがとおりそう。日本が心配ですね。

■2010/01/14（木） 外国人参政権は、憲法違反

そもそも民団に先の衆議院選挙の応援をしてもらいそのお礼として、の参政権と赤松大臣がいっている。私はわかりません。外国人の選挙関与は公職選挙法違反のはずだったのに。政治資金と言いさまざまの売国政策は、日本をどうするのでしょう。心配ですね。

■2010/01/11（月） 今年もよろしくおねがいいたします。

寒い日がつずいていますが、お元気でごかちyくください。

２００９

■2009/12/29（火） 年もおしせまりました。

ひしょうの忘年会は、４０名を超える皆様においでいただき大いにもりあがりました。ありがとう。うれしいです。皆さんどうかよいお年をお迎えください。

■2009/12/25（金） ひしょうの忘年会

本日になってしまいましたが、7じから。４０００円です。楽しいかいになるでしょう。皆様お元気で。

■2009/12/17（木） 小沢の独裁と傲慢

中国へ朝貢外交と自らの利権のためには、天皇陛下を利用して、国をウランとするのはいかがか、天皇の国事行為についての解釈も府におちません。民主党支持者にはこんなことばかり書いたらきらわれますね。ご意見あるいは民主のいいとこをご存じの方メールを是非くださいね。私の見方がへんなら、いいんですが、毎日心配です。アメリカも沖縄の問題で信頼をおとしていますし。

■2009/12/09（水） 奥村真さんが、なくなりました。

高校の後輩でひしょうの常連さん、、詩人、役者、会社役員と活躍の奥ちゃんは、トラブルに巻き込まれなくなったのです。嘘であってほしい、事件でした。ご冥福をお祈りします。

■2009/12/06（日）o 沖縄の基地移転で、

連立維持や、地元問題など国内事情で日米の合意を履行しない日本政府に対しあめりか7大使がついには、顔をまっかにして、激怒したことが、報じられています。国際的な信用はなりたちません。いったいどうなるのでしょう民主党。でも、長崎の整備新幹線などの今までの無駄な公共事業が見直される可能性があることは、かんげんしますが、小沢の訪中は、朝貢外交の雰囲気で、外交問題は心配ばかりです。

■2009/11/27（金） 民集中制をめざす、小沢一郎

小沢の持論権力の集中と行使はまさにソ連、北朝鮮等の独裁国家である。このまま小沢らにやらswたら、国民の不幸は確実お願い、冗談ごとではありません。

■2009/11/27（金）j 神宮外苑銀杏並木最盛期となりました。

連日多くの人が訪れます。いちょう祭りは１２が１４日まで。並木の一番の奥軟式野球場には、各地の名産品がでています。こられたら、おたちよりください。

■2009/11/08（日） 外国人参政権

の本の主権にかかわる参政権を８６万人の外国人ンに与えることの賛成の小沢の意もあって、山岡賢治が議員立法で今国会にだすという。民主党の中にも反対があり国民にとっても大きな意味がある、重要なことを、党議拘束をかけずにだせば、可決も可能という。地方分権の推進とともに、また、現在のちゅうごくや、韓国との摩擦の現状からしても、ルラブルは必至でしょう。売国奴の跋扈は、昔から、各国が頭をなやませ、また、トラブルをけいけんしてきている。慎重に、慎重にやらなければ、将来が危険。

■2009/11/06（金） 小沢党

やっぱりというか、小沢一郎独裁は大変危険。政権が独裁にならないのが、民主主義とすれば、思いのままに党をしばり、政府に役職がない人の立法権、や、質問主意書までの検閲で、とにかく、どぶいたふんで、選挙活動だけをやるべしというのは、おかしい選挙がたいへんすぎるので、政治活動がまともの出来ないのは問題として、政策本位で争う様にするのが、政治改革と行っていたのではなかったでしょうか。脱官僚も現実は官主導にならざるのは、当然のなりゆきか。許せん小沢

■2009/10/08（木）予算の組み替えは民主の目玉とはいえ

特別養護老人ホーム、や、難病や、がんの研究費までけずるのは、よくないです。これまでの福祉、医療年間2兆2000億の削減が、どんなに医療現場や、福祉現場をこうはいさせてきたことでしょう。そのお金を子供手当、高速道路無料化にあてるというのは、問題が多すぎます。

■2009/10/05（月）中川正一前衆議院議員の死を悼む

拉致問題に、熱心で、日本を愛している、政治家がひとりいなくなり、ますます、彼が繰り返し危惧していた、日本が危ないが、現実にならないことを、いのるばかりです。ご冥福をおいのりいたします。

■2009/09/21（月）中国韓国の民主党政権への攻略露骨

北は、かって、関係が深い総評系の民主党労組出身者を通じ対北方針の緩和工作にのりだしています。韓国もすでにけっちゃくした、慰安婦の問題の保障をせまるといいだすしまつです。この問題の要点は、慰安婦がいたというこyとではなく、国が関与する、強制輩穀があったかどうかだけです。なぜならば、終戦までは韓国は日本でしたし、とうじは、売春は合法かつ本土にも韓半島にも普通にあったのです。1993年ころ、突然元慰安婦がなのりでて、強制のねつ造話をしましたが、話を担いだアサヒ新聞はじめ、が、よくよおく経歴と話のつじつまをしらべたら、あわなくて、たちぎえになりました。しかし、時の社会党の岡崎トミ子さんや、数人の議員が慰安婦の響きに同情し事実のような話にのったのです。実に軽率でしたが、その後歴史家が、何度も検証し、日本が賠償をする立場になうことを証明してきました、それにもかかわらず、今なおの本をおとしめようとする、国際圧力には反撃をしなければなりません。

■2009/09/14（月）「断絶」放映

10月3日のテレビ朝日ドラマスペシャルで、友人の梶間俊一監督で、放映されます。また、9月19日の同局でも土曜ドラマで、放映されます。ひしょうにもおいでになる古い友人の活躍はうれしいですね。どううぞ、ごらんくださいね。、

■2009/08/23（日）三権分立はどうなるの

小沢一郎の官僚憎しが、ついに100人の政治家を官界にいれるというかのだが、政治家がそんなに立派ですか、ど素人のこぞうっこが、ひっかきまわすのでは、官僚はやっていられれないでしょう。立派な人材はにげだすでしょう。小沢一郎は、スターリン、独裁政治の実行者となるでしょう。このくには、どうなるでしょう。国民はどこまでおばかなんでしょう。恐怖にふるえます。こんなことを言う私は危険かも。

■2009/08/16（日）青木和夫先生がおなくなりました。

昭和42年お茶の水女子大学入学いらい、担任の先生として、学問だけでなく、学生運動運動、選挙応援、大学院復帰など、多岐にわたって、おせわになりました・。ああ、先生ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。20日11時、四谷たちばな会館でご葬儀が、おこなわれます。

■2009/08/07（金）政権交代より政策の不安

外国人の参政権、人権擁護法案、外国人の1000万人移民政策いずれも危険です。オーストラリア、カナダ、ドイツいずれも困りはて、大失敗でした。高速道路の無料化は、やはり、他の重要な政策との関係をかんがえれば、反対です。ばらまいて、大衆迎合し、10年たったら、亡国の歴史を、もうわすれたのでしょうか。

■2009/07/26（日）衆議院選挙

8月30日の投票にむけ、各党のマニヘストがでますが、まず、子供手当を主張する民主のものには、反対です。財源は扶養家族控除のはいしや、配偶者控除の廃止というのでは、子供のいるいない、奥さんが、はたらいているいない場合の長年の対立を、さらに確定的にするものでしょう。結婚したら、家庭にいて、専業の主婦になるのも、働きつずけるのも、それはどちらでも、自由です。それをべき論にする、イデオロギーは、無用です。子供だって、このいないのを、社会制度にばかり原因をもとめるのも、生きすぎです。夫婦の価値観や、ほしくても、出来ない人たちも多いのです。働き続けたい女性を応援する施策は

必要ですが、家にいて、子育て、家事をする女性とのバランスをとった、政策が大事。ネバならないや、べきではきゅうくつです。少子化対策も、国策の視点でばかり、いわないで。産めよ増やせの昔のスローガンはごめんです。

■2009/07/14（火）脳死は人の死が、法律で、きまってしまいました。

脳死の方の状態が、どんなのか、しらないままに、議員だけで、きめていいのですか。今後は、脳死と判定されたら、医療行為は、出来ないことになりますね。また子供を殺す親までが、珍しくない時代、不幸なことが、おきないことを、祈ります。

■2009/06/29（月）７月５日石原裕次郎

追悼のイベントが、国立競技場でおこなわれます。なんと、１５万人動員するそうですが、驚きですね。マイケルジャクソンの、早すぎた死亡のニュースのインパクトもすごいですが・スターとは、このような人たちのことですね。

■2009/06/25（木）明治３５年全国鉄道記者便覧

明治５年、汽笛１声新橋を発車した日本の鉄道が、３０年後の鉄道網と、かかった時間などがわかる、面白い便覧です。新橋、横浜の間だけだった線路が、戸塚、大船、藤沢、茅ヶ崎、平塚、大磯、国分津、松田、小田原、三島、沼津、蒲原、静岡、焼津、藤枝、島田、掛川、袋井、天竜川、蒲郡、岡崎、安城、刈谷、大府、名古屋、となって、そこから、千種、高蔵寺、へ視線があって、一方は、岐阜、彦根、を通って、京都、大阪、そして、神戸までいっている。今の路線と、ちがうかもしれない。それもしらべると、楽しい。中央線も中の、立川、日野、八王子、をとおり、上野原まで、一方都内も板橋飯田橋四谷信濃町、渋谷、目黒、など、がある。この便覧、趣味の人が限定復刻したものですが、いろいろ楽しめますよ。東北、上越、ずいぶん全国的に整備されてます。だからこそ、きんだいか、日露戦争なんかが可能でした。御茶代の小風秀雅先生は、人々の思想からのみ歴史を見ない、構造的学問の先生です。私の受け持ち教授です。その指導のもとでかいた、私の修士論文、ひしょうのホームページにありますので、お読みください。先日名古屋の実家からもってきてよみなおしましたが、自分ながらよくかいたなとおもっています。「日露戦争における、非戦論形成と敗退」です。研究熱はいまももっています。色々の発見があり、楽しいです。、

■2009/06/24（水）臓器移植２

移植を待つ人にとっては、せつなる願いでしょう。河野洋平さんが、生体肝臓移植をうけて、元気になり、よかったですが、だから脳死は人の死というのとは、ちがいます。腎臓移植の患者さんも、生体移植なので脳死の議論とは、別ですね。移植にかぎって、脳死を死とみとめるのが、いいでしょう。法案のいくつかにの中にもありますから、そちらの審議をすすめてほしいです。、

■2009/06/23（火）臓器移植

脳死の問題は、重いです。かって、わたしは、脳死臨調に提出するための脳死にたいする、各党協議会で、色々の議論をしました。実際脳死になられた方にお会いして、とても死亡しているとは、おもえませんでした。頬はピンクで、うっすらと、涙をうかべておられました。家族なら、脳死は死といわれても、うけいれがたいでしょう。ましてや、１５歳未満の今問題になっている、脳死では、長い間生きて、体の成長もあるのですから、更にたいへんです。当時わたしは、そのような事実をしって、１５歳以上、本人の提供の意思がかたく、家族の同意があるときだけ、それは当事者間の崇高な行為を保障するため、臓器移植の場合だけ、違法性をそきゃくするという案を提案しました。社会的にも脳死は人の死とするには、国会議員だけで、きめられませんよ。人々の死の概念をかえるというのですから、勘弁してほしいです。

■2009/06/22（月）母の一周忌

久しぶりに実家にいきました。母が、施設にはいるまですごした部屋は、そのままで、なんども訪ねた母の部屋にいると、生前の元気なころの姿がおもいだされて、さみしさで、涙がこぼれました。４年ちかく、東京の老人施設で過ごした母がこの家に帰ったのは、亡くなった時でした。私のおくった手紙やもっていった、本などがあり、娘に対する思い入れのつよかったことがわかる。それらを、こんどは、私が処分しなければならないのは、なかなかしんどいです。冥土では、にこにこ元気でいるのかしら。冥福を祈ります。

■2009/06/15（月）てもとにあったら、楽しい本

「ゴードンスミスの日本仰天日記」荒又宏「金日成の料理番」藤本健二「巣鴨日記」笹川良一「閉ざされた言語空間」江藤淳「値段の風俗史明治大正昭和」きよのさんと歩く江戸6000里」金森敦子「昭和天皇の時代」文芸春秋日本国憲法成立史」佐藤功　佐藤達夫「大正期革新派の成立」伊藤隆「砕かれた神」渡辺清「日本占領GHQ高官の証言」竹内栄治
など。

■2009/06/14（日）郵政社長人事で、みえたこと。

郵政の民営化とはなんなのか、よくわからないままに行われた選挙でしたが、、結局のところ、利用者には、なにがいいのかわからないままといったところではないですか。社長人事でみえたのは、とにかく、財界人には大いにプラスがあるということ、小泉、竹中両氏はあいかわらず、推進の糸をひいいていて、しかも、とっくにやめて、批判にさらされないポジションでは、かしこすぎ。総理は党を、まとめるだけで、やっとの不安定。

■2009/06/02（火）６日青山墓地にて、

大正１３年に制定された米国の所謂「排日移民法」に抗議し５月３１日赤坂米国大使館裏に於いて割腹自刃された無名烈士『雄心院義膽日忠居士』の８５年忌の法要を烈士墓前にて執り行いますのでご案内申し上げます。（案内より）

【施主】
頭山興助

【代表呼掛人】
山口申・伊藤好雄・犬塚哲爾・杉山清一・花房東洋・山浦嘉久

【導師】
中川甲山

【呼掛人】
阿形充規・市村清彦・井上孝・臼井康浩・大石恭輔・緒方守・小田内陽太・木村三浩・小林剛・近藤勢弐・四宮正貴・坪内隆彦・内藤芳弘・蜷川正大・沼山光洋・野村宏之・針谷大輔・福田邦宏・福永武・藤本隆之・舟川孝・丸川仁・三澤浩一・南丘喜八郎・山川良二・廣瀬義道（事務局担当）

☆日時
６月６日（土）正午

☆集合場所
いとうや花店
東京都港区南青山2の15の20
03-3401-2475

☆香華料
３０００円

☆問い合わせ先
頭山興助事務所（担当／廣瀬）

■2009/05/25（月）民主党

小沢党首やめろの大合唱のなか、形ばかりのの辞任。代表代行で、いままでどうりに党活動をつづけていても、支持率回復とは、国民もあまいです。小沢に頼ってばかりの幹部もだらしがないです。

■2009/05/23（土）世襲の禁止にいったいどんないみがあるの

世襲議員がなにもかもわるいといののは、どうしてですか。もし同じ選挙区で自分もでるなら、くやしいけれど。一般の有権者にとって、なにがいけませんかね。わたしは、そうは思いません。かって、私のたたかった、選挙区は、二世議員がいて不利なことが、多々ありましたが、政治家同士の問題です。

■2009/05/11（月）「父吉田茂」麻生和子

こんな本がツンドクになっていました。買った覚えもありませんが、何かのご縁とよみました。1993年光文社の本です。吉田茂の実父が、高知の自由党の竹内綱で、吉田家の養子です。竹内綱の息子虎吉と中江兆民の娘の智美が結婚している話は、前に紹介しましたが、麻生和子の祖父は、牧野伸顕で、こちらは大久保利通の息子です。麻生総理の姉妹は、三笠宮寛仁殿下の御妃。いや早華やかですね。

■2009/05/03（日）古い名刺

ひしょうのはじまりころからの古い名刺がでてきました。懐かしい方や、すでに鬼籍にはいられたかたのもあります。はがきや手紙もそうですが、直筆のものも、なかなか処分はできません。家の中はそれらのものであふれています。そおろそろ、整理もひつようでしょうね。皆様はどうされていますか。

■2009/04/27（月）名古屋市長に河村たかしさん当選

名古屋旭丘高校の1年後輩、親しい河村さんが市長になって、うれしいです。民主党はどうでもいいけれど、連合も応援しなかった、独自の公約が彼らしい。市民税1割減とか、市長の歳費削減など、いろいろ抵抗も多いでしょうが、ご活躍を祈ります。、

■2009/04/25（土）草薙君のこと

あのくらいのことで、逮捕されたうえに、パッシングをうけるのはかわいそうです。そもそも逮捕する必要が、あったんですか。有名人はつらいのですか中村まさとしが、息子の大麻で、号泣してみせたのも、パッシングがこわいのでしょうね。

■2009/04/21（火）花冷えて、やきもきもすぎ、あっと

いう間に緑の街にかわりました。アメリカの銀行はすでに黒字に転じたいますが、日本の景気はどうでしょう。暗いニュースばかりで、うんざりです。桂子は気も大きいですが、これまでの社会の見直しにもいい機会です。ガソリンが高いと大騒ぎもいまではうそのよう。円高騒ぎもかわりました。高速道路の1000円もけっこうだけど、無用の車の使用は温暖化のてんでは、いかがでしょう。二面性と、地球の未来と個人の幸せのバランスバランス。
おかねと、そのために失うものと、個人の幸せはなど、199年に一度といわれるこの不景気の世で、いろいろかんがえます。

■2009/04/11（土）天皇皇后ご成婚50年

昭和34年のお二人のパレードのときの感激がよみがえります。小学生のころでした。現在の皇居でのお姿がをテレビで拝見し。あらためて、気品あるおすがたに、天皇こそが、日本の象徴として、最高です。後継もんだいなど、将来てきには、不安がつずくことを、憂えます。

■2009/03/30（月）吉田茂邸消失

大磯にある、旧吉田茂邸が全焼したのは、最近のことですが、古い歴史的な意味を持つ建物がきえたのは、残念ですね。ところで、吉田茂は、麻生総理のおじいちゃんですが、高知の竹内綱という、自由党の大物の5男で、その兄弟の虎治に、中江兆民の娘ちび千美が、嫁いで、ます。また、白石直治工学博士のおくさんが、同じく、竹内綱の娘で、そのえんで、白石博士が、もっていた、伊藤博文が、両親のためにたてた、隠居所に、幸徳秋水が明治33年ころの新婚期すんでいました。そこは、麻布宮村町で、なんと、私もながく、その地番に長く住んでいましたいまは、六本木ヒルズとなりなり、中江兆民が秋水の様子を見にいった、、古いげんせき坂もうめられました。。近代史はミーハーチックに面白いです。

■2009/03/26（木）ご無沙汰いたしました

パソコン壊れて、新しくしました。ふー大変でした。メールンもとどこおりました。。復旧しましたので、またよろしくお願いいたします。

■2009/02/13（金）相棒　25日にひしょう

テレビ朝日放映の水谷豊演ずる右京が、ひしょうのカウンターで、聞き込みをします。25日に放映されますよ。

■2009/02/08（日）クラッシック音楽　未来のための演奏論

名古屋の母校旭丘高校の同期の内藤彰さんの活躍は前にも紹介しましたが、今度は演奏論を上梓されました。東京ニューシティ管弦楽団」野識者だから、音楽関係の人が出版記念会の呼びかけ人なるのは、あたりまえでしょうが、東京電力や、大阪ガス　商船三井、関西電力などの副社長やntt西日本の社長などが、名前をつらねていますが、これらはすべて高校の同期の人たちです。私とはまるで違う40年すごしてきた結果でしょうが、とにかく、同期の桜が活躍するのは、うれしいことですね。

■2009/02/02（月）東京おいしいもの

久々に大好きなおいしいもののお店を思い出しました。忘れないうちに、とりあえず、お店の名前だけ列挙します。百合子の三ツ星店です。お値段もべらぼうなものはありません。

和食　赤坂　三河家　新宿　中嶋
寿司　人形町　鮨雅
ふぐ　六本木　浜藤　ぶつ切りがたべられます。
そば　深川　日吉　休みが不定期
すき焼き　新宿　近江源氏
てんぷら　河田町　高七　明治17年創業　漱石坂の途中にあります。
とんかつ　目義とんき
フランス料理　広尾プチポアン
中華　半蔵門ダイヤモンドホテル　金剛飯店　むしあわび
目白駅前　ジャスミンは、孫文の書がかけられています。味は古典的　な中華です。その他　六本木　四川飯店
いなりずし　六本木　おつな寿司

■2009/01/20（火）賃上げ、グリ￥ンニューデイール　消費税

賃上げと、ワークシャアリングは両立しますか。雇用は業種間の転用がうまく働けばいいのですが、いかにですね。環境にいい産業の育成が景気活性化になる。自慢じゃないですが、10年以上前の私の主張でした。そうなってほしいですね。

■2009/01/15（木）東大落城

1969年1月18、19日の東大安田講堂に、機動隊が投入され、なかにいた、学生を排除した。このできごとを、日本テレビで、ドラマ化した。当事者からみれば、ちがうとおもうこともあるかもしれませんが、すでに、日本史なんですね。私も同世代のしかも、当事者にちかいたちばにいましたが、涙なく見れませんでした。なんという純粋さ。あのころはベトナム戦争が激しく、子供が、戦火のなかを逃げ惑う写真や、サイゴンのまちで、いきなり、ベトコンの容疑をかけられたひとが、射殺されたり、重装備の、アメリカ兵が、はだしの裸同然んの農民につきつける銃の写真が巷にあふれ、とにもかくにも、それらの戦争に加担する、日本は否定しなければならなかった。そして、東京大学を頂点とする、大学が、日本の体制をつくってきたことも否定されなければならなかった。単純な発想だからこそ、多くの学生の心をとらえて、おおきな運動になったのでしょう。

■2009/01/12（月）定額給付金

いまだ迷走気味ですが、必要で、熱望している人もいます。余裕のある人はこれぐらいの額では、消費が刺激されないかもしれません。しかし、ある期間に 2 兆のおかねが、動けば景気の刺激にもなるでしょう。こんなばらまきよりもっと必要なことがあるとの意見がありますが、そのための受け皿をつくったらどうでしょう。高額所得者のかたが、もらうもらわないは自由です。低額のかただって、自由です。その場合もらって、自分の思う製作にまわる、受け皿へ、寄付してください。受け皿の透明性は絶対に必要ですね。

２００８

■2008/12/24（水）メール

メールを開くたびいらないメールの削除にてまどります。1 日 100 通、8 割が、楽天関係で、はらだたしい。楽天は、なぜこのようなことができるのか。だんだんメールをつかわなくなりました。どうしたらいいのかどなたか教えてください。

■2008/12/08（月）ひしょうのホームペ^ジ

よく更新されて、楽しそうな写真も満載、ごらんください。ところで、豊島区議会議員をお昔されていた酒井和子さんは、赤かぶというグループをつくり、雇用問題をやっていました。今雇用や、パート。派遣が問題となっているとき活躍されているのでしょうね。消息ご存知の方は、ぜひ教えてください。

■2008/11/30（日）いちょう祭り最盛期

窓の下、連日人並みが続く。最近はバスで、のりつけるので、雨の平日まで人が多い。景気のせいか、あまりにもお手軽です。12 月 14 日まで、毎日たくさんの屋台がでています。おいでになったら、家によってください。

■2008/11/29（土）国籍法がかわります。

しっていますか。父が認知すれば、婚姻の実態なくてもその子は、日本国籍をとれるようになります。重大な問題なので、議論は、十分になされるべきですが、いま、衆議院をとおって、いるのに、議員も、知らないひとが、多い。たくさんの法案にまぎれて、だされると、議員は国対策委員長の指示のままに賛成するしかないのです。閣議も同じだそうです。商売の可能性も、十分ありますね。

■2008/11/16（日）30 年ぶりに鹿児島の友人くる

大学時代の青く、ムチャなころに友になった。雅子さん。学科もちがっていたのに、なにがひびきあったのかしらとふりかえるのでした。学生時代に鹿児島県阿久根の彼女の実家までいったこと、そのご雅子さんは大学を離れ夫君と郷里にかえり、旦那さんの実家天草へ、5 歳くらいの娘をつれて私は遊びにいった。古い旧家で、庭に、残飯をたべさす、豚をかっていたことなど、が記憶にある。学生時代「大学解体」だの何だのおかしな観念に毒され卒業式をボイコットし、東京の友人の家に 3 人でいったこと、そこで、友人のおかさんが、なにもいわないで、お鮨と手作りのゼリーを出してくださったことを雅子さんはよくおぼえていた。その東京の友人のおとうさんは、警察大学の校長先生だったのに、なんと、リベラルで寛大な親だったことだろう。それは、私の親も鹿児島の親もみなおなじだった。それなのに、家族帝国主義不粉砕などと、これまた、おかしな、かんねんで親を説教していたなんて、なんと恥ずかしい。なんとわびたらよいのだろう。そのことが、わかるのは、親がちゃんと教育させてくれたおかげだとは、彼女の言、私も同感です。、

■2008/11/01（土）西部邁氏のいいたい放題

今回 5 回目がおわりました。mxテレビ土曜日麻12じ、と、日曜日麻 7 時 30 分、西部さんの民主義は、民衆主義、民はもともとの意味は目をつぶされた何も見えない人の意味などと、多数決の原則が、正しい正しくない野価値を含まないという忘れがちの原則から、論理がてんかいされて、さすが、先生、おもしろいです。友人の芸術家秋山祐徳太子さんの独自の視点からの発言もおもしろいですよ。また、ひしょうでいろいろお話が、したいです。
日教組批判で、大臣を追われた中山大臣の信念にもとずく、その後の発言で、私たちもまじめに、考えるに。そもそも、日教組とはなにかさえ知らないのがほんとの事ではないでしょうか。今日の産経新聞に昭和 49 年鈴木重信さんの書いた「共産の教師聖職論は党利」をよみ、当時はその主導権をめぐり、社会党、共産党が激しく競いそのもとで、教育が影響を受けてきたこと平成元年には、共産党がきれて、全教を作ったことなど知りました。かって、選挙の当選インタビューをした時直前に、支持してくれた、労組の委任長が手渡したメモにかかれた、労組名がまるで、理解できず、とちったことを思い出します。それも当然だった。社会党も、二本社会党と、言われてきたように、協会派、江田派など、激しく主導権争いを展開し、政治路線をジグザグさせてきたことをどれだけの人がしっているだろう。
海上自衛隊のトップ田母神幕僚長が、先の戦争を「日本だけの侵略戦争ではない」との論文を発表し更迭された。ちかずく、総選挙の野党の追求をさけたいのでしょうが、終戦史、日米関係史、戦後解読された、コミンテルンの暗号ベノナ文章の検討、などなどからは、日本だけが悪いとは、言い切れない。今後私は政治の立場ではなく、虚心坦懐、歴史、経済、暮らしなどを学び、あらたな論理を作りたいと願います。、

■2008/10/27（月）市民税の財産差押え

母が死んで、じきに、、銀行の口座を閉鎖してしまった。そおため、引き落としが、できず、さっそく、私のところへ、請求がまわってきた。それはとにかく、納期が7月31日。10月には、「財産差押え」の文書がおくられてきた。やたらまめ。役所はよほど暇なんでしょうね。でも、まだ相続もきまらないし、東京まで、とりにこいといいたい。わずかなおかねでも、役所はコスト関係ないから、くるかもしれないなとおもいながら、屈服した。お上にさからって、かてるわけばないです。以前国税庁に質問したことが、ある、滞納税金の延滞料が14、5パーセントなのは、とりすぎではないかと。すると、「税金を滞納して、それで、もうけるのは、いかん」という。性悪説。

■2008/10/10（金）恐慌前夜？

副島隆彦さんの同著書がうれています。1929年の世界恐慌がおもいだされる、最近の世界。日本でも続落し、不安におびえている知り合いも何人かいます。株は気分を反映するので株安だけなら、いいが、実態経済はどうだろう。確かにこんな時に選挙は間が抜けている。小沢氏がトーダウンして、代わりに管氏が、叫んでいる。いや、大変ですね。

■2008/10/09（木）ノーベル賞4人

物理3人化学一人。うれしいニュースです。物理の2人はともに名古屋大学坂田門下生。名古屋大学は東京では、いまいち知名度が低いらしく、、名大というと、明大のこととを意味するものらしですが、私は名古屋出身で名大の価値をよくしっていますから、なんだかうれしいです。化学賞の霜村先生も名大で教鞭をとっておられたというのだから、名古屋大学のレベルの高さをしってもらえたでしょう。ただしこれらは30年ほど前の研究です。今後とも研究のレベルを高く維持してもらいたいです。賞が30年前なら農工大の松永教授のノーベル賞の可能性あります。琵琶湖の水質浄化のバイオの藻たしか、ロドシュートモナスとかいっかしら、もう何年もまえ、お昼のニュースでこの研究が紹介されたときのうれすかったことをいまでも覚えています。彼に会うたびにもしノーベル賞をとったら、ひしょうでうけてね。なんて軽口いってますが、期待してます。

■2008/10/04（土）政権交代ファッショ

先日代表質問で、自民党幹事長細田博之が、小沢が、自民党を出たときともにでた、閣僚が3人すべてが小沢はこりごりといっていると発言しましたが、私も当時の新進党で、小沢の近くにいましたが、私もこりごりです。民主集中制なんてあこがれていましたが、本当にわがままで、気の弱い独裁者でした。それで、新進党をやめ政界を引退しました。私以外にも近くにいた人はみなそうおもっています。政権交代の御旗で、どんなこともものみこむ、民主党に危うさをかんじます。

■2008/09/26（金）早速の電話ありがとうございます。

この日記もみてくださっているのですね。お電話くださった皆様ありがとうございます。うれしいです。

■2008/09/22（月）携帯伝エアのデーターが壊れる

600件。本当に困ります。もしこのメールにきずかれたら、私の番号はかわっていませんので、お電話ください。お願いします。

■2008/09/17（水）自民党総裁選挙

5候補による、政策をきそわせる演説会が、全国的に展開されています。不十分、デキレースなどの批判もありますが、すくなくとも国民に、わかりやすいかたちで展開されていることは、はじめてです。政策本位を標榜していた小沢さんの党がこのような機会をつくらなかったのは残念です。さすが、自民党は健全だとみなおします。ところで、政治が空白なあいだにも世界は大激動
リーマンブラザーズの倒産など世界恐慌もささやかれている今、与謝野大臣だけは、このような機器の局面では、総裁選挙の演説を中止するのも当然と対応にあたっていますが、当然でしょう。それにしてもこの先世界は、日本はどうなるのでしょう。

■2008/09/10（水）秋山ゆうとくさん『天然老人」

オン年73歳痛快元気老人のお話。うらやましいですね。皆さん続きましょう

■2008/09/09（火）長谷川まり子「少女売買」が、新潮ドキュメント賞受賞

おめでとう。まり子さん。そして、編集の光文社槌谷昭さんおめでとうございます。まり子さんはひしょうにもおいでいただきました。ご著書もいただきました。ありがとう。ますますのご活躍をお祈りします。あわせて梁石日さんの「闇の子供たち」43万部突破は少女たちの理解をこえた恐怖の現実をかいています。あわせて読むとこれは大変、なんとかしなくてはと思います

■2008/08/28（木）揚げはちょうがかえりました。

狭いベランダ、それでもいろいろの植物があって、いろいろの虫もきます。小さいきんかんには、黒揚げはの青虫がつきます。鳥がたべたり、足長鉢がたべたり、敵が多くてのこるのは、たいへんです。2匹かなりの大きさになっていたので、お盆前に、シャーレにいれて、育てる。ほどなくさなぎになり、昨日羽化しました。きれい。

■2008/08/27（水）在フランスの友人に26年ぶりにあいました。

邦子さん、なんという時間がたったのでしょう。でも会えばあの日が、ひそのままよみがえります。ゆっくり時間をとってくれて、夕食をともにできたのはうれしいかぎりです。

■2008/08/16（土）母の 49 日

もっと名古屋にいていっしょにいればよかったと、くやんだり、それでも、後年はいろいろ旅行にいけてよかったとおもったり、晩年は、4 年間東京の施設で面倒をみれたことをよかったと思います。遺言のような手紙がでてきて、その最後に、「わたしの病気がながくなったときはよろしくお願いします」なんてかいてあって、涙しました。父や祖母のもとでの、冥福を祈ります。

■2008/06/25（水）昨日アコーデオンの平さんが、なくなりました。

緊急連絡
なくなるまえにひしょうに知らせてくれといいのこし、ご長男から電話ありました。電話はしておきましたが、ご長男はなにかあったら、またゆかりの方がいたらいつでも連絡くれといっています。とりあえず、明日通夜です。----

＞24 日 16 時頃お亡くなりになったそうです。お通夜は長竜寺で 26 日 18 時～20 時 30 分、住所:杉並区高円寺南 2-31-28、電話:03-3311-8620 です。もし来られたらとのことでした。息子さんの連絡先は 090-9834-4405、何かありましたら連絡くださいとうことです。

■2008/06/23（月）佐藤康光棋聖 7 回目の棋聖王手

佐藤棋聖はひしょうにもおいでいただいた。お若いが、もの静で、貫禄十分。ひとめで、ファンになりました。最終戦も勝利をお祈りします。

■2008/06/09（月）井崎正敏「ナショナリズムの練習問題」

同期の井崎さんの本です。おもしろく読みました。彼が最初にかった、文庫本は「クオレ」だそうです。小学校 5 年。わたしは、「クオレ」を読んだことはありません。同じころ熱中してたのは「不思議の国のアリス」でした。教育大学付属から東大の秀才は子供のころから、御伽噺ではなく、「愛の学校」を読み思索するのですね。他に「天皇の戦争責任再考」「無根拠の時代」「天皇と日本人の課題」など多数をかいています。小阪修平「思想としての全共闘世代」も同期の書物つし共感するところがたくさんありました。がんばれ、団塊の世代。

■2008/06/01（日）長崎新幹線着工

17 年反対があったのに、公共事業がほかにないので、なりふりかまわずおしくったのは、まだこの国の構造がかわない悲しみです。佐賀、長崎県知事、自民党道路俗議員らは、鹿島市長、港北町町長の粘りつよい反対、もちろん市民の指示があってのをふみにじるのですが、お金のためには地域の不都合はもとより、無用な、ダム、道路、湾のうめたてなどにより、山、川、湾など社会の共通財産を破壊してきた、現場にいくつもかかわり、愛国者として、それらの保全を公共事業とするべきとの主張を 1993 年の決算委員会で展開し、時の宮沢総理、林大蔵大臣の賛意をえた時のうれしさとともに、あいかわらず、かわっていない、悲しさを感じました。

■2008/05/24（土）母を見舞う

4 月中はほとんど入院していました。長くいると耐性菌の感染はよくあるのですが、今度はそれに感染し、退院できません。5 月 5 日は母の誕生日でしたが、退院できず、病院で祝いました。今日の見舞いは弟と奥さんの 3 人で、いきました。大声でこえをかけるとめをあけて、帰るまでおきてうれしそうにしていました。喜んでくれると、うれしい。とOまれ一日も早く退院してほしい。

■2008/05/23（金）雅子さん元気そうですね

夜友人の九大有馬先生から電話。明るく楽しそうな声「今雅子さんとめしくっているよ」代わって電話に出た雅子さんは九州にいくまでひしょうの主砲としてがんばってくれていましたね。九大に職が決まったとき有馬教授に「雅子よろしく」と頼んでおいたので、かわいがってくださっているのは、うれしい。弾んだ声で元気そうでした。

■2008/05/21（水）文芸春秋5月号同級生交歓のグラビアに名古屋の

母校旭丘高校の同期の皆さん 10 人がでています。社長さんや、副社長さんがたくさんいます。加えて大阪文芸家協会の小林真理子さん東京ニューシティの内藤彰さんなどです。みんながんばっていますね。

■2008/05/20（火）古い写真

たんすの整理をしたら、古い写真がでてきました、90 年衆議院選挙のです。熱心に応援してくださった、友達の顔、社会党の尾崎とぎ、土井先生、いまは千葉県知事の堂本暁子さん、中上健次さんの、多摩、町田での応援。このときはゆっくり、対談などして、多くの市民にうったえました。森田健作さんの姿もみえますあの時どうして、こんなことになったのか、不思議ですが、皆の気がひとつになったのでしょう。皆が明るく輝いています、自分でいうのもなんですが、私もぴかぴかで、とてもステキでした。いい結果がでtることも感じさせます。あのように光輝く日々をこれから作る事ができることを祈ります。

■2008/05/11（日）衆議院岩手 4 区

岩手 4 区は小沢一郎氏の選挙区。そこに、氏の秘書を 20 年つとめた高橋嘉信しが出馬。新進党のころに、よく、彼にはあいましたが、平成 12 年自由党で小沢チルドレンとして、当選したあと、きえていたので、きられたのではとおもっていましたが、氏いわく「小沢先生の政策も政治姿勢も手法もまちがっている」と。

■2008/05/10（土）連鎖する大暴落

副島隆彦「連鎖する大暴落」この大暴落はあと 3 年 2011 年までは続くというのです、発売後大反響 8 万部突破。副島さんは、本当に古いひしょうのおきゃくで、ことしも、2 月に東大の井崎さんときてくれました。顔写真つきの新聞広告でした。うれしいですね。いっそうのご活躍をお祈りします。そうそう、篠原さんが、1979 年の飯田橋のお花見会の写真を今日持ってきてくれました。そこのは、若き日のスマートな副島さんがうつっていました。もちろん若き日の私もいっしょです。タイミングのよさにというか、びっくりしました。

■2008/05/09（金）全国俳句大会入賞作品

剪られたる枝に無数の冬芽かな

これは今年の全国俳句大会で、佳作をいただいおた俳句です。お面上も、賞品もいただきました。カレンダーに収録されています。ご入用の方は
ひしょうまでご連絡ください。

■2008/05/03（土）昨今の政治

相変わらずの党利党略、政局しか頭にない政党、ガソリがいくら高いやすいといって、日本中が大騒ぎしているけれど、こんなことはすべて、シナリオどうりです。再可決の騒ぎの火チベットのもんだいで、絵画がもたれたのは健全。安部元総理も出席と

のことでした。
杉並区長山田宏「福田康雄と小沢一郎の「将器」を問う」正論 6 月号をおもしろくよむ。乱世に人材は出ないものだ。

■2008/01/16（水） 江藤淳「とざされた、言語空間」をよむ

戦後教育というか、わたしたちが、なじんでしまっている、妙な言説、たとえば、「原爆が戦争をおわらせた」とか、「日本だけが、悪い」と、きめつけなどの「常識」のもとは、アメリカの徹底した、検閲によって、導かれいることが、よくわかる。アメリカの公文書をよみとき、丹念な解析をした、江藤淳に、あらためて、敬意。若いときは右だ左だとドグマチックな価値間が先行して、ろくに、識者の論評に耳をかさなかったのかも知れないことを悔やむ。
もう古い本だが、一読を。

２００７

■2007/11/20（火）特急列車のごとく

なぜ時間がないのでしょう。朝起きて前日の食器洗いから食器をだして、昨夜の残りの皿」などと入れ替えます。ごみをだしたり猫と犬の食事の世話、庭木の水のチェック、掃除。そしてお昼の準備で、食事がすめばもう午後。新聞をよんだらもう3時といったところでしょうか。買い物や手紙の整理、前夜の会計、準備などです。夕方5じから8時までは母の食事介助です。自分の夕ご飯はゆっくりとれません。そば、鮨、ラーメンか施設と家の途中でかうお弁当が多いです。ほんとは自分で作って食べるのが好きです。マーボー豆腐や、さばの味噌煮、茶碗蒸しなど自慢できるものはたくさんありますが、今はとても無理です。母の食事がはやくすんで、7時30分に家にもどっても、なかなか食事をつくって食べて仕事に行くのは大変です。作る時間だけではなく火の心配で神経をつかいますから。10月から水曜日だけ専門家にたのみました。1日だけ夕方があきました。料理をするか、娘たちとすごします。そのようなわけで、多くの集まりに誘われても失礼しています。論文もまったくすすみません。

■2007/11/08（木）涙の政治家

かっこよく辞任会見をした一郎さんでしたが、由紀夫さんらに慰留され、やめるのをやめました。なーんだ。その際涙を浮かべてしまいました。少しまえ安部総理大臣がやめるときも目が涙で潤んでいました。男たるもの人前で涙を見せないものと子供のころから信じていたので、びっくりです。男に負けず女もがんばっていくならば、人前で涙をみせてはならないと戒めているので、先の参議院選挙で丸川氏が選挙中に涙をみせたのを清くないと思ったのでしたが、男まで泣くご時世なんですね。

■2007/11/04（日）小沢民主党党首の辞任

たまたま乗っていた車のラジオで会見をききました。政策実現のために身を捨て、党利を斟酌しないのが、本来の政治家でよろしいのではないかと思わせる辞任表明でした。しかし、党の幹部以下各県の組織も反対。政権にあったら小沢さんは総理大臣、解散など重大事項に、閣僚の反対で総理が身動きできなければ総辞職か、閣僚の首をきって解散するのですが、野党の党首にはそこまでの権限はないということでしょうか。

■2007/11/03（土）ヨットクラブハーモニィー阪口さん世界1周へ

八重洲富士やホテルで壮行会が行われました。旭丘高校の同期生、阪口正視さんら3人で来年1月31日プーットを出発します。5年間です。寄港先やルートを画面でみるだけでっもあまりにも壮大で、感動します。とてもすばらしいです。元気にやり遂げてくれることを祈ります。

■2007/11/01（木）中日ドラゴンズ53年ぶり日本一おめでとう

昨年ダルビッシュの好投のまえに涙をのんだ中日でしたが、今年は初戦をおとしただけであとは4連勝で優勝がきまりました。8回まで完封していた山井を9回に岩瀬を交代させたことはファンのあいだでいろいろと議論を呼びましたが、まずはおめでとう。ダルビシュは敗戦投手になりましたが、すばらしいです。もちろん川上も。

■2007/11/01（木）外苑の銀杏並木

今年は全国的に紅葉がおくれぎみだそうですが、ここ外苑の銀杏もまだまだ紅葉にほどとおいです。というか、葉の水分がへって落葉準備ができてきているのに色つかないのです。それどころか枯れてきている葉もあって、今年の紅葉はあまりきれいにはならないかもしれません。銀杏なし、紅葉なしでも例年のいちょう祭りは16日からはじまります。土日祝日は全国の物産が販売され賑わいます。

■2007/10/31（水）プティ・ポアンはどうしたの

最近広尾をとおったら、名店プティポアンが改装なのかどうしたのかこわしていました。いい店なので、どうなったか心配です。一説にはカフェに改装というのですがフレンチではなくなるのでしょうか。世の移り変わりは激しくて、麻生十番の数少ない昔の店舗で残っていた陶器やさんも店をこわしていました。大江戸線ができて、昔の町並みはこわれチェーン系の店がやたらふえました。今健在なのは川口工具点、魚屋さん、小林玩具店など数件になりました。酒屋、牛乳や、豆腐や、すし屋、陶器や、惣菜や、食堂、文房具や、絨毯や、八百屋、家具やなどがなくなりました。どこの町も均一になっていくのは寂しいです。

■2007/10/28（日）ホセカレーラスさまを聴く

サントリーホールには全都、全国から3大テノールの一人ホセカレーラスの美声を聴こうと着飾った人たちが集まりました。秋の夕暮れ華やかな雰囲気でありました。ホセカレーラスの声は美しく、優しく、それでいて悲しげ、そして人生の寂しささえも感じさせる実に深いものでありました。舞台にはマイクもバンドもなし。ただ一台ピアノがあっただけです。なんというすごさかと感動的でありました。

■2007/10/20（土）運転マナー

有名なオートレーサーがユウターン禁止場所で違反したトラックにぶつかり死亡しました。飲酒運転での悪質な事故がおきて、飲酒のとりしまりは厳しすぎるくらいになりましたが、日々飲酒以外でも、たちの悪い運転者はたくさんいます。せまい込み入った場所でスピードをあげたり、割り込んだり。ウインカーをださないで車線変更ができるとか、車線を乗り越えて走ってもいいと思っているような運転者が多い。危険は昼間もいっぱい。もっとも込みすぎていて大きな事故にはなりにくいでしょうが、そこらじゅうで、あたった、こすった、壊れたとやっています。ヒステリックな警笛もいらいらしますね。

■2007/10/17（水）国会質問

車で動くことが多く、ラジオで国会中継を聞くことがあります。全部は聞いていませんが聞いた限りでは野党の質問が本質とは別の細かいことに終始して、つまらないです。先日も女性議員が「役所は私に解答するといったのにまだだしてくれない。どうなっている。」としつこく聞いていました。「まだそろえられない。すみません」と答えるしかないのに、くどくど聞く意味があるのかと思いました。声が女性的なので、こんな奥さんに「くどくど約束したじゃない」といわれる旦那さんの困惑が思い出されるようでした。長妻さんも「記帳漏れは何件か」と繰り返しきいていましたし、鳩山さんは「オイルをイラクに転用したのか」といっていました。政局では相手のミスを攻めるのが効果的と信じられているようですが、そんなこといってて「民主党は神さまかしら。ミスしないの」と感じました。インド洋での給油の意味とか、日本とアメリカのあるべき関係とか、一生懸命働いても満足に食べていけない層が拡大していることにたいする方策とか、実現できない炭酸ガス削減をどうするのかそんなことを議論してほしいです。

■2007/10/13（土）外苑の銀杏

春の大剪定で、銀杏並木の立ち木も深く深く刈り込まれ、かわいそうなくらいでした。そのせいでしょう今年はほとんど実をつけません。いつもなら銀杏を拾う人たちで賑わうのですが、今年は静かです。
「剪られたる枝に無数の冬芽かな」と詠んだその後遺症はその他の木々にも残っています。

■2007/10/10（水）高校の同窓会月例会

愛知一中が戦後旭丘高校となり合同の同窓会が毎月開かれます。名古屋11日、東京10日に開かれています。今月は私の卒業期18期の当番で、同期の内藤彰さんにお願いしました。名古屋大の理学部卒業後、東邦で指揮を学び居間は東京ニューシテイ交響楽団の指揮者です。喋喋夫人の鐘の音が中国のどらで演奏されてきたものを本当はこれだと日本式の鐘での演奏を始めてやりまいsた。鐘をもっての実演つき面白い講演でした。18期もたくさんあつまり、2次会ももりあがりました。もう一人の音楽家新実徳英さんも2次会から参加し、いい会で幹事としてほっとしました。

■2007/10/05（金）古いお客さん

最近何十年ぶりに懐かしいお客がきます。案外変わっていなくてたいていはすぐわかります。一瞬にして時間がもどりあの日あの時を思い出します。山岡さんお東北大の同級の東瀬さんお弟の友人の佐藤さんは、久しぶりに会えたと思ったら9日にイタリアへ赴任。再開と別れを惜しんで、短い期間に3度もおいでいただきました。感激です。お元気でイタリアでお過ごしください。懐かしいといえば石川慶子さんも早稲田の学生時代お店の手伝いをしてくれましたが、今は出身の愛知で高校の先生です。少しまえですが来てくれてうれしいかったです。皆さん離れていても忘れないでくださいね。

■2007/10/01（月）猫の白髪

もうじき8歳になる猫のけんたに白髪があることに気がつきました。耳の下、人間でいえばびんのあたりが白くかわっています。そこから耳のなかにかけての白髪。猫ちゃんも年をとるのだとなんだかいとおしく感じたのでした。

■2007/09/28（金）まだ蝉がないています。

温暖化の懸念のあるこの夏は本当に暑かった。暑さ寒さも彼岸までとはいうものの、今日も東京は32度。近くの御観兵榎の森は蝉しぐれでした。花海棠もぽつりと花を咲かせました。

■2007/09/27（木）小阪修平さんを偲ぶ会

虎の門パストラルには大勢の人が小阪さんを偲び集まりました。長崎浩、橋爪先生や作家の笠井潔さん、東大の仲間、予備校の先生、小倉高校時代（1年だけいた高校で後に東大であった）の同級生などです。小阪さんの死に驚き、惜しむ声に満ちていました。よく飲み交わしたひしょうに奥さま、息子さん、お嫁さん、そしてお孫さんも来てくれました。利口そうな男の子で、国産トマトジュースと私の手つくりのラッキョウを食べてくれました。小坂さん、みなさんおいでいただきましたよ。

■2007/09/24（月）福田総理誕生

過去の亡霊が跋扈した総裁選でした。加藤紘一、山崎拓、古賀誠といった古き自民党の生き残りがかけた安部倒閣。「イラク特そう法がいきずまったらチャンス」とささやく加藤紘一。加藤の乱で失脚したかとおもいきや、まだまだ野心満々。幹事長に古賀誠などおといわれているが、天下国家より怨念をはらすこと、権力を得ることが第一の政治家ばかりでは政権は安定しない。それにしてもニュー自民党の敵は自民党当たり前すぎる真実。安部総理の戦後レジームの清算は遠くなった。

■2007/09/22（土）母の輸血

病院きらい、医療怖いの娘としては、母をできるだけ病院やお医者さんのお世話にさせたくありません。しかし、ついに39度を越す熱のため6日入院、15日退院までは連日食事介護に通い、やっと退院できたというものの、股関節に異常が見つかり再び病院へ。戻ってまた「赤血球の減少はどこかに出血がある」というので病院へいき輸血となりました。輸血ときいて「できるだけさけて」というのでありますが、弟が「やろう」といって決断（大げさ）しました。股関節は病院介護の過程でおきたことで、だから病院はいやだとまたしてもおもってしまったのでした。

■2007/09/12（水）安部総理お疲れ様

教育基本法改正、憲法改正手続き法を成立させ、最近はインドへの積極支援と連携にのりだした安部総理だが、閣僚の相次ぐ不祥事や年金問題などで、苦境にたたされた。年金問題はもとより安部内閣の責任であるはずはない。しかし、基本法も手続き法も左翼が大反対している。マスコミの一部も厳しい。小沢一郎民主党首は「普通の国」「自己責任」の旗が選挙で通用しないとみて、「生活が一番」ときた。地方の構造改革によってきりくずされた利権組織にバラマキを約し、旧勢力を見方につけた。政権をとるためならなんでもありということだろう。11月に切れるテロ特そう法に反対し政権をゆさぶった。傲慢にもシーファー駐日大使を党本部に呼びつけ、自らは遅れて会談。左翼の皆さんが喜ぶのははやい。テロ特反対でも国連が決めた決議の形があればなんでもやるということをわすれてはならないでしょうね。

■2007/09/09（日）父の 13 回忌名古屋

母は入院中、残る叔母2人のうち一人は欠席だったが叔父は出席91歳。意気軒昂。甥が11歳で亡くなったときの縁となった坊さんも「50歳をこえました」といっていた。当時20代長髪でまるで坊さんらしからぬ風体だったが貫禄をました。いとこもいまやじいさんばあさんとなり、年月の重さをいやがうえでも感じさせられます。

■2007/09/03（月）書くまいとおもっている政治だけど

嘘や変節のない政治は想像できないし、金、地位、権力をめぐる汚れは前提である、とはいっても三度連続農林水産大臣の不祥事はなに。遠藤武彦という男は自分の立場が「身体検査」でばれるかもしれないと思いながらも大臣になった。ばれたらばれたとき、とにかくなりたかった。政権、党、国民なんてはなからどうでもよいとおもっていなければできないことだ。このような厚顔無恥でなければ政治家でいられないのか。

■2007/08/30（木）芸術、芸術、芸術

下田の別荘が雨でやられて大変。その対策と、娘の2番目の子供の誕生対応でなにかと気ぜわしくしています。母は幸いここしばらく調子がよくて楽させてもらいましたが、昨日あたりから発熱。今日は母のもとにいます。ひしょうは今また夏休みムード、昨日も静かな、しかし、だからこそしみじみ濃い会話で勉強になりました。さてここ数日二つの感動的絵画をみてきました。丸山応挙の「虎図」と岡本太郎の「明日の神話」ともにすばらしいものでした。虎はあの時代本物をみたことはないなかで、最大

限の想像をめぐらしてかかれたものですが、うちの白と黒の縞猫ににていなくもありません。すごっく親しみを感じました。ブラジル（でしたっけ）で近年発見された巨大なる「神話」は修復が完成し現代美術館で公開されています。岡本太郎の作品はこの１点のみ、しかし、他の作品はみる気が起きませんでした。岡本の言う「きれいなもの、上手なもの、心地よいものは芸術ではない」そう思えてきたのでした。

■2007/08/25（土）猛暑の夏

４０年ぶりに最高気温を更新、４０．９度。多治見・しかもその後も全国的に猛暑に見舞われています。北極の氷がたけはじめて久しいのですが、ほんとに地球は大丈夫でしょうか。ヒューマニズムなる人間中心主義が他の無数の生き物の生存を不可能にし、毎年多数の生物が絶滅においこまれています。温暖化。これを認めない説もありますが、データーからは何千、南万年サイクルの変動では説明できないでしょう。そこで、３０度まではクーラーをつけない暮らしをしていますが、犬、猫の方が根をあげます。「暑くない」とがんばっても本とは苦痛なのかも。やっぱり疲れました。お盆休みは３日、しかし、これが、下田の家のことでいっそう悩ましく、日帰りの下田行きをしたり、休み明けからは２時までひしょうにいたり、モーレツ世代とはいえ限界です。

■2007/08/10（金）小阪修平さんが亡くなりました。

先週も楽しくひしょうで語らいました。朝友人の桜鴎学園の教頭先生中村先生から、小阪さんの務め先駿台予備校との連絡で小阪さんが亡くなったことがわかり連絡してくれました。元気そうでまさか死んでしまうなんて考えられません。動揺します。ご冥福をお祈りします。

■2007/07/30（月）映画「選挙」を見ました

川崎市議選挙の補欠選挙にでた山内候補の選挙記録映画です。選挙の記録なのですが、切り取る監督のセンスがいいのでしょう、まったく飽きることがありません。選挙事務所、候補者の気持や表情は役者のようでした。笑えて、そしてなんだか悲しみが。ベルリン映画祭でフィクションに違いないといわれたそうですが、外国の選挙はどんなでしょう。

■2007/07/24（火）旭丘１８期ミニ同窓会

サトケンさんの発起で１０人が、新宿えんに集まりました。ここ数年は斉藤さんや水野さんたちのお世話で時々集まっています。斉藤さんの快気祝いが出発でしたが、皆さんお元気で楽しい会となりました。幹事さんお疲れ様。
「旧友のはずむ会話を煽ぐ扇」

■2007/07/22（日）蝉の初なき

朝７時４０分、今年初めての「ミーン　ミーン」という鳴き声をききました。雨がふっていましたが、いよいよ夏本番ですね。

■2007/07/20（金）オオスカシバが今日かえりました。

ある日昨日まで香りのいい花をさかせていたくちなしが丸坊主になりました。毎年知らぬ間にこうなって、なかなか花が見られません。今年は鉢の置き場所をかえていたので、しばらく久々の白い花を楽しんでいました。犯人はだれか。３匹の大きな青虫が残った葉を大急ぎで食べています。どんな虫なのか。きんかんについていた青虫はからすアゲハでしたが、形がちがいます。近くでくちなしの枝をもらってきてシャーレでかって１４日で孵りました。数日で幼虫は黒くなって下におちました。大量のふんにもぐりましたので、土をいれておいたのです。飼い猫のけんたが最初にかえった虫に気ずきました。羽が透き通った蛾、くちなしの白い花をそのままうつしたように胴体が白です。「カメラ　カメラ」といっているうちにどこかへ飛んでいきました。

■2007/07/18（水）もう日が短くなってきました。

毎日６時ころに母のお見舞いにいきます。車で、愛宕の施設にいくので、暮れの感じがもう短日傾向にあることがよくわかります。夏至はとうにすぎているのであたりまえなのですが、これから夏の盛りをむかえるので、あれとおもったのでした。

■2007/07/16（月）台風がさって、代々木公園ドッグラン

まれにみる大型台風が九州に上陸し、本州縦断かと天気予報が報じましたが、いつのまにやらそれて東京には影響がありませんでした。代々木公園にドッグランができたので、いってみました。周辺が森の公園なだけに、大井や駒沢にあるドッグランより雰囲気があります。ところが、うちの犬は4歳になって、愛想のいいかわいいこちゃんではなくて気難しいところがでてきました。人には相変わらずなつっこくいい子ですが、犬にいきなりほえたりします。最近では散歩の途中あった甲斐犬がよってきたら背中にかみつきました。甲斐犬は気難しい犬で、実はうちの犬もその血がながれています。せっかくのドッグランなのに、心配で綱をはなせません。

■2007/07/15（日）とつか市場にいってきました。

車のガソリンがどんどんあがっています。近くに出光の本社があって、そこがガソリンスタンドになっていますが、「ここはたかいです」と店員。おそらく最高の値段でしょうね。しかし、24 時間あいているので便利です。時間があるときは早稲田諏訪町あたりのガススタで給油します。それは安いこともありますが、途中にお気に入りのてんぷら屋高七があるし、少し高田馬場方面にいけば「とつか市場」があるからです。昭和 30 年のイメージがそのまま残っています。魚屋さんには生きたままの貝類が桶にずらり、小分けした刺身は私の知る限り一番安いしおいしいです。いまがシーズンのいたや貝、うに、赤貝、ほやどれも美味かった。となりの八百屋さんには大きなスイカ。「２貫以上あるよ」という立派なものが「天気がわるいし、１５００円でいいよ」おやじさんが、はかりにのせたら8キロ、桃も2個５００円を「３個もっていって」といったおまけもしてくれました。そのほかにも雑貨、陶器、荒物のお店があります。しかし、いついってもあまりお客がいませんが、大丈夫でしょうか。

■2007/07/13（金）はじめての迎え火

義母が 6 月に亡くなり、先祖の霊をお迎えする人がいなくなりました。仏壇は少し前に我が家に引越してもらいましたが、迎え火をたくのははじめてで、みようみまねの迎え火。なすときゅうりで乗り物をつくり、たくさんのお供えでにぎやかにしました。実家でのそれとちがいベランダでの迎え火もはじめてで、仏さんは窓からおいでになったのでしょうか。

■2007/07/10（火）今日も大臣が査問をうけています。

いじめをみてみぬふりをした教師も糾弾されていますが、いまやいじめ体質は全社会的な風潮になっています。大臣をよってたかって査問するのを見ていい気持ちになる人はどれくらいいるのでしょう。選挙の前は刺しあいになるのは常のこととはいえ、最近は仁義なき戦い。一方、糾弾、査問の先頭に立っているひとだって、多額の政治資産の隠匿で名をはせているのだから、いい加減にしてもらいたい。

■2007/07/01（日）金田真義さん 8 回忌

金田さんが亡くなって 8 年、49 歳の若さでした。ハンサムであるだけでなく、友情に厚く、まわりにもよい友人がたくさんいました。私にとっては弟同様の人でしたが、逆にいろいろ面倒をみてもらいました。金田さんの命日に、その早稲田の図書館を中心にしたノンセクトの仲間 10 人がひしょうに集まりました。弟の関係でひしょう開店以来お客なので、どの顔も懐かしい。社長、市長、大学の先生と大人になっても、熱い友情はかわらないです。

■2007/06/23（土）宇井純先生を偲ぶ会

午後は安田講堂で「宇井純とはなにか」「宇井純のつたえたいこと」などについて、講演、シンポジウムが行われました。バリケードのない講堂は初めてでしたが、１０００人もの人が集まったのでした。講堂前には花壇がつくられレンゲがさいていました。6時すぎには文京区民センターに会場を移して偲ぶ会、宴会も大変盛況でした。白保の海を守る会の生島さんや廃棄物を考える会の藤原さんなど懐かしい顔ぶれにもお会いできました。宇井先生の偉大さをあらためて実感した1日でした。

「レンゲ咲く（安田）講堂前や古戦場」

■2007/06/19（火）パソコンがなおりました

１月ほどパソコンがこわれていて、あたらしいデスクでようやく今日つながりました。いやいや接続の設定やらなんやらたいへんです。ニフティの土屋さん（女性）が丁寧に接続まで案内してくださったのです。ありがとうございました。

■2007/05/20（日）大口勇次郎先生の古希のお祝い

江戸史の大口先生が70歳になられ、先生が最初に担任された、1年したの皆さんがお祝いの会を設定してくれたので、参加させてもらいました。40年前私が入学したころ、先生もお茶の水女子大学に赴任され、一番お若い先生でした。大学が闘争にあけくれたころでしたが、優しく学生をみまもってくださったのでした。会場の後楽園のお庭を散策し解散しました。先生は「時間があるから研究が進むというものでもないです」と。忙しいことをやれない理由にしている私としては重い言葉でありました。お元気でますますのご活躍をお祈りします。「新緑や恩師囲んではいチーズ」

■2007/05/16（水）新実徳英さん来店

旭丘高校の1年下の鈴木泰子さんから、メールがあって、返信を返した翌日には新実さんを案内してきてくださいました。用件は「憲法をかたろう。それができるようにしよう」ということです。作曲家としては頂点にあっても、それだけではいけないとの思いがあるのでしょう。政党や、結論ありきの運動、右だ左だの議論ではないものをとの考えは私も賛成で、新実さんをできる限り応援したいと思うのでした。

■2007/05/12（土）病院というところ

母が発熱した。「39度あって、嘔吐もあり。」という連絡をうけとったのは午前9時過ぎ。「慈恵医大へつれていく」というので、車をだしてかけつける。10時10分に消化器内科に受付。受付に「予約のない方は60分から90分お待たせすることがあります」と書いてある。名前を呼ばれたのは11字40分。やっと診療スペースまではいれたが、まだ待つ。お昼つかくに根岸先生の診察をうける。熱があるので、とにかくレントゲンと血液検査。食事、水分が不足しているので、リンゲルの点滴も必要。レントゲン、採血結果、医師の再診、方針決定したのは午後4時30分。薬をもらうのに40分。明日の診察の予約をして、迎えの車を待ち施設にもどったのは6時。患者もお医者さんが大変なのはもちろん、付き添いだって疲れきったのでした。それにしてもなんでこんなに病人が多いのでしょう。

■2007/05/06（日）下田に行ってきました。

3日は先発に犬のキー子と旦那をだして、様子をみてから翌日一人で車を運転していきました。昨年7月にお店の友達何人かと行ったとき、地元の工事やさんにたのんであった修繕ができていなかったので、どうなっているか心配だったのです。工事は中断のまっまでしたが、使えないほどではないというので、向かいました。混雑をさけ、午後出発。思惑どうり、東名も小田原厚木街道もスムーズ、しかし、小田原の石橋で渋滞。ここは橋のないときは、一般道を走りましたが、今のような混雑はありませんでした。巨大な橋で横浜からの車を合流させるのがいけないのでしょう。橋をつくれば巨大なお金が動く。通るたびに「日本」を感じます。その後伊豆高原をとおりぬけるのに2時間。信号13回、まったく動かないなどをくりかえし、ついたのは8時。渋滞をぬけたら、とたんに車が一台もいない。真っ暗な崖っぷちの道をあがったり下がったりは心細いものがありました。まえにテールランプがみえると見失たくないと追走します。途中回転すしをたべ、お饅頭をかい、スーパーによっていきました。どうせ動かないならあせらないで、ゆっくりいくべしですね。着いた下田は鶯がなき、空は澄み、海は青く最高です。

■2007/05/05（土）中国の老人ホーム

老人は子どもが見るのがあたりまえの中国社会にもグローバリズムの波がおしよせている。青島市の老人ホームの様子が報道されていた。娘はバリバリのキャリアウーマンとなると、親の面倒を見るよりは働いていたいのだ。親は子に従うしかないが、とても寂しそうです。驚いたのは、面倒を看るというには及ばない達者な老人である。私の母のように身動きできないのではない。自分のことは自分でできるし頭もしっかりしている。それでもって施設？どうしてなんだろう。

■2007/05/04（金）ゴールデンウイーク

4月は桜花にみとれ、気ぜわしい日々でした。1日おきに母を見舞い、たまにはおいしいものを食べて、誕生日のプレゼントに清水焼きの箱と江戸切子の緑色のグラスをかって、日生劇場で、「ジギル博士とハイド氏」を観てた。昔東ゆたかさんの東京キッドブラザースの柴田恭平さんたちのミュージカルをみて以来でした。花が次々と咲き、いまは薔薇と鉄線が美しいです。桜のちった後は萌黄色の街になり息をするのがうれしいです。

■2007/04/26（木）細川護ひろ数奇の世界展

高島屋において氏の焼き物と書の展覧会。数奇とはまたどういうことなのでしょう。昔のこと、日本新党の旗揚げのころにあって、心を動かされ、以来注目してきましたが、政界を引退してから10年、すばらしい陶芸家としての細川さんを尊敬します。いつもステキです。ますますご活躍をお祈りします。

■2007/04/25（水）お誕生日

子どもの頃はお誕生日は特別の日でしたが、大人になってからは年をとるという意味があってそっとすごしてきました。今年は特別の意味のある誕生日でしたが、家族や友人とのお祝い会もしないでおりました。それでも、弟がティファニーの筆記用具をプレザントしてくれて、それをみてお客さんが「寿司をとろう」といわってくださいました。ありがとうございました。

■2007/04/10（火）ゼフィーロの閉店を惜しむ

西部邁先生のご子息一明氏の経営するイタリアンレストランが 10 日閉店しました。22 日の秋山裕徳さんお出版記念会で閉店をしったので、かっけこみ 9 日 10 日と連続してすばらしい料理とワインを堪能しました。地下には 5000 本ワインがおけるセラーもある、本格的なレストランなだけに、残念です。

■2007/04/07（土）京都

「雨は降らないといってたのに」田中先生の葬儀の終わる頃には雨になった京都。ちょうど桜の季節で駅前には大勢の花見客がいて、タクシーにのるのに 200 人くらいならんでいました。

喪服着て花の京都の一人かな
花の下逝きし恩師の降らす雨

■2007/04/05（木）田中真人先生が逝去されました。

修士論文の発表の場を紹介していただきました。名古屋の旭丘高校の先輩でなにかと面倒をみていただきました。年賀状にはお元気な写真、まさかその後入院をされていたとはまったく知らず、訃報。驚きと、悲しみでいっぱいです。土曜日京都で葬儀です。はやい電車でいきます。ご冥福をお祈りいたします。

■2007/04/04（水）花、花、華

母の見舞いにいき、近くの増上寺にいってみました。何年かまえちょうどこの時期お花を一緒にみました。今年も花は美しく咲いていました。門前に植木屋さん。家になにものをと捜すも、いつも無計画に買い集めた植木が家にはいっぱいでです。下田にもっていった椿が青山にはないので、かいました。ベランダには紫陽花、くちなし、チューリップ、水仙、アザレア、マーガレット、宿根朝顔、ブラックカレント、ブルーベリー、鉄線、バラ、あざみ、サルビア、花海棠、ぼたん、むくげ、紅あじさい、桜2種、スミレ、さざんか、名をわすれた洋花3鉢、おおきく育ちすぎた青年の木、芽のでたものを植えたサトイモなどどうしてこんなにたくさんのものがあるのか不思議なくらいです。季節ごとに咲く、かわいらしいもの。ついいでに
「名も知らぬ雑草だって花繚乱」

■2007/04/02（月）3 月31日お花見

染井吉野がほぼ満開、いつもはこのあとの八重桜が満開のときが多いですから、これもよしです。疲れているので、詳報は後日。

■2007/03/22（木）秋山裕徳さんお誕生日

「ブリキ男」をあわせて上梓、お祝いの会が阿佐ヶ谷新東京会館でひらかれました。年男、72歳とはとてもおもえないげんげん元気な秋山さんでした。お客さんも華やかで、西部邁先生、ライカ同盟の赤瀬川さん、山口昌男先生、南しんぼうさん、四方田犬彦さんなどがいらしてました。二次会は西部先生とともに、産経の加納さんの案内で駅の近くの「くよくよ倶楽部」お元気でますます活躍してほしいです。私は秋山さんの絵もブリキの皇帝ももっています。

■2007/03/20（火）午後の悦楽

月一度深川の道場に行きます。前に紹介した人形町の「寿司雅」に今日は帰りにたちよった。1時30分ころだったので、もうおひるは終わるところだったが、どうにかいれてもらった。日本酒は熱めの燗、しらこ、あんきもは夜のメニューなので小柱、白魚。寿司はタイ、平貝、うに、トロ、つぶ貝など。大将の目利きがよくて最高。辛いことが多いこの世の一時の悦楽です。

■2007/03/12（月）新美徳英さんのこと

九大の有馬先生や、常連の大山さんらが「新美氏の音楽にに感動」と話していました。最近の福岡のコンサートはすごかったということです。彼の谷川雁の詩に音楽をつけたものは聞いています。東大をでてから芸大にいって今はすばらしい作曲家。最高ですね。名古屋の旭丘高校の同期生です。やっぱりうれしいです。誇らしいです。

■2007/03/09（金）映画「不都合な真実」

今年の冬は暖冬、例年以上に温暖化がシンパイな冬でした。ゴアがでずっぱりの映画でしたが、北極や南極の氷が崩落する様子や、ヒマラヤの雪が溶けている映像は衝撃です。ゴア氏は4年前の大統領選挙のころより穏やかな顔つきにおもえました。

■2007/03/03（土）ほんとに春ですね。

おひなまつりに縁がなくなって久しいですが、3 月 3 日は春になったと感じられる時ですね。暖冬のおかげか、風邪を引く人は例年よりすくないようです。でも温暖化の心配があるのはシンパイですね。ゴアさんもでている「不都合な真実」が日本でも公開されますが「電力をアメリカ人家庭の 1 年分を 1 ヶ月でつかっている」と揶揄もされました。政治家は大変ですね。

暖冬に出番なかりしブーツかな
四代の娘祝いし雛老いず

■2007/03/01（木）雅子さん九大に赴任

ながらくひしょうを支えてくれた雅子さん。おめでとうございます。旧帝大系の九大の先生になれてよかった。すごいです。ご活躍をお祈りします。

■2007/02/27（火）人形町寿司雅にいく

青山の自宅と伊藤忠の間にあった旧寿司屋さん和門がなくなって10ヶ月、板さんが独立して人形町に店を開いてくれました。さすがの目利きと腕でおいしい寿司をいただきました。すわって何万の銀座クラブのような寿司屋も最近はふえていますが、いくらなんでもふたりで、6万円てなに？ニューオータニに叔父さんが連れて行ってくれたとき爺さんと女、ビール2本でこの値段にはびっくり。雅さんはそんな店ではありません。

■2007/02/26（月）外苑銀杏並木あたりの大剪定

2，3月をかけて、剪定がおこなわれています。風景はかなりかわります。銀杏もずいぶんたよりなげになりました。

剪られたる枝に無数の冬芽かな
剪定にすずめらお宿を追われけり
剪定で自慢の森も縮みけり

■2007/02/02（金）宮崎県知事東国原さん

県民サイドを標榜し、その真摯なる熱意を県民がうけとめた。さっそく鳥インフルエンザ対策でおおわらわです。顔つきも引き締まり、誠実な知事に期待はふくらむばかりです。どうか、いつまでもそのスタイルでがんばってください。

■2007/01/27（土）大逆事件をあきらかにする会

大逆事件で12人の死刑が行われた1月24日ころの土曜日毎年、代々木の正春寺でゆかりの人々が集まって行われます。1960年、再審請求の時にはじまったので、ことしで、47回目となります。事務局長は発足当時は参議院議員坂本昭氏、からはじまり、現在は4代目山泉進明治大学教授です。堺利彦のお孫さん、幸徳秋水のいとこのお孫さん、大杉栄の甥など、歴史的人物の名前がいきています。事件の真相解明や、2000年には新宮市や、中村市で事件の顕彰が決議されています。味

わい深い集まりです。夕方は旭丘18期同期会が有楽町であって、1年ぶりに同級生らの元気な顔をみました。しかし、一部のカラオケ組以外は意外と早い流れ解散となったのは、歳なのでしょうか。

■2007/01/19（金） 東大安田講堂落城から38年

みのもんたのお昼の番組「今日は何の日」で東大の安田講堂攻防戦をやっていました。純情、純粋、あの時代をふりかえり胸があつくなりました。利権、利益と無縁の世界です。

■2007/01/17（水） 残業ただ法案は今国会は見送り

「ホワイトカラー・エグゼンプション」というアメリカ型の法律の提出はさすがに不評で今国会は藻送られました。しかし、まず安倍総理は「美しい日本」を標榜しながらどうしてこんな意味がわからない法案をだそうとしたのでしょ。カタカナ言葉の氾濫を杉並区長の山田宏が日本語やくして、日本語でわかりやすい表記の辞書をつくりましたが、安倍さんはそれをしっていますか。現実をぬきにした奇麗事は危険です。かって「機会の平等」を叫び、「結果の平等」をしりぞけたその現実は、終身雇用を解体し、多くの不安定な労働者をつくりだしましたが、いま、労働現場では、各個人の能力がひくいから残業になるのではなく、過剰な労働が課されていることによる残業が行われています。その残業をゼロ円にするということは、働く人たちにとって賃下げにほかなりません。経団連だか、日経連だかしりませんが、この国の企業リーダーも金儲けと生き残りにしか眼がいかないようで、なげかわしい。

■2007/01/09（火） 建設省はかわったんですね。

1993年の春衆議員決算委員会で、「社会的共通資本の保全こそ公共事業の目的」との持論を展開しました。それまでは公共事業といえば鉄とコンクリートでつくられなければなりませんでした。全国に無用な橋、道路、ダム、建物が国民の批判をおけてもいましたが、この日も建設省のお役人の答弁は従来どうり、「鉄コンクリートの形あるもの」が公共事業の基本をくずしませんでしたが、当時の宮沢総理大臣は「いいお考えです」と答えてくださいました。質問がおわったあと、林大蔵大臣は私の席までおいでになって「最初はなんのことかわからなかったが、最後にはとてもいい考えだとわかった。しかし、どうしたらいいんでしょう。」といわれたことをいまでも覚えていますが、そのような公共事業の質的変換のひとつではないかとおもあっています。今日の「産経新聞」建設省による「自然生かしたかわずくり」の事業が調査したところ「9割が不自然」との結果を発表しました。自然の川をつくるためにもたくさんのお金がかかります。14年には河川事業の補助に9800億、そのうちの7000億が多自然型川つくりにあてられましたが、昔はコンクリート護岸にきまっていたし、スーパー堤防といった究極の不自然事業が行なわれていたことを思うと感慨深いものがあります。社会的共通資本の議論は宇沢弘文先生の理論をつかわせていただきました。その直後の衆院選挙で落選しましたが、あの決算委員会の質問ができたことを誇りに思っています。

■2007/01/05（金） ひしょう、お屠蘇会

初日です。まだ松の内ですから、形ばかりのおせちとお屠蘇を用意しました。薬草の味が子どもの頃からのお正月の味ですが、案外「へえ初めて飲んだよ」という方も多かったです。小学生であったころも「これだけはお酒じゃない」とゆうことで、平たい塗りの杯にほんの一滴味わいました。お正月だからとばかりしっかりのんでしまいました。

■2007/01/04（木） 菅原浩志監督「早咲きの花」をみる

4日にしてはじめて家族以外のことをしました。高島屋の「ミュシャ展」にいき、テアトル銀座で公開されている「早咲きの花」をみました。浅岡ルリ子さんが主演の彼女の子どもの時代を回想するような演出の作品です。豊橋がアメリカ軍によって爆撃され、子どもたちの世界が粉砕された実話にもとずいていますが、まじめで、いい作品です。暴力やセックスやエンターテナーばかりでなく、このような生真面目な映画が多くの人がみてくれるといいですね。

■2007/01/03（水） お正月

1日はお客さんを迎え、気分もなよくて幸せでした。いつも女の子を求めてほっつき歩く猫も今日だけは珍しく家にいて、孫のお相手をしてくれました。弟とも久しぶりにゆっくり話ができました。母のお見舞いで連絡はとれていますが、めった母のもとで会うことはありませんからいい機会でした。2年間誰かが母のお見舞いにいかない日は原則ありませんでしたが、元旦は休みました。豊川稲荷と赤坂不動に恒例の初詣。母と義母のお見舞い。しっかりものの義母もすっかりもうろうとしてしまいました。いろいろの決意をもちましたが、いい年であることを祈ってやみません。

２００６

■2006/12/31（日）最悪、大晦日

29日まで営業して、30、31日はお正月の準備です。昔は実家にかえってお正月でしたから、楽でしたが、いまは反対で、娘たちがやってきます。掃除をして、買い物をして、お重箱や屠蘇器を出して、おせちをつくってということになります。年来の疲れがドドーとでるし、昔のようにてきぱきできません。亭主は「最後はやっぱり競馬でしめなくっちゃ」とかなんとかいって、大井競馬場へ、なんと二日もいきました。たまにはではなくて、一年中土日曜は中央競馬にいそしみ、月曜日は神楽坂でマージャンですから、たまにはおとなしく家にいればいいのに。でもスポーツ観戦してタバコをすっているくらいだから、いないほうがいいかも。やれやれ。気をひきしめて、はじめたおせちつくりでしたが、お正月用のお酒「富鶴」をのみはじめたら、とまらなくて、から。その間に煮物は焦げるし、オーブンからは煙。もういや。

■2006/12/27（水）忘年会お集まりいただきありがとう

すごい雨でした。晴れ女を自認する私としては動揺ものでしたが、時間まえから、大勢の皆様にきていただきうれしいです。料理の準備は3日前からしていましたが、運ぶのがたいへんなんです。自分の車でいちど運び、車を家にかえし、残りをタクシーで運びました。かよちゃん、ふみちゃんの歴代のスタッフと、いまの5人もきてくれました。梁石日さんも常連です。高見さんお連れの大原都志子さんがジャズ、宇野雅子さんがシャンソンを歌ってくれました。ふたりともプロのシンガーです。大原さんは日本酒大好きで、私の店の自慢の「富鶴」をたっぷりのんでいただきうれしい。焼酎党が多数ですね。あとビールだけ派や3階はワイングループなど思い思いのお酒を楽しんでいただけたと思います。料理は指揮者岩城宏之氏のレシピのなすのミートグラタンは私の十八番ですが、ほめていただきうれしいです。雨でおいでにならなかった方も何人もいらしゃいましたが、雨もまけず、雷にも負けず元気にもりあがりました。

■2006/12/24（日）渡辺利夫教授「死はお迎え」の死生観を思う

拓殖大学学長渡辺利夫先生は60才まで人間ドックや検査をうけ、精密検査のたびに結果がでるまで半病人のごとくであったといわれる。おもいあたるかたも多いのではないだろうか。しかし、そのようなことを繰り返しても「薄くなった髪や落ちこぼれた歯をもとに戻すことができないように、老化した内臓を元気にする医療などあるはずがない」と思い「人間ドックやら血液検査などを一切断つことにした。」「これらによって多少でも健康が増進され寿命が延びるというデーターの浦付けはどこにあるのか」医者による継続的介入より、人生はお勤め、死はお迎えという日本人の伝統的死生観で生きていくといわれているが同感です。私の父は「病院に行くときは死ぬとき」といっていましたが、その言のごとく生き、79 歳で死にました。

■2006/12/23（土）気ぜわしい年の暮れ

母の心配事ははれました。猫の恋にともなう家出問題も、今日やっと落ち着きました。しかし、雑事がたまりにたまっています。風邪もひいています。忘年会の準備もおくれています。年賀状などは一切手がついていません。本などよめません。研究なんてとんでもない。街は年末のあわただしさですが、帰りのタクシーがないので大変です。昨夜は終電でかえりました。深夜でもすごい人がでています。若い人ばかりで、高齢化社会なんてどこにあるのかという感じです。不義理だらけです。マスドラ忘年会、はな木会、内野大ちゃんの結婚式、仙谷さんの政治集会、初期社会主義研究会忘年会、いのしい忘年会、お食事のお誘い 3 件、みなだめでした。母の見舞い一日おき、句会、呉竹会忘年会、明大講義、さくらチャンネルに藤井げんき先生のゲストで出演、娘と二人での忘年会、エッシャー展、フーフーいいながらできました。
「気ぜわしく店屋物とる年の暮れ」「終電を逃した駅の寒さかな」「白菜を畑で潰す非道かな」「休戦か猫今日だけは日向ぼこ」「青空がそのまま暮れて月明かし」「やわらかき落ち葉を踏んで朝散歩」

■2006/12/07（木）今日は8時に起きていろいろがんばったのですが。

能率が落ちているのでしょうね。日々やれないことを積み残しています。母だいぶよくなりました。毎日ではなくても安心なところまできました。ところで、今度は猫が家出して女の子のところへいってしまいました。帰ってくるまでは心配です。朝顔ですが、今日も咲いています。冬の朝顔になりました。花は随分小さくなりましたが。

■2006/11/29（水）平田ゆたか画伯来店

30年もまえからのお客、友人でいまはローマ在住の平田画伯。昔は彼の笹塚のアパートで朝までマージャンをしました。個展のたびに絵画をかっていました。いまは西武美術館で大変な値段がつけられています。「成功する人、成功しない人」の、当然成功する人にいれるべき愛すべき人です。「マージャンほど面白いものはない」ローマではなかなか相手がいないそうでう。ローマにメンバーがいたらおしえてください。

■2006/11/28（火）酉の市 くまで復活

ひしょうには大きな熊手がおいてありました。2．3年前あるお客がこれをふりまわしたので、以後はありませんでした。今年は以前のものに負けないおおきな熊手をかっていただきました。ありがとうございます。
「酉の市熊での下で屋台酒」

■2006/11/24（金）来週はもう12月ですね

先月20日に母の有料老人ﾎｰﾑの人事異動があってから、新しい体制に適応できず、母は30日から、栄養不足、脱水症状で入院、つまり、食事を丁寧にたべさせなければなりませんでした。施設は人手が不足して、とても時間をかけての食事介護は不可能です。専門のヘルパーさんをたのみ、無論家族もできる限りの介助にまわりました。「経口はむり、ケイカンで」と言い放つ医師にお願いしながら、何とか新しい施設への引越しがおわりました。新しい施設は家からちかくなったのですが、慣れるまで介助の皆さんにいろいろしっていただくことがあったりします。というわけで、1ヶ月毎日母の介護に明け暮れて、いま母はやっと落ち着いていますが、今日のように母のところにいかにとなんだか不安な気持ちです。ワークホリックという中毒がいわれましたが、そんな感じですか。

■2006/11/13（月）宇井純先生が11日お亡くなりになりました。

昨年から東京にもどっていらした。今年の年賀状には「入院していましたが、退院しました」とかかれていて、気になっていました。めちゃくちゃな1993年衆院選挙に宇井先生に選対委員長をやっていただき、といゆうより、社会党関係者のなかにはなり手がなかったのでしょう。社会党の票を山花委員長に集約する選挙で、私にとっては苦しい選挙戦でしたが、宇井先生はひきうけてやっていただきました。白保のサンゴ保全のための飛行場建設反対や、台湾の環境対策にごいっしょうしたりしましたが、とにかく先生をお尋ねしようとおおもいつつ母がこの2年手のかかる状態にあることもあってのびのびになっていました。訃報に接して、悔やみました。安らかにお眠りください。合掌　なお葬儀は16日10時桐ヶ谷斎場で行われます。

■2006/10/29（日）高校の単位不足

高校で受験に必要のない世界史などの科目を学校自らがカットして、あたかも履修したかのうそ報告をしていた。しかも、多くの学校で。世界史など必修科目ならばこれからそれを履修してこなかった学校の生徒たちは、受験を前に履修しなければならない。受験に有利になるための大儀の元で行われた不正は受験だけが教育目標に矮小化され、幅広い知識が人の幅をひろげ、学ぶ楽しさもあるというのに、「目的のためならなにをしてもいい」「善悪より現実が大事」という不公正させこさが「正直ものが馬鹿をみる」社会をつくりだす元になっていませんか。

■2006/10/24（火）昨日は秋の雨、朝顔は秋の花

外は冬の予感を感じさせますが、ベランダの朝顔は毎日元気よく大輪の花を咲かせています。むかしから、朝顔観察は夏休みだったから、いくら季語が秋とはいってもちょっとびっくりです。コスモスとならんで咲いています。

■2006/10/20（金）ライフコミューン豊島園近藤さん

母がこの施設でおせわになってはや、1年8ヶ月です。そのかんずっと担当ヘルパーとしてお世話をしてくださった近藤貴教さんが、日野に転勤となり今日は最終日でした。彼のおかげで、安心できるところが多々ありました。母になりかわり、お礼をつたえましたが、先日テレビで、ヘルパーが不足していると報道していました。介護福祉士としての夢や情熱にこたえられる環境が少ないのでしょう。いつも大変な仕事だと思っています。近藤さんありがとうございました。

■2006/10/20（金）高井あきえさんは名古屋で先生になります。

昨年11月までひしょうでお手伝いしてくれたあきえさんは、名古屋にかえり、先生になるべくお勉強をしていましたが、このたび名古屋と東京の両方の教員採用試験にパスしました。名古屋にお父さん、お母さんがいらしゃるので、名古屋にきまりました。すてきな先生になってください。おめでとう。

■2006/10/15（日）布施明コンサート新宿厚生年金会館

この秋2度目の布施ちゃんコンサートです。出し物はおおよそは大森のものと同じでした。でもいいんです。なんどでも。若い、声がいい。歌がうまいなどと、もちろんいまさら言わなくてもいいでしょう。娘と二人でいきました。ほとんどが、同世代の女性ですが、終了後お花をもっていきますでしょ。なんと数十人、ずらりと列をなしていました。70人いたかしら。これほどのことは初めてです。しかも、若い20代、30代の女性もたくさんいました。男性もいました。いやすごい。でもファンとしてはうれしいです。隣の「玄海」で頭山満の書があるなてきいていたので、トリはあまりすきではありませんが、ふらふらと入ってしまいました。しかし、掛け軸には「玄海」とかいてあるだけでした。

■2006/10/15（日）名古屋の代表的ラーメンすがきやの撤退

高田の馬場から早稲田方面にいき、明治通りの角に「すがきや」はありました。母の見舞いにいく途中、車がとめられれば、ここでラーメンをたべました。名古屋の懐かしい味です。しかも、値段も名古屋と同じ300円代。しかいし、今日ここをとおったら、看板がないので、おりて確認しました。ついでに周辺のラーメン屋の多いことも発見し、その価格にも最低600円なることも知りました。すがきやはやすすぎですね。早稲田の学生さんにとって300円代のラーメンは支持されなかったわけです。名古屋出身の私としては残念であります。

■2006/10/10（火）中日ドラゴンズ今日も快勝

神宮球場でのロッテ戦も10点とって快勝。この勢いなら、明日は優勝をきめるでしょう。明日はお祝いのお酒を用意しておかなければ。それにしても今年は最初からずっと強くて1度も不安を感じませんでした。逃げ切って、いただきます。

■2006/10/07（土）増上寺、日野皓正ライブ

港区民祭りのハイライトは月明かりの増上寺における日野クイッテットのライブ。久しぶりですね。しかし、衰えぬトランペットの音が芝公園の夜空に響き渡り、感激です。64歳だそうです。「私の願い。世界中の武器を楽器に変えて」のメッセージが発せられましたが、どうして人はこうも争うのだろ。百年前は戦争は悪いことではなかったことを思えば、今は戦争は悪だとの認識は一般化している。ならば、未来は殺しあう世界が克服されるのでしょうか。

■2006/10/02（月）凱旋門賞ディープインパクト3着

日本から6千人の応援団がいった凱旋紋賞で最強の3冠馬ディープの優勝ははたせなかったものの、げば評の3強シロッコ、ハリケンーンランのなかでは一番前にきました。伏兵、ダークホースに敗れた。深夜なのにテレビの視聴率は22パーセントをこえていました。

■2006/09/29（金）父の軍歴と校條隆先輩

父の軍歴を知るためには都道府県に問い合わせればわかると聞いて、早速愛知県庁に問い合わせたました。すばやく、父の軍歴を入手することができました。父が陸軍の主計少佐となったのは昭和19年、昭和17年には東京の若松町にあった、陸軍経理学校へきていたこと、赴任先のシンガポールで愛知一中の父の「先輩校條さんの厚情はわすれられない」の手記。校條さんは私の先輩でもあり、なんどかお目にかかったことがある。親切で面倒見がいいので私もお世話になりました。父のこと戦争のことぜひうかがいたく、手紙をかきました。すると奥様から「少しまえに亡くなった」のお返事をいただきました。残念。そうだぐずぐずしていられない。ご冥福をお祈りします。

■2006/09/28（木）東京ニューシティ管弦楽団公演

指揮者内藤彰氏は名古屋旭丘高校の同期生、名古屋大学理学部を卒業後、桐朋音大の指揮専攻にすすんだ。今日の演奏はブルックナーそれも、9番ときました。あいにく、昨夜の深酒で体調は最悪、死をイメージさせる音楽の迫力にまいったのでした。商業音楽の領域では演奏しずらいこの曲を演奏する内藤氏のチャレンジ精神はおおいに尊敬します。それにしても今日は、重い曲目で、師のワーグナーが軽やかに思えました。

■2006/09/24（日）お菓子情報

和菓子のほうが洋菓子より好きです。ひっそり静かに販売しているのは「まめ」夏のわらびもちのわらび粉は本物、いまならおはぎ、中は黒米です。みてくれの派手さはありませんが、味は最高です。昔「ルコント」が六本木にあったころのケーキも地味

なつくり、値段もたかかったのですが、人気のケーキやでした。そのシェフがいまは青山の「シャンドシュー」を開いています。「まめ」は南青山2－10－2青山とおりを銀杏並木の反対側に1本はいったところ、普通の住宅でうっています。

■2006/09/23（土）布施明コンサート大森

大学時代の友人からお誘い。彼女は品川区役所の部長職、仕事がすべての仕事大好きで、品川区を自治体のモデルとでもいうべき政策を打ち出してきました。さて、その彼女が「布施明まだ好き？」といって、品川区が主催したキュリアンでのコンサートに誘ってくれました。毎年秋は布施明コンサートでもちろん私は長年のフアンなので、別のチケットを入手していますが、もちろんいきました。同期なのでほんとがんばってくれてうれしい。それにしても若いし、今日もステキ。音響が大きすぎて聴きずらいのが残念ではありましたが。ラフォーレ御殿山で食事をして久々につもる話ができました。

■2006/09/19（火）母のことで大変な日々

自慢の歯がいきなり3本消えました。前日夕方は、おせんべい、やもなか、梅ゼリーをおいしそうに食べていたその歯がなくなるなんて信じられません。弟が次の日にきずき電話をくれました。なぜはまったく解明されないまま、重大なことになりつつうあります。食事がうまくとれなくなって、15日は脱水と、肺炎の疑いで入院しました。肺炎は私はそう心配ではありませんでした。熱もたいしたことはないし、息も穏やかですから。結果は栄養障害がではじめ、貧血もありました。それよりこの先どうなるのか、暗い気持ちです。

■2006/09/07（木）ヴェノナを知って

伊藤隆先生の研究会はいつも刺激的ですが、今回も驚きでした。「ヴェノナと昭和史再検討」を福井義隆先生が話されました。ヴェノナ文書は1995年にアメリカ政府が公開しましたが、これは、1940年から48年の間のソ連の暗号を解読したものです。スパイ活動は映画では知っていますが、いや何しろ現実はすごいです。詳しくはまた。

■2006/08/27（日）箱根でかけこみ夏休み

同じように夏の記憶をのこさなければならない人たちでたいへんにぎわっていました。忙しく、やっと時間がとれたという意味で同じだったのか、弟一家は前日から箱根。しめしあわせたわけではないけれど、今日の昼食は富士屋ホテルでした。すごくこんでいて、終わったのは3時頃、かえる弟の家族は渋滞を心配し、私たち娘と孫のほうは、夕食の時間を変えてもらう必要がありました。宿泊した宿は、宮家の別荘として使われたもので、華美とは無縁で本当にすばらしいものでありました。

■2006/08/26（土）靖国神社遊就館の歴史記述が変更

アメリカのジョージ・ウイルという人が遊就館の「大東亜戦争はニューデイール政策にいきずまったルーズベルトが資源の乏しい日本を禁輸で戦争においこんだ」という記述に不快との記述が8月20日のワシントンポストに掲載されました。日本の親米派はアメリカの怒りにおびえました。おびえるのは勝手、しかし、だからといって、追従し、遊就館に撤去を求め、もしそうしないなら「私は靖国をかばえない」と脅す岡崎元タイ大使は、露骨すぎないか。外国人がその国の立場で論をはるのは当たり前、「原爆によって戦争が終結し、アメリカの兵士だけでなく日本の国民の命も救った。日本は感謝すべき」といまでも信じる日本人は異例すぎ。外国に弱すぎ。歴史は冷静にまじめに検討すべき。

■2006/08/25（金）南京事件で賠償命令

中国の裁判所に訴えられ、判決をうけたのは、東中野修道亜細亜大教授と松村俊夫氏そして展転社ですが、東中野先生は緻密な研究で定評があります。中国が「もし入国したら身柄拘束をする」といっているので、中国での史料を集めたりできない可能性もあります。言論の自由を認めない中国を露呈しましたが、こまったことです。

■2006/08/20（日）政治家は役者か？

小沢一郎氏は政権奪取にむけて、今までの強面、陰謀家のイメージを払拭するためのイメージチェンジに取り組んでいるようです。マスコミにもよくでてソフトなイメージを展開中です。しかし、靖国神社参拝問題の主張は自民党時代とおおちがいです。自治大臣の時の答弁は「たまたま敗戦したので、戦勝国に戦犯とされた」自由党の党首のときの小泉総理の参拝に「なにもはばかることはない。感謝の気持ちを持つことはあたりまえ」と擁護していた。今は左派も含む民主党の党首となればそうもい

えない。だから、「戦犯を分祀しろ」とか「戦犯の合祀されている靖国に参拝するのはおかしい」といってますね。政治家は役人や、業界、団体にやとわれているので、その関係によってはたす役割がちがいます。政治家に信念とか一貫性なんか求めるほうがむりといういい例ですね。

■2006/08/17（木） 岡村真理子さんのこと

旧姓は白井真理子さんですが、お茶の水大の学生の頃、自治会の委員長でした。ながい髪の優雅な感じの先輩でしたが、なにしろ自治会は民青が牛耳っていたので、私たちは反対派として、彼女たちの運営に対抗して反対意見書をだしたりしていました。委員長として学生大会をしきっていたのはなかなかみごとでした。ところが、突然委員長をおりて、私たちの前から姿を消しました。「中退して、ブルジョワと結婚した」といわれていましたが、真偽のほどはしりません。その白井真理子さん知ったのは子育てを終えたあとカンボジアに学校をつくるボランティアとして活躍されていたからです。しかし、その後病にかかり、今年の 2 月に他界しました。昨年は明治大学で講演をされたようで、出かけてみようと思いながら果たせませんでした。セクトの対立があった時代でしたが、若い頃のセクトなんてどうでもいいです。ご冥福をお祈りします。

■2006/08/16（水） ゆっくりと東京でお盆

早寝、早起きは日ごろの生活では望むべくもありませんが、その爽快さを楽しみました。朝早くおきて不忍池にいき蓮の花をみたり、ベランダのさわやかな朝顔を見ることができました。あちことたまっていたものも処理し、身の回りも整理しました。たまには家にいるのも大事ですね。

■2006/08/14（月） 靖国神社参拝

小泉総理が 15 日に靖国神社に参拝するのかどうかが注目され、また圧力も強まっています。靖国神社には好むと好まざると戦死、もしくは戦死に順ずる方々をおまつりしてあるのですから、敬意をもって参拝するのはあたりまのことです。いわゆるA級戦犯の合祀があるので参拝してはいけないという論理はすでに死刑をもって責任をとっていることと、そのことをふまえて戦後国会でも戦犯問題が議論され、野党社会党も名誉回復求め「戦犯釈放決議」がなされています。当時アメリカも日本国内の世論もこれに賛成しています。さらに東京裁判が軍事裁判であり、一方的に日本だけを断罪したものであること、戦犯とされた人の中に多くの事実無根の人が入っていることなどを思えば靖国問題は外圧問題以外のなにものでもありえません。このような経緯を無視した、まえの民主党首岡田氏の幼稚な発言にやれやれ不勉強な政治家もいるものだと思ったのですが、現在は中国の政治カードとしての参拝反対にこびた財界、政界人がいっせいに参拝反対といっているのはなさけないです。特に外圧に屈して総理が参拝を中止するなどということはあってはならないことです。日本人がやるべきことは、日本人の手によって、なぜ、だれがあのような戦争結果をもたらしたかあきらかにすることではないでしょうか。

■2006/08/08（火） 呉竹会 3 周年は西部すすむ先生の講演

産経ホール（産経プラザ）での勉強会は西部先生にお願いしました。「保守の真髄とはなにか」実に感銘をうける講演でした。終わったあと二次会、そして三次会はひしょうにおいでいただき、深夜まで盛り上がりました。三周年を記念するいい勉強会でした。

■2006/08/06（日） 町田薬師池公園の大賀蓮

薬師池公園には 2000 年前の種子から発芽した蓮があります。なつかしい町田？の真ん中にあり、久しぶりの町田は感慨が深いものがあります。お世話になった人たちに会うこともなく、蓮だけを見てもどりました。里山というか、自然と暮らしが一体化した町田はほんとにいいところです。7 月下旬から 8 月下旬までが見ごろ。ただし花は朝でないとしぼみます。

■2006/08/02（水） パソコン修理にだします

日ごろからパソコンの融通の利かなさと、いつきれてデーターを失うのか、心配です。パソコンのきげんをとるのに苦労しています。さてこのたび3ヶ月ぶりにマウスの接続ができるように修理にだすことにしました。プラハの旅で荷物のなかでおされて壊れたままになっていて、おかげで、マウスなしの無理な作業のため、右手首をいためてしまました。もう限界、しばらくパソコンのない日をすごすことになります。

■2006/07/29（土） 青木和夫先生傘寿おめでとうございます。

お茶の水の史学科の同期が集まり、先生の80歳のお祝いをしました。今回の幹事は茨城で日本のプロバンスのような暮らしをしているようで、手つくりの品々を持参しました。同窓会館である桜陰会館での開催はすべてを自分たちの手で用意シナケレバなりませ。あとかたずけまでとはほんとうにご苦労様です。私にはとてもできそうもありません。奥様として暮らしている友人たちの幸せな暮らしぶりをうらやましく思いました。

■2006/07/23（日）「やせたね」なんておおきなお世話

さすが何人かにこういわれれば、たいがいへこみます。いっているひとは悪意はないのかもしれませんが、デリカシーがないです。「ふとったね」というのが女の子のアンケートで一番きらわれる男だそうですが、「やせたね」だって同じ。

■2006/07/21（金）「昭和天皇は靖国神社戦犯合祀に不快感」

日経新聞が最初に報じたらしいこのニュースで一日中大騒ぎでした。今なぜ突然か、どのような経緯ででてきたのかはまったくわかりません。しかし、中身は本物のようです。小泉総理はじめ政府はこのメモは判断に影響しないといいましたが、当然です。しかし、朝日新聞や天皇制反対の人たちがこのことで、靖国参拝反対を補強するのはあってはならないでしょう。いずれにしてもこの時期、唐突にでてくるのはやはり謀略のにおい。

■2006/07/13（木）羽生善治　永世名人

組織団体、はたまた権力の傘で生きる人々は程度の差こそあれ、それらの傘の論理に屈して生きていかざるを得ません。しかし、将棋の世界はではそのようなことは必要はありません。まさに男一匹力の勝負です。羽生名人の特集をテレビでみました。勝負の厳しさと、氏の性格のおおらかさ、いやいやかっこいいです。信濃町の将棋会館？での対局のときの食事は私の家の近くで、犬をつれて時々ゆく、ゴルフ練習場のレストランだそうです。そこで羽生名人はきまってサンドィツチをたべるそうです。私も次回はそのサンドィツチをいただきます。奨励会からプロになりそこなった瀬川晶司4段も最近特例のプロとの対局に勝つことを条件にしてプロになりました。こちらの人生についても見ました。生きる死ぬまでの真剣な勝負にかける人生、感動します。

■2006/07/09（日）駐車違反取締り強化の効果

毎日車にのりますが、ここ青山の周辺も違法駐車というは迷惑駐車が多く、車の数以上に渋滞が発生していました。とくに、外苑東通りは佐川急便のトラックが常駐していて、夕方には大渋滞でした。プレジデントホテルの前にも車寄せがないので、よく駐車しています。それが今回の取り締まり強化で少なくなりました。おかげで、車の流れはスムーズになりました。しかし、この規制をのがれようと業界、団体が圧力をかけています。むろん政治家は中心的ターゲットです。あちこちで「業務上の駐車は緩和せよ」といいだしています。業務の上によくて、個人はだめという論理はありません。骨抜きにされないよう法の効果を尊重してもらいたいです。

■2006/07/07（金）七夕

今日のひしょうはバイトの5人がすべて都合がつかないので、広尾の鎌ちゃんがきてくれました。雑貨屋さんの彼女ははじめてなのに、器用にこなしてくれました。七夕なのに、そしてサッカーの試合がないにしては静かな夜でしたが「バレンタインやクリスマスより、七夕がいい」の発案に、深夜にもめげず、すぐに笹を吉川さんが買ってきて、短冊を結びました。来年は七夕祭りをやってみようか。

■2006/07/04（火）若松町てんぷら高七

河田町に政策大学院があったときに、大室さんにつれていってもらいました。若松町の交差点を夏目坂を早稲田方面に130メートル左側です。創業明治17年のこの店のてんぷらはとてもいいです。しかし、値段はあちこちの「高級」てんぷら店のようにとりません。それが老舗の誇りでしょう。麻布十番に「宇喜世」がありました。ここもとてもよかったのですが、何年かまえ突然店がなくなりました。残念です。高七はおすすめです。

■2006/07/04（火）常陸大宮市の議会が解散、でも

市町村合併が急速にすすみ、かって3000以上あった自治体が1000くらいになりましたが、その条件というか約束というか旧自治体の議員は特例で任期を保障しました。しかし、住民はそれを許しませんでした。「財政が苦しいのに」というのが理由

で正義にもえて？住民が解散しました。要するに議員の首をきりました。でも約束は約束と私は思います。どうせ短い間だし、会社の解雇だって特例である程度の配慮をするべきで、議員だって同じです。約束は約束。

■2006/07/03（月）滋賀県知事選挙で自公民の現職が破れる。

事前にそのような可能性がまったくつたえられたいなかったので驚きました。「もったいない」という当たり前のことが支持されたことを喜びます。でも自公民の現職が負けるなどとはどうしても考えられなかった、あきらめた気持ちに活をいれてもらいました。いい県政を期待します。

■2006/07/02（日）愛猫けんた、耳切られる

かんかばかりする猫で、日本ブラジルのサッカーの試合の夜というか、深夜というか3時ごろ帰ったら、猫がいないのに気がつきました。どこからか猫のけんか音、犬のき一こもめずらしくなきました。二人で？外にいき、真っ暗な外苑の茂みを「けんちゃん、けんちゃん」と呼びましたが、きません。1時間くらい懐中電灯でてらし、杖をもって茂みをたたいたりしましたが、あきらめて帰りました。朝かえあってきましたが、頭ざっくり。6キロ半もある堂々たる猫ですが、よくやられます。今日はついに獣医さんにぬってもらいました。ブラジル戦は疲れて寝てしまいました。負けるかもの不安もあったですから。

■2006/06/29（木）高橋三千綱さんにばったりあいました。

明治大学の講義のあと、渋谷にでて、お茶ではなく、一人でビール。駅うえのつばめグリルにいきました。渋谷をとおるとき時々ここで、ビールと、にしんのマリネで一息いれることがあります。カウンターにかけたとき「後ろの方がよんでいます」ふりかえると最高にいい男、高橋三千綱さんです。しばらくあっていないので、うれしいのなんの。あいかわらずいい男でした。

■2006/06/26（月）「失関症」「失感症」「合理症」ってなに？

西部すすむ氏の論評のなかにつかわれていますが、今まで聞いたことがありません。文芸評論とはコピーライターのように言葉を作るのでしょうね。私はいっさいそれらの世界のものを読みませんので、業界言葉をしらなさすぎなのかもしれませんが、物事はわかりやすひらたく論じていただきたくお願いいたします。ところで、東大の先生だったときのご専門はなんでしたのでしょうか。

■2006/06/22（木）牛が逃げた

少しまえのニュースでしたが、堵殺場につれていかれた雌牛が逃げて街道を走り人を一人けがさせて、自分は塀にぶつかって死んだということを聞きました。車の運転中のラジオのニュースでしたが、気持ちが落ち込みました。そりゃこわいでしょう。人間はむごいです。子どもの頃冬場の日曜日はすき焼きときまっていましたが、藤村の「破戒」を読んでからというものはお肉をたべられないそんな時期もありましたが、またしばらく申し訳ない気持ちいっぱいです。

■2006/06/19（月）国会閉会

延長することなく、国会がおわり、5年におよぶ小泉政権の最後の国会は終わりました。多くの変化と、拉致問題の着手と帰国を果たしたことは記憶すべきことです。イラクへの派兵もおおむね無事故で、明日にも撤退が決定されます。自民党改革を断行したことは自民党の近代化となり、沈みかかった自民を救ったのだと思います。教育基本法や共謀罪は野党の反発があったので、継続になりました。それなのに、野党はどうして「国会を延長しろ」というのでしょう。そもそも、民主党は教育基本法をみずから提案しているのにいざ、それを法律にしようとしたら、いやだといいましたが、なんでも反対するのが野党の仕事かもしれませんが、そんなことってありますか？よくわかりません。小泉総理お疲れ様でした。

■2006/06/18（日）朝ごはん

普通9時起床お茶と梅干。11時朝ごはん。今日は10穀のはいったおにぎり。中はべにさけ。甘めのだしまき玉子、ゆでたｸﾞﾘｰﾝｱｽﾊﾟﾗ、サトイモと若布の赤だし味噌汁。味噌は郷里名古屋の八丁味噌。八丁味噌の名称問題が、松坂牛と同じように問題があるそうです。食べ物には執着があるので、おにぎりといえどもコンビンのものは食べません。料理をしない若いひとたちが多いのですが、やっぱりぜんぜんちがうと思います。

■2006/06/10（土）無名烈士82年法要

大正１３年５月３１日米国の「排日移民法」に抗議して米国大使館脇で自刃した烈士の法要が青山墓地でおこなわれました。墓地は西側外苑西通りに近い場所西向きにたてられています。６０名の人が法要に参加しました。隣には黒龍会自由倶楽部の労働者たちが葬られています。ところで、青山墓地には明治時代の外国人の墓地がありますが、一昨年都が「５年以上管理料をはらっていない墓の撤去」を掲げました。甲申事変後日本に亡命してきた親日派金玉均の墓も撤去の危機にさらされました。おやとい外国人や宣教師など、日本の歴史上人物も撤去していいはずがありません。一区画何千万で数年まえからうりだされているので、都財政にはかえられないという考えかもしれませんが、青山墓地はすでに、日本の歴史的遺産でもあります。保存すべきですね。

■2006/06/07（水）多年草アルペンブルーはおすすめです

庭のといっても狭いベランダですが、春には桜が3種類、花海棠、バラ、はちす、いつのまにかまぎれこんだすみれなどが咲きましたが、今はアジサイとくちなし、あざみ、そしてアルペンブルーが満開です。紫の星型の小さな花がぎっしりです。色の美しさ、愛らしいさ、なんといっても多年草で、しかもあまり手がかかりません。おすすめです。毎日マルハナバチがきて花粉をあつめています。

■2006/06/02（金）東京ニューシティ管弦楽団公演

この楽団をひきいるのは名古屋旭丘高校の同期生内藤彰さんです。年6回池袋の東京芸術劇場でコンサートがあります。今日は「モーツアルト　愛と青春の旅立ち」で、３７番を新旧ふたつのパターンで演奏しました。蝶々婦人の鐘の音はこうだったにちがいないと、ほんものの鐘を製作したこともありますが、いつも、斬新で刺激的です。サポーターずクラブが発足しましたので、ぜひ会員になってきいてみてください。今日は岩瀬裕子さんと楽しんできました。ゴールド会員シングル年間5公演１９５００円、3公演１４０００円２２パーセント引きで、ペアなら３８パーセント引きとさらにお徳です。詳しくは５９３３－３２２２事務局まで。

■2006/05/31（水）田村元先生オーラルヒストリー最終回

昨年よりお話をうかがってきた、元衆議院議長田村元先生は俳句の会でも大変お世話になっていますが、リベラルなお人柄にいつも感動します。その政治経歴４０年はなんともおもしろいものでした。今回が最終回となりましたが、こんなときにかぎって、おおぼけし、あやうく欠席してしまうところでした。最近ときどきこんなことがあって、不安。

■2006/05/20（土）武蔵村山市長選挙

現職に完全無所属でいどんだ藤野勝候補は敗れましたが、自公の徹底した組織選挙に肉薄できたのはすごいでことです。自民は千葉の補選でその軽薄ぶりに敗北をきしているにもかかわらず、小泉チルドレンを投入していた。私は藤野候補を応援しました。人物、政策、応援者の質に共感したので。

■2006/05/18（木）ロータリークラブ昭島で講演

会場昭和館は静かな森にかこまれたすごくシックなホテルです。ここで会は開かれました。真っ白いテーブルクロスのかかったテーブルに、少々緊張しましたが、ご清聴いただきありがとうございました。

■2006/05/17（水）旭丘高校卒業４０周年同期会開催（２０日でした）

もう４０年になるのですね。東京にきてからそれくらいたってしまったのですね。懐かしい同級生が２００人以上結集しました。当時早稲田を卒業して新任でいらしてた「田吾作先生」にもお会いできうれしいです。年齢もちかく情熱と愛情いっぱいで、学生たちに大人気でした。二次会、三次会までいきましたが、まだ話したりなかった人がたくさんいてました。またおあいしましょう。いついつまでもお元気で。よるは久しぶりに名古屋の実家に泊まりました。母が東京の老人ホームですから、母の部屋がさみしく、父の仏壇の前で眠りました。父と話ができるみたいに思えて。京都によって帰りました。

■2006/05/15（月）日本の議論は所詮アメリカのなかの議論の反映？

右が「日米同盟」左が「護憲」どちらもアメリカの国益に合致している。護憲はアメリカがおしつけた憲法を未来永劫守ることによってアメリカとの関係でいえば保護国でよしとするもので、アメリカのなかにはいぜんとしてこの考えをとっているひとたちはがいる。「世界はこう動く」をかいたブレジンスキーは安全保障をアメリカに依存する日本は米国の保護国であり、日本は将来

にわたってアメリカの指導のもと平和維持活動や、経済開発をやるのが最善といっているが、今回在日米軍再編に3兆円ちかい巨額の円をアメリカに提供する日本政府は「日米同盟」をじくに「護憲」をも前提としているのだろう。自社体制がなれあい政治といわれてきたが、所詮そのとうりで、あまり日本で護憲だなんだという議論をしてもこの先の日本のありようをふくんでの議論でなければ、むなしくおもえます。

■2006/05/12（金）小沢民主党党首のいう靖国参拝反対

靖国神社に　級戦犯が合祀されているからだめだと小沢氏がいっているようだが、昔はそんなこと言ってません。むしろその反対でした。一貫しているという人がいますが、私はそう思わない。小沢氏は政権交代のためならなんでもいい。どんな政策でも勝てるならいい。というやりかたです。どうせ野党のうちはなにをいってもしかたがない。政権をとってからでなきゃ政策なんてたんなる選挙で勝つための道具なのでしょう。まあそのとおりですが、それってアンフェアじゃないですか。

■2006/05/08（月）「なぜフェミズムは没落したのか」

やらなければならないことを抱えているときは、なおさら、パソコンをひらけば、フリーセルにはまり、流行本などに関心がいって、肝心の仕事はすすみません。というわけでいくつかの流行本をよみました。「フェミズム」をはじめ、「日本共産党」「回想の野口晴哉」「われら団塊世代の坂の上の雲」「下流社会」「人はみかけ」「日露戦争勝利のあとの誤算」「幕末日本探訪記」フォーチュン「昭和天皇」「続ばかの壁」などです。いかにやらねばならないことが多いのかです。フェミはくびれの時代と定義する林真理子世代がフェミの代表出世頭上野千鶴子を批判しています。共産党は知っていることばかりで、いまさらという感じ、「馬鹿」はかなりよみやすく、「下流社会」はあまり面白くないというか感覚があわない。いやいや、こんなことを言っている場合ではありません。やらなければならないことをはやくかたずけなくっちゃ。

■2006/05/07（日）ゴールデンウィークは下田で

久しぶりに下田の別荘ですごすことができました。20年前に病気をして意気消沈しているので、下田で静養できるようにと旦那がつくってくれました。海が見える、空があかるい、鳥の鳴き声と緑にかこまれたここで、私は人生をみつめ、身体の声をききました。それでも最近はなかなかここをおとずれることができませんでしたが、3日ほどすごすことができ、幸せでした。温泉ブームなのか蓮台寺の金谷旅館、そこでであった白浜神社の関係の奥さんに紹介された、観音温泉どちらも若い人たちで、たいへんな賑わいでした。お天気も最高でした。

■2006/05/02（火）デープインパクト天皇賞優勝

3冠馬デープインパクトは、単勝支持率が75パーセントをこえました。期待にこたえて圧勝しましたが、このように強い馬といえばシンボリールドルフが思い出されます。レース前の気合、落ち着きは「まかせなさい」というメッセージがびしびし伝わりました。レースも危なげがありません。しかし、デープちゃんは勝つにしても、今回は出遅れ、前にもつまずきました。はらはらさせてくれるところが、かわいさでもあるのでしょう。

■2006/04/29（土）横田さきえさんアメリカ大統領に会見

拉致問題は正式に拉致が認定されて依頼すでに10年近い年月がながれました。小泉総理によって拉致被害者の帰国が実現しましたが、横田さんのめぐみさんはいまだ帰国できません。膠着した拉致問題にたいし、一般のなかには「なんなんだ」という声さえ一部聞こえるようになりましたが、母としてはどんなに時間がたってもあきらめたり、みすてたりできません。その心情には心がうたれます。米大統領が見方についたことは大いに解決に期待がもてます。沖縄の米軍移転費用の59パーセントを日本が負担するというそのむちゃくちゃなことにたいしての見返りとなるのでしょうか。

■2006/04/28（金）お店がつぎつぎ変わります。

麻布十番も赤坂も新宿も行くたびにお店がかわっています。つまり、店が立ち行かないので交代するんですね。景気がよくなったといわれていますが、なかなか現実は厳しいです。いや他人事ではありません。みなさんどうかよろしくお願いいたします。

■2006/04/23（日）ひさのりさんとりんりんの結婚式

本日、高輪のステキな式場で結婚式、末永くお幸せに。

■2006/04/16（日）徳富蘇峰記念館

神奈川県の二宮にあります。伊藤隆先生からの情報で、ここに頭山満や、三男秀三、孫統一の書簡があるというので、いってきました。東京新聞吉原さんもいっしょです。それにしても1万2千人、4万5千通の書簡が保存されているのです。中江兆民のものは、個性的で感動しました。おもったとおり自由な人だったようです。

■2006/04/13（木）大野隆二さん逝去

享年66歳。、板前さんでした。ひしょうの開店いらいのお客さんで、90年、93年の選挙ではビラをくばったり、街頭宣伝につきあってくださいました。ありがとう。ご冥福を祈ります。

■2006/04/12（水）日野原重明先生の講演を聞く。

聖路加病院の院長、まもなく95歳、昨年文化勲章受賞。驚いたのなんのって、95歳とはとうてい信じられません。しゃんと立って、大きな声で1時間を越える講演でした。健康や平和、教育など、年をとられた意味を感じさせるいいお話でした。若すぎるうちは物事も、人もみえない。そんな若さに謙虚さがないのは馬鹿ゆえんでしょう。日野原先生はユーモアがあり、発想が固定していない、つまり自由な考え方の持ち主で、さらに徹底的にプラス思考。見習うべきことは多いです。

■2006/04/08（土）お花見

土曜日は週の中でも一番具合の悪い日です。金曜日はたいてい深夜というより夜明けにしか寝ることができないし、それにともなってはいる酒も多いのでしょう。しかし、花見となれば、お弁当、おべんとう。なんとか早稲田大学院生の優子さんに助けてもらい作りました。朝ははれ、昼雨。「今日は中止ですか」のテレ入るもやめません。お弁当もつくったことだし、気合で晴天を祈ります。とにかく晴れ女なのか、雨で花火中止かもといわれながら、開催になったり、遠足もたいてい天気はいいので、強気になるというものです。2 時 30 分予想どうり、掻き曇りぱらぱら。しかしじきにあがり、青空の下。散り残ったソメイヨシノと満開の八重などの桜を堪能いたしました。

散る桜　残る桜も　散る桜　　良寛　　だれも超えられない名句　　思い入れて、雨風に　耐えた桜も　散る桜　　どうせ散るなら苦労せずとも

■2006/04/07（金）小沢民主党

石原都知事「たいした党にならない。あの人ほどアメリカの言いなりになった人はいないのではないか」たしかに、彼が自民党の幹事長時代から、アメリカによる年次改革要望書がだされ、以来日本はその要望に従って「改革」をしてきた。「頭の中考えていることを言葉で明確に説明しようとしない。田中派の文法というのはそうやって継承されてきた」（御厨教授）その手法は国民からのわかりにくい政治として批判され、小泉総理によって滅んだ。しかし、それは自民党のなかで。「民主党という「ガラパゴス諸島」のなかで再びｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄをあびているのが絶滅危惧種」の小沢党首。

■2006/04/07（金）都内桜ランキンブ

今年の桜は雨にもまけず、風にもまけず、長持ちしています。おくればせながら、一人で千鳥が淵にいきました。かなりちっていますが、夜は照明の巧みさに支えられ、若葉や残った額までが複雑な満開にはない味わいを見せてくれました。感動の光景です。弘前や角館にも負けない千鳥が淵の桜。ちなみに私の選ぶ都内の桜ランキングは
1、千鳥が淵
2、新宿御苑（夜桜が見られないのは残念）
3、神宮外苑
4、上野
5、井の頭公園
です。これ以外に今は六本木ヒルズになった毛利の庭園の池にかかる桜がほんとうにせまいながらも最高の雰囲気をもっていましたが、森ビルによって消滅してしましました。いまでは、新しい池をつくり毛利の池といっていますが、場所も池も桜もすべて人工的なものになりました。まったく風情などはありません。
お花見にはおいしいものがセットでなければなりません。ダイヤモンドホテルは本館がすでになくなって寂しく駐車場になっていましたが、地下にあった金剛飯店は健在です。ここであわびと北京ダックをたべました。あわびをひとりでたべるその贅沢さ。

■2006/04/05（水）昭和 29 年 4 月 5 日

我ら団塊の世代が小学校に入学した日だということを、テレビでやっていました。懐かしいあのころの映像、ぎゅうぎゅうずめの教室、後ろは当然壁にくっついていました。60 人学級で賑やか賑やか。大人たちが「なんでも競争がはげしくて大変」と心配していましたが、押しくら饅頭のような日々はそれはそれで友達が多くて楽しかったし、先生との距離が遠いのも先生の目がとどかず管理がゆるい感じで楽でした。いま 40 人、さらには 25 人学級にしようなんていっていますが先生の職はふえるものの、生徒にとっては迷惑かも。

■2006/03/20（月）桜の開花ははやそう

寒い冬なので、素人考えでは桜の開花はおそいだろうと考えましたが、気象庁は寒い温度に一定期間あたった花の開花は早いと予想しました。なるほど、今日犬をつれて外苑を散歩したら、なんと、つぼみがもうピンクの花びらをみせていました。これははやそうで。25日よりはやいことさえありそうです。春ですね。私は23日からプラハです。プラハの23日の気温は最高4度、最低マイナス2度ですって。うっ。冬に逆行です。

■2006/03/19（日）日野 うどん「どんたく」

多摩はうどん文化の地です。元東京11区時代日野の駅にはよくたって演説をしました。近くにはぽつりぽつり支持者がいて、いろいろたすけてくれました。八王子が本拠地でしたが、いまでも1年に最低2回は高尾にいきます。長谷の墓がここにあります。今日はお茶大で日曜日なのに、修士論文の発表会があり、近代史関係のところだけ聞きに行きました。その後はプラハ行きの日程の関係で、墓参は今日しかありません。幸い晴れたので、中央高速で30分、おりて30分かけていってきました。強風で車が不安定でいやでした。なにしろ愛車はダイハツミラの軽ですから、車が壊れたのかと思ったぐらいゆれました。かえりはゆっくり甲州街道をかえりました。いつものコース、日野橋の西の「どんたく」にて手打ちうどん。「鴨の刺身たべたことある。うちの自慢」と店主。ほんとにおいしかった。日野橋の西のすぐの店より「どんたく」がいいです。日野駅西の日野館という蕎麦屋は歴史建造物でそばをだしていましたが、さすがにやりきれず日野市に建物をうって、ちかくで営業中です。

■2006/03/15（水）またまたごぶさた

毎日書いていた頃がうそみたいです。もう3月15日ですか。ショックです。なにをしていたのでしょう。母の見舞い、伊藤隆先生、頭山興助会長、山下もと記者との会食、句会、三田の華都飯店ランチ、大学院ゼミ、買い物、プラハ行き準備、さらしなで食事、猫の世話、犬の散歩、けっこうひまっぽいです。あっそうか、2月は短いです。3日足りない。

■2006/02/26（日）叔母さん、加藤さん訪問

いとこの敏明さんの案内で父の妹である叔母さんを訪問しました。子供の頃はよく遊びにいきましたが、最近では親族の葬式ぐらいしかあいません。最近、母の大切にしていた写真の整理が終わったのでそれをもってみしらぬ先代の親戚の解明ができるかもしれないと期待しました。一番若い叔母もすでに80歳、話をききつけてその上の叔母と叔父も集まってくれました。美人3姉妹と名高かかった叔母たちですが、一番上の叔母はすでに亡くなっています。残った二人はお元気で、なによりです。父の若かりし頃の話がきけて感激しましたが、親にいろいろ聞けるうちにあれこれ聞いておきたいことがたくさんあったのにと悔やみます。たとえば、父は陸軍少佐でしたが、毎日馬でむかえにきていたとか、出征した場所は伊勢だったとか、妹たちに「ばんばの忠太郎」を聞かせていたとか聞きました。出征先は秘密でした。だから終戦はシンガポールということしかわかりません。伊勢まで送った母と祖母、兄と二番目の叔母の写真がこの話のとっかかりになりました。「顔を忘れたから会いたい」といっていた加藤隆一さんは父のいとこです。お宅にもいってきました。東海銀行の元の頭取ですが、いまは俳句などをつくって静かにすごされています。85歳。古い写真をお見せすると懐かしそうでした。

■2006/02/25（土）ブルー土曜日

金曜日はとかくひしょうの閉店がおそくなります。だから、土曜日nは体調がいまいちのことが多いのですが、今度とい今度はひどいです。予約のいれてあった整体道場の指導日なので、いつもは自分の車を運転していきますがそれもできず、タクシーに乗りましたが、その中でもきもちが悪くなりました。明日は名古屋に行くその手土産は何しろはってかえり一休みのあとです。店どた休みしました。すみません。いらしてくださったお客様ごめんなさい。どなたかお手伝いいただけませんか。もう限界です。

■2006/02/24（金）トリノ フィギュア 荒川静香金メダル

フリーまでは3位でしたが、そのすべりは完璧に見えました。華麗、伸びやかさ、余裕、滑り終えた本人の表情も満足そう。素人からもても涙がでそうな感動の演技でした。「まさか金ももらえるなんて」と虚心で望んだ荒川の自由さの勝利かもしれません。今回は完璧と感じたジャンプの船木がでていません。スキーの板の長さが少し規定がかわって以来よくないそうですが、残念です。そもそもどんなスキーでもよさそうなのにどうしてそれがかわるうのですか。それでも船木選手がんばってほしいです。

■2006/02/22（水）民主党

永田議員の「爆弾」誹謗事件の顛末を今日の党首討論で決着はつけられません。だだっこのように「国政調査、国政調査」をくりかえす前原代表にも失望。永田議員は以前テレビの画面で、ナイーブな発言が気になっていたが、まさか裏もとらないであのような発言をしたのだろうか。選挙にでるとき、党にお金を提供するのはよくあることですが（だだし前回の小泉トップ主義での候補者擁立は例外かも）しかし、個人の講座に入金することはありえないでしょう。現金主義。あるいは複雑なマネーロンダリング。若い政治家は近年バブリーに人気しているものの、日本の命運をゆだねるのだから、もう少し大人になってもらいたいです。永田、前原、野田の若手幹部の一斉失脚となれば、後ろにいる、ロートルの復活もありです。しかし一

■2006/02/21（火）中国残留孤児の60年後

いつごろだったか、しきりに黒龍江省、吉林省などの中国残留孤児の肉親捜しがテレビでさかんに行われていました。もう何年も前なのですが、戦争の影をあらためて強く感じましたが、その後肉親がみつかって日本に帰った人、残った人、肉親が見つからなかった人とさまざまですが、育ての母のもとに残ったものの、今その子供たちの日本行きの希望のために老いた母を連れての日本行きを決めた人などのドキュメンタリーをみました。「日本人の子供なんか」といわれたこともあったなか、親子の愛情で結ばれた家族に敬意。軽々しい論評などできようはずがありません。

■2006/02/17（金）頭山満生誕150年祭大盛況でした。

明治記念館は5時を過ぎた頃から車も人も集まり始めました。記念パーティのまえに神道の作法で祭礼が行われました。格調の高い儀式のあと、稲葉明治記念館至誠館の館長の演武でしめくくられました。パーティは1500人以上のお客様で、急遽1階にも会場をひろげました。松本健一、田尾憲男氏の講演もあり、戦後排斥された、頭山満の偉大さを確認することができました。

■2006/02/14（火）母が入院

発熱のため早朝練馬総合病院に入院しました。インフルエンザではないので、「肺炎か、尿路系」ということですが、幸い母の表情は明るいし、息も落ち着いています。父が肺炎で亡くなっているので、心配ですが、あのときの父の呼吸の異常さを思い出す（辛い）とそれほどでもないです。しかし、病院に入ることによって全身状態が悪くなることが気がかりです。病院のシステムは寝たりをつくりだします。

■2006/02/12（日）格差社会

銀座は景気がいい、株は上がり続けている、物価もあがっている、景気回復を示すいろいろのことがありますが、一方で格差が広がっているのも確実です。「結果の平等より、機会の平等」「規制緩和」公的資金の投入による不良債権処理、リストラも効を奏して、企業の多くは業績を回復したようですが、地域格差、賃金格差は確実に大きくなっています。このまま、進んでいくことがよいことと考えるのは「勝ち組になれると夢想する人、ないしは勝ち組」だけでしょうね。しかし、小泉さんがやめても、同じでしょうね。民主党も含めて。

■2006/02/10（金）東京 道路工事 運転マナー

年があけてから、外苑のあたりにも泥つきのトラックが増えました。はしるだけでなく、道端に違法駐車しています。そのために、交通がさまたげられます。ドライバーのマナーも悪く、混雑のなか猛スピードで急ブレーキをくりかえす馬鹿や、車線をまたいではしったり、ウインカーを出さずに車線を変更したり、歩行者がいるのに、クラクションを鳴らしたり、ほんと毎日イライラします。それにしても、道路工事は年度末に増えるといわれています。予算を年度内に消化するためとかもいわれていますが、ほ

んとのところどうなんですか。きちんとした報告書はありませんか。まず、工事の土建屋の名前は書いてあっても、どこが発注した工事かまるでわかりません。どうしたらわかりますか。

■2006/02/09（木）ノイハウス日本撤退　和門2月閉店

バレンタインデイを控え今年もチョコレート売り場はにぎわっていますが、なんとベルギー王室御用達ノイハウスはすでに日本から撤退していました。ゴティバの売り場に長い列ができているのと対照的です。しかし、私はずっとノイハウスを支持してきました。味はもちろん形状、包装のセンスすべてが最高でした。また青山伊藤忠の隣にある和門はいままでで一番気に入ったお寿司屋さんですが、2月いっぱいで閉店です。座って2万3万当たり前の寿司屋に、味では負けないのに、どうしてうまくいかないのでしょうね。宣伝、権威つけ、これらの商戦にかたなければいけないのですね。残念でなりません。

■2006/01/30（月）藤原正彦先生「国家の品格」

頭山満生誕150年祭が 2 月17日に開かれる関係で幹事の一人として、母校お茶の水女子大教授藤原先生に、案内状をとどけました。近著「国家の品格」をよみました。日本の失った伝統のなかにあるよいものを見直すべきという主張に賛成です。グローバリズムという世界統一思想がアメリカ以外の国国の人に幸せなわけがありません。日本の武士道を再評価することは案外いきずまった日本の未来、ひいては世界平和に貢献できるかもしれません。

■2006/01/29（日）江戸川伝統工芸展

伝統工芸を職人と大学の工業デザインとが合同してつくっていました。伝統工芸に新しいデザインがくわわった作品（商品）はとてもよかったです。グラデーションのついいた色彩の扇子をかいました。作者は同年生まれの松井宏さん。感覚があうのかもしれません。とても気に入っています。

■2006/01/28（土）女子大生11名国会見学

お茶の水女子大学の小風ゼミの皆さんの国会見学のご案内をしました。国会をさって10年以上、久々に議事堂にはいりました。重厚なたてものに改めて感動、本会議場を上から見ましたが、自分の席にいまどんな人が座っているのでしょう。さて、土曜日なので、議事も議事堂も議員会館の食堂も休み、お土産を買う店もないし、見学は1時間たらず。いくところもなく、仙谷由人さん部屋でコーヒーをご馳走になりました。その後、裏手のそばや「黒澤」に案内しました。仙谷先生、原口先生、松木先生の秘書さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

■2006/01/27（金）藤村秀雄さん逝去

幡ヶ谷の「たまははき」という名店の主を約11年やりました。これほど人を愛しかわいがる人はいません。私にたいしても、20年ほどまえ、健康不安で悩む私の面倒を徹底的にみてくれました。おかげで、今は元気になりました。その上に1990年総選挙出馬がきまれば、党とは関係なく、応援してくれました。もの静かで藤村さん自身は表にでませんが、たくさんの学生や、かわいらしい女性応援団を組んでくれたのです。おかげで、当選は難しいという選挙を勝利できました。また当選後は秘書問題のトラブルで苦しんでいた時、奥様の純子さんがひきうけてくれたし、後援会の会報つくりの細かい作業は彼に負うものでした。数え上げたら、そのうけた恩は限りがありません。その彼が、昨年から体調をくずしていました。最後は奥様の「もうがんばらなくていいのよ」の声をきき、安らかな眠りについたのでした。ベッドにつながれチューブだらけになってなくなる人が多い現代ですが、最後までそのような処置はしません。そのような術を身につけていましたが、その死に顔は微笑んでいるようにさえみえました。ここまでとはさすがでした。死後のことまで、こまかな指示もして、ほんとにりっぱな人です。そして、奥様も。謹んでご冥福をお祈りいたします。ほんとうにありがとうございました。合掌

■2006/01/26（木）魔の25日

毎月25日はお客さんが少ない。世の中では給料日、昔からゴールデン街はこの日はダメといわれていますが、昨夜はほんとに静かです。優子さんと雅子さんと私の3人で、男のひとについて雨の品定めならぬあれやこれや興味深いはなしをしました。その中身はまたいつか。また呉竹会の事務局長藤川さんから頭山家の話も聞けました。　如月のひしょうの夜の論深し

■2006/01/25（水）ライブドア雑感

ホリエモンは逮捕されるし、株は暴落で大騒ぎの昨今ですが、事件に対しての反応は2分、好きか、嫌いかでこうも評価がちがうもの。私は一貫して保守派なので、お金もうけは節度が必要とおもっているので、彼の言動、顔がだいきらいです。改革のシンボルとみおる人もけっこういます。自民党も、民主党も昨年の参議院選挙で担ぎたがっていました。政治家の人をみる視点は人柄才、才能、人品ではなくて、その人の背後の組織や金なのでしばしばツラブルがおこります。ホリエモンについては自民が貧乏くじにあたりましたが、昔新進党の小沢一郎さんが、野村さちよを三顧の礼で候補者にしました。さいわい当選はしませんでしたが、不法行為が発覚したことをおもいだしました。

■2006/01/24（火） 猫のけんかについて

１月にはいり、うちの猫はほとんど家にいません。そとで女の子を捜しています。時々はかえってこなければいけないといいきかせてあるので、今日はお昼にかえってきましたが、すぐおでかけです。いっしょに散歩となり、せっせと併走していましたが、花壇のなかから敵があらわれ、にらみ合いになりました。茶猫に、静かな歩みでにじりより顔がくっつくのですが、けして手はでません。威嚇合戦です。車がとおったり、雪がどさっと落ちたりするたびに両方とも休止、そのままでかたまります。うちの健太が優勢でしたが、最後は抜き足でその場をはなれました。案外怪我をしないのは、威嚇のなかで、決着をつけているのですね。なれあいといえなくもないですが。おりこうですね。

■2006/01/23（月） おもいっきり生テレビ

みのもんたが司会するこのワイドショウーは徹底したプラス思考番組でしょう。70、80歳あたりまえの元気なお年寄りを毎日紹介して、かって年をとることはイコールよれよれになって面倒をみてもらわねばならないという年寄りイメージとは対極をなす。どちらの場合も現実、しかし、社会教育としては前者が重要とおもいます。潜在意識は人間に大きく影響するので、年をとっても元気と、ここに入れることはいいことですね。また、「なになにを食べるな、かうな、危ない」路線にたいして、「これを食べればもっとよくなる」の発想も、人気のあるところです。今日は名古屋から北陸まで桜木をを、その一生をかけてやろうとした佐藤良二のことをとりあげていましたが「人のためになることを腹いっぱいやる」氏に感動しました。東京女子大学の林道義先生が「やりたいことをやれではなく、人のためになることをやれと子供にいわなくてはいけない」といっておられましたが、賛成です。

■2006/01/21（土） 高校時代のミニ同期会

深夜からふりはじめた雪が朝にはしっかりつもり一面の銀世界でした。表参道で9人、還暦まであと数年の同期の桜ですが、小田原、新百合丘などかなり交通事情に左右されそうな人もいましたが、すべてが出席、なんと一番近い私が遅刻しました。すみません。ブラジル料理ということで、ぱさぱさお肉どっさりに閉口するかと心配しましたが、上品でよかったです。名幹事さん。ありがとうございます。ブラジルのなんとかというお酒は砂糖をたくさんいれてのみましたが、すこしなれると癖になります。新宿でカラオケ最後はディスカッションさいごまで仲良く楽しい会で、雪もはやばやとやんでしまったのでした。

■2006/01/19（木）30 数年まえ佐世保

１月１９日はそれが１９６９年なら、東大安田講堂の陥落の日ですが、前年６８年は佐世保で原子力空母エンタープライズの寄港を阻止するおおきな闘争のあった日です。みのもんたのワイドショウーで取り上げられましたが、負傷者数百人をだしました。私は佐世保まで行く運賃がないし、部隊もないので、現地にはいっていませんでしたが、損を承知での学生の純情な行動にはいまなお感動します。危機感、責任感、使命感といったものがありました。「お金で手にはいらないものはない」そのための金儲けなら卑怯もへちまもないと考える拝金の若者にはびっくり。とても太刀打ちできません。

２００５

■2005/12/19（月）ど、どうしてこんなに早時間が過ぎるの

熱海にいってからもう1月近い時がすぎたなんて考えられません。いったい何をしてたのかとおもいます。多くの人にはであいました。しかし、それにしてもはやいです。26日お茶の水大150周年シンポジウム、29日呉竹会勉強会、30日議長招待、12月2日北斎展に駆け込みでいく。超満員で入場っするまで20分もならんだ。5日田村元先生オーラルヒストリー、6日句会、8日に明治大学講義、9日ゼミ、10 日拓大藤井厳喜先生忘年会参加、13日頭山満生誕150年祭実行委員会、12日マスドラ会（母の発熱で欠）13日娘と会食、14日母の病院付き添い、15日買い物、16日伊藤隆研究会、17日日本とロシア「戦争の100年平和、の150年」この間に孫の散歩、母見舞い、講義準備、犬散歩。もちろん主婦業。このあともお正月までは忙しい日が続きます。朝の6時になりました。完全徹夜です。オーラルヒストリーの校正がおくれているので今までかかりました。年賀状もまだつくってません。28日の忘年会の案内もまだだせません。来年からは日月曜をひしょうはお休みにします。すこしゆとりをつくります。

■2005/11/25（金）三島由紀夫35年祭

盾の会のメンバーを中心にして、三島由紀夫の晩年の作品「奔馬」のラストシーンの現場でおごそかに35年祭がおこなわれました。九段会館での憂国忌や野分祭は都内でおこなわれますが、今回は熱海の稲村の地でおこなわれました。天気もよく青い海と空の下でおこなわれました。

■2005/11/24（木）唯尼庵キーヨが亡くなりました。

元気とつっぱり、ゴールデン街の名物中の名物女キーヨこと大田喜代子さんが突然逝去されました。多くの男たちを励ましてきたキーヨがこんなにはやく（58歳）死んでしまうなんておもいもしませんでした。死因さえはっきりしない、謎のなかキーヨはゴールデン街を引退しました。らしいのだけれど、寂しいです。ご冥福をお祈りします。

■2005/11/24（木）外苑いちょう祭りはいまや最高潮

いつも皆様におすすめしているご観兵榎の森では特設のステージがもうけられ昨日はシャンソンなどが演じられていました。次回は27日ジャズを中心にした演奏会が開かれます。また軟式野球場では各地の物産展や陶器市が開かれています。12月4日まで連日にぎわっています。肝心のイチョウは小春日和が続いていてまだくっきりとは紅葉していません。

■2005/11/22（火）関岡英之「拒否できない日本」

経済も文化も社会も悪化するその原因の多くはアメリカにあると感じてきました。そのことを具体的の教えてくれたのがこの本です。著者は1961年生まれですが、いやよく勉強してすばらしいです。日米構造協議は何をねらったものか、まずイニシャチブという言語を協議と翻訳する無理と日本の官僚や政治家の意図などすっきりわかりやすいいです。先日呉善花氏の話を聞いたが、韓国人がいまや北に親しみをもちそれがブームとなっていること、北と中国は仲良しでブロック化が進んでいることでした。関岡氏は北京、シカゴ枢軸を指摘していますが、日本がのんびりしているまに国際関係はどんどんかわっています。

■2005/11/20（日）高橋尚子さん優勝

東京国際女子マラソン出た高橋尚子選手は肉離れをおこしていて不安を抱えての出場でしたが、終盤抜け出して応援にでかけて待っていた国立競技場への入場は独走でした。大勢のファンから大歓声があがりました。小出監督からの独立後の快挙です。犬を連れて行きましたがもみくちゃでした。

■2005/11/10（木）神宮外苑はこれからが最高

12日から12月4日までいちょう祭りがおこなわれます。イチョウはまだほんの少しだけしか紅葉していません。それでも12日からは第二球場ではお店がたくさんでるし、御観兵榎の森ではコンサートもひらかれます。この機会に外苑の散歩をお勧めします。地下鉄外苑前、青山1丁目、信濃町が最寄です。

■2005/11/06（日）四方田犬彦さんのこと

サンケイ新聞のコラム記事で高校生のころケーキ職人にあこがれ実際高校をやめて就職したということを知りました。1、2ヶ月でやめて学校にもどったということですが、いまや映画評論界の勇として活躍されています。実は20年ほど前に、私も映画評論家をやっていました。映画芸術誌上での対談をごいっしょしたことを思い出します。その後はえらいちがいですね。四方田さんのご活躍をお祈りします。

■2005/11/06（日）匿名

匿名による批判、誹謗が行われるのはよくあることですが、匿名は己を明かさないことによって自分の怨念、嫉妬、怒りにたいしての責任をおいません。いきおい、いいたいい放題になることは多いでしょう。蔓延していますが、いい感じはしない。いやーな感じです。

■2005/11/02（水）野田佳彦衆議院議員の質問主意書

東京裁判において戦犯となり、断罪された人たちは永久に戦争犯罪人か？そんなことはありません。一般の刑法でも罪をつぐなったらそれで一応免罪されるのですが、級戦犯とされたひとたちについて中国がその合祀を理由に参拝問題で騒ぐのは法治国家の原則からしてもおかしい。戦後戦犯とされながらも復権し、政治家になった人がいるのはもちろん、たとえば私の父は陸軍主計少佐としての地位をとわれ昭和23年公職を追放されましたが、生涯戦争犯罪人だといわれたらこまります。政府も野田氏の主意にそった答弁をしたようですが、野田事務所に電話をいれても情報をいただけなかったので、詳しいことはわかりません。私が現職のころだったら間違いなく丁寧な手紙を添えてコピーをおおくりしましたが、今の政治家は強気でいいなあ。

■2005/10/30（日）原子力空母横須賀を母港に

いくら日本がアメリカの属国といったって、これまで非核三原則を基本としてきました。原潜が寄港することに反対を表明し、デモをやったころとから比べても、なんという属国化が進化した現在でしょうか。日本を愛する政治家はいませんか。

■2005/10/25（火）猪瀬直樹さんのこと

道路公団改革を4年やって「100点ではなくても80点」「民だからできた」「政治家はいろんな人にお世話になっているからできない」といっていましたが、まさにそのとおりでしょう。政治家にとって必要なのは政界で生き延びることが最大のことですから、政策や信念はそのつど都合のいいように修正しなければなりません。猪瀬さんは同世代です。私は偉い人だとおもいます。

■2005/10/24（月）デープインパクト三冠

7戦7勝無敗のデープインパクトが21年ぶりに三冠に輝きました。シンボリールドルフ以来の快挙。大外からさす豪快な勝ちっぷりには拍手です。若いころ随分競馬が上手だったころは高い配当をねらっての無理な裏目で勝負しましたが、今はそんなに熱くならずレースを楽しんでいます。

■2005/10/18（火）辻本さんいいかげんにしなさい

議員の品格にかける人は多々いらしゃいますが辻本氏はかなりヘビー級です。フェミニズムだかなんだかしりませんが、大人なおもちゃ女性版の商売人のところによばれて大人おもちゃとたわむれ、ｻｲﾝまでしてはしゃいでいましたが、その写真もながれ、はずかしいといあったらありません。セクハラといってどなりまくるあなたたちこそセクハラ女です。品位のなさに加え決定的なのは「国会議員というのは国民の生命と財産を守るかいわれているけど、私はそんなつもりでなってへん。」どんな思想かしりませんが、国家から多額の歳費をもらいながら国民をまもってくれるつもりのない国会議員はやめてもらいたい。その上で、外でやってくださいね。

■2005/10/16（日）介護付老人ホーム ライフコミューン

すでに業界2位になったライフコミューンです。いくつかの施設の合同の懇談会がひらかれましたが、会場は満員、家族の介護への関心のたかさは次々と発言をもとめる家族の訴えによくあらわれています。私と義姉ももちろん社長が臨席するこの機会にとおもってでかけました。現場の実態はヘルパーと家族が一番よく知っています。じわじわとﾍﾙﾊﾟｰの数がへっています。法律さえクリアーすれば経営として問題はありません。しかし、現場は大変です。2人につき1人といえば手あついようにおも

えなすが、24時間体制、食事や掃除の人もいれての数ですから、深夜（9時以降）は36人を一人でみているのが実態です。先日も母が顔面に傷をつくっていました。深夜のことでその理由は明らかにされませんでした。いつかの懇談会では入所者が他の入所者者に暴行を加え怪我をしたという話が家族からでていました。猫にかじられたという前段身聞のはなしもはっきりいってヘルパーが把握できなくても無理はないでしょう。何人にしても完全などありえません。しかし、現場の常識についてと待遇についてはよく検討すべきです。社長がこれらの意見に「家族がきついのでヘルパーがいつかない」といったからたいへんです。中にはほんとにきつい人もいるかもしれませんが、多くはヘルパーに感謝し、きずかっています。それよりは待遇ではないかとおもいます。テレビコマシャールをばんばんながす、それによってお客のサイクルをはやくしようというのでは困ります。

■2005/10/15（土）五酔人経綸問答

雨の土曜日、ひしょうのお客様もまばらです。しかし、同世代の弁護士、そこへ「こんな日にのみにくるのは同業くらいか」と弁護しさん、40代の広告業界人、私の名古屋の高校の同級生、さらにハムさのの友人の5人の論客があつまり、中江兆民の「三酔人経綸問答」ではありませんが映画、俳優、世界、戦争、アジア、歴史、若者などについて楽しいおしゃべり。「平和にあきている」という40代の発言は重みがあります。何のために生きているのかわからないという悩みをよく耳にします。リベラルな親たちが子供に「すきなことをやりなさい」といってきましたがそういわれても好きなことがある子供はまれでしょう。何をしたらいいのかわからないというのがほんとのところ、だから「人のためになることをしなさい」のほうがよほどか子供に生きる力をつけられるのではないでしょうか。中島道義先生のこの言葉をおもくうけとめます。

■2005/10/11（火）人食い猫？

埼玉の特別擁護老人ホームに入居中の老人が野良猫に足の指5本をかみきられたと報道されました。すぐに犯人の猫がつかまり一件落着となりましたが、信じられません。猫を50年ちかくかっているし、また古今東西いまだかってそんな話は聞いたことがありません。もし猫がかんだとしても5本第一関節そろえてそれもすべてきれいさっぱり食べつくすなんてことを猫はしません。それに血のついた足跡を随所につけるこれも考えらません。私にはとうてい想像がつきません。？？？

■2005/10/08（土）これではかたずかない家も当然

私は料理がすきです。子供のころから休日には家族のために食事を用意しました。大学は食物学科に行きたい気持ちもありましたが、家政学部、家政という響きに反発して硬そうな歴史学科を選択しました。まちがいでした。台所がかたずきません。あれあれとさがしものばかりです。なぜでしょう。しょうゆは普通のしょうゆだけではありません。たまりしょうゆ、薄口しょうゆ、昆布しょうゆ、刺身しょうゆ、中国のしょうゆ、減塩しょうゆ、めんつゆ系しょうゆなどがあります。味噌は信州味噌、名古屋の赤味噌、仙台味噌、有機のおすすめ味噌、油はサラダ油、ゴマ油（白、黒）なたね油、オリーブ油、グレープ油、砂糖は精白のもの、黒砂糖、グラニュー糖、沖縄の茶色い砂糖、だしやエスニック調味料はこしょうだけでも白、黒、つぶ、あらびき、トウバンジャン、テンメンジャン、バジル、ナツメグ、シナモンクミン、カルダモン、八角、ガムサマサラ、ナンプラー、五香紛、コチュジャン、牡蠣ソース、ゆず、ポンズ、練りゴマ、山椒、こぶかつお、煮干とすぐおもいだせるものだけでもたくさんあります。これだけつかいわけたすごい料理をつくっているのかといえば、そんなことはありません。焼きさんま、ほうれんそうの胡麻和えといった純伝統料理がおおいです。さまざまな調味料やかぼす、れもん、シソ、パセリ、みょうがなどもつかわないままになってしまうこともあります。それでもすこしでもおいしいものを、できるだけ最高のレベルでたべたいのです。でもほんとはどこへいったか、どこかにある何かを捜すのにストレスが多い。

■2005/10/06（木）連合会長に高木剛氏

62歳、名古屋の旭丘高校の先輩であります。1995年新進党のころ同窓のよおしみでお目にかかりました。笹森前会長ともどもお世話になりました。ところで今回の会長選挙には鴨桃代氏も立候補し、予想を大幅にうわまわる107表を獲得しました。連合が「大企業や労働条件のよい企業ばかりの利益」の代弁との批判が目に見える形ででてきました。零細、弱小企業における労働者に利益がなくては労働組合の意味はあまりないでしょう。89年の地区労を解散しての連合ですが、今後の運営に期待。

■2005/09/29（木）杉並区山田宏市長

96年当時新進党の同士山田市長は総選挙に惜敗し、市長になりました。以後買い物用ポリブクロの課税、住民基本台帳への杉並区は参入しない、作る会の教科書の採用などをやってきましたが、今度は「外来語・お役所言葉言い換え帳」をつくりました。たしかに意味不明な外来語表記にはどうにかしてもらいたいとおもいます。「おーそらいず」「コンセプト」「インフォームド

コンセント」「マニュフェスト」などここはアメリカじゃない、といいたくなります。先進的、行動的な杉並市政ですが、山田市長は次の市長選には不出馬を宣言しています。市販しています1700円。

■2005/09/26（月）前原民主党党首

選挙に弱い小沢一郎氏は全会一致で頼んでくれたらr党首になるといっていましたが、そんなわけありません。管氏がでて前原氏がでれば当然出るわけはありません。1995年の新進党の羽田氏との党首選挙の悪夢がおもいだされるのではないでしょうか。小沢氏が相当な「無理な」選挙でかったのですが、新進党は選挙で自民党にかてず、短い命のまま解党しました。管氏は「組織票」では前原氏にかっていたものの無記名投票の結果前原氏が勝ちました。これでやっと新し党のイメージができました。「労組と関係を切る」「憲法改正」「郵政民営葉促進」とかっての社会党、労組の存在を無視したかのようなスタンスです。さて社会党系の議員たちはどうするでしょう。私は不満をかかえながらもついいていくと読みます。

■2005/09/21（水）東京スポーツに登場しました。

ときどき各社の「あの人は今」にでます。今回は神宮の銀杏並木での全身写真、いつもやせすぎかしらと心配していますが、いやはやグラマラスで安心？しました。記者の延さんがたいへんよくまとめてくださいました。9月12日付けです。

■2005/09/19（月）愛知万博って

当初の入場者1500万人の予想をはるかにこえて、2000万人を突破、ここ数日の異常な混雑ぶりが伝えられています。これほどの大入りでもけして延長開催などありえません。閉会まえのかけこみ時期がアトラクショウンがみられないというのなら、もっとはやくいけばよかったということでしょうが、実際は開会いらいどの時期にいったひとからも「並んでばかりいてほとんどなにもみられなかった」の声ばかりです。私がいった7月初旬の雨の日、夜ならばのアドバイスをうけ、夜と昼の2回にわけていきましたが、やはり人気パピリオンは行列で見ることができませんでした。あのだだっぴろい会場と安普請のパピリオンには失望ばかりでした。「生涯一度は万博」のコピーで70年万博も筑波万博も一度もいったことがなかったのですか、ふとこころがうごいていきましたが、「あ一つかれた。来場者を馬鹿にして」という感じがあります。4800円の入場料をはらっても原理的に満足に見学できないのはなにかおかしくないですか。

■2005/09/18（日）品川プリンスの水族館で

連休には下田の別荘へいきたかった。現実には前日の疲れで腰があがりません。かといってなにかイベントせいがないと休みの実感がもてません。というわけで、近場の水族館へ。水族館は品川の水族館、サンシャイン、遠くはランカウイ島にまでいきまいしたが、鑑賞の魚たちばかりでなくあしかやいるかのショーが目玉になっています。けなげないるかたちのジャンプや早泳ぎに感激し、あしかのショーをみるべく会場に。うしろからだれかとんとんと肩をたたきます。裕美さんです。ゴールデ街いいる裕美さんと一味ちがうお母さんの裕美に胸がいっぱいになりました。どうしてでしょう。とにかくとてもステキでした。「広い東京でどうしてこんなところでバッタリ」と縁を感じました。

■2005/09/16（金）秋の気配

暑い、暑いと思っていますが、秋は急速にやってきています。このページでなんども紹介している、外苑の御観兵榎の森では、蝉たちの鳴き声もだんだんと静かになりました。もうたくさんのどんぐりがおち、雨の後にはあちこちにきのこが顔をだしました。古い、大きな木を何気なくみあげると幹に巨大なきのこがはえていました。さるのこしかけの仲間でしょう。写真をとろうと今朝いってみたら忽然ときえていました。
「みあげたる古木の幹に大きのこ」「翌朝は忽然きのこきえにけり」

■2005/09/13（火）東京は自民党候補全勝

小選挙区制は議席が劇的にかわるものです。それをｶﾊﾞｰするための比例を制を併用しているのですが、それでも東京は極限的な結果となりました。比例名簿だけではたりない圧勝のため、社民党の候補が1名当選するという前代未聞の椿事がおきましたが、変ですね。欠員とすべきでしょう。郵政民営化イコール公務員の削減といちずけ、「民でやれることは民で」の主張はこれまでの公務員のありかたに不満ももつ人がいかに多いかをしめしたともいえます。「会社をやりくりして、5時ぎりぎりにいったら窓口で明日来てといわれた」「お昼休み役人が窓口の後ろにいても、昼休みの権利のため窓口対応してくれない。腹が立つ」といった声をよく耳にします。郵政についても現時でも荷物はもちろんカタログや、資料までが、民間業者のてによって配達されてきます。中には手紙状のものにまで「これは郵便ではありません」とかかれているものも少なくありません。おそらく利便性も経済性もそちらのほうがまさっているからでしょう。たしかに荷物を送るときにもいつつくかわからない郵便より明

日届く宅急便を使うのはあたりまえだし、重い荷物だって窓口までもっていかなければならない郵便は親切さにおいても反感があります。国民の現状にたいして小泉総理はこの点の理解がありました。

■2005/09/11（日）衆院選、自民圧勝、民主の惨敗

郵政民営化を国民は支持し、かっての野党と与党のあり方は逆転したかの選挙でした。「古い政治を変える」というコピーは野党の専売特許ではなかったのです。自らの進退をかけた小泉総理の姿はこれまでの自己保身にたけた政治家と違うとの期待を国民が感じました。民主が既得権益を含む守り立場だったことは多くの政治改革を望んできた人々を失望させました。政権担当能力をかいたまま、「政権交代」を叫んでもむなしい感じでした。また社民福島党首も感情のない、紋きりのしゃべりはまるで盛り場でみかける、「汝信ずるものはすくわれる」と繰り返すキリスト教のテープレコーダーみたいにきこえるました。結果は納得です。

■2005/08/31（水）日本の道

マレーシア出身の架橋李さんが日本についての論評をされました。「日本はすでにインフラ整備をおえ、そこへの投資は必要がない。それなに、後進国の時代のやり方がつでいている。そのようなものへの公共的投資は日本の将来にマイナスである。小さな政府への転換がなされるべきだ」むだな公共事業への批判はこの10年野党を中心にさかんにいわれてきました。私が社会党の議員だったときにもそのような方針を具体化すべく、がんばりました。ところが、いざとなると総論賛成、各論反対です。今回の郵政民営化はまさにこの根本的矛盾があらわれましたね。既得権益を離したくないのは人情でしょうが、それでは日本は立ち行かなくなるとしたらやめてもらうしかない。また政治家も国家国民の立場にたって、大きな視野での政治にあけわたしてほしいです。「自民党をぶっこわす」を公約にした小泉さんはまさに自民党の長年の利権の構造に手をつけ敵にまわしての奮闘中。地方を中心にした自民党はうまれかわらなければ生きられないのは確実ですが、さて今回の選挙で守旧自民層はいかなる態度をとるのでしょうか。

■2005/08/30（火）衆院選挙告示

わかりやすい政治、対案型政治、既得権益の打破をかかげていたのはかって私も所属していた、社会党のニューウエイーイブの会でした。今回は小泉総理に完全にお株をとられたようです。政治家としての姿勢、進退に拘泥せず、永田町の常識をやぶっての解散、「国民に真を問う」選挙になったことが人気しています。改革は賛成、でも今回は反対ではわかりいくいのです。永田町では「常識」が支配し、おもてで言っていたことは国民の見えないところでおこなわれる談合できまるというものでした。国対政治、料亭政治、馴れ合い政治とよばれてきたものです。国民はそのことをすでに知っています。その「常識」をやぶる、それも改革のイメージを補強しています。民主党は対案さえ出せず、イメージダウンはさけられません。選挙戦になると、いずれの党も同じような耳障りのいい政策どうしになり、どちらも同じようで、政策本位の選挙になっていませんでした。国民にとってわかりやすく、問題がなになのかをはっきり提示した政治を願いたいものです。

■2005/07/10（日）伊藤隆先生の新たな出発を祝う会

椿山荘で伊藤先生のさらなるご活躍をお祝いしようとたくさんの方々が集まりました。冒頭有馬学九大教授のあいさつからはじまりおよそ2時間、会は和やかな中にも有意義に展開しまし。やや時間オーバーでの閉会にもかかわらずまだ先生と話したり無いという方々が列をなし7時でお開きになるところなんと、幹事の総括が開けたのは8時30分でした。会場の椿山荘にはご迷惑だったかもしれませんが、伊藤先生の人望と期待の大きさがわかるというものです。

■2005/07/05（火）郵政民営化法、衆院通過

自民党内の51人の造反議員がいたため、5票差の緊迫した採決でした。それでも採決に持ち込み勝った小泉総理の手腕はすごいですね。反対の議院の多くは選挙区の事情で特定郵便局の組織的応援をうけていて、その強硬なる陳情に反対せざるをえない人たちだそうです。ここで、反対にまわれば公明党は応援しないというし、たいへん悩ましい判断をせまられたことでしょう。民主党指導部は全逓、全郵政労組の支援の大きさをおもえば反対は当然。いつも政治家は全体状況より選挙区事情が多いのは宿命でありましょうが、それをかえるのが建前の上では小選挙区制だったとおもいますが（党の政策本位で競う）選挙になれば耳障りのいい票になる政策に両党とも傾くのが現実。

2005/06/30（木）明治大学の講義おわりました

和泉校舎での講義です。いままでも法人会、大学の学園祭、一水会、読史会などで講演をしましたが時間が1時間半というものはありません。だから気がかりで講義録を念入りにつくりました。大きな部屋なので、板書は無理たくさんの写真を用意して

紙芝居方式にしました。ベトナム戦争や世界の学生の反戦運動から衆議院における政治の仕組みなどまで、用は就職に失敗いして大丈夫まだいろいろの人生があることをいくつかの実例をあげて説明しました。講義録はあったもののやはり、対話形式のかたりかけになりました。政治をやっていれば当然ですが、全部はなせたかやや不安で講義録を確認すると、学生たちが心配してくれました。「一番おもしろかった」「しらないことをきけてよかった」「ためになった。」「ニートにならずにすむかも」など熱い感想が400枚、これがご褒美、やりがいです。それにしても学生さんはかわいい、もともと教師になりたかったが、逮捕暦がありなれなかったし、その後大学院にいっても脱走してしまったりまさに、失敗だらけの人生、それでも大丈夫の体現者になれるかな。ひとまずほっとしました。

■2005/06/28（火） 両陛下のサイパン御訪問

ココ1週間ほど東宮御所のある青山近辺は24時間の厳重な警備がひかれていました。家のまえのいちょう並木のとおりには深夜も10台もの装甲車がならび、警察官の巡回もねんのいったものでした。御訪問に異議のある人とはどんな人だろう。サイパン島はいまでは若い人たちが観光でおとずれるが先の戦争のときに米軍によって徹底的な攻撃をうけ5万5千人以上の日本人がなくなったところで、戦後うまれの私にも玉砕の島そしてかりつたえられいました。日本の戦後の自虐的歴史観が蔓延し、サイパンだって日本が無法な占領をしていたので、アメリカにやられたのだとおもっている人が居ないことを祈るがここは第一次大戦語国際連盟の元日本の委任統治領となっていたところです。だから日本人がたくさんいたのです。昭和19年6月15日この島に米軍が上陸し20日以上もの激しい戦闘の末に多くのいのちが失われました。天皇はこれらの御霊を慰霊されましたが、日本人だけでなく、米軍も韓国人の慰霊碑にも丁重なる慰霊をされました。中国が戦犯がどうのといって外交カードとして政治利用をくりかえすのとおおきな違いです。東京裁培に私は異議をもたないわけではありませんが、刑により命をささげた御霊にいまなおあのようにいいたてる中国の無礼さを我国はもちあわせません。それがためにいっそうのパッシングをうける、そのような下品な世界が政治なのかもしてません。

■2005/06/27（月） tennnou

天皇皇后両陛下のサイパン御訪問

ここ1週間くらい赤坂東宮御所周辺は厳重な警備がひかれていました。家の前の銀杏並木とおりには、10台もの装甲車がならんで日夜検問をしていました。いったい誰が両陛下の御訪問に異議があるのというのでしょう。サイパンは「玉砕の島」としてかたりつがれています。いまや若者には観光の島ですが、先の大戦では米軍の攻撃で民間人もふくめ5万5千人以上の日本人が亡くなったところです。日本人が多いのは第一次世界大戦後国際連盟の下で、日本の委任統治領となっていたためです。戦後の自虐史観にのっとり、ここも日本軍が侵攻したためにアメリカにやられたと考える人が居ないことを祈ります。両陛下は日本人の慰霊塔での慰霊ばかりか米軍、と韓国人の慰霊をもされました。戦犯がどうのと人の死を政治的、外交的なカードとしてくりかえし利用をする中国とは格がちがいます。

■2005/06/19（日） ウィールスがきえません

この日記もひさしぶりです。このページが開けないことが多いのです。別のソフトが邪魔をしています。今日はなぜかふしぎとこのページにこれました。1月ぶりなので、書きたいことがいっぱいあるのですが、ありすぎてかけない、そんな感じです。季節のこと、中国のこと、呉竹会の勉強会（インド大使が来てくださいました。）相撲会先代貴乃花の死とその後のごたごた、6月30日に明治大学で講義をするので、その準備で頭がいっぱいなこと、母の具合がよくならないこと、そして、病院のカルテが開示されたものにはウソばっかりかかれていて、病院不信、人間不信が増大していること、黒龍会の内田良平の史料があるとの情報を得たこと、頭山満の書簡が国会図書館の憲政資料室にあったこと、新しい研究会が発足したこと、義母が集中治療室に入院し、そして退院したこと田村元もと衆議院議長のオーラルヒストリーを承知していただいたこと、憲政記念館で、元モンゴル大使の出版記念会がひらかれたことなどなど。またへんなのがでてきました。とりあえずここまででおえておきます。ほんとにウィールスは憎らしいです。

■2005/05/21（土） 感動することが大切ですね

いつも胸がわくわくとまではいかないかもしれませんが、どんなことにも感動がつきものです。その感動で人は動くのではないかと私は思います。勉強も楽しいのはエーそうだったのかとか驚きの発見があつたりするからです。人と話したりお酒をのむのも、同じですね。馬鹿かもしれませんが人のいいとこばかりみつかるのですが、たまにウソそんな冷たい感じかたあるのとさめたりしますが、それも感動の一つ、感動があれば日々楽しいのはたしかです。ところで心が冷える報道がありました。千葉の方の公民館で、円周率の世界記録を更新中でしたが、職員が「閉館の時間です」といって記録を中断してしまったというのです。感動していれば労働条件も閉館時間も超えた対応があってもいいのに、なんとも寂しいはなしでした。それにしてもよくとめられますね。規則があればそこまで大胆になれるのですか。これにもびっくり。

■2005/05/17（火）ウィールスのやられています

ネットの上にピンク系の絶対に消せないサイトが繰り返し、繰り返しあらわます。設定もしませんがつぎつぎお気に入りやデスクトップにはいりこみます。こうしているうちにもこの画面に女の人の裸があらわれます。どうなってるの。プンプンです。どなたか対策を教えてください。よろしくお願いいたします。

■2005/05/05（木）お休みは介護の日々

母の２月の入所依頼ほぼ毎日のお見舞いをしています。でもせいぜい３，４時間居られればいいほうです。何しろやることだらけですから。今日は母の誕生日なので、7時間かけて、ケーキ屋にいき好物のお寿司などで祝いました。失語していますが、今日は気分がよかったみたいでポツポツと話ができました。私の母に加え義母も緊急に入院しました。いつも気丈でしっかりものなのに、はいってみると腎臓、心臓、肺とみな不全で、なんと集中治療室にいれられました。幸い回復してきましたが、おきまりのようにボケてきました。自分がいまどこにいるか？？？となったのです。嗚呼。

■2005/04/24（日）映画「樹の海」

樹の海とは富士のふもとにひろがる青木が原の樹海のことです。自殺の名所といわれていますが、映画はここで自殺を試みる人々の人生と「生きる」ための物語です。オムニバスになっていますが、見終わったときなんという優しい映画かと心が癒されます。現代は自殺者は年間3万4000人にも達し、子供らまでふくむ凶悪な犯罪などやめる日本でありますが、この映画にはそれらを克服する一つのカギとなるであろう人間同志の優しさを教えてくれます。初夏にロードショー公開されます。監督瀧本智行、青ちゃんこと青島毅プロデユース。

■2005/04/19（火）中国の反日暴動

「日本の歴史教科書」「国連安全保障理事国入り」などに反発しての暴動が続いています。「40年前の日本の反米的学生運動のようだ」という人がいますが、私はぜんぜん違うと思います。中国の学生は自国に対する客観的批評というものがまるでありません。伝統的中華思想の傲慢なる意識はあるかもしれません。日本の学生運動は政府に厳しい取締りをうけました。中国ではまったく取り締まる様子はありません。それどころか「日本がわるいからこうなった」と中国政府は繰り返しています。町村外務大臣の人のよさそうな態度にくらべての中国側の不遜な態度には腹が立ちます。小泉総理も町村さんと同じです。気の毒なのはいまおこなわれている補選の自民党候補です。そうとう苦戦するでしょう。岡田さんは「きちんとけじめをつけさせろ」といっていますがとうぜんでしょう。もちろん野党だからかんたんにいえるのでしょうが、近代史のなかで軟弱外交が国民に人気したことはありません。また中国のやり方をみればわかるように、外交は頭をさげたら許してもらえるとうものではありません。細川、村山内閣が謝罪しましたが現実はどうでしょうか。日露戦争の対外硬運動、そして「傲慢無礼な清」に断固たる対応をと日清戦争に主戦論をとなえた内村鑑三のことなどを思うとき、国民が小泉内閣の対応を支持しているとはおもえません。小泉総理は毅然たる態度で臨んでほしい。

■2005/04/13（水）歴史学の方法をやめなければ本はかけない

3 度目の風邪のぶり返しに苦しみ、この春を不調のなかで過ごしました。桜は咲き送れ咲いたら短くさっさと散ってしまいました。この数日寒さももどり、一日の佐賀 18 度にもなるような厳しい気候でもありました。床にて考えたことの一つは歴史学の意味につてでした。さまざまな史料にあたりあらたな発見をすることはほんとうに楽しいのですが、さて論文となると 200 冊、2 年、200 枚といったペースでしかかけません。最近雑誌「正論」誌紙上の福田和也氏の「悪と徳」のシリーズで巣鴨プリズンという文章をよみましたが、7ページの中にはおもに「岸信介の回想」と笹川良一「巣鴨日記」の引用でかかれていました。歴史学も引用はするけれで、このように紹介をながながと引用することはできないだろう。これらの本は非常に読みやすい通俗本でこれだけ書ける、そのことにショックをうけたのでした。これからもし何かを現らわそうとおもうのなら、断固歴史学の方法を放棄しなければならないとおもうのでありました。

■2005/04/10（日）同級生二人の通夜がかさなるなんて

お茶の水女子大の友人木村光子さんと、旭丘高校の同級生中川浩三さんが相次いでなくなりました。昨年 10 月「激動の世を乗り切る会でごいっしょしたときにはお二人ともお元気そうにみえていたので驚きます。そんな年になりました。毎日を豊かに生きるようこころがけるしかありません。お二人のご冥福を心よりお祈りいたします。
満開の桜の朝に友逝きぬ。

■2005/04/06（水）ジェンダーフリーはここまできた

男女共同参画が法制化されて以来のフェミニズの暴走がいまやっと反省されています。平成１４年にだされた文部省の「新子育て支援未来をそだてる基本のき」の中身は相当イデオロギッシュな偏見にみちあふれていましたが、ようやく今年絶版となりました。ひな祭りやこいのぼりにまでけちをつけて差別はいかんといわれても。男と女は生まれながらにして違います。両性の差異こそが面白いのだし、それは優劣とはもちろん関係ありません。「子供を生んだことがないから自分が女かどうかわからない」（大沢真理とまでいうのを聞くとさすがにかわいそうになりますが、いい加減にしてもらいたいです。

■2005/04/05（火）失われた3月　ああ風邪

お彼岸も近くなり、寒い冬の間なんとか風邪につかまらずやってこれてよかったと油断があったのか風邪を引きました。高熱、声枯れではじまりましたが、野口晴哉「風邪の効用」を基本としていますので、いやいやこれで身体の大掃除くらいにおもっていました。薬はのみません。水をのんで、熱はじきにさがります。熱はでればそれだけでばい菌をやっていくてくれるので、歓迎です。いったんは理想的に経過し、３日ほどで元気になりました。ところご、２８日雨の通夜がいけなかったです。桐ヶ谷の焼き場のまん前のお寺で親戚のおばあさんの通夜がありました。寺の駐車場はいっぱいで。やむなく焼き場のなかに駐車しましたが、夜の寒い雨の降る焼き場はそれはそれは寂しいものがありました。7時すぎ家に帰り、ひしょうにいく準備をしていましたが、何事が起こったのかと思うほど体調がわるくなり、熱はなんと39ど。ついに新人のあゆみさんにお任せするしかありませんでした。あゆみさんすみませんでした。その後の回復は咳きが気管支にはいり、子供の頃依頼の長引く経過でした。１月に母が倒れ、２月に入所、この頃就職でお店の由希さんが退職、あきえさんがお芝居の稽古で長期お休みなどもかさなって緊張しすぎていたかもしれません。この風邪で、ひしょうをお休みしたのはもちろん、田中良さんの励ます会をはじめ、マスコミドラゴンズ総会、修士論文発表会、徳川家の講演会、加藤栄一先生お別れ会、参議院議員の励ます会、呉竹会幹事会を欠席し、墓参りも終わっていません。エミールガレレ展。森山大道さんの写真展なども終わってしまいました。２６日の長田昭二さん紀子さんの結婚を祝う会だけ唯一でられました。お幸せに。
逃げ切れず悔しさツノル春の風邪

■2005/03/14（月）青山シャンドシュー

毎日辛い日が続いていますが、そんなときにはおいしいものですね。青山に昨年末開店したシャンドシューはシュークリームとキッシュのお店です。それだけならドウってことは無いのですがここのシェフはかって六本木のルコントのシェフだったんです。ルコントは今青山ツインタワーの地下にはいっていますが、それは六本木のお菓子とはかなりちがいます。シェフが言うにはなくなったルコント氏は舌が敏感で材料をかえたらだめだしだったそうです。４年前に亡くなったのですがその厳しい味のこだわりを継承しているのがシャンドシューの美ノ谷靖夫シェフです。ルコントのケーキは見てくれが地味で小さくて高かったのですが、他の店のケーキを圧倒していました。シャンドシューは味はすべてルコント氏時代のままですが、お値段は安いです。とくにお昼のキッシュランチはスープとサラダがついて５００円、近くの会社の人たちに大人気です。場所は銀杏並木出口に面した青山どうりです。

■2005/03/11（金）マータイさんのもったいない運動提唱

日本人の美徳である節約の精神に共鳴したノーベル平和賞のマータイさんが日本の小泉総理と会談したときに「モッタイナイ」といことについて感動したことから、さすがに世界の活動家ですね、国連の場で世界にむけてもったいない運動をひろげようと呼びかけました。もったいないは、かぎりある資源を大切にする重要なことです。日本でもそんなセコイとやや忘れられがちですがもったいないですよね。いろいろ。

■2005/03/06（日）東京大空襲60年

１９４５年３月１０日東京は B29 の襲撃をうけ焼け野原になりました。日本の家の構造研究し、有効な戦術検討しておこなわれた攻撃はたいへん「効果」がありました。多くの死者をだした空襲は東京にとどまらず、日本全国を焦土にかえました。文字通りの亡国の様相でありました。伝聞と、戦後焼け跡の名残しかしらない世代であってもアメリカの残虐さは身にしみています。反米は幼い頃から心のどこかにしみつい居ているのでしょう。学生の頃アメリカのベトナム侵略に反発したのも先天的？反米者にはやはりそうかとおもわせるものでした。冷戦下アメリカに反対したらソレンを利するとかそんなのではなくアメリカもソ連も中国も好きではありませんでした。右翼は新米が当時一般的でした。サヨクは反米の冷戦型でしたが、もし、右翼が反米だったら私の大学時代の活動はまた別だったかもしれません。アメリカだけが正義面をすることは認められません。

■2005/02/25（金）春の雪

２４日の深夜雪が降りました。深夜といっても１１時頃だったと思います。春らしいおおきなぼたん雪でした。牡丹といえば上野の寒牡丹も今が見ごろです。古い大成の松本さん、高校時代の同級生ひろちゃん、池田住職、コンピューターの佐藤さんも久々にきてくれて、雪見酒の後、車のフロントガラスに吹き付ける幻想的雪の中、なかなかいい感じで帰りました。

■2005/02/23（水）唐招提寺展

母の入所先の老人ホームがインフルエンザで閉鎖されてしまったので、母に会えません。いま大事な時で会えないのは迷惑ですが、心をかえて、時間をもらったと思うことにしました。上野に行き牡丹のはなをめで、唐招提寺展にいく。鑑真和上像やそれが安置されている御影堂の壁画６８点、本尊る舎那仏などが展示されていてけっこう感動的でした。公園内の料理屋さんい叔母様方が多数ならんでいました。興味ひかれはいりました。お客全員が女性で、いかに昼下がりの奥様方が優雅といっても男性客ゼロは珍しいです。お料理は精進料理で湯葉や扶などでした。だれも飲んでいない酒を頼んで、懐石のコースを食べましたが、お腹がいっぱいになってご飯も汁もはいらないくらいでした。

■2005/02/21（月）ライブドアのこと

はっきり言って、堀江という人が野球の球団を持ちたいというときにあの顔に反感を感じていました。女は男の顔をみて直感的判断をしますから勘弁してください。その後テレビのバラエティ番組に出ているのを見て好きなタイプではないけれどまあ面白い人かなと思ってもいました。しかし、今回の株の買占め騒動は許しません。金さえあれば人の顔面をひっぱたけばなんとでもなるという傲慢な態度もそうですが、なにしろ外国の資本をバックに日本のメデイアに介入してくるのはいけません。フジテレビがなんぼいい加減でも日本の独立と文化の復興を願う私としては堀江氏は売国的ないやなやろうでしかありません。

■2005/02/13（日）また半月がすぎて

パソコンの故障でメール等の送信、受信がしばらく途絶えました。それにしてもパソコンやワープロはよくこわれますね。４０年ほど前の家電もいまほど頑丈でなかったからいずれはもう少し壊れにくくなってくれるのでしょうね。おかげで、都内の修理センターの場所に精通してしまいました。物はそれでもまだいいのですが、母の具合が急激にわるくなり、１月は８日間名古屋で過ごし、限界を超えた状態で兄や弟相談して、有料老人ホームへ入所してもらいました。あまりの急なことで、ショックを受けています。体調も悪いし、辛い日々であります。鬱。

■2005/01/29（土）マハティール氏曰く

「日本は、ある国が友好国だからという理由だけで、その国が間違って場合のも支持するようなことをすべきではない。それは日本にとっていいことではない。いま日本は正しいことを支持すべきだ。私は、日本は中立の立場をとるべきだと思う。そして、弱い国の支持者になることを考えるべきだ。」と。マハティール氏の発言はもちろんイスラームの立場からの発言ではあるけれど、それなら日本は日本の立場でアメリカ一辺倒の追随路線について、将来にわたって「これで日本はいいのか」まじめに考えるべきではないか。

■2005/01/25（火）小沢一郎氏に聞きたい。

車を運転中、たまたま民主党の代表質問をききました。小宮山洋子氏。「出産にも公的費用を、介護、医療、教育へのさらなる公的資金を」と共産党ばりの大きい政府論を展開していた。「スエーデン、ノルウエイー」などを引き合いにだしていたのだから税金の増額による大きい政府を主張していたことにまちがいないでしょう。個人を政府が援助してくれるのはけっこうのようですが、この政策には増税か将来の世代に残す国債増額が必須であることも議論にもりこんでもらいたいです。共産党はここの財源を「大企業優先の政策ではなく、法人税をとれ」といっているのはご存知のとおりです。さて、小沢さんあなたは小さい政府の旗手であり、自民党をわってでもやらなければならない政策の一つとしてあったのではないでしょうか。民主党内に派閥をつくりながらじわじわ民主党権力入手をねらっているようにみえますが、「民主党を代表して」の大きい政府論をどう考えますか。

■2005/01/22（土）生活関連ハイテク展　青山テピアにて

電動車椅子、省エネカー、セキュリテイ技術などは無論、ロボットもアイボ依頼進化して、この展示にはアシカのロボットがでていました。こうなるとペットはロボット、いや赤ちゃんもロボットなんてことににも？一方ではテレビでやっていた、中国の奥地でいまなお水汲み、粉なうちなどすべてが手作業で行われている暮らしの実感をうらやましいと感じるのです。両極に人間の幅というか、いやすごいですね。

■2005/01/18（火） ２００５年ももう半月たちました。

正月は長良川のほとりで母と過ごしました。８４になる頃から言動に怪しさがでてきて、最近では女学生時代のわがままお譲さんになっています。いまでいえばベンチャーで成功した祖父の末子として蝶よ花よと育てられいた時代がやっぱりよかったのでしょう。周りはこまります。でも「百合子だけは怖い」らしく私の言うことは聞いてくれます。だからときどき名古屋にもどりますが、いまなら多少の錯乱はあっても普通のところもあるので、なるべく母のそばにいたいと思います。でもなさけなく、かわいそうで胸が痛みます。６日からはひしょうをあけました。６日は静かでしたが、７日はたくさんのお客様においでいただき幸せです。ありがとうございます。１１日には近代史料研究会が開かれその流れで座長の伊藤隆先生はじめ会の先生方にも店においでいただきました。伊藤先生は近現代史にオーラルという手法を定着させた第一人者で、たいがいの関心事に先生の手がはいっていないものは無いといっていいほどです。グレイト。大尊敬です。また年初めには東京新聞の吉原さんがテレビでおなじみの有田さんをつれてきてくださいましたが、有田さんもテレビ以上に温厚で優しそうでした。コメントに深みがあってフアンです。１２日は呉竹会の青年部のエース白石さんが自分を鍛えるため永平寺に１年こもることになり壮行会が目目白駅前の茉莉花（ジャスミン）で開かれました。小沢一郎さんの秘書もやっていた好青年ですが、元気にやってきて下さい。１年後を楽しみにして待っています。

■2005/01/06（木） おめでとうございます。

東京にもどりました。ひしょうもあけました。今年もよろしくお願いいたします。

２００４

■2004/12/31（金）今年もあと2時間ちょっと

いろいろなことがあった2004年でした。最後はあわれにも怪我までしましたがなにはともあれ、無事に1年が過ごせたことは幸せです。さて何年かぶりで紅白歌合戦をみました。といってもいろいろ雑用をしながらですが、めあては布施ちゃんのマイウエーでしたから、これだけは聞き逃しませんでした。すごくよかったです。コンサートのラストはこれに決まっていますが、本家シナトラとはちがうよさがあります。まだ人生終盤ではないというがんばり、のびやかな美声ですね。でもだからまだまだという評価もありますが、同世代人として私は支持します。来年もがんばりましょう。

■2004/12/30（木）悲惨な年末になりました

28日深夜、ひしょうにてかたずけをしていました。おおきな土鍋をもったままカウンターをくぐりぬけようとおもっのですが、バランスを崩し顔面をつよく落ちました。みっともないのですぐに起き上がりましたが顔に異様なできものがありました。お客さんにみられないように顔を隠ししめました。29日は営業予定でしたが、とても見られませんので休業になりました。飼い猫の建太もケンカで足をけがして、三本足で歩いたいます。惨めです。これで、厄が払えたらいいのだけれど。

■2004/12/28（火）忘年会においでいただきありがとう

今年は11月の梁石日氏のお祝い会、12月11日佐藤三樹夫氏ライブ、そして昨日の恒例の忘年会と3回のイベントを行いました。さすがに疲れて、忘年会のご案内が不十分でした。それでも今回は特に古くからのお客様もお集まりいただき、同窓会的な雰囲気もありました。今回は中国料理のばら肉の角煮、ローストチキンも手ずくりしました。琵琶湖のあゆのきむらからのとりよせや、大増の煮物、も用意しました。また各地からお酒の差し入れや雅子さんのお煮しめなどをいただきありがとうございました。

■2004/12/26（日）今日はいろいろお買い物

このページ実は1000字くらい書いて更新しようとしたらいきなり消えました。がっかり、がっくりです。また消えるかもしれないし、このソフトは不安定です。だからいきさつ内容割愛して、行った店だけ、のちに説明します。麻布ナショナルマーケット、銀座松屋、韓国物産、「広州市場」「ホットスプーン」以上すべて食品のお買い物でした。

■2004/12/21（火）本日発売読売ウイークリィにでてます。

何年かに一度「あの人はいま」のような取材をいただきます。政治家のころ特異な存在だったからでしょう。政治家の条件、二世でもなければ組織団体を背負っているわけでもなく、むしろ政治家ともっともとおい存在でしたから。バー経営、全共闘、そしてベレー帽、これらが面白いんでしょうね。ところで、私はこの取材の前日、朝4時過ぎまで新宿にいました。女性のお客さんに誘われかえれませんでした。その次の日の顔写真そればかりが心配だったのに、そんなもんですね。あーいや。あとのまつりですが、そんなこといこだわる、やっぱり女なんですね。

■2004/12/20（月）師走って

なんだか忙しいです。昼間車で用をするとき車の中で食事をします。やきとりとかｻﾝﾄﾞｲｯﾁですが、車を止めてではなく、車を運転しながらたべます。お行儀ではほめられるわけはありません。でも、おかげで、信号待ちはいらいらしません。携帯電話は禁止になりましたが、食事は大丈夫ですよね。でもこんなことしたくありません。

■2004/12/05（日）内野経一郎弁護士40周年記念

内野先生の40年をお祝いする会が華やかに京王プラザホテルで行なわれました。私にとっても、長いお付き合いそのうえのご子息の皆様もご紹介いただき、ひしょうの常連になっていただきました。優しさあふれる先生のお人柄には常日頃から尊敬していますが、さすが、日曜日のお昼にもかかわらっず、大勢の人が集まりました。島村大臣柿沢元大臣をはじめ、政治家、法曹界などの来賓もたくさんおいでになりました。びっくりしたのは町田の代議士が挨拶の予定はないのに、かけつけて挨拶してましたが、この人は地元では「どぶねずみ」といわれるほどのこまめに集会まわり、「よんでないぞ」といわれながらもめげないことで有名です。政治家として失礼ながらなにも成果はないのですが、あいかわらずお元気なようです。

■2004/12/04（土）小関さん結婚おめでとう

昔、落選後の町田、多摩での政治活動はそうとう厳しいものがありました。社会党支持者がはなれ、新進党に参加したことから、個人の支援者の離反も招きましたが、小関さんは最後までいっしょにやってくれました。キリスト教式の結婚式の誓約はわかりやすいですね。かわいらしい奥さんで安心しました。末永くお幸せに。

■2004/12/03（金）デコパージュ展

名古屋の旭丘高校の同級生が展来会に出品するというのでかける。デコパージュというのは細かい絵柄を箱や鏡ランプなどに張ってそれを何ヶ月もかけてぬって乾かしを繰り返すそうです。その細かさ、その気の長さ私には無縁の世界で驚くばかりです。17世紀のヨーロッパの貴族の世界で確立した技のようですが、彼女はほんとうに現代の貴族のような優雅な暮らしぶりでうらやましいといったら無いです。毎日ばたばた雑用に追い回されている自分の悲しさ。

■2004/12/02（木）和服のわずらわしさ

土曜日の友人の息子さんの結婚式にでるため、和服の準備です。不備があるといけないので、今日会場に一式持ち込みました。やはり心配したとおり襟やらなにやら面倒だらけでした。半襟を縫い付けるのは針と糸をつかわねばなりません。中学生の時何度も浴衣を縫いなおしさせられたことを思い出す。縫い方の理屈はわかってペーパーテストは百点でも、浴衣を実際に縫えるわけではないことを教えられました。厳しい先生でつらかったです。そして今回もつらかったです。着付けのプロがいいました。「私もきものをもっていても着ないです。手間がかかるから」と。なんとかもう少し簡単に着られるように考えとほしいものだが、浴衣の付けおびをくれといったら、其の店員は断固として拒否し「大人のやるものではない」しかし、一年に1度か2度しかしなければいくら帯のむすびかたをならっても忘れてしまいます。非妥協の精神を現代的に適応させてもらわなければ、着物はますますすたれるのみでしょう。

■2004/11/29（月）満月

渋谷方面から青山通りを行くと先は皇居です。そこにバーンと満月があがります。大きなぴかぴかの月には感動します。
　「街道の　先にころがる　秋の月」

■2004/11/24（水）二晩断水して

22日の夕方5時を過ぎた頃水が出なくなりました。外出していたため、それに気がつかず、深夜になって水が出ないことを知りました。あくる23日は祝日で管理人さんはきません。管理会社もおやすみで連絡は取れません。八戸あるうち5軒会社、3軒だけが個人宅であせりました。3階の人は「娘のところへ避難」し、4階のファミリーとの相談で、緊急に対応してくれると千代田区のセンターにつなぎ、ようやくきてもらったのですが、なにしろ昔の家のように単純ではありません。タンク内のポンプなのかなんなのかようするにわからないのでありました。裏のドアを開けての作業だったので、そのうちに警備会社のガードマンがかけつけてのさわぎになったというものの、どうにもなりませんでした。4階の家は子供が二人なので、デズニーランドへ避難、私はといえばこんな騒ぎで一日過ごししかも手動で少しタンクに水をいれてもらうことしかできず、ああ疲れた。山古志村や新潟の被災地の苦労の一部を知りました。都会ではそれでも避難先がいくらでもあるから楽ですが、それにしても管理とは何かと考えてしまいました。

■2004/11/13（土）外苑のいちょう祭りはじまる

恒例のいちょう祭りです。だいすきな御観兵榎の森でもさまざまなイベントが行われます。絵画館前の広場には地方からの物産展がど週末にはひらかれます。ただいま西側の数本が黄色くなりました。28日まで。

■2004/11/11（木）梁石日さん「血と骨」映画化お祝いの会

梁さんとは30年付き合いです。まだいまみたいに売れていないときから現在までその優しさと誠実さはどこもかわりません。政治的な時代をすごした私にとって多くの人たちがその政治ゆえに関係を疎にしていった人たちはたくさんいます。ある人たちにとっては、それほどなんですね、政治というものは。私はセクトや政党より人間そのものに関心があります。梁さんもいりいろのしがらみやなにかあったとおもいますが、それを超えての人間同士で付き合ってもらっています。そのような人柄を知る多くのファンがきてくださって大盛況となりました。梁さんのますますのご活躍をお祈りします。

■2004/11/08（月）今年も来年も選挙が続きますね。

荒川区長選挙には6人が立っています。みな区政一新をかかげておられますが、気になったのは政党の衆議院議員らを集めておいて「あくまで政党の推薦をうけない」と無党派を装うのはフェアじゃないです。いつか政治の変化、仕組みについて解説書を出したいですが、選挙まえの事前の公認争いのすごさは中選挙区の比ではありません。話は来年の都議選ですが、港区は民主が大塚雄二もと自民党代議士の息子さん、自民は現職清原れん太郎氏の息子さんです。国会議員の二世三世は普通ですが、都議の二世は珍しいです。それだけおいしい仕事ということでしょうね。

■2004/11/06（土）頭山満研究

頭山満は戦前たいへん国民的に人気がありました。戦争推進者とかそんなのではありません。民衆の立場にたち、人を愛したからです。アジアは仲良くっすべしは一貫していて「日本人が帰化しろ」なんていっています。戦後はハーバート・ノーマンという歴史家が、頭山や玄洋社を「日本帝国主義の源流」とレッテルを貼りマッカーサーがそれを採用したことからペケにされてしまったという経緯もあります。そのノーマンですが、ロシアのスパイ容疑でレッドパージにあって外国で自殺しました。一面的ではない史実を丁寧に古いバイヤスをはずして検討しなおしたいと日々がんばっています。

■2004/11/05（金）香田さん殺害の映像

イラクでテロリストの手によって殺害された香田さんのご冥福をお祈りします。本日あるかたからその時の画像を送っていただきました。そのてなれた残虐さを憎むと同時に、恨みの連鎖をかきたてるそのような政治的意味を考え暗澹たる気持ちです。いかにも不用意な旅でしたが、テロリストの手にかかった人を同情しないわけにはいきません。国民が「自衛隊を撤退させる」と言い出さなかったのは当然のことながらよかったですが。

■2004/10/25（月）台風 23 号につづき中越地震

今年の日本列島は 10 個もの台風が上陸し、22、23 号は熱柱が立っている東京には来ないとおもっていましたが、やってきました。ひしょうも 10 月9日と 20 日は休業しました。しかし、20 日は市ヶ谷で呉竹会の勉強会、台風でも無論決行です。講師は黄文雄氏、辛口で中国を批判していますが今回は会の設立趣旨にそって演題は「頭山満と中国」だったと思います。台風の接近ということで 2 次会は中止したにもかかわらず 30 人近い方が残り飲み会となりました。私は車だったので、はやめに切り上げてかえりましたが、東宮御所の脇は冠水して通れません。信濃町経由で帰りましたが、一部水に突っ込みました。地震の被害も集計とともに大きくなっていますが上越新幹線が脱線し、普通になっていて復旧には 2 週間くらいかかるといわれています。被災地の方にお見舞い申し上げます。

■2004/10/14（木）台風や秋雨、連休は清内路行きを中止

飯田の西に清内路という小さな人口 800 人位の村があります。一昨年この村から、市町村合併、地域活性化などについての講演を頼まれたご縁があって、今年はその神社の秋祭りに出かけるつもりでした。飯田に古くからの友人がいて、地域の名士となっているので、清内路の案内はおまかせです。しかし、台風 22 号がついに東京直撃しました。今年は九回も上陸しました。清内路につづく道もこの台風の影響で通行止になり旅行を中止しました。できた時間は本よみに当てました。笹川良一「巣鴨日記」伊藤隆「昭和初期政治史研究」「大正期「革新派」の研究」「右翼と対米観」（日米関係史5）「近衛篤麻呂「近衛篤麿日記」などですが久しぶりにまとまった時間読めて以前によんだときとよりずっと深い意味が理解できたような気がします。笹川日記は他のどの日記よりリアルで読み物としても面白いです。

■2004/10/08（金）野党議員の「お仕事」

何時の世も野党にとって重要なのは政権にある政党をひきずりおろして自らが政権につくということです。それが信念にもとずく政策によって対抗するのならいいのですが、それは簡単ではありません。野党が政権党より言い政策を提示しているとはかぎらない。勢い政権党におきたスキャンダルを利用し、国民の政権党ばなれをねらうことになるのでしょう。今回も若い永田議員が「橋本元総理を訴追しないのは問題だ」といきまいていますが、いちどテレビでみかけたところでは人のよさそうなボンボンの感じの議員さんでした。もともと他人の足をひっぱって罪人をつくることを好んでいるわけわないのでしょうが、これが「お仕事」なんですね。いやでしょうね。こんなこと言うのは。私にも苦く、はずかしい思い出があります。金丸先生の 5 億円の事件のとき「お約束のお仕事」として追求パフォーマンスをしたことが思い出されて、胸が痛みます。金丸先生は女どもの追及をうけて、すぐに議員辞職され、しばらくしてなくなれました。甲府の葬儀にはお参りし、ベレー坊を置いてきました。

■2004/10/05（火）酒が飲める酒がのめる酒がのめるぞの世界はいずこ

一年中折につけて酒が飲めるとうたった歌が昔はやっていましたが、今は雨がふっては飲まない、暑ければ飲まない、涼しくなっても飲まない、パーティがあっても飲まないと、まさに飲まないぞの昨今の状況です。うちのお客が少ないだけでなく、あたりいったい静かそうです。ゴミの山が昔にくらべてすっごく小さく思えます。

■2004/10/03（日）陸軍経理学校との縁

この夏30数年ぶりに伊藤隆先生のもとで、講義を聴いた。当時先生は東大の国史の助教授でした。私はお茶の水大学の大学院に所属していましたが、そのころ近代、現代の先生がいらっしゃらないというので、東大伊藤ゼミに預けられていました。ところが、ひょんなことから、新宿でひしょうをはじめ、ほんの少しの間の「経営」というまるで学園祭の模擬店感覚ではじめたのですが、予想に反して長期間店が続きその間いろいろなことがあって大学院には行かなくなりました。30数年またご縁があって今は政策大学院大学で教鞭をとっていらっしゃる伊藤先生にご指導をうけるようになりました。感動しています。ところで、この場所が若松町なのですが、ここは「陸軍経理学校」があった所で、父は戦時中ここで勉強をしていました。その後陸軍主計少佐となりましたが、いまでも若松会という同窓会があって機関紙「若松」をだしています。父は九年前になくなりましたが、徳川の土地に経理学校があったというのですから、今は東京女子医大とともに、政策大学院も旧徳川の土地にあります。なんだかふしぎな感じ、縁というかなんというか父が懐かしく思い出されます。

■2004/10/02（土）中日優勝、イチロー大記録

30日の神宮で勝てず、本境地名古屋ドームへと優勝決定はもちこされました。しかし、延長12回で、広島緒方にな、なんと満塁ホームランをあびて敗戦。が、ヤクルトがまめたので優勝。もり下がった優勝は落合らしいと言う人もいますが。この二日はやきもきというか、ワクワクなのかとにかく楽しかった。さて15夜もおわりいよいよ涼しくなりました。さてどんな秋になりますか。

■2004/09/20（月）安土城跡へいく

1576年琵琶湖の東岸安土の地に織田信長が築いた安土城の城址が近年発掘されました。ものの本にはその城にいたる石段の見事さは伝えられていましたがあけてびっくり、私もこんなに豪壮な山城の道ははじめてです。わずか180メーートルとはいえ、なかなか骨がおれました。昔のお侍は体力あったんですね。ところどころに寺院から持ち出したと思われる、墓石？の仏様が無造作にあちこちに使われています。信長は浄土宗と日蓮宗の宗論をこの地で行い浄土宗がやぶれたものの、信長は日蓮宗に非ありとして弾圧しています。そのこととこれらの墓石は関係ありそうですが、詳しいことは知りません。観光地になっていないので、バスなどなく、安土、近江八幡からタクシーで2000円ほどかかりますが、レンタカーなどをかりてでも行く価値あるとおもいました。天守閣が復元され、近くの記念館にありましたが、朱色、金色のどハデ、ただし置いてあるだけで、さわることも登ることもできないのは残念です。犬山城は上までだれでもあがれます。こちらは感動します。

■2004/09/13（月）黒あげは後日

坊主になってしまったキンカンの木ではもう育つことができませんでした。緊急みかんの葉を捜しネットで呼びかけたり、花屋さんを訪ねましたが、みつからず、結局のところ、夫が青山墓地でカラタチを見つけてくれたのでした。ビンのなかでさなぎにし羽化しとびたったのでしたが、犬の散歩中、大好きな御観兵榎の森でひらひらと黒あげはが頭の上を3度まわりました。きっとウチでかえったちょうに違いありません。「ありがとう」といってくれたのでしょう。

■2004/09/12（日）母のお見舞い

兄嫁からの電話で、母が発熱しているとつたえられた。兄夫婦と住んでいるので、このような時は安心なのですが、母は娘の私に依存しているところがあって、私がいかなければもっと具合が悪くなるのです。2時間でいけるのはさいわいです。「もうあるけない」状態でしたが、ベッドで昔、昔の話を聴いて過ごしました。やっと「お寿司をたべにいきたい」というところまでになったので、かえりました。老人の介護もいろいろですが、私は主に愚痴の聞き役です。なんだそれくらいと思うかもしれませんが私の方も日々苦労が多くやっとの思いで生きているので、やっぱり疲れます。

■2004/09/11（土）フリーター217万人に

厚生労働省「平成16年版労働経済の分析」によれば、フリーターは8万人ふ217万人になった。雇用情勢は依然として厳しく特に若い人たちは学校をでても職につけないことも多い。いつか日本総研の寺島さんが、年収200万層が2000万人に達しているといっていたが、中高年のリストラ後なども賃金の低下をもたらし、今や連合傘下の800万人がエリートとして存在して

いる。少子化の原因として女性の社会参加がいわれているが、かってのように生きがい、「権利」の就業ばかりでなく、働かなくてはやっていけない女性労働が圧倒的であることは不幸である。

■2004/09/10（金）呉竹会アジアフォーラム１周年パーティー

銀座ファゼンタにて開催しました。昨年の８月８日渋谷の勤労福祉会館で発会式をやってからはや1年。なんとか勉強会を発展させることが出来ました。幹事の一人として支えてくださった会員の皆様の熱意と協力に感謝します。ちなみに今までの勉強会の中身をご紹介します。10月23日ペマギャルボ「アジアの中の日本」12月8日シンポジウム「大東亜戦争の反省」1月20日「中国の正しい読み方」3月10日平沼赳夫「日本の針路と政局」5月12日元国連大使佐藤行雄「イラク情勢と国際連合」中村慶一郎「参議院選挙と日本の課題」です。（敬称略）今後は勉強会の継続とともに、歴史の正視、青年部の拡充、さらには経済人クラブをつくり、会の安定と発展を期して生きたいとおもっています。

■2004/09/09（木）民主党三役

仙谷さん鉢路さんともに昔ニューウエーブの会やシリウスで力をあわせた人です。脱落した人間としてはなんとしても大いにがんばってもらいたいものです。また明日の内閣のメンバーも大半が面識、親交のある人が大半です。ご活躍をお祈りします。

■2004/09/06（月）黒あげはが羽化しました

先日この会議室で蝶のえさとなるみかんの葉っぱを捜してくださいとお願いした、あの蝶がかえりました。もうそろそろ羽化だから、猫にやられないように注意しなくっちゃとおもっていたら、今日飛びました。猫、犬大騒ぎ。私も大感動。あんなちいさなさなぎからこれほどりっぱな蝶がうまれるなんてびっくり。
ところで、幼虫に葉っぱを食べつくされたキンカンはどうなるのでしょう。買ってきてから1年半付いていた実を落とすことも、腐ることもなく、じっとそのままにしていたのが、今年の春実を落下させたかとおもうと白い花をたくさん咲かせました。青い小さな実をたくさんつけた後に丸坊主になってしまったので、いまく実が成長するでしょうか。今度はそっちが心配です。

■2004/09/05（日）ロシアオセチア共和国学校占拠

死者の数は300とも500とも言われている。その大半は子どもである。学校をねらったテロリストの非人間的やり方を憎まない人はいないだろう。いかに追い詰められているといっても許されない。イスラム原理主義との結びつきも指摘されているが、私がみたインドネシアやマレーシアのイスラム教徒の穏やかさからは原理主義者の凶暴さは想像できない。しかし、それらの原理主義の暴走を許すその現実を無視することはできない。

■2004/09/02（木）華氏９１１

ひしょうで、華氏９１１の話になった。元朝日新聞のＭさんが「みたか？」というから「見たくない」といったところ大変なことになりました。「なんだイラク戦争に賛成なのか」べつの人が「みないでそんな事いうのはおかしい」「ブッシュがすきなの」「小泉といっしょだ」と四面楚歌。ケリーたたきの映画も上映されるそうですが、どちらにしてもその手のものはみたくないほうが普通じゃないですか。

■2004/08/31（火）夏の終わり　蝉の合唱

都会ではカブトムシやトンボをみかけることは少なくなりましたが、蝉は善戦しているように思えます。私の家のまえは外苑の銀杏並木とそれをカバーする雑木林がありますが、ここ数年でさえ蝉はふえているようです。今日当たりは真夏のミーンミーン、ジッジッジにくわえて、ツクツクボウシとヒグラシのカナカナカの寂しげな声が加わりました。ベランダに時々おちる蝉がいると、窓ごしに犬と猫が首をそろえて見ています。かわいいです。
夏ばて気味ではありませんか。「やせたね」なんていわれてドキッ。落ちた食欲を刺激するためにはおいしいものに限ります。京橋の「深町」のテンプラはいままでで一番でした。

■2004/08/31（火）こんなことで大丈夫？

昨日は台風模様でしたが、大変疲れて、九時すぎまで家にいました。たまたまテレビビタックルをやっていて、なんとなくみてしまったのですが、国連の常任理事国に日本がなるべきかどうかというのですが、自民の河野、山本、民主の原口さんらの若

手が党をとわず、熱心に常任理事国入りを主張していましたが、理事国いるは、アメリカの有事には軍隊をだし戦うことが前提ですがいかがですか（建前は国連）。憲法改正、集団的自衛権、徴兵がラインになるのは必至ではないでしょうか。愛国民の立場と国の名誉とはかりにかけて深い思考をお願いします。森永というひとが、「国連の常任理事国になってアメリカに対して拒否権をどんどんだせばいい」といったのには驚きです。そんなことできません。そこまで幼稚の人が大声でしゃべっている日本って心配です。

■2004/08/29（日）猛暑おつかれさまでした。

台風の影響があって、雨模様です。おかげで、すごく涼しいです。猛暑がうそみたいです。オリンピックは日本選手の大活躍でうれしいで。でも、皆睡眠不足ではありませんか。ひしょうは夏休みは14，15，16日でしたが、8月は実質的にはお休みムードの静か過ぎるほどでした。夏の疲れを癒しお出かけください。

■2004/08/28（土）今日のひしょう

夏の終わりのひしょう、昨日の深夜は若い人が大勢いらっしゃいました。石原莞爾研究家、政治評論化、沖縄出身の歌人、政策研究所職員などです。カウンターの中にも若い智子さんとあきえさんがいて、昔のひしょうのような感じでした。同世代はすでに名なり功を遂げた人も多く、勉強になりますが、若い未来をになう人々が集い交流していただけるのはうれしいかぎりです。

■2004/08/28（土）斉藤道一さんを偲ぶ会

函館出身の斉藤さんが5月7日になきなった。その偲ぶ会が「ゴールデン街「かなぶん」のママ田名網さんらの呼びかけで開かれまいた。小人数とはいえ、ゆかりの濃い、方々が集まりいい会でした。篠田正浩監督もいらしていて、斉藤さんの「ゾルゲの2，26事件」に言及されました。ご冥福をお祈りします。

■2004/08/16（月）お休みは畑毛温泉で

14，15，16日を休みにしましたが、お盆はその前の週に母をつれて、犬山ですごしていたので、東京にいました。16日になって退屈で畑毛に行きました。角万旅館の庭は5千坪、蓮が咲きモリアオガエルが生息する、なかなかの宿です。温泉の源泉は36度、したがってはじめは冷たいと思うのですが、ながく入るとポカポカします。長湯ができるので、おば様達との会話もはずみました。熱海を通っていきましたがまだ夏休み真っ盛りでしょうか、渋滞がひどくうんざりでした。

■2004/08/11（水）ご無沙汰でした

参院選は共産党の大敗北、自民の保守バネなどいろいろありました。なんだか疲れてずっと鬱の状態でした。それでも呉竹会勉強会、大学院の集中講義、衆議院に就職を希望している後輩の相談、下田の白浜の花火大会、高橋はむさんのプロジェクト猪の10周年に参加、同志社の田中真人先生がおなじく旭丘高校の先輩浜四津さんをつれてひしょうに来店、副島隆彦氏も絶好調で来店、四谷に倉庫を借りて荷物を運び、娘のコンタクトレンズ禍で心配したり、福井県池田町の兄の奥さんの実家が集中豪雨の被害をうけたので応援に行き、名古屋の母を見舞い、この7日8日は犬山にて弟家族と母の慰労の旅などで忙しくしていました。山岡さんに励まされこれからもボツボツがんばっていきます。

■2004/07/03（土）伝通院、満月、邦楽の調べ

文京区の伝通院で中村洋子さんの作曲による琴、能管、日本舞踊の演奏が披露されました。「娘道成寺」や舞踏では「鶴の恩返し」がすばらしい邦楽の調べで満月の寺に響き渡りました。日本の楽器も進歩して、琴が13弦であるばかりか、今回は宮城みちお考案の17弦に加え20弦の琴の調べは音域のひろがりもさることながら、深い味わいがありました。かってトラストを組んで活躍された星川狂児（恭二）さんの顔もおみうけしました。「もしかしたらお竜さん、でもこんなとこであえるとは」と久々のご縁もうれしかったのでした。

■2004/07/01（木）年金、多国籍軍、竹中の3点セットで自民大敗

1989年の参議院選挙でリクルート、消費税、宇野の三点セットで自民が大敗し、社会党の土井たか子さんが、参院で首相に指名された。今回の自民も極めて厳しい選挙選で、民主はだまっていても、いやだまっていれば票はすべりこんでくるだろう。田中真紀子はこのような情勢のなか小沢との連携に向け一歩も二歩も踏み出している。自民が下野したあとは、鷹はの民主

対ハト派の自民の2大政党になる予測します。その場合のたか、はとが日本の国益にたった機軸ではなく、アメリカの意向にそったたか、はとになるので、アメリカべったり度は民主でさらに強くなる可能性がおおきくなるでしょう。

■2004/06/23（水）参議院選挙

明日告示。それにしても毎年、毎年選挙をしますね。民主主義のシンボルとはいうものの、昨今の国会の軽さにはうんざりです。小泉総理は日米同盟の堅持を前提にした外交においてまずまずの運営をしてきたかにみえましたが、ここにきて多国籍軍への参加を約束してしまったのは勇み足です。国民の平和願望と、それがやぶられる事に対する過敏な危機感に火をつけました。参院選挙は楽ではないでしょう。それにしても、いつも自民党の中から選挙に対しての馬鹿とも言える楽観論がでてくるノーテンキさには驚かされますが、森とかいう元総理あたりですかしら？

■2004/06/20（日）それにしても人間てどしてこうも「革新」なの

台風6号の接近が予想されていたので、母のお見舞いを中止しました。もう一週間も梅雨の晴れ間とかいってますが、晴天つづきで、真夏のような日々です。東京のとりわけ港区、新宿区のあたりを車で走ることが多いのですが、ほんとに日々環境が変わります。店がなくなって、別の店舗になっているなんてことはざらで、建物自体が建て替えられていることも多いのです。港区は特に徹底した開発主義をとっているので古いものにはどんどん壊されていきます。明治、大正期からようよう生き延びてきた趣のあるたてものが消えるのは本当に残念でなりません。私は自分の実家で88年もたっている古家を壊してコンクリートの家にするというとき、反対しつずけて、母や兄と対立してしまったことがあります。持ち物も古きよきもが好きです。つくずく保守的だなあと思います。それにしても「革新的」なるものの力が強く、街も山も変化をしています。どうして同じままじゃいけないのでしょう。保守万歳を唱えたい気持ちです。ところで、その「革新」のおかげで、東京が坂の町だったことを感じることが出来る場所があります。旧防衛庁の跡地を東大の生産研の方から見ると赤坂方面のビルが沈んで見えます。江戸の浮世絵の構図がフィクションでないことに感動します。大規模開発がはじまっていますから、じきになにも見通せない狭い東京になるのでしょうが。

■2004/06/19（土）非再販本をかいました

長い間出版物の再販制度によって売れのこった図書が裁断し燃やされてきました。その数年間1億冊だそうです。もったいない。売れ残った本も定価が鉄則でしたが、やっとそれが解除され低価格の本が登場しました。私のところにおくられてきたカタログをみると、もともと趣味の多読派としては読んでみた、こんなに安いなら欲しいという気持ちを抑えるのが大変です。買っちゃいました。『血筋はよこからはじまった」「天皇制国家の形成と民衆」「大東亜戦争と兵士」「兵士」「世界はこうなる」「パブの看板」「怪猫鬼談」「戦後の社会変動と神社神道」「新家族論」「もう一つのスペイン史」「人はなぜ迷信を信じられるのか」「最後の熱帯雨林」「聖書と日本人」「仏教思想」中橋和泉町松崎晋二写真場」などです。統一的ではないまさに趣味の読書です。いつもこんな調子ですから、なにものもならないんでしょうね。

■2004/06/18（金）呉竹会青年部発会

白石さんを中心にして、１１人の若い方々が集まり、私も激励にいきました。会場となった目白駅前の中華料理店には孫文の「博愛」の額がありました。アジアの連帯と日本の独立を若いひとたにに、担ってもらいたいものです。

■2004/06/08（火）無名烈士80年法要

大正 14 年アメリカの「移民法」に抗議して自刃した烈士の追悼会が赤坂の円通寺で行われました。黄禍論が公然ととなえられていた時代でしたが、露骨に日本人の移民を禁止した民族差別に抗議したのですが、いまどきはこれほどの激しい意思を持つ人はいそうもありません。

■2004/06/02（水）どうなってる民主党

年金未納問題に端をはっした党首交代劇はなんともお粗末笑止でしたが、ドサクサの末党首になった岡田氏が就任そうそう「断固年金改革法案を廃案にする」といったことにはびっくり。菅前代表の幹事長として与野党3党合意をした張本人の前言を平然と覆したのでした。政治家に誠実さや正直さ真面目さをもとめるのは所詮無理なはなしとはいうものの、信義とかないのですかね。そして今度はゲシュタポまがいのやり方で、小泉総理の過去に勤務実態があったのないので国会でさわいでいますが、見苦しいです。おとなしいいつもにこにこの千葉議員がこのくだらん追求の役割をやらされているのをみてかわいそうに思います。いいかげんにして。

■2004/05/31（月）先週は多忙に

月曜日ドクターゼミ発表者は真辺さんの「末広鉄腸」「非戦論のはしり」の説もあるので議論、しかし、鉄腸のは避戦であって1903 年以降の幸徳、内村の非戦論とは区別されなければなりません。火曜日は深川の整体協会道場へ。水曜日は娘の留守番に行く予定が体調悪く中止。家の雑用ですごす。木曜日お昼頭山先生の事務所でお昼をいただくきながらの打ち合わせ。2 時 30 分旧竹橋会館にて暮らしのリサーチセンター総会、記念講演、パーティー。金曜日約束してあった特別資料の閲覧のため近代文学館へ。6 時四谷ケーアンドデーの事務所開き、そして土曜日は旭丘高校 18 期同期会。料理はおおざっぱでがっかり。金、土つずけて朝までひしょうを営業したこともあって、はっきりいって具合悪く病気です。年を考えてあまり無理の無いスケジュールにしたいと思います。

■2004/05/30（日）橋田さん小川さんの死を悼む

イラクにおいて人道活動をしていたお二人の虐殺を悲しみます。犯人にたいしてはそのおろかさを憎みます。橋田さんの奥様が悲しみをこらえて「覚悟はしていました。本望だと思います。」というのを聞き、胸に迫るものがありました。話は飛びますが大逆事件で刑死した幸徳秋水の母が最後の面会をしたあと涙一つみせず「おまえもしっかりしておいで」と告げた意地、芸術家の秋山裕徳太子さん御母堂が女で一つで苦労して秋山さんを育てたのに「ああいい人生だった」といってなくなったことなど、女の人は立派です。

■2004/05/22（土）小泉総理おつかれさま

なにはともあれ小泉さん以外だれもが手をつけなかった拉致問題が現実的に一歩一歩解決しています。北朝鮮との交渉は一筋縄ではいきません。だから誰もやらなかったのだし、また家族会が夢想するように簡単に全面解決とはならないのでしょう。それにしてもこの家族会「子どもの使い」「あんなのなら自分のほうがもっとましに出来る」「最悪」とはいくら当事者としてのもどかしさがあってもいいすぎです。曽我さんの旦那が来たがらないのは、アメリカの訴追の問題ではありませんそれなら小泉さんが保障したのだから。彼はアメリカをすてて亡命し北朝鮮になじんできたのです。日本に来たくないのかもしれません。そうなれば、ひとみさんが何らかの道を選択しなければなりませんが、それは小泉さんの責任とは関係のないことです。

■2004/05/20（木）近代文学館でほんものの書簡をみる

幸徳秋水が死刑判決のあとに書いた書「獄中偶感」を確か幸徳の郷里中村の郷土資料館でみた。しかし、神崎清の「幸徳秋水」のなかにこの書が駒場の近代文学館に 1966 年鈴木茂三郎を通じておさめられたとあったので、おやと思い訪ねた。「獄中一」は写真でしたが、その代わりといってはなんですが、幸徳関係の特別資料つまり本物がたくさんあったのです。幸徳にあてた中江兆民、竹久夢二、田中正造、木下尚江、北一輝、大杉栄、中里介山、田山花袋などの、スターたちからのはがきが当時の雰囲気を伝えるので感動のあまり涙ぐんだのでした。幅広い人脈を持っていました。そして何より師兆民が「お前は文学の人間」をいくべきといっていたその言葉のように文学館にたくさんの資料があったのでした。

■2004/05/18（火）仙谷由人さん民主党の政調会長に

小沢さんが党首就任の挨拶をしていて決まりと思っていたら、朝のニュースで岡田さんで決まるようなことをいっていたので驚きました。なにしろ未熟な民主党、なにがあってもそう驚くことは無いかもしれないが、年金未納「実は僕も」となった小沢氏が小泉さんにむかって「私も党首就任しなかったから、あんたも総理やめろ」といったのには驚くより笑えた。ついに落ちるところまでおちたんですね。しかし、仙谷さんはすごいです。仙谷さんが党首なら民主党にも希望があります。

■2004/05/14（金）岡庭昇さん出版お祝い会

赤坂の中華料理店で、和気藹々のいい会でした。大好きな梁石日さんもいらっしゃいました。さすが大作家の交友関係おもろいひとばかりでした。昔新宿区役所の区長室で切腹をはかったひと、競輪選手にいれあげて、7000 万円スった人愛人にせまられ奥さんにないショで離婚届けをだした人、4 番目の奥さんとの生活を 3 番目の奥さんにめんどうをみてもらっている人などなど。名作「血と骨」のおもしろさは交友の面白さと無縁でないかも。

■2004/05/09（日）国会議員の年金

冷静になって考えてみると、官房長官が国民年金の未払いの問題で辞任したことは実は深い問題を含んでいます。まず第一はマスコミがいかにも非道のような書き方をしてその論調に国民のマスがそれを合唱しているということが情けない。ひしょう

のお客の多くはそれほど単純なひとは少ないですが、たまにそのような人が大声でしゃべるときは不機嫌になってしまいます。国会議員年金について私の体験をいえば、次のようなものです。国会議員互助年金というものがあって、本人の「自覚」や手続に関係なく毎月 9 万 7911 円（平成 2 年）天引きされています。そのような互助年金に入ったかどうかをとわれることは在りませんでした。この年金は 10 年以上国会議員を務めた場合のみ年金がしはらわれるので、したがって 3 年 4 ヶ月しか議員の場合は当てはまりません。総額 400 万ちかい年金歳費からを支払いました。今回未納で槍玉にあげられた議員にとってこれが国民年金の基礎部分を含むと考えていても不思議ではありません。そのことは制度の問題ひいては官僚の責任部分がありますが、この国のマスコミ議員たたきになれすぎ、また国民もそれれを歓迎してきたのですが、犯意もない罪人をつくりましてや、辞任に追い込むなどあってはいけませんが、政治業界は常にスキャンダルさがしの抗争こそ本質なのです。枝野議員はこのながれにのってポイントをとろうとやったのでしょうが見方までき斬ってしまったんですね。

■2004/05/08（土）福田官房長官の辞任

国民年金未払い問題で辞任、民主党内でも菅直人代表の進退が注目。民主党に小沢氏が自由党を解党して合流したとき思い出したのは「庇をかして母屋をとられる」ということわざだったのですが、いままさにそのような状況になっています。しかし、このような路線を引いたのはいま崖っぷちの菅氏です。しかも、小沢氏との合流策動の鳩山前代表をその路線ゆえにひぎずりおろしての代表就任でした。しかし、権力の主導権をめぐる争いにはつきもので、それをきたないといってみても意味がないのが政治の業界の常識でしょうが。古くは征韓論をしりぞけ、その後台湾出兵にふみきった大久保利通の例があります。そして、このような権力争いは満州事変での関東軍の暴走をとめるどころか支える役割をはたした野党の存在など、困った問題をどう考えるかですね。

■2004/05/06（木）御観兵榎の森と外苑周辺

下田行きを悪天候のため中止したので、休みのあいだ東京で過ごしました。つんであった本をよんだり、大井埠頭公園のドッグランにいったりのほかは、近くを散歩していましたが、なんといってもおすすめのスポットは明治記念館のななめ前にある明治天皇が観兵したといわれる場所にある榎の一角です。前に櫻や梅の案内はしましたが、木々の新緑とともに、今ごろは雑草が芽を出し、子どもの頃の環境に浸れます。たんぽぽ、すみれ、オオバコ、露草、かたばみ、へびいちご、ヒメジョオンなどなどが、いまどきの雑草排除の考え方とは無縁に整備されています。こけむすところ、きのこのあるところ、いたるところのモグラの穴、いく種類もの野鳥など、近頃の都心ではありえない環境です。井の頭公園や多摩の公園もいいところがありますが、このような自然を尊重した整備がなされているところはないでしょう。人も少なく静かで、ほんとびっくりするようないいところです。ここは明治神宮の管理する土地なので、草木にも神が宿るとする神道の考え方に関係あるのかもしれません。4 時半までで閉まりますのでご注意。

■2004/05/03（月）仲田厚仁さんのこと

サンケイ新聞「凛として」にカンボジアにはいっていた国連職員の仲田さん記事が連載中です。1992 年 8 月私はカンボジアのプノンペンに視察に行きました。自衛隊の先遣隊がおなじころプノンペンにいましたが、仲田さんも 7 月からプノンペンで選挙管理のための研修をしていました。プノンペンは夜になるとどこからともなくドーンとなにかが破裂するような音がしていました。もちろん電気もなく、真っ暗の闇です。それでも昼間は明るい南国の太陽の下「家族はポルポトに殺された」といいながらも懸命にがんばっている若者たちがたくさんいて、キリングフィールドの暗さを感じるのは難しいような感じでした。しかし、明石さんがぎりぎりにやせておられたことは、虐殺のシンボルとなっていた元高校の光景をみるまでもなくカンボジアの厳しさを物語っていました。仲田さんは目のキラキラしたステキな青年でした。「長谷さんボランテア休暇をとれる制度をぜひつくってくださいね」と陳情されたのだが、果たすことは出来ませんでした。仲田さんは 1993 年 4 月 8 日に任務途上射殺され、私はこの年 7 月の総選挙で落選した。このシリーズは何回続くのかしりませんが、あらためて、仲田さんの人柄を思い出し、ほんとに惜しい人をなくしたものだと残念でなりません。ぜひ読んでみてください。

■2004/04/30（金）遺伝子スパイ事件の主任弁護士さんを祝う

ひしょうではほんとにめったにないことです。モエ・エ・シャンドンでお祝いしました。グラスを20ばかりそろえるのが小さな酒場としては難儀でしたが、ゆかりのかたがたにおあつまりいただきいい集まりになりました。作家の梁石日さんは昔からのお客さんですが、任侠にあつく、どんなに売れて忙しくても私の頼みは聞いて、おいでいただきました。清井弁護士の東大時代の先輩の山田徹教授にも声をかけたら快くきてくださいました。はむさん、ジュンちゃん、サトケンさん、佐藤さん、雅子、正子の両まさこさん、山ちゃん、弟とお連れの三好さん、哲学者小坂修平さんは風邪で「お茶しかのめない」のにきてくださったし、李社長は仕事があっても、とまれ駆けつけてくれました。エッスン、道子さんもありがとうございました。

■2004/04/10（土）名古屋へ

つきに 1 度以上は母をたずねるようになりました。最近はすごい脅し文句を頻繁につかうので弱いです。「親と仕事とどっちが大事」とか「もういつまでいきていられることか」といったいいかたです。兄家族と同居していてもそれだけでは満足できず、「百合子。百合子」といってくるのはありがたくもありますが充分に満足させられません。「東京なんかにいっちゃったから」と名古屋人のもつ根源的不満でぐちられるのは辛いです。

■2004/04/09（金）イラクで人質

善意のみで危険をかえりみずがんばっている人たちを誘拐する卑劣さを許さない。しかも「自衛隊をひけ」と開放の条件にしていることのバカさかげんは卑劣のみならず頭がわるすぎ。小泉総理の対応の沈着さ、正確さを支持します。それにしても情報が錯綜している。一刻もはやい人質の解放を祈ります。

■2004/04/09（金）入学式

1967 年に入学したときとおなじ講堂です。学長が「年齢もさまざま」といってくださったが、それでも年齢がいきすぎていて恥ずかしい。父兄か先生でしょうふつうは。若気のいたりをいまごろになってツケを払っています。でも学問は学問なんて堅苦しいものではなく超楽しいです。プロがうらやましい。

■2004/04/04（日）さくら、サクラ、櫻

3 月 19 日の開化依頼さみだれ的に咲きつづけ今日の雨にもまだたえて咲いている。新宿御苑でお花見にさそわれていたので、でかけてみたものの、数組をのぞいてお客の姿なし。かんがえてみれば、いつも雨天決行でよる我がひしょうの花見が変わってるんですね。静かな雨の櫻を堪能しました。ところで、青山の東宮御所の隣は明治天皇のゆかりの榎のある森がありますが、ここは土地も整地せず自然のままに手入れされていて、都会では珍しい昔の野を感じられます。当然櫻も吉野の櫻の風情です。ぜひみてください。4時半閉門。

■2004/04/03（土）小池百合子氏

日米和親条約百五十年を記念した植樹は小泉総理と小池環境相によって行われた。相変わらずの美貌とミニスカートの健在ぶりを披露。それにしても政界で田中真紀子、森山真由美、野田聖子氏らは政界の二世、三世、妻のお決まりの立場があってこそですが、小池氏はそれらの政治家族出身ではないが、同僚の高市早苗氏を引き離しての見当ぶりはさすが。細川、小沢、そして小泉と三代にわたり「パートナー」となり出世してきた。今度は「権力のある男の見分け方　使い方」をぜひ執筆してもらいたい。

■2004/03/27（土）柴垣和夫先生退官記念講義

お茶大時代の明快な講義で、経済学にはまった頃を思い出しました。今日もさえていました。26 歳にして名著「日本金融資本分析」をかかれそれで博士号をとられたのですが、学問、教壇の崇高さと酒席の人間的暖かさの両方がいいのです。ますますお元気でご活躍を。

■2004/03/23（火）文春差し止め事件にみる田中真紀子娘の暴君ぶり

政治家の娘が私人といってもなじまない。それよりなによりあのような記事にたいしてなぜ差し止めができるというのか。言論の自由を獲得するのに苦労をしてきたのに、これではなにも書けないではないか。人間は家族か敵か使用人しかいないといわれるあの母にしてこの娘である。いやな感じ。

■2004/03/19（金）イラク戦争 1 年

泥沼化の観をていしているのは遺憾なことです。イラク戦争開始から 1 年。スペインが大規模なテロにみまわれ、直後の総選挙で与党がたおれ新政権はイラクからの撤退をきめた。「テロに屈してはいけない」のは当然としても、現実に日本で同じようにテロがおきたら、政権はもたない。今のところある「イラクも大変だからイラク復興に援助することはやぶさかではない」という国民的許容は一瞬にして吹き飛ぶだろう。テロに屈するべきでないの理念より現実的不利益が優先されるのは世の常。小泉総理はこのようなありえる「現実政治」にどんな対応をするのだろう。それにしてもテロ対策は限界がある。無差別の、やりやすいところをやる卑劣なテロを憎みます。

■2004/03/18（木）ここのところ

2 月 28 日早大において初期社会主義研究会勉強会「安部磯雄」29 日中井英夫展のオープニング、3 月 3 日古賀たかあきさんの参議院選挙のための事務所開き、4 日大学院博士課程入試、夜「最後の浪人阿部勉伝」出版パーティ、5 日朝娘真紅出産、7 日整体協会、10 日第 5 回呉竹会平沼赳夫先生を講師にお呼びする。12 日麻布六本木界隈切り絵散歩、13 日町田百合の会会長渡辺清重さんのお見舞い。14 日姪理恵子さんの明治公園フリーマーケットに参加、17 日衆議院全議員会総会と議長招待パーティ後は娘の応援でいったりきたりでした。大おばあさんをつれいったり、食事の世話や病院の送り迎えなどなどこのときばかりとしっかりおばあさんの役割を果たしています。

■2004/02/28（土）春がきましたね

初期社会主義研究会の２月の勉強会、今回は安部磯雄の早慶戦百年の展示も前に、安部は幸徳らとともに活動をしていましたが、早稲田の教授になり野球の神様として名を残しています。ところで会場の早稲田大学の本部の桜が満開でした。染井吉野ではありませんがとてもきれいでした。こぶしも咲いてます。家のベランダの桜も今年もきれいに咲いてくれました。ここ外苑では梅は盛りをやや超えて花びらをちらせはじめ、ぼけがさきはじめています。何よりも神宮の杜の木々がピンクのベールをかぶったようになってきました。一本一本の木々に芽がまだ出ているわけではないのですが、芽吹く予兆です。やはりなんといっても春の到来はわくわくします。

■2004/02/26（木）キャノン元社長川路敬三さんのお別れ会

愛知一中の卒業で同窓会の先輩のご縁で何度かおめにかかった。実年齢よりそうとう若く感じられたし、実際お元気そうでした。昨年暮の２６日になくなられましたが、直前１３日には千葉工業大学で講演をされていた。物理学でノーベル賞の大望は実践社会のなかで画期的な複写機を開発するなど会社だけでなく社会に大なる貢献をされたのでした。気さきな人柄は一家皆 B 型のなかでいっそう磨かれたのかもしれない。ご冥福をお祈りします。

■2004/02/22（日）名古屋に行く

近頃は母の具合も殆ど以前にもどっているの。「あのときのことはどうだったのかしら。まったくおもいだせない」という母ですが、都合の悪いことをわすれられるのはほんとに幸せなことです。それにしても、お嬢さん育ちのわがままがまるだしじゃかないません。もうぜったいボケないで。

■2004/02/19（木）伊香保温泉でお祝い会

論文完成を祝して群馬県立土屋文明記念館の学芸員石山さんの音頭で勉強会？をやっていただきました。専門家のまた新しいご指摘にますます、興味深深、有意義な会でした。

■2004/02/18（水）伊藤隆先生におめにかかる

１９７１年頃、伊藤先生のゼミにださせてもらっていました。伊藤先生を尊敬していたからですが、なんと脱走してしまったのです。一つには大学に異議をとなえた後ろめたさがあったかもしれません。政治史の大家中の大家で関心をもってすすむとそこにはそこには必ず伊藤先生がおられます。３０年たって論文をよんでいただき光栄です。しかも、「おもしろい」といっていただければうれしいです。

■2004/02/13（金）１３日の金曜日って

今日はへんな日だった。金曜日にもかかわらずお客さんは少なく、いらしたのは、何年かに一度のお客でそれも最初からひどく酔っ払っていた。というかアル中の０ーサン、終始めろめろでついにふたりで仲間割れのけんか。それに仲裁に入ったエスさんだったが、こちらもめちゃくちゃ酔っていて、穏やかな文人二人を帰してしまっていたのだった。話がよけいにややこしくなるのは当然だった。一挙に元ボクサーが武力制圧にでた。この一部始終がつまりたまたまテレビカメラが入っていたときに起きた。こんなことほんとに何十年に一度でしょう。やはり１３日の金曜日は不吉でした。

■2004/02/11（水）イラク派遣部隊の無事をお祈りいたします。

士気たかく、誇りをもってイラクにいった自衛隊の皆さんに心より感謝いたします。国際社会の一員として、38カ国の国々と連携しイラクの現状をよくするための支援にどうして反対できましょうか。アメリカのイラク攻撃に反対だから、今回の復興支援に反対するということにはなりません。危険がないわけではありません。しかし、危険だからいかないという論理は成り立ちません。危険がないわけではありませんが、戦争をしているわけではなく、日本の派遣先サマワでは歓迎されていることが伝えられほっとしています。

■2004/02/09（月）「団塊の世代と子ども」シリーズに出ます。

というわけで、このおばさんになってからの大学院通いは「絵になる」らしく、小風先生のゼミで発表するところを撮らせていただきました。修論から1年幸徳秋水のライバル「潜夫」が不明だったのですが、雑誌に発表したおかげで九大の清水靖久先生に内藤湖南であることを教えていただきました。また、「論文をフォローする論文」といって同志社の田中真人先生にすすめられて読んだ「非戦・反戦論の遠近法」（岩波 「文学」2003年9，10月号）で神聖化された幸徳をだれがつくったのかがわかりました。小風先生、ゼミの皆様ありがとうございました。

■2004/01/29（木） 犬が脱走しました。

ひしょうは静かな日。信濃町まで終電でかえり、たまには犬の散歩をてつだおうと駅から銀杏並木をとおって帰宅しました。途中主人とおちあい、並木で犬をはさんで走らせていましたが、なにをおもったのか脇の茂みにはいってしまったんです。すぐに戻ってくるだろうと思ったのですが、どこへいってしまったのか、そのあと神宮一帯を朝までさがしまわるはめになってしまいました。権田原の東宮御所脇の交番に泣きつき、似顔を書いておきました。ありがたいことに、青山1丁目の交番のおまわりさんがすぐに自転車で捜し手くれましたが、みつかりません。家でまつほかなく、カーテンをあけはなち窓のそとを注意してよこになってたところ午前4時45分交番から「保護してますよ」と電話、ふらふらで犬をひきとりにいったんですが、犬はうれしそうにおまわりさんになついていました。ちょっと叱らなければとおもっているのに「いい犬だ」とほめられまくっていやどうしたものか。ほんとに疲れました。

■2004/01/28（水） 山本義隆氏大仏次郎賞受賞

[磁力と重力の存在」で受賞、本日受賞パーティがおこなわれた。出席していた松永教授っから「長谷さんもぜひめざせ」のエールをいただきました。山本さんは東大全共闘の議長として、東大闘争のみならず、全国のカリスマ的指導者でした。安田講堂前の全国全共闘の集まりのときの演説をしていたのでしょう。騒然として、緊張する一方希望的というかわくわくした雰囲気だったのでした。多くの東大中退者がいましたが、復学が簡単なので、その後復学し教職についている人も少なくありません。山本さんは復学をせず予備校の教師をしてこられました。その間今井澄さんらと東大闘争資料をまとめ、1992年これを国会図書館におさめていますが、そのほか政治的な発言をされたことはなかったと思います。今回の受賞は物理学の専門領域のものです。ほんとかっこいいいいです。本はたくさん売れているそうです。おめでとうございます。

■2004/01/26（月） 古書展でおどろいたこと

東急デパートの古書展にいきました。大抵はインターネットの「日本の古本屋」で検索してかうのですが、たまに用もなく本を見るのもいいです。今回驚いたのはあの時代、つまり1960年代後半の本が出品されていたことです。「反逆のバリケード」「成田闘争」関係、全共闘ものなど青春時代をおもいださせるラインアップでした。しかも、100円とかでなく、1000円、1500円くらいしていました。いよいよ研究対象なんですかね。私は全部どこかにいってしまってます。

■2004/01/25（日） 森岡正博「無痛文明論」

「苦しみとつらさのない文明は、人類の理想のようにみえる。しかし、苦しみを遠ざける仕組みがはりめぐらされ、快に満ち溢れた社会のなかで人々はかえってよろこびを失い、生きる意味を忘却してしまうのではないだろうか。」このような書き出しではじまる、氏の文明論にはまりました。平易な文章も現代的でわかりやす。7章私の死と無痛文明は氏の体験してきた死の恐怖をここまで率直にいってのけることにより、共感もある。死の恐怖の大きな部分は現に幸せであることの裏返しでもある。

■2004/01/24（土） 幸徳秋水93回忌

代々木の正春寺で。明治大学山泉進氏が会長、氏は幸徳の生まれ故郷土佐中村の出身です。この会に私は始めて参加したのですが、茶話会形式で和やかな会です。しかし、大逆事件のゆかりのかたがたが全国から集まります。会報は毎号新しい情報がのせられ「研究者にとっては絶対会報が役に立つ」と山泉氏。大逆事件の犠牲者の復権が近年すすみ、中村では市長さんが平民社100年の集会に参加され、また「幸徳秋水通り」ができそうとの情報もあります。また新宮、中村ともに数年前、

大逆事件の陳情が採択されています。百年たてばやっと歴史も正当の評価されるのかもしれません。歴史学の戦後の共産党や新日文などによる政治的な主導からもぼつぼつ解放されつつあります。

■2004/01/20（火）代4回呉竹会アジアフォーラム開催

今回は中国全土をほぼ歩いてきたという宮崎正弘氏を講師にして勉強会を行いました。現在の権力の中枢はだれかからはじまり、中国脅威論さえある、中国の経済、社会のほんとのところをわかりやすく話されました。それによれば、中国社会はあらゆるものの格差がはげしく、栄え発展しているのはきわめて限られた層だけであるということです。「人口1億を日本に輸出」しなければならないとなれば、日本はどうすればいいのでしょう。

■2004/01/18（日）友人たちの芸術に感動しています。

１６日東京芸術劇場で東京ニューシティ管弦楽団による「蝶々夫人」が上演されました。旭丘高校の同級生内藤彰氏が指揮するコンサートオペラでしたが、音楽、オペラともに最高でした。とりわけ、日本の鐘の音を作り出すための新作楽器なども紹介され、画期的な演奏として、内外に高い評価をえました。１７日はシェイクスピアの「冬の夜話」をみました。奥村真もおもえば、同窓の後輩でした。本当に面白く、メンバーもみな実にいきいき楽しそうでいい感じです。芸術はすばらしい、うらやましいと思ったところで、旭丘高の同期に連城美紀彦氏と作曲家新美徳英氏もいます。連城氏は有名作家ですが、新美氏も有名で、「風を聞く」という現代音楽で評価を受けています。東大や京大に入る数では、当時全国ランキングで常に上位をしめてきた高校ですが、芸術分野もばっちりです。皆さん東大、早稲田、名古屋大などにすすんだあとに芸術的才能を花開かせているのです。

■2004/01/15（木）今年こそはと思ったのに

２００４年ももうすでに半月過ぎました。年をとるとなぜ一年がはやいのでしょう。「それは１０歳の人にとって一年は１０分の一、５５歳だと５５分の一だから年をとるにしたがって短くなるんだよ」と会計士のTさん。今年は深夜営業を自粛し、時間を作ろうと決めたのに、先週の木、金はひどかったんです。おかげで、体調の悪い惨めな連休でした。今日は定時１２時閉店、帰り道の新宿どうりに、先日の満月が半分になって、ビルにひっかかって笑っていました。

■2004/01/08（木）大きな月がぽっかりと

あけましておめでとうございます。あっというまに、年末年始が過ぎていきました。今日久々に調べることがあって都立中央図書館にいきました。あいにく休みでそのままひきかえすしかありませんが、車が仙台坂の上にさしかかったときそこから見える東京タワーの真横にそれはそれは大きな輝く月が浮かんでいました。その神秘さに驚くもつかの間坂を下れば月もタワーも見えません。麻布十番は、地下鉄大江戸線の開通でにぎわっていますが、商店街の内容は随分と変わりました。電気や、カーテン屋、酒屋、瀬戸物屋、飯屋、文房具や、家具やはなくなり、其の後は 100 円ショップやチェーン展開の飲食店になりました。選挙に出るまでの１６年この界隈に住んでいましたが、今は生活に密着した懐かしい町並みは随分と様変わりです。今お勧めできるのは、十番商店街メインから、せんだい坂方面へいったところの鳥章、ここはもともと不通の鳥やさんでしたが、いまはご夫婦仲良く焼き鳥を焼いています。その隣がトラックの魚屋さんで前にも書いたことがありますが、最高の魚をいつも持っています。十番中央の魚和津さんの番頭さんだったのが、何年構えに独立しました。セイフーの隣のお惣菜の「大英屋」のお惣菜も天下一品、とりわけポテトサラダは絶対まねが出来ません。このサラダを十番温泉の前のサンモリッツの食パンに挟むのが最高です。まだいろいろ紹介したいところがありますが今回はここまで。ところで先ほどのお月様ですが、青山ドウリの皇居方面のビルの谷間においでになりました。いやすばらしいです。

■2004/01/04（日）あけましておめでとうございます

いやいやあわただしい年末でした。２０日に母に上京してもらって弟の奥さんと力を合わせてお付き合いをしました。最初はどうなることやらと心配もしましたが、楽しい日々を過ごしてもらおうと力を合わせてサービスをしたところ、日に日に元気になって、体調もぼけもすっかり解消しました。変える頃には美容院で髪を整え以前の母に戻りました。名古屋にいると「いつもねている」といっていたのに、いきいきはつらつでした。満たされて生きることの大切さを感じました。あわせて、また具合が悪くならないよう十分対応をしていかなければなりません。

２００３

■2003/12/24（水）実はこのページが開けません。

ゴールデン街からひしょうのホームページを開きそれからやっとリンクでここにきました。この間ずっとです。忙しくしていました。母の介護こと、友達の死、雑誌に掲載した論文の合評会、昔の「戦友」が実は先の選挙にでてましたとか、呉竹会の激論大会と幹事会、3 月お母さんになる娘のお世話、お茶の水大のドクターゼミなどなどありました。明日はひしょうで忘年会、こんなに年がおしせまってからの忘年会は久しぶりです。来年の英気を養うために忘年します。

■2003/12/20（土）古屋陽一郎さんを悼む

１０月８日に急逝されていたのを知ったのは１１月になってからでした。夏に立ち上げた「アジアフォーラム」に呼びかけたところ来てくださった、それが最後になってしまいました。今日は４９日の法会が甲府御坂町の自宅で行われました。古屋さんはこの町の旧家のご長男でしたから、５８歳の若すぎる死は衝撃でした。法事には東の古屋、西の古屋といった具合でゆうに百名を超える人が集まっていました。感性豊かで優しそうな息子さんが二人、二人が奥さんのヒロ子さんを支えていくことでしょう。でも悲しいです、ご冥福をお祈りいたします。

■2003/12/04（木）イラクに１１００人派遣

テロによるのか、アメリカ軍の誤爆なのか外務省の職員二人がなくなった。小泉首相は、軍事的にはかなりヘビーな感性の石破防衛庁長官の提言にそって派遣を早晩決断するだろう。自民と連立をくんでいる公明党が動揺しはじめ、政権の危機さえうわさされている。公明の連立離脱、自衛隊派遣、国民の感性の反発、選挙、自民下野。あんがい速い速度で展開されるかもしれない。

■2003/12/02（火）再びイチョウ並み情報

朝から秋晴れ、イチョウのじゅうたんが輝いていました。昨夜の雨がもたらした、大量の葉が厚い高級感のある風情です。この秋一番の人がでて、楽しんでいました。人並みにふまれ、落ち葉が粉のようになっていくころ、すべての葉が落ちきります。今年は気温がきっちり下がらず黄と翠が混じっているのも今年の特徴です。

■2003/11/30（日）母の入院

朝9時兄の奥さんから電話「来てください」昨日から体調をこわしていることはたまたま訪問した娘から聞いていたちはいえ、驚きでした。とにかく名古屋へ急ぎ、とまれ、立ち上がることもできないので、かかり付けの逓信病院に連絡をとり、救急車を手配した。早い、親切な対応に感謝。かなりの炎症が血液検査でわかり、眠ってばかりの容態を案じ入院することになった。夢うつうで点滴のチューブを引き抜くしぐさや突然起き上がったりするので、一晩付き添う。プロの付き添いが何年かまえから禁止されて、患者と家族はおおよわりです。建前のうえでは病院の看護婦さんが完全に看護するというのですが、はっきりいって無理なことも多いのです。保険の赤字の形の上での正常化や、貧富の格差がないようにとか、いろいろ理屈はあるようですが、実態を無視した官僚の空論は大迷惑です。いやそれにしても病院の床で過ごす一夜は初めてですが、なんともいやなものですね。しかし、それでも母をほっておけないそんな思いが、私に付き添いをさせたのでした。

■2003/11/27（木）お役所仕事

「母がぼけた」兄嫁からの電話にショックを受けました。１１月のはじめに会ったときはそれほどでもまかったのに、きっかけは「目の眼圧が高くこのままでは失明する」と医者に宣告されたときかららしいのです。一切の意欲がなくなってしまったらしい。私だって医者にいくとどんな恐ろしいことを宣告されるかわからないので、日ごろから近づきませんが、心配です。介護保険が導入されたので、役所に相談をしようとしても、土日は休み、平日も5時でおわり、やっとのことで、つながっても、サービスが実際にうけられるのはまだまだ先です。

■2003/11/26（水）国会論戦

参議院の議論をきいていましたが、民主党は政策的に自民と同じ、郵政と道路公団の民営化であるだけに、質問でなんとか足を引っ張ろうとしても、所詮無理。週刊誌や新聞の情報で誹謗して、総理大臣にいさめられるしまつで、チョーかっこわるいことといったらありませんでした。昔の社会党のように民営化反対ならわかりやすいのですがそのような議論はなりたちませ

ん。二大政党制はどちらへころんでも大差がないことを前提になりたっているのですから。となると野党の質問はナイーブにならざるをえません。ところで、二大政党制はそんなにいい制度なのですか？

■2003/11/24（月）総選挙

二大政党制をマスコミがあおりまくり、8割がマスコミの意見を参考にして投票したんですって。あいかわらずのマスコミの力にはいやはや。民主党は小沢氏が軒をかりていたのが、いよいよ母屋とりか。田中真紀子とのコンビもおおいにあるある。私の新進党時代、「小沢ファシスト説」でずいぶんきびしく批判してくれた人たちも今回は民主党に投票しました。

■2003/11/23（日）明治神宮外苑のいちょう情報

私の家の前のいちょう並木の情報です。今年はあまり寒くなっていません。だから、まだ葉っぱは黄色になっていません。イチョウ祭りが今日からはじまったのですが、例年のようにはもりあがりません。黄色いじゅうたんがひかれているといいのですが。それと、今年は銀杏が一粒も落ちていません。おそらく、去年の過剰な剪定によるのでしょう。やっとふんわりと重みをました、いい感じのいちょう達だったのに、みるも無惨なほどの刈り込みは、ナチスの収容所の囚人を連想するくらいでした。植木屋の感覚にはいつも不思議な思いです。

■2003/11/19（水）早大ノンセクト図書館グループ結集

30年になるそうです。ひしょうの歴史とほぼかさなった元祖ひしょうのお客さんが久々に結集しました。19人すべてが懐かしく、うれしいです。社長、教授、市長になったかたもいて、多士済々しかし、いついつまでもお友達の関係はすばらしいですね。いついつまでもひしょうを忘れないできてくださいね。皆様のご健康とご発展をお祈りします。

■2003/11/16（日）平民社100年記念シンポジウム

早稲田大学小野講堂にて15日その日もずばり、今から百年前の11月15日に平民新聞が創刊されました。2年足らずで平民社は解散しましたが、その経過は今発売になった「初期社会主義研究」16号（不二出版）に私も書いていますので、興味のある方はお読みください。とまれ百年前には帝国主義も社会主義もどちらも希望のある考え方だったのです。コミンテルンとかはまだ存在していませんからね。一神教の考え方で、世界が統一されたら大変、それなのに、今度の選挙ときたらあれか、これかの選択ですって。マスコミがあおりまくるのだけれど、日本社会は多神教、八百万の神の国なのに。16日は快晴にめぐまれたなか、平民社の足取りを有楽町、巣鴨村、柏木、千駄ヶ谷と追いました。おかげで約6キロのお散歩が出来ました。百年の月日は何一つ明治の影を残していませんでしたが、それはそれで、興味深いものです。

■2003/11/15（土）養老孟司「バカの壁」が連続ヒット

実におもしろい。ところで、いたるところに存在するバカの壁にうんざりしている私、そしてあなた、自分のバカの壁にも要注意ですね。社民党の土井さんも、ほこりまみれの護符を神棚にあげてのお祈りばかりじゃ「壁」があらゆる現実世界からの遮断となるんです。中にいる人にはなにもみえないから楽でしょうが。今回の敗北できずくのは遅すぎでした。参議院選挙までは新委員長の「首」がかかっているから、社民は存在するでしょうが、早晩三宅坂の社会党本部をてみやげに、民主党への合併はいまや確実ですね。1901年社民党結成からの日本の政治文化ですから、20人くらいでも存在していてもらいたとは思いますが。

■2003/11/09（日）比例代表名簿にみる政治家の金力

比例代表の名簿の順序をめぐっては、かって金丸信が「党員獲得数の順序なるルール（つまりお金）をやぶった」と嘆いたことがあるが基本的には支持団体の力（お金）によるものである。参院はとりわけ組織、団体、労組、業界などのちから関係がよくわかるので注目してみてください。今回の選挙では、まず東京都の自民の選挙区とのダブル登載者は基本3位ですが、其の上に2位鳩山邦夫3位伊藤達也がいる。鳩山は菅直人との一騎打ちの功労、伊藤は前回新藤とのｺｽﾀﾘｶ方式で比例にまわった不利をかみしたのであろう。それにしても所属の派閥ないの力があってはじめて可能である。一方の新藤はチカラがないので、26位。民主党神奈川も面白い単独1位の優遇、樋高剛は小沢一郎の元秘書東海の同じく単独一位の都築譲も新進党時代からの小沢の側近、菅の小沢にたいする配慮でしょう。もう一人の1位伊藤忠治は労組幹部。北海道でも民主の特別優遇でふたり、三井と鉢呂、鉢呂は同知事選に出馬落選しているから普通なら、衆院での出馬さえあぶないのだから、知事選出馬にあたり、大物の幹部との約束をとりつけたのだろう。こうした一般有権者にはわかりにくいやり方の影には政界内の金と組織の駆け引きが存在している。

■2003/11/08（土）酉の市、夜遊びのすすめ

金曜日の酉の市前夜祭というのに、ひしょうのお客様はほんとに少なくて寂しい夜でした。雅子さん尚美さんと三人で「寂しいわ、来週は賑やかになるといいのに」と励ましあいました。隣の店からもれる談笑がうらやましく思えました。１２時に雅子さんが帰り、私も終電のあるうちにかえるつもりでしたが、そのような時は危険です。エムさエヌさんらと、酉の市をとおって帰るだけのはずだったのですが、気が付けば完全に明けて6時過ぎ、お店の人に「お客さんこれにて勘弁」と言われる始末でした。今年は暖かいです。そのせいか朝5時を過ぎても人がとだえません。不夜城新宿の面目を新たにしました。毎年でかけますが、今年はいつもより賑やかかも。前日はエスさんオオさんらと、「上海ショウツー」にて2時まで夜遊び、景気が悪く体調も気分もさえませんでしたが、レンチャンの夜遊びで気分も爽快になりました。皆様ありがとうございました。

■2003/10/31（金）風邪にご注意

先週末から風邪をひいて体調不調でした。肩こりがひどいし、頭も重くて、土曜日から三日くらい寝ていました。それにしても今月はあわただしく、ハイヒールで長時間たっていたり、イベントがあったりしたのに加えて深夜までひしょうにいたこともなんどもあったことが原因かと年齢を改めて痛感しました。犬と猫とにわとりのうち猫も風邪を引きました。声がかれてましたから。犬は毎日走っているせいか、いたって元気です。鶏は一番頭がたかくいばっていて、犬猫ともに恐れています。

■2003/10/28（火）東京流れ者

昭和４１年作「東京流れ者」を見る。渡哲也の歌をバックに粋なやくざの世界はこの年になってもビンビン感じてしまうのだからどういもならない。なんどもみてしまったし、東京流れ者のメロディが頭の中を流れいく。「風はひとりでふいている。月も一人でてっている。俺は一人で流れ者～」とはなんてロマンチックなのでしょう。

■2003/10/23（木）呉竹会アジアフォーラム開催

８月８日に渋谷勤労福祉会館で発会した当会は前回以上の参加者となりました。講師はチベット文化研究所のペマ・ギャルポさんにお願いしました。テレビでもおなじみかと思いますが、ｱｼﾞｱからみた日本の演題で面白い話が聞けました。質問になったとたんに、いろんな意見が続出し、活発な会となりました。右や左といったイデオリギーの時代ではないので、この壁を乗り越え新しい指針を作りたいものです。次回は１２月８日、朝まで生テレビのような言論大会にいたしますのでご参加ください。

■2003/10/20（月）映画「巌流島」

寺山修司の「さかさま文学史」や「さかさま世界史」といった本がありましたが、固定化した歴史のみかたや通説に反した大胆な想像力に拍手です。決闘の詳細はまだみていらっしゃらないかたのために、ここには書きませんが、プロが勝つとはかぎらないのはマージャンや競馬だっておなじこと、たった一度ならどんなこともありえます。モックン演ずる武蔵の前半は、汚れ役だってできんるんだと感心。

■2003/10/19（日）お茶大のクラス会で仙台に行ってきました。

仙台にはクラスの１８人中二人がいて、今回の会を仕切ってくれました。秋保温泉に行きました。１０００年の昔からある由緒ある温泉ですが、その素朴さに驚きました。刈り取られた田んぼが目の前に広がっていました。担任の青木和夫先生と大口裕次郎先生もごいっしょしていただき、ありがたい限りです。さすが、女子大です。7割参加で盛り上がり、いや楽しいののなんの。青木先生には多賀城に案内していただき古き歴史にふれることも出来最高でした。

■2003/10/19（日）鈴木宗男さんは胃がんで不出馬

あれだけ執念をもやしているのに、さぞかし無念でしょう。彼をめちゃ悪く言う人が多いですが、私に言わせたらあれだけ槍玉にあげられるのも、政争所以のことだから、やった相手の怖さを考えてしまいます。やられたほうはまだましかもなんて思ったりします。

■2003/10/18（土）阪神の星野仙一監督は今期かぎり

夏ごろ体調不良が伝えられていたので心配でした。優勝したときのあの満面の笑顔、ほんとにめったにあんな顔をみせませんが。同い年の仙ちゃんやっぱり応援しています。健康問題は人ごとではない年齢なんですね。一説には阪神となにからなにまで体質？がちがいすぎて折り合いがつかなかったともいわれていますが、それなら健康問題よりは安心です。

■2003/10/17（金）特攻監督水島総氏にあう

昨日のはなもく会でしりあった澤田さんに案内されて、朝から渋谷へ。水島さんおオフィスを訪ねる。水島さんはインターネットのテレビ桜の社長です。編集なしで、講演や主張のインタビューをながしているので、私も見たことがある。骨ふとで安定感のある水島さんの日本に対する愛をに共感できた。特攻の教官だった田方竹尾氏の気骨にも敬服。ビデオ「特攻」はぜひとも見るべき名作。

■2003/10/16（木）銀座花木会で講演

書家の清水義光さんの紹介で講演。「成功する人、成功しない人」をなるべく具体的おもしろくをこころがけ講演しました。参加の方々と懇親し親しくなりました。

■2003/10/13（月）奥多摩は晴れ晴れ

雨の予報だったので、伊豆下田いきを中止、かわりに奥多摩へ。高速から秋皮、桧原方面にいくつもりが、いきすぎて青梅にはいる。こちらなら道はばっちり。青梅の駅の手前あたりで激しい雨にあう。めげながらも前進し、沢井あたりであがる。街道にある松乃温泉は繁盛していて車がはみだしていました。日向和田駅近くの「奥多摩釜飯」はときどきたちよるお店ですが、体にいい食事を看板にしているだけあってほんとにほっとします。味もおいしいです。

■2003/09/28（日）慈恵医大青戸病院の医療犯罪

昨年10月、密室において、斑目旬（38）ら若い医者三名によっておこなわれた、実験医療により60歳の男性が死亡した。その後もこれをおこなった医者は平然と医者として治療にあたっている。血も涙もない医者の人間性を患者や家族はどうすることもできない。本人と家族の惨めさを考えたら医師らは万死にあたいする。医者たちを更正させるためにはその惨めさを本人たちがあじわうしかない。長崎で子どもを殺された両親の悲嘆にも、法律はなんの責任もだれもがとらないというのだ。年少の子どもに責任能力がないとしたら、親権をもつ者の責任はあきらかというのが論理ではないか。被害者にたいする義憤や同情はなんの力にもなれないのだろうか。

■2003/09/25（木）ニューシティ管弦楽団指揮者内藤彰さん

内藤氏は名古屋旭丘高校の同級生です。名古屋大学の理学部を卒業してから東邦音大の大学院にはいり指揮者となりました。彼の東京ニューシティ管弦楽団の講演は今回が32回め、ますます円熟し手います。それにしてもすきなことをしているのはすばらしいです。なんといっても若々しく、指揮はちからずよいので、音楽に力が感じられます。がんばってほしいです。

■2003/09/23（火）自由党の解党について西村慎吾氏の発言

自由党は、ついに「私」であった。
あるときには、政策による自・自連立、
かと思えば、
手を翻して政策による連立解消。
さらに、ついには、このたびの
政策をおろしたうえでの解散と吸収合併。
ではそもそも、なぜ、新進党を解体したのだ。
この一貫性のなさは、
自由党が一貫した「志」よらずに「政局」によって
運用されていたことを示している。

この「政局」だけによって運営されていた自由党
が、国民の税金から億単位の政党助成金をいただ
き、その金子を持参して他に吸収合併される。
これ、納税者は納得するのか。

民主党を支持しないが自由党を支持して票を投じ
た納税者がいるのだ。かくいう私も、民主党を支持
せず自由党を支持していたから自由党にいたのだ。
当たり前だろう。
この観点からの議論皆無の今回の事態に対し、
自由党所属議員として慙愧の念に絶えず、
深く納税者にお詫びする。

■2003/09/21（日）台風15号のなか墓参そしてペット

台風の接近でさすがに高尾の墓参りは不適とおもわれましたが、逆目張り人生者としては決行、さすがに高速道路もすいていて、水しぶきともやで、ランプをつけていないと前の車も良く見えない状態でした。50キロ制限が随所にでていつのに、それを守る車は一台もありません。制限にしたがっていたら追突されそうです。墓地も人がいないので、寂しいかぎりでした。帰りは日野にあるそばや「日野館」をめざすもあいにくお休み、さらに進み日野橋のたもとの車やにいく途中に手打ちうどんの看板、なにしろ多摩はうどんのめっかですからここに入る。期待以上のうどんに満足しました。「どんたく」ざる500円。明け方風が強く吹き、犬が心細げにくんくん鳴いたのでした。

■2003/09/16（火）脱政治宣言

飲み屋の会話で最も悪いのが政治と野球といわれていますが、なるほどと思うところが在ります。それは飲み屋の会話だけでなくてこのようなホームペイジや日常の会話も同じことなんですね。おもうところあって、今後は政治と批評、批判は避けたいと思います。そのかわりひしょうのカウンターでは今までとおなじく、自由にやりたいと思います。

■2003/09/13（土）残暑お見舞い申し上げます。

涼しい夏だったのですが、９月にはいって連日の猛暑となっています。さりゆく夏をおしむようです。せみもまだ元気に鳴いています。いっぽうで明治記念館の脇の道の木々はすでに「紅葉」が始まっています。暑さもまもなくおわり、秋がやってきます。おいしい秋を楽しみたいですね。

■2003/09/12（金）建前とほんと

ある特殊法人、今は独立法人となりました。行政改革の波に当の職員たちは戦々恐々だったそうです。しかし、「心配するな、なにもかわらないから」なのだそうです。うーん。

■2003/09/04（木）貨幣にかんする研究会

日銀と大学の共同研究会をめざしわが小風秀雅先生がまず第一回目の報告をされた。テーマは「１９世紀における列強の東アジア進出と経済インフラの整備」経済史専門、とりわけ海運史、鉄道史にはくわしい。たとえば日露戦争について分析する場合、政治体制とか権力の分析からする政治史にたいして当時日露戦争を可能にするにはどれくらいの海運、や陸運が整備されなかえればならなかったかを世界史や他の時代との比較のなかで分析するのです。日本史の近代史には世界史のなかでの日本史という発想による研究が遅れています。ここらあたりが今後たいへんおもしろいところです。

■2003/09/04（木）隣の中華料理店

わたしの家の裏のかくれが的な料理店大長がふときずくともぬけのから。5階建ての窓窓もまっくらになってさびしいかぎりです。店の前のたくさんの植木も撤去されて、鉢がむぞうさにゴミのやまになっています。社長とはご近所のなかでときどき話をしていました。そういえば最近お店にいかなかったなと後悔してます。たくさんいた従業員のかたがたもどうしたんでしょうかね。電気の消えたビルはなんとも寂びしい。

■2003/09/03（水）高島滋子先生ステキ

海老原さんのおつれになった高島先生は御年72歳。お医者さん。それにしてもお若くて海外での活動、今のお仕事、なにしろすばらしく、「一匹狼」とおっしゃるそのお言葉の前ひしょうの壁に掲げてある「ハセユリコー匹狼」もかすんでしまいました。高島先生のつめのあかをいただき牙をみがかねばなりません。まだまだ赤ちゃんです私は。

■2003/08/29（金）世界陸上大会健闘

女子マラソンも男子団体金メダルについで受賞。こちらも2，三，4位を日本勢が占めての圧倒的な金メダルであった。日本沈没論もすでに言い古され、21世紀の三つの危機、核の危機、環境破壊の危機、人間の破壊のすべてが進行するなかでの快挙。人間の破壊についてはたてつづけに起きている衝撃の事件だけでもその深刻さを実感させられる。たてなおそう日本。日本なんてどうでもいいなんてのんきなことではすまされないそんな時代だもの。

■2003/08/26（火）自民党は崩壊する。

東京で次回自民党でかてそうな人は何人いますか。長い間の地盤や『実績』にあぐらをかいている区は、現実問題新しい候補者が育たない。党としても憂えていても、どうにもならない。「2度落ちるのを待つ以外手はない」というのが現実で、中選挙区なら無所属ででて、どんどんせりかかって追い落としていたのだが、小選挙区になって不可能になった。自民党ででられないなら民主党ででるというのも現実的選択となっている。政策本位でえらぶことができるというのが小選挙区のうりだったけれど、どこまでいけるのかどうか。日本国の風土を無視した建前論はこの先どうなっていくのでしょうね。

■2003/08/25（月）石川さんお大事に。

大正生まれの石川さんは若々しくいつもステキ。いつも若いお友達とおいでになります。市川雷蔵の公式ファンクラブ会長です。大正うまれなんてとても信じられません。なんでこんな風にステキに年がとれるのかと感動します。最近骨折されたそうですが早く直ってほしい。いつまでもお元気で雷蔵を支えて。私もじつは雷蔵フアンなんです。

■2003/08/23（土）たまにはひしょうのお客になって

お盆あけの金曜日は営業成績はありえないほどの最低を記録した。しかし、昨夜のお客の民子さんととても楽しく飲むことが出来た。いいちことワインと同世代の青春に共感し、歌にまで興じてほんとに楽しく過ごしました。民子さん二日酔いは大丈夫ですか。

■2003/08/21（木）日本人の誇り中坊公平氏

プロジェクトＸにはいつも感動的な人物が登場する。今回は中坊公平氏率いる豊田商事事件の債権回収がテーマで、その侠気、不屈の正義に深く感動。勝ち目のないとみえる戦いをひるまない。そのうちに、意気に感じる人々が動き出す。若い頃に夢見た革命的な世界を氏は展開している。理系の偉人たちに感動するもそもそもの技術からして、見果てぬこととあきらめもつくのだが、文系ならば、私もいきたや中坊氏のように。

■2003/08/18（月）中国映画ヒーローにみる非戦論

中国拳法の華麗な動きをコンピューターグラフィックをつかって華やかに演出した作品で、画像が楽しめるのはもちろんである。秦が中国を統一する前の戦乱の時代に秦の大王を暗殺するためにだけ生きる四人の物語。役者はこれまでの中国的スターの枠をこえている。これらの俳優が演じる、秦によって滅ぼされた趙の末裔が最後にたどりついた「非戦」をどう評価するのか。命をかけてやっと大王の暗殺を可能にしたのだから。その結末にそれでいいとついには観客も納得するのであった。

■2003/08/06（水）法の下の平等は存在しないか

辻元氏の逮捕はそれ以前に三人の逮捕があったことからして当然と予測されたことは前に書いたが、しかし、土屋元埼玉県知事は不起訴、議員辞職か逮捕かの選択をせまられて辞職した加藤紘一氏の不逮捕などをおもえば、辻元氏の逮捕に偏頗ありといえなくもない。彼女は議員を辞職し、詐欺に当たるとみなされた金銭を国に返還もしている。となれば、逮捕されなくてもよかったのかもしれない。政治力の違いといってしまえばそれまでだ。「大物」、「小物」の差別？であれば、田中真紀子氏は逮捕されないと読むが果たして如何。

■2003/07/29（火）夏がくる

昨日からせみが鳴きだしました。でもまだせみの数は少なく寂しそうです。ミーン、ミーンとジッ、ジッジの両方ですが、今日は驚いたことに、秋の到来を感じさせるひぐらしが鳴いていたことです。季節が不順ですから勘違い？するのでしょうか。そういえば、明日もまた東京は雨。

■2003/07/28（月）世界水泳快挙おめでとう

ただいま28日午前3時、多くの皆様もおそらくこの時間起きていらして男子メドレーの三位入賞を喜んでいらっしゃることでしょう。北島の先日の平泳ぎ100、200のダブル金メダルもほんとうにうれしかったのはもちろんですが、そろっての強豪ぶりに感激、決勝進出さえおぼつかない時代があったのに、5コースでの出場だってうれしいです。そしてねばりきって銅メダルです。私も高校時代は水泳部、愛知は淑徳、椙山と日本のトップ校があるところです。もちろん決勝なんてはるかかなたでしたが、水泳日本うれしいです。

■2003/07/27（日）今日は晴れ

太陽のほとんどみえなかった今年の7月は涼しかったのでもう夏休みにはいり、来週は8月になる感覚が薄い。オホーツク海から張り出した大気の関係らしいがクーラー無用はありがたいものの、農作物にはかなりの影響がありそうです。ベランダの黒すぐりがたくさん実をつけているのですが、なかなか黒く熟してきません。

■2003/07/20（日）東京餃子舗

三軒茶屋から世田谷通りをすこしいったところにペット屋のこじまがあります。ここにときどき猫の建太と犬のキーコと鶏のピーコのための食料などかいにいきます。猫の砂なんて、10キロもあって大変。ところでここの並びに小宮山議員の事務所がある。ベランダに選挙のときのポスターがはってありますが、なんとわたしが最後の戦いのために刷ったぽすたーととてもよく似ている。黄色を基調にしていておもわず自分のかなしらと思うぐらいです。そのまた並びが「東京餃子舗」餃子290円、その他野菜が180円。きゅうりなんか八百屋でかうより安いです。お勧めします。

■2003/07/14（月）過激な性教育反対

山谷えり子衆議院議員が国会の議論にしていた。新聞情報でもつたわっているが、子供に性をはやくから教え、避妊などのテクニッツクを教えることが大切ということらしい。動物としての人間に重きをおくので、どうせやってしまうのだから、それを前提に技術を教えるというのだが、それより愛情とモラルの教育が必要。これをぬきにした技術教育はますます人の心を荒廃させると確信する。「愛とセックスは別」とはとんでもない教育です。

■2003/07/13（日）青木和夫先生喜寿のお祝い

元お茶の水女子大学教授青木先生の77歳のお祝い会が東京ドームホテルでひらかれた。いまから37年前入学したときんp指導教官で、いらいさまざまな節目にお世話になってきた。古代史の関係者で最初会をやるつもりだったらしいが、それでは集まらないです。お茶の水大学は学問のつながりはさほどでもないですから。それより人的な関係でしょう。というわけで、わが学年に声がかかり、18人の同期生のうち10人が集まり先生をお祝いしたのでした。先生いつまでも御元気でそして、まだまだめんどうをおかけしますから。

■2003/07/08（火）七夕もおわって

駆け足で毎日が過ぎていきます。6月21日針谷あけみさん主蔡主催のほたて貝パーティ、山内さんと田嶋さんのお見合いをしくんで藤山さんにも参加してもらった。霊能力者の今村さんが参加者に実に適切なアドバイスをしてくださった。いやなかなかすごい。28日土曜日は美佳さんが独立して忙しくなったため、裕子さんに交代した。初日なので、早くからひしょうにいく。7月3日も新人吉原さんが入りました。哲学の博士号を持っている才媛。犬が我が家にやってきた。神楽坂にて弟の誕生日会、昨日は頭山満のお孫さんにあたる頭山興助氏の講演会、そしてむろん原稿を投稿、しかし、史料の出展の細かいデーターがぬけているのでまだ調べなおして加筆しなければならない。ページは原著をみなければわからないので、早い話図書館になんどかよわなければならない。きちんと書式に従うことはいやはや大変。なにごともテキトーが一番楽。

■2003/06/22（日）幸徳秋水論文

雑誌投稿をめざして奮闘中です。長くかくのに比べてコンパクトに書くのがいかに大変か身にしみています。苦戦中それでこのところホームページがお留守になっています。

■2003/06/07（土）学会で「幸徳秋水の非戦論」を発表

神田の学術総合センターでおこなわれた社会理論学会の総会に続く研究会で報告する。政治家幸徳秋水が現実と向き合い作り出した社会主義と非戦論は明治36年5月1日の「非開戦論」に始まるのであるが、その3年前義和団の乱には断固タル主戦論をとっていた幸徳の変化の理由を明らかにすることができた。

■2003/06/05（木）船橋市の女性市議の感覚

不動産の納税通知書に、共有名義の場合一方の名前のほかに「外一名」書かれていることに「頭にきて」連記せよと訴えているが、それがどうしたというのだろう。連記しないのは差別でもなんでもない。行政の効率上便宜的にそうしているだけで、もしこの女性市議のような自己顕示欲をみたそうとすれば、それだけの行政コストがかかる。なんでもかんでも差別だなんだといったいどういう神経してるのですかね。

■2003/05/31（土）徳田虎雄氏長男猛さんの結婚式

帝国ホテルにて、500人。媒酌亀井静香夫妻、挨拶に立ったのは、氏家日本テレビ社長、石原慎太郎東京知事、塩川財務大臣、野中広務前自民党幹事長、松田神奈川県知事など政財界の大物がずらり。結婚式というより政治決起集会のようであった。

■2003/05/27（火）聚珍社水島さんの死を悼む

一人で会社に泊まりこんで仕事をしていて亡くなられました。連日のﾊｰﾄﾞﾜｰｸで過労でししょう。奥さんの家族の生活を一人で支え、ポケットにはいつも千円。壮絶すぎます。そんなことがないように、家族はだんなさんをみまもらなければならないのに。かわいそうすぎます。ご冥福をお祈りします。

■2003/05/18（日）都営住宅で母を殺し、息子自殺

母親の介護をしていた58歳の息子が母親を殺し、自分も自殺。都営住宅の家賃を滞納していたため明け渡しを求められていました。政治や行政は何のためにあるのか。痛ましいことです。民生委員や職員の方々の奮起を期待します。

■2003/05/17（土）足立区選挙

4年前の共産党区長を議会が不信任した後の選挙は接戦、今回は自民区長のの圧勝。それより驚いたのは、区議50人の当選者すべてが政党の看板をあきらかにしていたことです。ほかの地区では無所属の候補が善戦し、区長レベルも「政党かくし」の選挙選を展開していたことは皆様ご存知のとおり。ちなみに、自民21、公明14、共産11、民主4、ネットも社民も落選です。

■2003/05/12（月）お茶の水大の同窓生の活躍

4月19日におこなわれた「読売、中公女性フォーラム」のパネラーに宮本みち子氏、と信田さよ子氏の二人が登場している。ほぼ同期のお二人の活躍に乾杯。

■2003/05/11（日）寺山修司青春時代展

世田谷文学館は建物も環境もすばらしい。寺山修司のロマンティックさに胸がきゅーです。自分の青春時代もオーバーラップしてるのかも。

■2003/05/10（土）東京ドーム中日戦観戦

中日が、10 対2で負けた。昨日の大逆転はなく残念。応援団旗の下、観戦は外野にかぎる。

■2003/05/09（金）名古屋クラブの取材

名古屋の地下鉄の駅においてある冊子。20 万部。そこで人物紹介の欄に登場します。インタビュアー坪井令子さん、ごいっしょにいらしていただいた梅田社長さん、柴田さんお世話になりました。

■2003/05/07（水）下田いってきました

白浜の海がみえる別荘はやっと修理が終わって快適さを取り戻した。海の青さ、新緑の輝き、うぐいすらのさえずりはやはり楽園。

■2003/05/06（火）実家に泥棒がはいった

母おは在宅していたが眠っていて危害なし。3階の母のわきをとおり金庫をもちだし、二階の兄の家の金庫やひきだしをくまなくあらし、貴金属類をごっそり持ち出した。義姉のもっていた高価な人形や羽毛ふとんまでもっていかれた。金庫って簡単に壊せます。泥棒が多くて最近銀行の貸し金庫は満杯です。母の無事はさいわいだった。

■2003/04/28（月）統一地方選終わる

応援した候補者のうち知事で1勝一敗、区長、市長で一勝一敗、市議、区議で6勝2敗でした。いやそれにしても選挙は大変。お疲れ様。4年に一度のお祭りというか昨日までの賑やかさは今日はなく静かすぎて、なんだか寂しいかも。

■2003/04/27（日）六本木ヒルズオープンの野蛮

六本木6丁目の森ビルによる大開発である。ここにはかって住んでいたので、どんな風な開発がされたかおおいに関心がある。いってみたところ、私の家の前をとおっていた玄跡坂はすっかり埋めたれらてそのなごりさえない。江戸時代からの由緒ある坂で、明治33年頃には中江兆民の紹介で私のいえのあったところに幸徳秋水がいたり、その坂を馬車で兆民がやってきたそんな坂なのである。それを森ビルと役人はどのような権利があって、踏み潰すことが出来るのか。そうとうな野蛮人でなければこんな開発はできないだろう。

■2003/04/15（火）花井幸子さんステキ

なに新聞だったかわすれたが本日の記事に登場した花井幸子は御とし65歳。しかし、だれが氏をみて還暦をすぎているなどと思えるだろう。あの充実した人生の証のような顔の輝きには憧憬せずにいられない。若い、晴れ晴れ、幸せ、自信に満ちた花井幸子さん万歳。自信があるから年齢をオープンにしてらっしゃるんでしょうね。たいてい年齢は伏せてるんですよ多くの方の場合。ほんとにカッコイイです。

■2003/04/14（月）石原知事300万与票で再選

石原候補の主張する国との対決姿勢はこの4年間ですでに実証してきただけに、信頼感があった。樋口候補は具体的な政策がうちだせず、もっぱら石原候補が「軍国主義」とイデオロギィー批判に終始したが、石原候補が「イデオリギィーをこえて具体的な政策にまい進する」ことの重要性をうったえれば勝負はあったに等しい。いかんせん樋口選挙の内容がふるすぎた。10年まえならいざしらず、批判で票が集まる時代ではない。政治家の思想云々より、現実の政治の政策と実行力で政治家は判断されるのは健全、だって「思想信条の自由」は憲法で保障されているのだから。でも樋口さん泣かないで。おつかれさまでした。

■2003/04/12（土）ひしょうのお花見

大雨の予想にもかかわらず、小雨に留まりました。ひとりさすが晴れ女と感心しています。「おれは雨男」と宮哲ちゃん。そのせいかときどきぱらぱら
したのは。とまれ楽しいお花見になりました。しかし、その後のひしょうでの二次会は波乱含みで、しかも、私も当事者になって

いるというお粗末。今日は埼玉大学の学長さんや、杏林大学の大先生がたなどがいらしていたのに、みなさま、申しわけ在りませんでした。

■2003/04/08（火）正田邸の解体

それにしても日本とゆう国はなんでもかんでも壊すのが好きである。国が過酷な相続税をかけて、合法かつすでに所得税をかけた収入で立てた家屋を維持できないことはあたりまえになっているがはたしてそれは正当なことだろうか。かろうじて戦災をまぬがれた明治、大正の建物が戦後つぎつぎときえていったことを私は残念に思う。国は大泥棒であるばかりか、文化や伝統についても理解しない野蛮人が権力を握っている。5万円以上の領収書には収入印紙をはることを義務ずけここでも課税するような、すみずみまで課税し収奪のめをひからせる国家権力には反感がある。そのうえにその使い方といったらとうてい納得できるものではない。家屋敷を奪い取られ解体されてだまっている金持ちもおとなしいものである。正田邸の事件についていえば、美智子皇后の意思として「存続をのぞまない」といった官僚の手法こそ戦前の天皇利用によって日本を亡国にみちびいたやつらとおなじやり方である。皇族が日本の法律にもとずいた決定にたいしてなにか異議や意見をいえるはずがない。天皇制とか官僚制を議論するなら、今回の官僚のとったやりかたを無視するわけにはいかない。

■2003/04/07（月）イラク戦争早期終結の可能性

バクダッドを英米軍が制圧したとの情報がある。イラク南部のバスラの基地に数百体の白骨体が発見されたとのロンドンからの情報がつたえられる。根強いフセインによる残虐行為がささやかれてきたが、戦争が終結すればこれらの事実関係もあきらかになるだろう。いずれにしても一日も早い終戦を願う。

■2003/04/06（日）黄桜のお花見

青山墓地は桜のメッカとなっている。大久保利通の墓の前に若者たちの団体が花の宴、墓地の人物をしってか知らずか。この墓地に黄桜があり、今年はとりわけ鮮やかだと、文子さんの情報ででかける。あいにくまだ一輪、二輪しか咲いていなかったが、あと数日で見事な黄桜を咲かせるだろう。中央の交差点。青山の外苑も枝垂桜が8部咲きとなり、美しいのなんの。いやなことがおおい日々の一時の幸せ。高輪プリンスホテル「桃李」で会食。

■2003/04/05（土）リンチ上等兵の救出

バクダッドで捕虜になっていたリンチ上等兵が19歳の若き女性だったことに驚き。日本にいては実感しにくいアメリカの現実をみて、このような現状を無視した日本の安全について議論は成り立たないと思う。私はイラクへの武力攻撃に反対することを早くから公にしてきたのでイラク限定の是非ではなく、今後の日本の安全について現実的にアメリカだのみをしようとなっていることを認識するならば小泉総理の態度は当然であると確信するのです。菅さんだって、野党だから適当にいっていればいいけれど、もし今総理なら同じことをいったにちがいがない。19歳の乙女が戦場で生命をかけていることをもって、だから日本も引き受けるべきだなどついう心情レベルの議論をするつもりはありません。日本の総合的国益の勘案が大事。冷戦後のアメリカの意思の変化についても考えれば、総理は総合的に判断しているわけです。

■2003/03/31（月）イラク戦争が長引き政治ショーがあきらかにすること

ブッシュのよみどうりにはいかないようである。パウエルその他の慎重派をおしのけたユダヤグループの怨、復讐の強さこそが脅威である。石油利権が今回の戦争の原因などといった単純なみかたがあるが、金ならもうからなければやめることができる。怨念はそうはいかない。
　流行の政治ショーをおもしろくみる。揚げ足ばかりとって、社会党時代の体質を丸出しの菅直人には失望であるが、安住なんとか氏は「民主党は自主防衛をめざしている」と名言したが、ほんとですかね。自衛隊にかわって憲法改正し、国軍をつくることはまず第一歩ですよ。原口はあいかわらずばかまるだし。お勉強秀才というか、観念論で政治をかたる政治家は困り者。「戦争にもきまりがある」といって、野坂先生にも「戦争というのはなんでもありなんだ」とたしなめられるしまつ。自民党だって山本なんとかとゆう馬鹿が、これとちかいことをいっていたから党の問題ではなけれど、若いひとはたよりない。こんな馬鹿でもを若い人ならなんでもいいといっている世論迎合派の国民ものんき。私は「政治家役割論」が持論であるが、西村慎吾はどの立場でも一貫した信念を主張するかもしれない。役割とは与党、野党それぞれの立場で、全くちがったことが出来るということである。小沢一郎が野党になった時の審議拒否と院内座り込みの戦術をおもいおこしてもらいたい。また村山総理の「自衛隊合憲。安保条約堅持」と180度半反対の主張などである。あくまで役割であるからそれで当事者は矛盾など感じない。

■2003/03/27（木）駐車違反対策改正案

交通渋滞の少なくとも半分は違法駐車である。もっとも、警察や予算消火の道路工事によるものも多いので、交通渋滞をほんとに解消しようとおもっているのか不明。違反車をよけようとして、事故が起きた場合、もともとの違法者に責任をとわせられないのはおかしい。おかしいといってもそれが現実である。2割の人が罰金をのがれている現状については改正される。民間委託が機能して公正な取り締まりになることを期待したい。

■2003/03/23（日）知多半島へ行く

愛知県の知多半島南端はすばらしい漁場である。ここからすこし船でゆく日間賀島は日本有数のふぐの漁場で下関におろしている。さてここでのふぐ料理はもちろんきちんとしたフルコースもあるが、地元の食堂でも気軽にたべられる。さしみ900円、小なべ700円といったお値段だから、ほんとにとらふぐだろうかと心配になるが、大丈夫ここでは、東京にある、みょうなふぐは存在しないし、はやりの養殖小型の安いふぐとはちがう正真天然もの。なんのきどりもなくだされるふぐのおいしいことといったら。ふぐ以外でももちろんひらめ、たこなど最高。子供の頃よく食べたひらめやかれいの弾力ある味わいを久しぶりにあじわうことができた。

■2003/03/22（土）東京に原発をの広瀬隆さんの講演会

東京に原発をの広瀬隆の発想がおもしろくて関心がある。港区の企画する講演会のテーマは新しいエネルギーの可能性についてだった。もっぱらすでに実用化段階にある「燃料電池」の話だったが、このようにゆめのある話は心が軽くなる。

■2003/03/18（火）小泉総理の対応は道理

日本がアメリカを支持するのは、外交の約束上の道理であって、小泉総理を責めるのはあたらない。その場合は日米安保条約を破棄をふくむ新しい日本の姿を明らかにしてのはなしである。自国を守る国軍の創出、そのための憲法改正などいままでふたをかけあいまいにしてきたことにつてふみんこんだ議論が必要となる。

■2003/03/17（月）イラク攻撃は秒読み

軍事的な後ろ盾があってこそ外交はなりたつのである。しかし、それでも外交努力によって打開されないとき、どうするのか。日露戦争開戦にいたる道筋について調べたが、戦争必至、つまり、それ以外の道をさぐれなくなるのだという事を知ったうえで、今回のアメリカについて考えて見ると、もともと、ブッシュアメリカは、９，１１未曾有のテロにたいしてきちんとかたをつけなければならない宿命がある。圧倒的な国民の支持のもと、アフガニスタンを攻撃し、一定の成果をあげることができたが、首領ビンラディンの行方はようとしてわからない。是ではかたをつけたことにはならない。大量破壊兵器とともに、うしろだてになっているのが、イラクのフセインであるとの認識のもとに、今回の戦争はやらねばならない戦争としていちずけた。テロは世界の共通の敵で、テロを撲滅のために連携しなければならないのはそのとうりである。しかし、９，１１はアメリカがうけたのであって、世界の他の国がその撲滅のために戦うはずだといってもそうはいかない。パウエルが国連決議にこだわり、それが失敗し、混乱したため、ブッシュアメリカは苦境にたたされた。政治的にしくじったのである。国連での混乱がおきてから世界の反戦運動もたかまった。いつものように、アメリカは国内問題として、イラクを攻撃し、瞬時に方をつけることができればこれほど政治的に面倒なことにはならなかっただろう。イラクはたしかに問題である。フセインのもとで多くの民衆が抑圧され苦しんでいるともいわれている。生物、化学兵器の開発にもきわめて熱心である。国連の査察でもまだこれらの兵器はみつかっていない。しかし、フランスやドイツ、ロシアが拒否権までちらつかせての攻撃に反対しているいまとなっては、イラクは国連の監視下にさらされつずけることになる。イラクがこれらの国を満足させないとき、今度はイラクは文字道理の全世界を敵とすることになる。イラクを変化させる可能性はあった。しかし、すでにアメリカは攻撃を決断した。短期で終わらせることだけがアメリカにとっての至上命題、しかし、もし、ながびいたり、フセインを簡単に捕まえられないとしたら、そのときアメリカはもっと苦しい立場にたつことになる。

■2003/03/15（土）今年もベランダの緋桜が満開。

まだ寒いころから、花をつけはじめるこの桜に春の来たのを教えられる。そのうえに、けなげに、やや、下向きのおくゆかしさで、ずいぶん長い間咲きつ続けるてくれる緋桜に感謝。

■2003/03/04（火）男女共同参画社会

もちろん理念として正しい。しかし、この理念を一部の人たちがゆがめています。「過激な性教育」と「性の自己決定権」とです。人間を物としてしか見ないところは共通の根っ子でしょう。男と女は生殖器の違い以外はないとするのはいかにも無理なイデオロギーです。それを知らしめるための過激な性教育が必要とゆうところまでに突き進んでいますが、やりすぎ。後者は妊娠

中絶を女の権利とするものです。生まれいずる生命に対する尊厳を欠いた権利意識はまちがっています。結果的に中絶がおこなわれても、尊厳を認識することによって、社会はやさしさを持ちえます。人間、生物にたいする根本的な認識についてなお検討が大事。

■2003/02/28（金）青梅街道をはしる

8時に飼い猫におこされた。そのままおきて、奥多摩方面にむかった。甲州街道はなんどもとおったが、思えば青梅街道はせいぜい荻窪くらいまでしかいったことがない。和田、成田、荻窪などそれぞれの町に住む人を思い出しながら、走る。東村山市、東久留米市、東大和市、武蔵村山市もこえ、かっての選挙区瑞穂町にはいる。50台にも及ぶトラックが奥多摩方面へむかっている。なにをはこぶのだろう。青梅は美しい。古きよき町の姿がある。ここも旧選挙区、ここの市役所へはなんどもきたことがある。10数年にみた吉野の梅郷はまだ花にははやかった。一日中晴天、日向和田の釜飯やさんのご主人がじっと顔をみて、懐かしそうに「亦きてください」といった。ここの釜飯はおいしい。沢の井の清酒の源泉も社長に案内してもらったことがある。美しくもなつかしい。それにしても、都心ばかりでなくここ青梅も道路工事だらけでした。

■2003/02/25（火）朝日新聞の取材

シニア大学院生がテテーマ。大学は入学試験で、学外者は入校できない。学内者もきびしい検問。むかしのロックアウトを思い出す。入学試験は私たちが大学生の頃はこんなではなかった。よほどカンニングする人がふえたのかな。守衛さんも「よくしっている先生にも身分確認しなければならないいですよ」となげいていた。いつのまにこんなになったんですかね。ほんとに。

■2003/02/20（木）旭丘18期同期会開催

赤坂三河屋にて。尾張の高校旭丘の同窓会を三河でやることになりました。ここは格式のたかい料亭です。お座敷は12000円からですが、会費1万円でおさまるように交渉しました。蒸しあわびはほんとにおいしいのだけれど、さすがにその半額でやってもらっているのでませんがやむなし。それでも、舌の肥えたまりこさんに「あらおいしい」といっていただけました。格調高く、おいしい同期会は、わきあいあいおおいにもりあがったのでした。幹事としてうれしいです。

■2003/02/14（金）修士論文審査会

小風教授のご指導でどうにかまとまった。そのうえに、盛り付けつまり項目の並べ替えまでやっていただいて、ありがたいことである。是までは本を書くといいことは先に目次を作るものとおもっていたが、学術論文は先に研究ありきで、その研究の結果を盛り付けるとゆうことがわかった。とにかく私としてはわかりやすい歴史学をめざし、研究の成果を研究者だけのものとしておきたくはない。それはぜひとも歴史学会すべてにそんな願いがある。ほんとに、毎年毎年よく勉強してたくさんの論文がつくられているのに、その成果は大衆的に還元されることは少ない。

■2003/02/09（日）名古屋へ里帰り

お正月は論文の仕上げで名古屋に行くことができなかったので、母と兄家族に会うためにいく。それともう一つ目的があった。母方の先祖の墓をさがすためである。私の祖父の林藤一郎は名古屋の東区を基盤にして一大で財をなしたひとである。しかし、そのご、息子の代で息子の早死にもあって、家は崩壊した。娘である母のところに、祖母は無一文でやってきたことや、さまざまな確執のすえ、信じられないことだが母さえも祖父や祖母の墓がどこにあるのかわからないという状態である。大正11年に林家をおそった凶事が中日新聞の前身にのっていてそれをたよりにとりあえず寺だけは突き止めることが出来た。しかし、時間がたちすぎている。名古屋では昭和30年代にすべての市中の墓を東山の平和公園に移したし、伊勢湾台風でこの寺も全壊して、記録さえもなくなっていた。

■2003/02/08（土）仏教文化講演会

築地の本願寺でおこなわれた「世界の中の真宗」を聞く。仏教のなんたるもしらないので、心が動く。梅原猛の「仏教の思想」を本棚のおくからだしてみた。

■2003/02/04（火）ストアジャーナルの取材

「成功する人，成功しない人のみわけかた」をよんでの取材。担当の渡邊さん、中迫さんともに若い女性でいい感じ。すでに本をよんでいただいているので、私よりくわしかった。本人は出来上がった後はよみかえしたくないのだから。

■2003/02/03（月）節分の日なのに

大変なミスがわかった。大学院の後期進学の願書を出してないことがわかって大変。事務に電話するもつれなし「来年入学金と受験料をはらってうけてください」来年はいると入学金と検定料計35万円無駄な出費となる。「それとも先生にお願いして論文にDをつけてもらって留年してください」しかしそれはあんまりだ。こころが平穏になってからよく考えて見よう。

■2003/01/28（火）総理の所信表明演説とブッシュ大統領演説

国会ではもう10年くらい前から、官僚答弁をやめて、政治家同士の討論をすべきだの議論があって、国会論戦はかなり改善された。しかし、ブッシュ大統領の一般教書の演説をみたあとの小泉総理のそれはもうしわけないが、演説とゆうよりは、朗読でしかない。どうしてあれくらいの演説ができなにのだろう。演説している内容に通じていないのではないかと疑問。それにしても、政治家全体にそうだが、ましてや総理大臣ならば、国民にむかってきちんと眼を見て語りかけてほしい。それだけのことができなにのなら、それは政治家として資質が問われるといううもでしょう。とにかくアメリカをこの点は大いにみならってほしい。意見に賛成なら、党を超えて立ち上がって拍手をする。日本はどうだ。眠っているか、野党はいちゃもんつけるところを探してやじつている。信頼の政治とは程遠いのも当然でしょうね。

■2003/01/20（月）猪瀬直樹さんのホームページやそのほか

猪瀬直樹さんは同世代で大活躍中です。ホームページのご自分の過去から現在までどの写真はかわいらしく、穏やかな表情のものばかり。ところが、最近はテレビで拝見しても、眉間にしわ、とても穏やかなんてもんじゃありません。大変なんですね。でもがんばってください。広島市長選が告示、現職の秋葉忠利さんは毎年広島の慰霊祭の挨拶のシーンを見ています。もとニューウェイブで氏のお人柄や能力を知っています。なに党とかでなく、応援したい人です。映画「西洋鏡」みました。なにごとも時代の変わり目の先人は大変なんですね。あたりまえになるとそんな人のこと忘れてしまいますけれど。スバル座公開中。おすすめです。

■2003/01/04（土）今年のお正月

あまりといえばあまりのお正月。大学入試の前のお正月依頼の心おだやかでないお正月です。論文の整理はほんとにきついです。パソコンも怖い。いつこわれるかって。あまりにもばかばかしいので、気分転換に平和島へ。水しぶきは夏には大変爽快感を与えてくれますが、冬は厳しさがでてそれもよし。ところで、この冬の街は赤坂東急プラザの飾りつけもなく、原宿のライトアップも中止で寂しいものがありましたが、ありました。美しく華やかなかざりつけは広尾です。明治屋周辺はほんとにきれい。

■2003/01/01（水）あけましておめでとうございます

年があけてすぐに、豊川稲荷に初詣。おきつねさんがたくさんいて、みかたになってくれたら力強いですよ。なにしろ正月もなく論文の整理におわれています。やっぱばからしくないいといったらうそになります。でも、ここまできたら意地です。30年前の中断をいちおうけりをつけたいので。夜は娘のお家におよばれ。ズワイガニとホットトマトなどをごちそうになる。帰ってまた原稿整理、パソコンのきげんが一番のストレス。こんなことならはじまから手書きにすればよかったと思うも、いまさら変更もできず。ビクビクしながらやっています。テレビで三大テノールの競演をやっていて、ききながらも作業をとおもっていたのに、あまりのすばらしさに、しばし聞きほれました。ことしもみなさまにとってよい年でありますようお祈り申し上げます。

2002

■2002/12/30（月）ノーベル賞の田中さんのお正月

故郷の富山に受賞いらい始めてかえった。「いろいろおさそいがたくさんありましたが、全部お断りしましたいつものように、家族らと静かに過ごします。」と。感動的。

■2002/12/29（日）２００２年。

北朝鮮に拉致された方々が帰国した２００２年。拉致されたご本人はもちろんその家族の苦しみを思うと、胸にせまるものがある。そのような感情さえもたない、社民党は政治責任以前人間の問題で疑問がある。民主党はいかに自分のことしか考えない人たちばかりかをあきらかにした。自民党の道路族の、利権の死守のためならなにもみえない亡者ぶり。それにくらべたら宗男なんて真面目な政治家のほうだ。若い人がいいとかの問題ではないです。自分のこととか子供のこととかみれば若いということは人生のなにもわからないということなのねとわかる。田中真喜子が好きな人は自分の中にある、抑圧した邪悪さにきずきませんか。あんな暴君をリーダーにすることはできません。辻元も恥知らずで鈍感であつかましいだけ。スターにしてこれですからね。やっぱりやめましょう政治の話は。

■2002/12/21（土）忙しい

論文のしめきりまで、あと 20 日。この間も忘年会 3 会、自分のみせひしょうでの深夜営業、母の上京、義母のお見舞い、年賀状、パーテイ残務整理。夜中と、朝論文のお勉強ですが、ほんとのこといってもうばかばかしくなりました。こんなに苦労して、だからなんなんだって。それが仕事で収入になるならどんないか励みになるかと思う。趣味のお勉強では馬鹿ばかしくってもうだめ。

■2002/12/20（金）石井こうきさんを偲ぶ会

教育会館にて。奥さまの悲しげなお顔に事件の重さをふたたび感じた。残務もかなり大変だろうこと拝察。きょうは忘年会のピーク、タクシー難民がたくさん出ることが予想された。しかし、わがひしょう、なんと１２時半ですべてのお客さんが帰られました。さすが、飲むﾌﾟﾛですね。そのあと、11 にのグループ客で 3 時まで3階がもりあがりました。

■2002/12/18（水）ばらの花

ベランダのばら。何株かのばら。ベランダをはしりまわる、比内鳥のピーちゃんが大抵の植木を掘りつくしてしまったのだけれど、そのトゲのおかげで残っている何本かのばらが、この寒さの中花を咲かせています。一株一つだけ。いつでも咲くんですね、驚きました

■2002/12/09（月）雪が降る

数日前から雪がふるかもと予想がでていたが、やっと降った。我が家の猫の建太がはしゃいで外にでたものの、余りの寒さに駐車場でうずくまっていた。よびにいくと、「ウニャ」とよろこんでついてきた。よぶと必ず返事をする猫はめずらしく、近所では評判なのです。

■2002/12/07（土）プロジェクト猪忘年会開かれる

いつものように飯田橋のまんなかやで。私は母が上京していて、そのお世話があったので、とまれ顔だけでもだしておこうと。すると鳩山さんがきてらして、参加者と懇談中であった。鳩山さんは顔色もよくて安心した。民主党の後継の党首が岡田さんで、どうやら決着しそうなのも安堵できる材料。ポロジェクト猪は「昔はよかった。」にこりかたまって、一切頭をつかうことをしないノータリン集団とはちがう。このことをもって自身をもって、大胆に政策提言してもらいたいものです。

■2002/12/02（月）やあね民主党

党首選がおわったばかりで、党首をひきずりおろし、其のとき二位だった人が党首になるなんて、変です。民主党が人気がないので、選挙がやばそうだと思う人たちがあせってなりふりかまわずやっているのです。議員がなにを考えているかよくわかるでしょ。みっともない。

■2002/12/01（日）鳩山さんについて

党首選挙がおわったすぐに、あの激しいパッシングにあってきた。あまりのいじめの激しさに、政界のガキ大将小沢一郎さんになきついた。しかし、これが、根回しも不十分だから、さらにいびりは激しくなった。こんな当たり前のことは政治家なんていわなくても、普通に50まで生きてくればだれだってしっている。それだけ、おぼっちゃんで、いい人だということを、私は悪いことだとはおもわないけれど、そんなの通るわけがない。党首選で負けて悔しい人たちが菅さんをおしたて、鳩山さんに石を投げてきたとき鳩山さんはそのようなやからを許してはいけなかったのです。党首の立場をつかって、弾圧しだまらせるか、放逐しなければいけなにのに、話し合いでなんとかなるとおもったのではないんでしょうか。やはり、いい人、普通の人には政界は生きるのは難しいです。菅直人は遠くでみていて、支持しているひともすくなからずいるようだけれど、あのぼけた顔つきとはちがう人格だからこそ、生き延びているんです。だから、近くに居た人はたいてい反菅になります。そのさいたるものが、殺された石井こうき議員でした。彼が死んだことは菅にとってはプラス。そいいう所なんです。それともうひとつ、政界では「強きについて、弱きをたたく」の大原則があるのです。それなのに、今最強のカードである党首をやめるなんてことを口にしてしまったら、おしまい。鳩山さんとは昔決算委員会の理事をいっしょにやったことがありますが、ほんとに人間としては信頼にたる、いいひとです。繰り返しますが、そのいい要素は政界では通用しません。

■2002/11/30（土）梁石日さんのサイン会にいく

渋谷パルコの地下で、4時にサイン会。私は新井直子さんからの情報ででかけ、2番目に娘真紅のために、サインをもらった。梁さんかかっこよかったですよ。しかし、ついでというかいつも本屋にいくと自分の本を買うことにしているのだが、ここには最初からおいてなかった。青山のリブロもなかった。やはり寂しい。今後はこんな本屋からはかわないようにしようとおもってしまう。

■2002/11/29（金）パーーティにおいでくださってありがとうございます

当日ぎりぎりまで、ご案内漏れがないかどうかのチェックで、会自体の進行まででがまわらないままに開会。開場の10分まえまで、お客さんはまばらで、主催者は心配されていましたが、170名をこえるみなさまにおいでいただきうれしかった。ありがとうございます。月末、校了日、授賞式とのかさなり、出張など、おいでになれあない理由がたくさんあり、あらためて、皆さんがお忙しく仕事をされていることがわかりました。それでも、仕事をぬけだして、お顔をみせてくださったかたがたも何人いらっしゃって、ありがたく、申し訳なくおもっています。会では不行き届きのことが多く、ご迷惑、ご無礼多々あったことと思います。お許しください。今後ともよろしくお願いいたします。

■2002/11/27（水）明日出版記念会です

風邪をひいてしまった。明日までには万全になりますように。皆様お待ち申しあげております。

■2002/11/26（火）民主党のごたごた

やっと党首選挙がおわって新代表がきまったばかりだというのに、すでに、党首をひきずり降ろしそうとしている人たちがいるなんて、いやですね。その中心に菅さんが居るなんて。情けない。

■2002/11/22（金）高円宮さまご逝去

47歳、スカッシュの練習中に倒れられてそのままおなくなりになった。高円宮さまとは、実はかって、スカッシュの大会の開会式でごいっしょしたことがあります。大変気さくで、暖かいおひとがらを感じたものです。私をまんなかにしての奥様とのシュリーショットもなつかしくおもいだされます。久子さまはほんとうに宮さまが大、大、大すきって感じでいいな。とおもっていました。ご冥福をお祈りいたします。

■2002/11/18（月）破廉恥社民党

先週はすごくつかれて、昨日は10時に眠ってしまった。義妹の文子さんから電話がかかってたのにネンネでした。今日は大学の図書館の本を返す期日なので、重い本を8冊もってでかける。そのまま再度かりるのだから、ネットとかなんかで更新できないもものですかねと思う。都立中央図書館、この玄関のまえのいちょうはほんとにすばらしい。自然にそだてるとこんなも広がって豊かになるもんだと感心します。かえってきて、つけたテレビ社民党の阿部知子と植田なにがしというみたこともきいたこともない馬鹿で恥知らずの男がでていた。しらないことを平気で、あいてを糾弾できる特殊な能力をもっている。拉致問題を放置し、被害者家族をふみにじり、それでも、北は正しいとしてきたことへの反省はない。追い詰めらて、しぶしぶ「不十分だった」と。人間らしい感性にかけている。1994年深いさまざまな反省の上で社会党をやめたことを誇りに思う。

■2002/11/15（金）まっちゃんを偲ぶ会

ひしょうにて、今日から三日間ひらかれます。早稲田出身のまっちゃんがなくなったらしいということで開かれました。少し乱暴なとこがあったけれど、愛嬌があるので、けっこうすかれてました。きょうだけで、17人、あすはもっと多くの人がまっちゃんを偲んでいらっしゃることでしょう。

■2002/11/13（水）出版記念会が心配

欠席しますなんて何人かの人にいわれて、悲しい。でも、どうかこれをよまれたかたはお忙しくてもぜひおいでください。よろしくお願いします。

■2002/11/12（火）都はるみさんの事務所がおとなりに越してきた。

小さな駐車場にはいりきらないどでかい車がとめてあって、なんだろうなっておもっていたところそれがはるみちゃんのなんですね。日産のプレシデントで、2000万円するといってました。スターの乗るにふさわしいです。

■2002/11/09（土）遠藤誠弁護士のお別れ会

池袋東方会館にて。氏の人柄のよさにあった人はかならず好きになるのでした。71歳、「病院にはいりたくない」といっておられたようですが、どうして、病院は死ぬことよりこわいのか、医療はここをよく考えてもらいたい。大勢の人があつまって、受付さえままならないそんな会でした。

■2002/10/31（木）拉致被害者は二度目の拉致

北朝鮮との外交交渉は予想道理決裂した。予想道理というのはアメリカが日本の独走てきな日朝関係の構築に反対したといわれていたからです。それにしても、被害者はかっては自分たちの親からひきはなされ、今度は自分たちの子供たちから引き離されているのです。国家や政治によって個人が翻弄される、その残酷さを思います。

■2002/10/30（水）成功する人のみわけかたの感想がよせられました

著書を読ませていただきました。はせさんらしい気取ったところが少しもない文章は人柄を感じさせます。相手の学歴や職業を人物判断の材料としない、人間直結主義とも呼ぶべきはせさんの姿勢はどこから来たのでしょうか。はせゆり子のなぞかもしれません。

浄土真宗を開いた親鸞も世俗の肩書きには左右されない方でした。むしろ常に今で言う社会的弱者を救済の対象にしたのです。社会的に差別され、偏見にさいなまされ、打ち棄てられた人たちに人間の尊厳を教えたのです。私は親鸞のそんな絶対平等主義ともいうべき考えに魅かれるのです。

著書の中で最初に第七章を読ませていただきました。この章ははせさんを取り巻く男たちの曼荼羅模様です。一人ひとりがきらめく星のように見えます。共通しているのは自分を決して高みに置くことなく、いつも視点を低くしていることです。田中小実昌、田中康夫、高橋道三千綱さん、難解思想の吉本隆明さんだって同じなのです。 吉本さんや立松和平さんは仏法に見識を持った方たちです。吉本さんは親鸞思想に詳しく、その親鸞論は教団学者たちだって歯が立ちません。「苦界浄土わが水俣病」の石牟礼道子さんとの親鸞についての対談には大いに触発されました。石牟礼さんは熊本県の浄土真宗寺院に寄宿して執筆活動をしていました。

全体として著書は、はせゆり子の男性論だと思います。ビジネスで成功する男の条件を語っているようですが、実は男にぞっこん惚れ込んでいるはせゆり子の「男たちよ！」と語りかけるメッセージなのです。失われた侠気を取り戻してほしいとのはせゆり子の思いが随所に見られて、この本を読んだ男たちははせゆり子のようないい女に好かれるために「しっかりしなきゃ」と、心の居ずまいをただされるのです。
狂気のイデオロギー時代を経験して、日本人は今、自らの根源に思索を巡らせているのではないでしょうか。静かに心の奥の声に耳を傾けたいものです。
長谷川現道

■2002/10/27（日）石井こう基議員の通夜

世田谷の勝国寺にて。6時をすぎたばかりでも余りの多くの会葬者の列で1時間くらいならんだ。途中かっての同僚議員現代議士がかけつけてくる。政治家らしい貫禄というのか、典型的なみてくれになっているのも、考えて見ればもう4回当選のベテランの仲間入りなのだから当然か。石井さんは江田五月先生の秘書をしていたし、もっといえば江田三郎大先生のころからの生徒？で、私も仲間にいれてもらっている、先輩かたがたの顔もそろっている。しなやかで、誠実でな人的な集まりは、いかに江田派がすばらしいもであったかを感じさせずにはいない。それにしても、憎むべき犯罪、犯人、怒りはおさまらない。石井さんはもっともその江田派のよさを体中で体現していた政治家だった。ご冥福を祈ります。

■2002/10/26（土）ゴールデン街のママが教える成功する人成功しない人

人のみわけかた」（ながい題名）が発売になりました。しかし、本屋に駆けつけてくれた友人たちから「ない」との報告、私も青山のリブロに行って見たがなるほどなかった。とまれ皆様よろしくお願いいたします。

■2002/10/25（金）小風先生とうちあわせ

要するに、論文の目次を全部つくって、書く必要はないということだった。「完成度は求めない」とも。すこしだけ心にゆとりができたかも。しかし、１９０３年の幸徳が５月１日に突如非戦論をうちだしたわけを推定し論拠をあたえるための、新聞読みはまだまだつづく。

■2002/10/24（木）東京独立雑誌をよむ

いまや東大の図書館で貴重図書あつかいになっていて、予約の上で見ることができた。手袋で読むのだから、骨董品や美術品と同じ。紙がまるで、からからになって、いまにも砕けちってしまいそうな枯葉のようです。明治３１年６月から３３年７月まで計７２号２０ページ強のうすいざっしなので、さほど大変ではなかったのですが、この内村鑑三主宰のざっしのなかには非戦論関係のものはみつけられずでした。そのかわり、明治３７年１月号の山路愛山主宰の「独立評論」に萬朝報の中のいろいろの事情が書かれた記事を見つけることができたのは成果でした。

■2002/10/19（土）島成郎氏の三回忌

茗荷谷にある、林泉寺にておこなわれる。当然のことだが、法事の客のほとんどが島さんの同世代のかたがたで、私とハムさんがもっとも若い方。秋山裕徳太子さんと三島弁護士とひしょうにむかう。島さんのお写真は私がしらない壮年のころのものだったが、なるほど、気力にみちていて、慈悲あふれたる後年のよく知っている島さんとべつの魅力を感じさせる。

■2002/10/18（金）久々に大学にいく

子風せんせいに相談のアポをとりでむく。しかし、先生は休まれていた。なんだか力がぬけた。

■2002/10/17（木）東京大学の図書館にいきました。

明治の雑誌「独立評論雑誌」と「聖書之研究」を見に行ったんです。最初資料編纂所にいきましたが、目次にあっても「独立」がなく総合図書館にいきました。しかし、そこには貴重図書になっていて予約しないとだめです。それにしてもこの雑誌が東大には3セットもあるんです。さすがです。うらやましい。

■2002/10/17（木）久しぶりに大酒のんで楽しかった

昨日水曜日お客さんが少なかった。カウンターの恵理子さん。お友達の美女二人と、はせおばさんの４人だけ。そこへ周さん。周さんはあがってしまったかどうかしりませんが、歌と赤いふんどしまでみせての大サービスでした。恵理子さんは「今日はもうお客さんもいらっしゃらないからいいかしら」と私と二人で日本酒をのみました。そのあと大上さんがいらして、すこしてつだってもらいましたが、１本のみました。ぜんぜん飲んだ気がしなにのにほんとうにひしょうの「富鶴」はおいしものですから。そのあと大上さんたちと屋台のおでんやさんにいきました。かえってからやっと飲みすぎたことに気がつきました。でもやっぱりお酒は楽しいです。

■2002/09/29（日）ビゴー展は内容豊富

川崎市民ミュジアムで１０月２７日まで。ビゴーのかいた明治の絵をみたことがないひとはおそらくいないと思いますが、彼が普通のというか画家だったんですね。色彩のある、漫画とはちがった絵もでていて興味深いですよ。明治という時代が見えます。ぜひおすすめです。ビゴーは名前がいまいちしられていないのか展覧会は静かなものです。都内のデパートや美術館の混みようといったら、一度いったら二度はいきたくないようなものが多いのですが、ビゴー展はどうしてみないのかしら。そういえば、混雑展覧会におしよせているおばさん軍団がいない、もしかして、なにかの組織をつうじて、券をばらまいているんですかね。混んでる展覧って。

■2002/09/27（金）小泉総理がんばれ

これまでに金丸信や田辺誠をはじめおおくの政治家が北朝鮮にいっているが、これだけ明確に拉致問題かかげたのは小泉総理をおいていない。北朝鮮が発表したその内容はあまりにもおぞましく、ここまでほっておいた政治、外交を呪う。しかし、現総理は人間の心で、明確に拉致を認めさせた。家族との面会をして、直接話を聞き、「拉致問題の進展なくして正常化交渉はすすめられない」と明言した。なんともすばらしいことではないか。そのほかの政治家がくすんでみえる。とりわけ、党首選挙にかまけて、せいぜい小泉総理訪朝をヤジるだけしかしなかった民主党、しかも党首選挙では当選してかった代表の方針に従うといっていたのに、あけてみれば「幹事長がきにいらぬ。」などと難癖をつけて鳩山さんをゆさぶった。結局ごねて、ポストをてにいれて、ニコニコしている、そいつらを見よ。しかし、政治とはそのようなやり方のことを言うのです。

■2002/09/22（日）墓参り

「私ができるうちは大丈夫よ」といっていた義母がついに「ちょっと今年はいけない」というので、どうしたのかと心配になった。８３歳。一人暮らしは心配というので、孫一人が住み込んでいる。しかし、それは年寄りの世話をするのではなく、年寄りに世話をさせる対象を置いておくという意味である。それが、生きがいの人には毎日の大変さが必要らしいが、それにしてもたいしたものだ。雨まじりの天気街道は渋滞、結局家にもどれたのは6時すぎ。義母も特にかわりはない。

■2002/09/21（土）新宿乱れ街ゆくまでまってをみてきました

フィルムセンター3時。お客は土曜日のせいもあってかなり多かった。ゴールデン街のいらか？がオープニンブシーン。できたばかりのひしょうがつかわれています。ちかごろでは、「あがるのきつい」の声がでる階段からおちるシーンもあります。ストーリーは脚本の新井さんの私的生活のなかのラブとセックスということですが、ゴールデン街は映画でみると、いよいよ映画的。なにをいってるのかわかりませんが。ひよう倶楽部の関係者はだれもみえないので、2次会の銭箱は中止して、近所の高島屋へ。そうそう、脚本の新井さんもきていた。「やあ、やあしばらく」と。いつも新井さんたち映画人の溜まり場となっているブラのママの顔も見える。次回は10月17日3時、同じく京橋フィルムセンターです。（裸のシーンが多い。日活ロマンポルノなので。）

■2002/09/20（金）拉致は韓国からが最高

新宿西口で都議会議員らが、拉致にたいする断固たる対処をもとめて街頭演説会をしていた。古賀さんに久々にお会いする。新進党の時の同志。ところで、拉致の最大被害をうけているのは韓国であきらかになっているものだけで、486人。外報では日本の赤軍に責任を転嫁するのではないかとのみかたもでている。なるほどなんでもありだろう。しかし、韓国からの拉致に赤軍がそれほどの力を単独でもてるはずがない。関与があっても政府が主、赤軍派一部の実行部隊にしかすぎない。赤軍の責任はとうひつよういがあっても、主従をわすれないで断固として対応していかなければならない。

■2002/09/18（水）北朝鮮の拉致

１３人の被害者のうち８人が死亡したと発表した。怒りとともに、涙がこぼれた。家族の悲嘆はいかばかりだろう。人為的に殺害がなくしてどのようにして、８人もの人が亡くなるというのだ。非人間的で、あつかましい北朝鮮のやりかたを人のよい日本

の外交や政治では予測もできず、小泉総理は国交正常化に合意した。莫大な金を送ることにもなるだろう。そのような政府のやりかたを北のやり方を断じて許さないという意味で認められない。

■2002/09/14（土）民主党はエリート政治をめざす

党首選挙は若手が一本化して、４人の争いに。たまたま運転中の車の中で菅、野田両氏の演説を聞いた。菅氏はいままで自分はよくやったと自己宣伝をしていた。野田氏はこんな党の現状では政権交代はそらぞらしいと。野田氏についてこれまでなにも知らなかったが、パワーがあっていい。単独政権をめざすのも、菅氏のあっちへふらふら、こっちへふらふらの腰の定まらない態度へのけん制か。さきがけ、社会、自民の連立政権をつくって大臣におさまった夢がよほど忘れられないのだろう。それにしても、民主党で認められるためには、学者、弁護士、官僚、医者、弁理士でなければならない。大衆には政治をさせないという党のようにみえる。これが偏見かどうか、松下政経塾さえ庶民的におもえる。（旧社会は除く）自民党は官僚と二世が主力であるとはいえ、現場の草の根政治家が活躍する場所があった。それでも鈴木宗男氏のたたかれかたをみているとこの先はどうなるのかとも。いずれにしても「賢人政治」なるものは大衆の人気をあつめやすいのではあるが、エリート主義の政治は面白みの無い、つまらない社会をおしすすめる役割をはたすだろう。さまざまな代表があってこそ政治は健全なのです。

■2002/09/11（水）旭丘同期会幹事会

昭和46年卒業の東京方面だけの同期会は1989年ころ片山さんが発起して続いてきた。そろそろ私たち女性もお手伝いをということで、今回は5人の女性でしくる。いずれも才媛ぞろいで事務もてきぱき。久々の楽しい会となった。

■2002/09/10（火）沖ノ島のマザーテレサ

久々に、家出テレビをみていたら、沖ノ島の保健婦荒木初子のことをやっていた。24歳で結核にかかり、幸運にも28歳で完治した。島が生かしてくれた事に感謝し、当時乳児死亡率全国1だった沖ノ島に保健指導をし、全国平均以下の乳児死亡率にした。その間、伝統にこりかたまった島民の反発もあり、いばらの道だった。映画「孤島の太陽」がつくられ、その名は全国にしられるようになった。こういう偉い人の話には感動し胸があつくなる。その反対の見下ろしの人々がめだちすぎる昨今。どうなってるの。

■2002/09/05（木）今井澄参議院議員のご冥福をお祈りします

もと東大安田講堂の篭城の時の行動隊長だった今井さんは1992年から参議院議員をやっておられた。お医者さんということから医師会にも配慮しなければならないことだってあっただろうし、所詮政治の世界は理屈や、すじばかりでやっていけるわけはない。いろいろの軋轢もあったんじゃないかと思います。お疲れ様でした。ご冥福をお祈りいたします。

■2002/08/31（土）ほんとはこれでいい

長野の知事選挙は明日投票。結果についてはわざわざゆうまでもないが、自転車おじさんや、どこでもでるおじさんはが全国に報道されるなどということはなかった。田中康夫効果ということだろう。泡沫候補はまともにあつかわないのが常ですが、選挙はほんとうはどうゆうものかを考えてみるひつようがありそうです。つまり、組織、団体がなければ選挙にならないのか、かてないのかということについて。

■2002/08/30（金）金曜ひしょう

4時にひしょうで打ち合わせ。そのまま深夜までのみっぱなしはきつかった。10時間ものめばあたりまえかしら。今日も11時ころまでは静かだったが、女性客が過半数だったので華やか。常連Yさんは「なれないから」とやや緊張気味でした。カクテルがたくさんでてSさんの日ごろの成果が発揮できた。女にはやはりカクテルが似合う。私も女の端くれとして、みずわりがばがばはやめてカクテルでもいただこうかしら。

■2002/08/28（水）前横浜市長死去

高信前市長は、3月の選挙に4期目をかけて出馬し、中田宏氏に敗れた。選挙はいくさ、討ち死にしても不思議ではない。和歌山の中西啓介さんも、敗戦後しばらくしてなくなってしまった。わかりきった、結果のなかでの合戦に参加している、長野の長谷川氏は、国政選挙の前哨戦しかも、恩うってという計算は、はたして計算どうりにいくのか？告示そうそう白旗をあげて、

議会や政党や労組の旧体制連合まるだしの選挙でいったいどうするんだろう。政治について何の見識も感じられない。これくらい不真面目だと「討ち死」になんてことはないから安心か。

■2002/08/26（月）昨日から合宿にきてます

伊香保温泉、の伊香保観光ホテル。ここは明治のころ外国人むけのリゾートの間で宿として作られたので、洋風のたたずまいです。勉強がなければいいのですが、なにぶんにも午後も、夜もずっとお勉強です。それにもまして私自身が発表でしたから、いやなんとも疲れました。非戦論がなぜ日露戦争の時に起きてきたか？それが、1903年に集中し、主戦論、非戦論の対決のなかで、非戦論が敗退していったことを、史実にてらして、あきらかにします。キリスト教徒は基本的に主戦論で活動、非主流の内村や木下、安部らが開戦までは人道主義で非戦論、幸徳は通説とはちがって、1903年の5月にそれまでの主戦論から非戦論に転換しました。その理由はいままであきらかにかされていません。それは、後世の歴史学者が社会主義は非戦論にきまっているとしてきた怠慢のせいです。とりわけ1900年北清事変のころの主戦論で論をはっていた幸徳が8月7日に「非戦争主義」なる文を萬ちょうほうにかき、これを非戦論のはしりとしてきたあやまりにあるのです。

■2002/08/23（金）深夜というか朝まで

金曜日。12時までかなりひしょうはすいていました。今日ははやく閉めよう家と思っていたところ、12時半ころ有馬さんから「まだ大丈夫」と電話。つずいて、明美ちゃんが「もうちょっとまってて」結局4時をすぎました。明美ちゃんは慶応の同級生を5人つれてきて、昔のまんまの「女王様」のようで幸せそうだった。名古屋の東海高校のNさん。旭丘高校の先輩の朝日参議院議員の同僚の精神科医S先生。わが同士松原元衆議院議員の奈良での高校同級生T弁護士さんt先生。案外いろんなところで人的につながっているものです。

■2002/08/18（日）さようなら藤本敏夫さん

先月31日に亡くなった。1968年に三派全学連の委員長になった。たしかあの前後セクト主義の人たちが分裂を策動したんだった。69年になってセクトのエゴたいエゴが最高頂になり、内ゲバの時代になった。藤本さんはそんなときに運動をやめた。私もおなじころ離れた。ひしょうにも藤本さんはやってきたことがある。彼は92年の参議院選挙で新党希望をたちあげて選挙に出た。私は現職の代議士だったが、応援要請にこたえた。彼は落選し、それからも、とくに付き合いは深まらなかった。学生運動から農に賭けたことは立派だ。男前であるだけでなく、ほんとうにステキな人だったと思っている。もっと親しくしておきたかった。残念。ご冥福をお祈りします。

■2002/08/16（金）湯谷温泉

一年に一度母をつれて、弟たちと旅行にいくことが慣例になっています。今年は文子さんの仕事の都合でこの日しかだめだったので、ひしょうはお休みさせてもらいました。名古屋からは1時間半くらいでいける鳳来寺のすぐちかくの「はず木」という宿にとまりましたが、昔の料理旅館を移築したもので、古風で最高でした。料理は薬膳の中国料理。薬膳なんてきくと味はちょっとと思ったのですが、とてもおいしかった。

■2002/08/13（火）外苑の花火

神宮球場で毎年おこなわれる花火大会は、周りの森とマッチしたそれはそれはおしゃれな花火です。全国あちこちで花火をみていますが、一番好き。伊豆下田港で5月の黒船祭りのときの花火もあれほど真上でうちあげられるものはみたことがないです。つまり、花火って立体だったんだということを実感できます。あとは長岡の花火をまだ見たことはないので、来年はぜひともみにいきたい。

■2002/08/10（土）ブリリアントな空

熱い日差しではあっても、空はすでに秋色で澄んでいます。からりとしている空気のおかげで、クーラーにたよらなくてもすごせました。今日土曜日は三佳さんの日ですが、札幌へかえっているので本日はお休みのところですが、高校の同級生が地方からもどってくるというので、とまれオープンします。零細で小回りがきくので、ご都合に合わせます。いつでもご一報を。2ヶ月かん都内をママチャリならぬママカーでのりまわしているダイハツミラはなんどみてもかわいらしい。今日は信濃町の慶応病院のまえでおなじ色のミラにばったり。燃費もよく、排気ガスの75パーセントをカットした設計はスリースターがついていて、税金が安いばかりか、都営の駐車場は1時間ただにうなります。いいとこだらけのミラはわたしがそうだったようにみかけた人がどんどん買っているのではないでしょうか。なにしろおすすめです。そういえば、同じ650の排気量でスポーツタイプがでまし

た。ネットでみましたが、超おしゃれ。150万円。500台の予定がすでに5000台の注文ですって。やっぱりかわいらしくて、機能的。人気しますよね。

■2002/08/09（金）夏休み

みなさん御元気ですか。ひしょうは13，14，15、日お休みです。ひしょうは土曜日に内海三佳（みか）さんがはいりました。8月火、水木が恵理子さん、月、金は坂牧さんです。みなフレッシュで元気はつらつ、私長谷も若いエネルギーのなかでがんばってます。盆は墓参りです。そんな年周りになりました。・

■2002/07/24（水）政治的に積極的無関心を生きて

1996年の秋、総選挙直前で新進党を離党し、公認を返上したそのときのことは、いまだに心がいたむ。いらい政治的なことには関与しない、する資格もないときめている。だからひたすら生きていること感覚だけを大切にしてここ数年いきてきた。政治家の批判などおこがましい。それにしてもどうなるのかこの国、この政治とおもうもどかしさは消えない。もしわたしに政治的な場があればこうするのにという思いがないわけではないが、それはつきつめてはいけないと自分をおさえている。「改革は何年もつずく」と総理が断言。そうだろう、だが、さらになおふえる失業者を予測しなが彼らの死を改革の必要条件とする計画の残酷さ。それにもまして、「改革」が税収にみあうような無駄の整理ではなく、川口大臣がODAをさらなる規模にするような「改革」に着手している。家の中で飢えていてもそとずらのいい父さんを演じなければならない日本をどうするのかが問題なのに。なんていってみてもしょうがないか。やっぱり。

■2002/07/06（土）田中知事の勝ち

　議会との全面対決をとおして、不信任がとおったあくる日、それまで低迷していた田中知事の支持率は60パーセントにはねあがった。公約を守っている知事に対する評価と、
長野県にとっての大統領である知事にたいしての暴挙への批判のあらわれだろう。マスコミは恣意的に議会のお馬鹿さんたちの立場を一般人の口をかりていわせていたものもあるが、少数だろう。議会の各派にも不信任には反対していた人もいたのに、感情的な主流派は暴走して自らの墓穴を掘ったことになる。それにしても田中康夫と言う人はたいした政治家だ。このうえは、議会も解散せず、辞職もせず、失職をまって粛々と知事選挙に出馬すればいい。

■2002/07/05（金）会議室があまりに低調なのでおなじものをこちらに

いいねえ田中康夫知事
市民派を標榜する政治家は少なくない。しかし、田中知事はそのようなイメージ戦略をつかわなかったにもかかわらず、もっとも市民、県民の立場を体現している。最悪は徳島知事である。あらかじめできっこないことを知りながら選挙で不可能なることをあたかも可能かのごとく主張して当選した。そして、当選後「やっぱりできない」というのである。「なんでも反対」がお家芸の社会党の政治家らしい。それにくらべて堂本千葉県知事は選挙地中は三番瀬のうめたてを中止するかどうか必ずしも明確にしなかった。市民団体がそのためにつきあげたりした。しかし、彼女は当選後埋め立てを中止したのである。どちらが信頼できるのかはあきらかである。田中知事はいま約束の「脱ダム」をすすめるためひるまない。それがために不信任が議決されようとしている。徳島県のようなやりかたでながいあいだ日本の政治はなりたってきた。これからもその手法でやっていきたいと願う政治業界の守旧派はいまなおたくさんいてそのような勢力が団結しているのが長野県議会の姿。田中康夫知事はいま新しいわかりやい政治の旗手としてその存在をアピールしている。政治業界の論理になじまない、そのような政治家が私はすきだ。ついいでにいうとエイズの議員も共産党みたいとあまり期待していなかったが、最近みた新聞の報道で好きな政治家のひとりになった。

■2002/06/26（水）泡沫傑人大会ひらかれる

6 月 26 日浅草の木馬亭で「泡沫傑人大会」が開催された。ブリキの皇帝などの造形作家秋山裕徳太子さんの「泡沫傑人列伝」の出版記念会である。種村氏が「傑人とは本気で一生を棒に振る人」と定義していたが、それにロマンを感じる私のような者も間違いなく泡沫人間といえるだろう。西部すすむ氏が「連絡してくれないなんて冷たいじゃないか」と電話してきてかけつけてきた。テキ屋の口上を披露する人や自慢の？フルチン姿をおひろめする人もいたが、おおむねは普通のパーティのご挨拶だった。赤瀬川源平氏も顔やコピーのおもしろさほどではない。時々しゃべらされることが多いのでいつも受け狙いに腐心している私としては少しばかりし安心した。それにしても、60 年安保世代は仲良くてうらやましい。唐牛さんと篠田さんの未亡人の顔もあった。70 年も仲良しの結束をと願う 60 年世代崇拝者の高橋ハム氏がプロジジェクト猪を作り健闘しているが 60 年のようにうまくはいかない。その理由はいくつかおもいあたるが。ここでは省略。

■2002/06/23（日）東京ニューシティ管弦楽団演奏会をきく

名古屋の旭丘航行の同級生の内藤彰氏指揮するところの演奏会の本日の曲目はラフマニノフのピアノ協奏曲大2番と、ブルックナー交響曲大7番。娘と二人で鑑賞す。内藤氏は名古屋大学理学部を卒業してから桐朋学園にいって指揮者となった。もう一人新美徳英氏も東大を卒業後芸大に入り作曲家として活躍している。作家の連城みきひこ氏も同期生、おおいに活躍してほしい。

■2002/06/22（土）議員辞職勧告決議ですって

ばかばかしい。どうせ逮捕を認めたんだから後は司直がすきにやるわけで、どうして辞職勧告が必要だってんの。自分もあやしいから「自分は関係ありません」とりきまなきゃならないんのだろうな。だいいち国民が選んだ議員を同僚としても、制度上も（三権分立）やってはならない。ようするに国民にたいするいパフォーマンスと野党とのかけひきにすぎないのである。

■2002/06/20（木）鈴木宗男氏逮捕される

それにしてもなぜ数ある議員のなかで鈴木氏なのか。むしろ彼は地元の人々の側にたってがんばっていたことをおもえばかわいそうだ。アフリカやロシアなどのあまり票にも金にもなりにくいこともやってきた。そこにまつわる金（今回の 500 万円はあまりにも小さいが）が不法という点ではほかもやっているからとはいえないが、それにしてもなぜ特定の政治家だけがあがるのだろう。なぞである。政治家の暗闘に関係ありそう感じだがほんとのところどうしてなのかどなたかおしえて。

■2002/06/18（火）ナブラチロワが復帰戦で勝つ

94 年に引退した。ナブラチロワはしでに 45 歳。18 日にイギリスのイーストボーンでおこなわれたシングル 1 回戦で勝利した。ひたすら勝負にかける、彼女のプレーが好きで応援していたから今回のニュースはとてもうれしい。

■2002/06/17（月）政治家の原色の服

たまたまテレビをつけたら、真っ赤、と鮮やか黄緑の政治家さん。赤は松島、黄緑は田嶋。「赤い人スゴカッタネ毒いちごみたい」とビートタケシがコメントしてたが、わたしも松島さんにはびっくり。江東だかそのへんでポスターはみたことがあるけれど、あんなにどぎつい顔をしてるなんてしらなかった。田嶋氏はご存知のとおり。まんなかにいた白の水島女史が清楚にみえたことはいうまでもない。議場でも点々と度派手な色の議員がねにつくがどうしてあんな服を着るのだろう。そういう自分もけっこう派手なものきてたもんね。時代が超カラフル時代だったからいまほど違和感はなかったと思うがとてもいまさら切れるようなものではない。選挙になると「めだたないかん」と至上命令がくだされるので、そのまま感性が持続するのかしら。とにかくめだとう精神のあらわれではありそうだ。

■2002/06/14（金）金曜はとくにいかんでかんわ

先週のひしょうの嘆きを読んで、「かっわいそうだがね」とマスドラ会のMさんがきてくれた。ありがとう。うれしいです。去年の秋にSさんがつれてきてくれて、「なんてったってドラゴンズ」で意気投合。ワールドカップの影で中日もがんばってる。燃えよドラゴンズ。

■2002/06/13（木）プラド美術展

スペインのプラド美術館の作品は圧倒的に中世の宮廷絵画だ。真っ暗闇を感じさせる絵画は先日みた映画「アザーズ」の影響もあってあの世の世界を描いたものに思えてしまう。石でつくったお城は実際なかは真っ暗だったのではないか。描かれた人々の命の短さや顔つきのあまりにブリリアントな輝きがいっそう不気味に感じられる。
浅草のアサヒビール本社のうえにあるアラスカにいく。曇っていたのでとおくははっきりすなかったが、隅田川の上からの眺めは新鮮で感激。さぞかし夏の花火鑑賞はよさそうだ。38000 円なり。ウッ。あわびステーキはどうしてなまあったかくしあげてあるのだろう。多分貝がかたくなららいためとかだろが、有楽町のレバンテもそのようにしてあった。あわびは伊豆下田駅ちかくの中川の刺身と、麻布十番のトラックの魚屋さんのと六本木四川飯店と、阿佐ヶ谷松すしのものにかぎる。それにしてもこのレストランぜんぜんお客がいない。ひろい店内を手持ち無沙汰にした店員がいったりきたり。その視線が集中しているようで落ち着かない。ひしょうもそうだけれどこんなにおおきな店ではほんとに大変だと同情。

■2002/06/12（水）六本木へ

日曜日の六本木は大フィーバーしたらしい。もちろんワールドカップの応援団たちだ。今日も静かなひしょうだったので 12 時に店を閉めてあけみちゃんと六本木にいった。車はとおれるのかと心配だったが、今日の町はいたって平穏。メッカのロアビルでさえアイルランドとスエーデン組みがいるだけだつた。アイルランドの若者が「イングランドは好きじゃない」といっていたが、両国とも勝ってまずはコングラチュレィション。サポーターの年齢がばらけているのがいい。おばさん二人組みはビールをのんでドンキーでかいものして、お茶を飲んで帰りました。
今日は論文少しかけました。明日はまた用事があるのでだめかもしれない。かるときにやっておかないといけない。

■2002/06/10（月）名古屋の旭丘の月例会

同期 18 期の吉田章さんが講師なので応援にいく。高校時代体操部でそのまま教育大学の体育学部にいき、今はつくば大学の助教授である。野外教育が専門で楽しい話をしてくれた。

■2002/05/21（火）景気が底をうったというけれど

ひしょうは不況。かなえさんが風邪うをひいて休む。このような時できれば私がかわる。なぜならば現場を時々体験しないとほんとのところがわからなくなる。だれもこない何時間を耐えるというつらさや、店全体の設置とかそのたいろいろ。こんなときに店にとことん向き合うとやっぱりつらくなる。いつもは逃げてごまかしているそんなことをつきつけられる。経営は規模が小さくてもしんどいものだ。赤坂のママの死も悲しい。

■2002/05/18（土）猫の効用

とかくこの世はままならず、くたびれることばかり。それでも愛猫ケンタをみるとおもわず「かわいい」と感嘆してしまう。おそらく癒しの効果抜群ではないかと思う。正子ちゃん、猫が怖いといってるけどそんなことないよ。私はこれほどまでにかわいー感情をつくりだしてくれる生き物がそばにいて幸せです。
ところでこの猫とにわとりはどっちがつよいか？もちろんにわとりです。猫はベランダをとりが占拠している間はでられない。たまに鶏が部屋にはいると襲う。といっても武術のすんどめの技なので危害はくわえない。猫のすごさを理解しない鳥はびくともしないし、反対にくちばしで猫をつつくので、猫はやはり勝てない。おびえをしらないということは強くもある。

■2002/05/17（金）森哲志さんの出版記念会

「不屈のプレーボール」が水野スポーツ大賞を受賞したお祝いが有楽町マリオンにある朝日新聞のホールでひらかれました。呼びかけ人に高三千綱さんをと森さんにたのまれてひきうけてもらった。三千綱さんおつかれさまでした。ひしょうにお嬢さんもきてくれた。むろん森さんの奥様、お嬢さんの美紀ちゃんもいらしてはなやかな日となりました。森哲さんはいつもよくよっぱらっているのに仕事以外で4冊目。プロ作家をめざす足ががりができたのでしょう。えらいものです。とにかく知ってる人のめでたごとや出世はうれしいものです。

■2002/05/16（木）柳家こさん師匠逝去

落語界の人間国宝、後進の育成にも力を注ぎ、人間としても尊敬を集めていた。前日の夜も普通に食事をして次の朝はめざめない。静かに穏やかにあちらの世界へ移っていった。みごとですね。これ以上の生き方はそうはない。最近は友人のなかにもボツボツ死んでしまう人がいる。まだ若すぎるのかこさん師匠のようには死ねない。死に方を考えるそんな年になってしまった。

■2002/05/15（水）救急車で娘が

朝早い電話。「真紅さんがおなかが痛くて病院にきています。直ぐにきてください。」とむこさん。おなかが痛くて救急車となれば17年前の私の時の恐ろしいできごとを思い出す。びっくりしたのなんの。神様に大事でないことを祈る。（こういう場合の神様はなんなのだろう。）直ぐにタクシーで聖路加病院へむかった。娘は車椅子にのって青ざめた顔でいる。心配心配どうしようとあせる気持ちだったが、気というか、親の本能というかなぜか胸がドキドキしない。その自分の反応に期待した。父が死んだとき何度目かの見舞いのとき病室へ向かったときの胸の騒ぎや父の具合が悪いとの連絡を受けたときのドキッはなぜかなかった。家に連れて帰るときの具合の悪さ、そこでの輸気が効を奏しては娘やっとねむった。これで大丈夫。それにしても驚いた。

■2002/05/13（月）ゼミ発表

「日露戦争における非戦論形成」を検討するにあたりこれまでの通説は幸徳が1900年義和団の時の清への出兵のころ8月7日の萬朝報の論説をもってあたかもここから非戦論がはじまったとするものだ。しかし、そうはどうしても読めない。つまり8月7日の論説の前後は一貫して幸徳は出兵を主張している。しかもこの論説を書いたのは幸徳ではなくて黒岩涙香だといっているものまである。しかし、調べればしらべるほど結構歴史がいっているのもいいかげんだとわかる。あらゆるものの見直しがいま必要だ。私は史家としての作業が役割か。

■2002/05/12（日）母の日

娘とおむこさんがやってきてカーネーションをくれる。エスプレッソ用のカップとそこへのコーヒー。ありがとう。

■2002/05/10（金）菜種梅雨？

連休後半の伊豆もお天気はいまいちだった。東京もそのごもぐずぐずしていて、急は一日中雨。朝目覚めたときパット青空が広がっているのとどんより空では目覚めの気分がちがう。霧のロンドンや北欧の冬は寂しいだろうな。やっぱり日本はいいところにある。あらをさがすよりいいところをみつけていきたい。そうそうひしょうにスエーデン大使館の人がきていた。若いひとが日本の演歌をとても上手にうたったり、まるでなまらない流暢な日本語にびっくり。

■2002/05/08（水）瀋陽総領事館

領事館ないに中国の官憲がはいって北朝鮮からの亡命者をつかまえて連行した。中国のやりかたがひどいのはもちろんだ。しかし、フィルムでみるかぎり日本の職員の対応も危機感がまったくない。これで給与をもらっていられるのかといいたい。大使も公使も外務大臣もどんなふうに外交という重要な仕事をしているというのだろう。かって議員のとき世界遺産条約の早期批准を主張していて、その批准の約束を国会の場で答弁してもらうのとひきかえに私は「在外公館の待遇をもっとよくせよ」といった。この間の外務省のありようや、今回の事件を見るにつけ今は忸怩たる思い。

■2002/05/07（火）アザーズを観る

全編暗い光の中で展開する。みおわって外に出るとこの世かあの世か懐疑的な気持ちになった。
「蝶の舌」は叙情的な子供と先生の世界が政治のもと恐ろしい関係を生むその恐ろしさ。民衆の生活の知恵のその恐ろしさ。

■2002/04/28（日）天皇賞

基本的に穴党。その主義のおかげで昔はかなりビッグなプレゼントをもらっていた。最近は競馬もマージャンにも力がはいらない。なにをやっても若いときのようにおもしろくない。悲しいことだ。それでもたまには馬券をかう。穴党としても今日の天皇賞はひさびさのかったいレースと読める。ナリタと4歳を比較すれば力は段違いなことは自明、とすれば4歳のマンハッタンカフェとジャングルの一騎打ち。でもそれではおもしろくない。そこで、デムーロ騎乗ののボーンキングから両馬に2点。おかげでゴール直前いいとこありまくって熱くなれた。昔はいじでもこの2点でとめておくのだけれどいまは穏やかなおばさんになったせいか、本命の4－7をおさえてしまった。まっこのおかげで今日もマイナスにならずにすんだのだった。

■2002/04/27（土）やっと日露戦争論文の史料を概観

幸徳秋水の萬朝報、明治31年から明治36年10月の退社までの論説の大要リストができた。非「非戦論」から「非戦論」にかわっていったのはなぜなのかを探るための基本作業。おかげで西蔵、白耳義、北威、瑞典、丁抹、和蘭などの昔の国名表記がよめるようになった。カタカナがなかったわけじゃないんですがね。エジプトなんていまのパソコンではかけません。

■2002/04/26（金）すでに連休にモード

連休前半のスタートを前にした金曜のせいかひしょうはガランとした展開になった。それはそれで落ち着いてお客様と会話できる。しかし、びっくりしたのは2時過ぎにタクシーをさがしたものの町中人があふれていて車どころではなかった。世の中とすでにすっかりずれてるのね。

■2002/04/25（木）誕生日

またひとつ年齢を重ねてしまった。この年まで元気で生きてこれてうれしい。かってもう17年まえに入院したときのことを思うと普通の人にはない感情がある。それにしてもあのときの病名をしりもしないのに知ったかぶりして「子宮ガン」とデマ宣伝をしたのがやっぱりブントのｋだった。彼が本当の病名をしりうるわけがないことぐらいだれにもわかりそうなものなのに、この情報が独り歩きして、昔の私を知る人のなかにはそう思っている人も多いだろう。デマの普及は恐ろしい。そうではないといっても「どうせ本人は知らされていないんだから」と馬鹿にした態度をとる人までいる始末。ほんとにいやな感じ。私が病名をしらないわけはない。カルテのうえでの専門用語も含めて理解している。たしかに厳しい病気だったことは確かだが、それは子宮ガンなどというありきたりの病気ではなかった。正確な病名をいうべきかもしれないが、いいたくない。病気はつねに差別と好奇心の対象にされるから。とにかく子宮ガンなどと女をみればそんなあてずっぽうでいえばあたらずといえど遠からずとおもっている、卑しいしったかぶりがどんなに迷惑なことか。それにしてもよくも女の生殖器の名前をしゃあしゃあといえるもんだ。猥談の対象にされたようで恥ずかしい。セクハラという言葉をあまり拡大したくないがやっぱりセクハラだろう。

■2002/04/24（水）中国映画山の郵便屋

中国の山岳地方で親子2代の郵便配達の仕事の映画。3日で120キロを踏破しなくてはならない。過酷な仕事の中にあるのは責任感だろう。いつも家をあけてばかりの夫と妻にさらに仕事を引き継ぐ息子の愛が全編を貫く。1時間はんの間ひたすら山と川を行く姿が映し出されるだけの映画なのに今の日本にあまりにもほどとおい世界のためか、けっこう感動的だった。あっ中国の昔の映画ではなく1990年くらいの設定です。

■2002/04/23（火）どうしてこんなに早く時が

この日記をみるといつのまにか時間がすぎてあらゆることが猛スピードで過去の出来事になっていきます。学校のぜみ7もはじまったけれどあの小さな大学の大学院のゼミに30人は多すぎる。ゼミの発表の時間がとれず一度に3人ずつ発表ってそんなことで論文指導してもらえるのかって心配。それにしてもあまりにもオタッキーな細かいことばかりが報告されると専門外ではつまらない。つまりもっと一般の人には絶対読んもらわないことが前提になっているのだ。しかし、わが大学のようにそのようなオタッキーな研究をしても学会のなかで職がえられればこそで、東大の植民地大学ではドクターをとったって教職につけない。嫁の貰い手を捜すしかない。なんだかまたしても30年前とおなじようにあきてきた。やめたくなってきた。

■2002/04/20（土）ひしょう倶楽部発足会

新宿の湖南料理店「雪園」にて。18名の出席をいただきました。クラブ活動をつうじて、ひしょうが元気にやっていけることをねがってやみません。みなさんどうぞよろしくお願いいたします。

■2002/04/15（月）バラが咲いた

バラが咲いた、真紅なバラが。このバラはここ数年の4回の引越しをしてきたものです。引っ越しやのおにいさんが「これもですか」とびっくりするような貧弱なバラだった。しかし、今は背丈をこえて立派になって大輪の花をいくつもいくつもさかせている。環境によってこれだけちがうものかと思うより、「ずっとすてないでくれてありがとう」といっているように思える。
もうひとつついでにイチョウのこと。家の前は銀杏並木です。今年は桜もなにもみんな早く咲いたし、新芽をはやくつけていた。それなのにイチョウだけはかたくなに時期をまっていた。周り中春なのに堅い幹のまま頑固にたっていた。

■2002/04/13（土）高畠素之研究の田中先生

寿臣さんが研究会ででであったというので田中真人先生と伊藤晃先生らをひしょうに案内してくれた。田中先生は名古屋の旭丘高校の先輩でもあって以前はお手紙で指導を受けていたのだが、お会いできて感激。「なに高畠」という反応で寿臣さんが一気にコーディネイトしてくれた。感謝、感謝。

■2002/04/12（金）四万十川にいってきました

高知からさらに1時間半で中村につきます。ここが四万十川n旅の起点であると同時に幸徳秋水の郷里です。古くから土佐の小京都といわれているところです。秋水の墓は1911年1月処刑された直後の1月24日に兄さんによって建立されました。大逆の幸徳をふるさとは受け入れました。死刑判決2日後にかいた漢詩がありましたが、自分は世渡りもへたで、成り行きに任せて生きてきた。だからこのように囚われ死刑になるといっても何を恨もうかといったようなことが書いてあるのには胸にぐっとくるものがありました。四万十川にはここにしかない沈下橋がなんぼんもあって独特の景観をつくっています。静かで東京の日々をおくっているものからすると日本かしらここはとさえ思えてきました。

■2002/03/31（日）千鳥が淵の桜

3月16日に開花宣言した桜はよくもって、今日も葉をいくぶんつけながらも咲いている。母の体力にあわせて周辺を車でとおっただけでは名残惜しく、淵まででむく。やっぱり美しい。夜再度今年度最後のライトアップされた桜をみにでかける。幽玄の」世界。この世のものとはおもえない。感激。何度見ても。だからいつも桜のころは上の空。夜は雨。それさえもシックに感じられる。

■2002/03/28（木）近所の桜

桜の名所をたずね歩くも近くの桜もすばらしい。隣の都営住宅は2年まえにたてかえられてその時の植栽がみごと。そのとなりの青山中学はかって陸軍大学校があったところで桜の名所です。敷地をこえてのびた桜の枝のために塀に穴を開けている。それが脇の道のうえにおおいかかってなんともステキな景観をつくっている。外苑西どおりは東宮御所に面していてその一帯も桜並木になっています。明治記念館のある権田原を再び外苑のほうにはいるとそこはしだれ桜がたくさんあります。こちらはソメイヨシノより少しはやいのか昨日の雨でかなりちってしまいました。それでも今日はよい天気でお花見びより。

■2002/03/27（水）アフガニスタンの地震

一難さってまた一難。
辻元氏が辞職。秘書給与の詐欺疑惑がかけられているのに犯罪認識がなく迷走した。弁護士がつうていたのにこの体たらくではやくにたたない、そしてきちんとまわせる秘書も友もなにもいないのだろう。社民党が率先してやめろ、やめろというのもやっぱりあの党だ。国会対策上はむろんはやくやめてもらわなければならない。その社民党を氏が辞めなかったのはよほど優遇されていたのだろう。

■2002/03/24（日）新宿御苑の桜

ひろびろとした園内に75種類1500本の桜がさきみだれほんとうにすばらしい。4月6日のひしょうのお花見の下見をかねてきているので当然2週間あとの桜状況に関心あり。まだつぼみのかたいものがいくつもあってこれが満開の花をみせてくれるだろう。

■2002/03/23（土）母上京

今年の5月5日に82歳になる。何年かまえからは名古屋を出るときと東京の出迎えが必要になった。というものの若々しくて元気だ。歩くのが遅くなったのと耳が遠くなったのをのぞくが70歳くらいにみえる。化粧はかかさない。わたしと大違い。が、愚痴がおおくなった。今回はもうろくしたのかなと思ったのはもってきたはずの指輪やネックレスがないといって何時間ももってきたわずかばかりの荷物のなかをさがしていた。「あげようとおもったのに」と悔しがっていた。私はどうせ忘れてきたのだろうと思っていたが、一応気の済むように汽車の忘れ物センターに問い合わせたりした。年をとった親を認識するのはきつい。正直なところ疲れる。

■2002/03/22（金）政界バトルロワイアル

政界の疑惑とスキャンダルは深作欣二の映画バトルロワイヤルのようにあちこちに飛び火。社民党の疑惑追求の急先鋒辻元疑惑になってバトルは本格化か。いつも追求している議員をみるたびに「あんたはだいじょうぶ？」と思ってきたがやっぱり。そもそも生き残っている政治家に完全にきれいはいないのである。スーパーマリオのように火の粉や落石や地雷や落とし穴をよけてこそ政治家としていきのこることができるのです。

■2002/03/21（木）満開の桜の下での墓参り

八王子へ墓参り。途中井の頭公園へ立ち寄る。花は満開。しかし、粉塵がふきあげる強い風のため花見客は早々に退却していた。シートが空をとんでいるものもあった。

■2002/03/20（水）今月の横道読書録

「萬朝報」の解読以外についつい目に付く本をよんでしまう。「日本の近代思想」鹿野直道「日本政治失敗の研究」坂野淳治「比較史の遠近法」斎藤修「2003年の本破産」浅井隆「生活史の発見」角山栄「日本人の心情」山伏哲雄「歴史人口学で見

た日本」遠水融「「幸徳秋水」飛鳥井雅道「帝国主義時代の幕開け」尾鍋輝彦「初期社会主義と万国社会党」西川正雄「日本の運命」吉野源三郎「日本の歴史を読み直す」網野善彦「時計の社会史」角山栄「昭和天皇独白録」の再読「朝鮮戦争の謎と真実」トルクノフ「動物の開放」ピーター・シガー「女性と攻撃性]ミッチャリーヒ「徳川時代の社会史」大口勇次郎「写真的記憶」「20 世紀写真論、終章」「写真編集者」西井一夫「北京原人」杉崎寿和「魂の流れ行く先」梁石日「東京の地理がわかる辞典」鈴木理生「資本主義」今村仁司「フェミズムの害毒」林義郎「龍の百科」池上正治「地球観光旅行」荒俣宏「岸信介の回想」「団塊の世代が日本を滅ぼす」「堺利彦伝」「阿部磯雄伝」片山哲「梅沢冨美雄と梅沢武生劇団のひみつ」「表と裏」梁石日

■2002/03/19（火）修士論文発表会

今年は歴史関係で10本提出された。近現代はとにかく中国史の「唐代の墓誌からみた夫婦合葬」「隋唐代における仏教の中国化の諸相」ドイツ史関係の「ハーゲンクロイツと日の丸のあいだ」などに興味あり。六義園のしだれ桜が満開になったとの情報がはいり観桜にでかける。例年よりずいぶんはやくてライトアップはまにあわない。

■2002/03/17（日）北朝鮮の拉致に赤軍が関与とは

1970 年よど号を青春の革命的ロマンとまぶしくかんじたものだったがその内実は主義者の独善の世界だったことはとうにわかっていた。しかし、北の拉致問題は国家間の重要な案件、それに日本人が関与していたわけだから言語道断というべき。そもそも他人の痛みがわからないやつ、他者の人生をみとめないやからにはどんなささいな権力ももってもらいたくない。

■2002/02/28（木）助太刀屋助六

上州やくざの助六を演じる真田広之はさすが千葉真一の弟子だけあってその動きのいいことといったらない。じつにかっこよかった。映画も役者も。

■2002/02/27（水）政局ばかりが先行する政治

鈴木宗男に対する風圧はいっそう激しく野党はここぞとばかりハッスル。自由党も共産党も手を結んで点数稼ぎ。国会質問にたっていた民主党のハラグチとかいう議員の態度の大柄さはやな感じ。この人は社会の普通の教養人ですらないと思う。

■2002/02/26（火）梅にうぐいす？

広尾にある都立中央図書館へ。有栖川公園の梅は木の三分の一は満開、残りはまだまだ2分咲きくらい。満開の紅いろの梅の木に二羽のうぐいすが花の蜜をすっていた。そのかわいらしさにとおりががりの人たちもしばし見入っていた。花札にもある梅にうぐいすの絵柄と感動していたが、実は蜜をすうのはほとんどうぐいすではなくてめじろだそうです。めのまわりが白いそれがめじろ、こんどはよくたしかめてみよう。

■2002/02/26（火）ベランダの桜

桜が満開、2月は暦のうえでは春うを実感させてくれます。この桜何年かまえに花がおわったものを安くかってきたものですが、次の年からいつも美しいはなを咲かせて楽しませてくれています。ちなみに私はあちこちにみすてられている草花をひろってきて咲かせることが上手なんです。

■2002/02/25（月）幸徳秋水

小風せんせいにいただいた幸徳秋水全集の12冊目の妻千代子氏の「風風雨雨」のなかに新婚当時麻布宮村町に住んでいたという記述にびっくり。ここは今森ビルによって開発中でいまさらそのあとをたどろうとしても至難のわざですが、かってながく私はこの土地に住んでいたことがあってすみからすみまでしっています。第二次世界大戦の空襲でこのあたりは完全にやけてしまっているというものの土地はそのままでした。古くからすんでいる人もたくさんいました。アナーキストの白井さんはお隣でした。もっとはやくそんな歴史をしっていたら、おもしろかったのに。

■2002/02/24（日）田中真紀子から連想するもの

田中真紀子に「漬物を用意しろ」といわれておたおたしている夢を見た。何だってゆうんだと馬鹿馬鹿しかった。しかし、やっぱり恐怖の女。私のイメージはネロか西大后か不思議の国のアリスのなかのクイーン。どうしてあんな怖い人が人気するのだろう。お手伝いさんににえやカレーをかけてやけどさせたなんて記事がでてるのに。名誉毀損という話もないのできっとほんとなんだろう。
しかし、総理は更迭の時期をまちがえた。スカートをふんでいたとしたらしれは評価されようが、問題は外交を任せておくことは日本にとって危機的だったのでそのことをこうてつの時期にすべきだった。

■2002/02/23（土）真矢さん還暦のお祝い会

中野で 20 年にわたって整体指導をボランティアでやってきたまやさんのおお祝い会がたまははきで開かれた。。ご本人は 60 歳を「自分でも信じられませんよ。めでたくもありめでたくもなしです」と。幡ヶ谷「たまははき」は鶴の子という日本酒にこだわった和風居酒屋。ごひいきに。

■2002/02/19（火）江東区白河

毎月一度いく白河の整体道場にいく。商店街に柿沢こうじさんと息子さんが同じポスターのなかでにっこり。政治はおいしい職業といっているようでへんな感じ。

■2002/02/18（月）ソルトレークオリンピック

なんといっても大ジャンプ。エース船木にもメダルはこなかった。あの完璧な飛行姿勢に素人だって感激してきたのに、わずか２センチのスキーがみじかくなったことが精神的にも技術的にもマイナスになるということか。がんばって。ちなみにテニスのナブラチロア、有森裕子、船木の熱烈ファンとしては。

■2002/02/12（火）銀杏並木

明治神宮の外苑にあたる家のまえの木々を大胆に切り込んでおかげで道路を歩く人の姿がよく見える。この並木のベンチに真夜中でも毛布をかぶって寝ている人がいる。同世代。一番厳しく矛盾をかぶっている団塊の世代。たの世代ではなく同じ世代で助け合うそれしかないだろうと覚悟。

■2002/01/27（日）ゆとり教育の見直し賛成

遠山文部大臣の指導力に敬意。そして日教組がこれを許容するうごきになってまずはおめでとう。これ以上学力が低下したらいっそうの日本の地盤沈下は促進されるばかりだから。

■2002/01/26（土）会議室への投稿ができません

せっかく書き込んでもエラーがでて戻るとすべての文章が消えているという具合でめがています。みなさんはどうですか？どうしたらいいでしょう。ヘルプです。どなたか教えてください。

■2002/01/24（木）仙谷由人事務所

娘の結婚式に祝電をもらったのでお礼にでむく。秘書の來さんにほんとうになんねんぶりかで会えてうれしい。相変わらず物静かで、超有能。仙石さんは 93 年の選挙でわずかな差で苦杯をなめている。96 年に復帰していらい大活躍で昨年秋の予算委員会の質問は実にすばらしかった。仙石、來さんのコンビはこれからも日本の政治をリードしてくれるだろう。アフガニスタンへの支援のもんだいで、国際情報に通じている須田さん、來さんがにつないでくれてその日のうちに会うことができた。私が 92 年カンボジアへ行ったとき秋葉さん（現広島市長）の秘書をしていた須田さんがカンボジアのngoを案内してくれた。その動きのよさ自然体ぶりをよく覚えていたので、ある人から相談を受けたときすぐに須田さんのことを思い出した。

■2002/01/19（土）木更津市長

市長が事業に失敗して収めるべき税金がとどこおっていることを、市民が攻める責める。どうしてだろう。事業をすればだれだって経済的に苦境になって税金をはらえないことだってあるのに。それをよくあんなふうにいえるものだ。えらいもんだ。こわいもんだ。もしかして石岡の市町と混同してるのかしら。

■2002/01/18（金）針谷朱美さんと

「紹介したいすし屋」があるという呼び出しで昔馴染みの「妹」のいる四谷三丁目へ。なるほど若い朱美さん知り合いという大将のうでがさえる繊細な魚はおいしい。きちんと仕事がしてあるそういうすし屋はすくない。価格はやたら名店ずれしたお値段とはほどとおくこれなら何度もいけそうである。この店の近くに彼女の自宅と会社の事務所をかねた家があって、美しい猫三匹とくらしているが、猫に対して「声がかわる」というほどの可愛がりよう、私もひとごとではないが。確かに猫にはかわいらしさの強烈な魔力がある。

■2002/01/15（火）セランにて

青山のセランでいつものランチメンバーと食事。篠原さんお本「ともをえらべば中国人」が来週出る。上海の現状や、株価の見通しや、共通の友人らの話で盛り上がる。

■2002/01/14（月）千野さんのお別れ会

学習院でおこなわれたお別れ会は大勢の人が集まり献花だけで 1 時間半かかった。氏の人望と立場を示すものだろう。自分にも学生にもきびしかったといわれるが、すべてを完全にやるのはさぞかし疲れたことだろう。「お疲れ様でした」小学館へいっている武田氏と文子さんとで夕方までビールをのみながら旧交をあたためる。ともかく元気な形で仲良くしたいものです。

■2002/01/13（日）鬼怒川温泉

やっと骨休めができる。白河という宿は港区の推薦の宿で補助もあって 7500 円とやすい。しかし、かなり納得のいく宿だった。

■2002/01/11（金）猫の決闘

1 月から3がつにかけて猫達の春の季節。我が家のけんたも 2 歳をこえて一人前になった。マンションの 2 階では出入りも自由ではないので飛び出してしまった猫のことは気がかり、なんども夜中に猫ならずねこの里親は捜索に歩かねばならなかった。おかげで近所の猫たちを数えることができた。かわいらしいこえであまったれのけんたが貫禄の「あーご」とほえるのにはもうびっくり。

■2002/01/09（水）テロリスト

「これまで暗殺者のでるのは、その主義の如何に関するものではなくて、その時の特別の事情と、その人の特有の気質とが会い触れて、この行為立ち至るのです。」と幸徳秋水。大逆事件に連座して死刑をまつ間にかかれた「陳弁書」にかかれたものである。「平民社の人々」「新聞で読む明治史」「日本を作った男達」「明治社会主義叢書5平民新聞英訳記事」「幸徳秋水全集5」とここまでは順調が、またわき道にそれて網野善彦「日本史を読み直す」「消費者としての江戸城」と脱線。先日の 5 冊は無論すべてよんでしまった。こんなことではまにあわないのに。風邪やや復調。それにしても体調が悪いと何事にも悲観的になる。結核に苦しんだ管野スガは「なんて生きているのは苦しいことだろう」といいっている。苦しさから逃れたいと思うのは当然だしそのことが氏の行動に影響を及ぼしていると私には感じられる。

２００１

■2001/12/31（月）ついに大晦日

とにかくこの１年ははやくすぎた。なにごとにも追いつかない一年だった。母と弟と文子さんがやってた。銀座の寅やでまぐろをかって、彦根からおくられた山芋と鮎の佃煮などで食事。

■2001/12/30（日）築地に買出し

賑やかな築地にきてやっと年末の気分に。お正月が意識できない日々のなりわい。

■2001/12/27（木）ひしょう忘年会

今年は全スタッフ5人と私の6人で対応。（1人休み）だから昨年のようにもたつかなかったが、多くの方はよほど深酒にこりているのかビールがやたら繁盛した。昨年の大波乱をもたらした、島根の魁龍も一本あかなかった。ま、なごやかなひしょう忘年会というのもたまにはいいか。しかし、前日は今日これない人たちで賑わい、結果的に両日とも帰宅は午前6時。いやなんともすごい。何が？体力、体力。

■2001/12/24（月）競艇

昨夜は休日ではやくねむった。今朝は5時半にめざめてまだくらいなかで本をよみはじめた。「平民社の女西川文子の自伝」西川光二郎の妻がかたるへ平民社はまるで学生サークルのような気軽さと、楽しさに満ちている。午後天気もよいので平和島の競艇場へ。今日は住吉でおこなわれた賞金王決定戦を見に行く。後半3レースだけとおもっていたが、途中の電車でなんどものりかえたりまたされたりしたため、時間がずれこみ、10レースはあたりを記入したカードをもったまま締め切り。やな感じとおもうもめげずに11レース。こちらは大的中、しかも大穴で5770円の配当がついた。予想屋にご祝儀。12レースこそはずしたものの、はっきりいって競艇はまったくわからない。わからないのにあたる、これはビギナーズラックといってばくさいを期待させるものだ。かえってまた「幸徳秋水全集」幸徳は「富くじ、賭博の類はことごとくご法度で法律で弾圧すべし」といっている。おお怖い。

■2001/12/23（日）夜明けのコーヒー

朝4時半始発がでるまで、新宿駅まえのボアでコーヒーをのんでいた。昔の仲間モッチャンと妹の文子と。本当に30年前にすっかりもどってしまった。まだ暗いだけましだったが、疲れた。六本木はまとうへkさんと。満員御礼、しかし、そうなると、そんなになる店かしらと思う。昨年はこの日に忘年会でにぎわったが今年は静かな日だった。

■2001/12/20（木）さすが 12 月

ひしょうは12月らしいとはいえなかった。しかし、終電のりおくれたらタクシーがない。やっとのった車の運転手曰く「今日はもうこんなでですよ」という乗車日記はびっしり。前の人が偶然おりてのせてもらったので、なんだかびびって「おつりはいいです」といってしまった。

■2001/12/17（月）小風先生の講義

今年最後の学部の特講、日本の近代を構造的に多方面から検討する先生の話はいつもおもしろい。いかに一面的に日本史を理解しているのか反省すべきである。今日の話はにほんに定着している西洋建築の由来についてである。ヨーロッパルートと、アメリカルートの違いや、それらを変容させながら定着させてきた日本的文化、伝統など興味ぶかい、歴史をイデオロギィから開放するためにはこのような学問の方法が必要だろう。

■2001/12/16（日）不良債権の処理って

こういうことなのかなと思う。青山一丁目から246どうりを渋谷方面に2，3百メートルいくと青山2丁目。わずかなこのあいだでいまビル工事が4ヵ所おこなわれている。ここ3年のあいだにすでにホンダとポーラの本社の間にビルができ、つずいて並びのもビルが完成している。あわせて6ビル。歯の抜けたような景観がいま建設中のビルの完成ですべて解消することになる。

■2001/12/15（土）きょうもいろいろ

プロジェクト猪の勉強会。夜は昔ひしょうのカウンターにいた平井さんを偲ぶ会があるので忘年会を失礼することになるので出席。講師は小泉改革を批判していたが、この方はある政治グループのイデオローグなんだろうな。かどちらにしても私にとっては目新しい話はあまりなかった。ある政治グループにとっての言い分を熱くかたっていたという意味では主張があったといえるだろう。しかし、わたしたちにとってたいせつなのはあれかこれこの選択について考えるというより、私が、私達一人一人がなにも未来に対して構築するのかが大切だと思う。基礎の情報、つまり日本の近代とか日本の思想とか日本の政治とかについて未来を見通す論理を構築できるような情報を提示してくれる勉強がしたいと思う。私達の多くははかって反大学、反既成の学問だった。それにもかかわらずいまこそ「学問のすすめ」ををかんがえる今日この頃である。

■2001/12/14（金）今日も飲み会

60年安保のリーダー島さんがなくなって1年、今日は奥様の博子さんや唐牛健太郎さんお奥さん真紀子さんたちと九段の謹寿司で忘年会。久々のかたがたにあえてうれしい。島さんの奥さんが「だめそんなじみなもの着ていたら」といってもっていたミッソーニのハンカチで襟元をかざってくれた。それがたしかにバッチリ。さすが美術の専門家。そのあとひしょうで懐かしい歌の会。今日は頭も痛くならずよかった。

■2001/10/10（水）脱原発

東海村で被爆した大内さんの 80 数日におよぶ闘病ドキュメンタリーの再放送をみる。あらためてその痛ましさ、被爆の恐ろしさを思う。いま世界中いたるところに原子力発電所がある。テロ攻撃をうけたらどうなるの。考えるだけで身が凍る。

■2001/10/08（月）アメリカの攻撃がはじまった

タリバンの軍事組織を限定して攻撃していることをを印象ずけている。その一方で食料と医薬品の投下も伝えられる。アメとムチまさに。今日の段階ではアメリカとイギリスだけによってなされたもよう。それにしてもいろいろの理屈をつけてテロを肯定する人がいるのはおどろきだ。

■2001/10/07（日）外苑の銀なん

を真夜中にとりにいく。自然の偉大さを感じる充実感があって、おまけに果実までえられてうれしい。

■2001/10/06（土）会食

成城のレストラン、アシエット。グルメ仲間の喜多社長と大学時代の友達新美さんと。とてもおいしい。それにしても完全なフルコースは日本人にはいささか思い。81 になった母がつまらない日々をなげくももし、食にもっと関心があればずっと楽しい老後がおくれるのにと同情する。あの世代「贅沢は敵」がみについてしまっているのかしら。

■2001/10/05（金）国会

予算委員会で仙石さんが質問にたっていた。柳沢金融大臣とのあいだで、不良債権もんだいなどを議論。10 年前は政治家が質問、答弁は官僚というのが基本で、大臣が「重要なことなので所轄の事務方に答えてもらう」といって失笑をかった時と大きなちがいだ。「政治家同士の議論」をめざしてきただけに感慨がある。昔のように低レベルで大臣はつとまらない。がんばってもらいたい。

■2001/10/01（月）高橋尚子世界新

ベルリン大会で 2 時間 20 分の壁をやぶり2時間 19 分49秒で優勝。あどけないキューちゃんは「16 分だいもだせるのよ」と小出監督は期待している。最高の監督なんだろうな、こんなに成長させるのだもの。高橋尚子、イチロー・中田、新庄らは現在の日本人の誇りである。

■2001/09/23（日）アメリカ

大統領の演説と方針に90パーセントをこえる国民がこれを支持している。外交もほぼ成功したようにみえる。日本も当初のビックリ仰天からおちつきを取り戻し日本のできることの範囲を明確にし支援をすすめていくだろう。25 にに小泉総理訪米。

■2001/09/21（金）テロの後遺症

今朝ある旅行代理店のひとがいっていた。この騒ぎでずいぶん旅行を取りやめる人が多い。もし日本でハイジャックがおきたらもうだめだと。政府がアメリカの報復テロを断固支持しうごきはじめたアメリカの同盟国日本でもテロが起きない保証はどこにもない。政府は湾岸戦争の時の轍をふまないとの思いでやたらがんばっているが、今度は国が限定できないテロリズムネットワークとの戦いを覚悟してのことだということはわすれてもらっては困る。

■2001/09/19（水）松井夫妻は明日帰国

ニューヨークにいっていた松井稔監督と正子さんは 15 日帰国予定だった。テロの影響で明日 18 日帰国することが明らかになった。とまれ無事でなにより。

■2001/09/19（水）テロから 1 週間

報復を予定するアメリカはテロに対する悲しみと憎しみのなかにある。報復をしないではいられない。しかし、してもテロがこれでおさまるとはおもえない。恐怖と憎しみはますます拡大するだろう。

■2001/09/15（土）江戸重ね地図

江戸末期の地図と東京の現在の地図をコンピューターの上で重ねてみることができる。たとえば今すんでいるところはどんなお屋敷があったのかすぐにわかります。ちなみにゴールデン街は本多対馬守忠寧 9000 石の屋敷あと。花園神社は三光院という稲荷社が前身です。

■2001/09/12（水）対アメリカテロがおこなわれた

日本時間昨夜10時ころイスラエルのテロリストが国防総省と貿易センタービルを倒壊させた。使用した飛行機はハイジャックによるもの、なんという暴挙。

■2001/09/10（月）台風15号

ゆっくりと東海地方にちかずいている、私の感では東京にはこない。でも前回もひしょうをあけてもさみしかったからね。

■2001/09/09（日）娘の結婚

相手の両親と打ち合わせを広尾のプチポアンで。いやいやいろいろ面倒なことがあるものだ。

■2001/09/07（金）ひしょうに新人

金曜日を鈴木恵理さんが当番します。今週は徳にひまなひしょうだったんですが、金曜も12時まではパラパラ、その後少しもりかえしたというもののアルバイトの費とは基本12時までなので早い時間にぜひきてください。西井さんが杉並のホスピスに入ることができた。

■2001/09/03（月）秋の疲れ

新聞にも飽きになって夏の疲れがでます。とかいてあったが、ほんとにそのとおり、名古屋からもどってそのままねてしまった。ひしょうは申し訳ないが坂牧さんい任せる。

■2001/08/26（日）紅富士の湯

山中湖湖畔の町営紅富士の湯にいこうと仲居富さんからのお誘い。江田三郎さんの門下のメンバーの揃い踏み。江田五月さんの秘書を長年やっていたステキな高須さんの運転は快適だった。ところがこの温泉はあまりの評判のよさで本日は満員打ち止め。夜に行われた吉田の日祭りをみて一路岐路に。

■2001/08/25（土）西部すすむ塾

作る会の教科書をかいた坂本たかお氏が講演。天皇性の歴史のようなはなしだったが、ことらはあまり面白くない。が、教科書をつくらなければならないと思ったのは「中学の教科書に従軍慰安婦の記載が大きく取り上げられていることに意義があった」といっていたが、性的な役割をどう現場で教えるのだろう。なんでもかんでも右翼と決め付けるのは民主主義ではない。

■2001/08/23（木）来客

美術家の秋山祐徳さんとお茶大の友人寛子がくる。寛子さんはドイツ人と結婚しいまスペインにいる。だんなが病気でドイツで療養中で彼女と娘のアンネちゃんはスペインに母子で暮らす。専業主婦を満喫しているかにおもっていたが「いろいろあるのよ」といっていた。

■2001/08/22（水）のろのろと台風がいく

金甌も台風、そして今日も台風。昨夜は独自の感で「台風は今夜はこないと判断」してひしょうは開業。10 時くらいまでは静かでがっかり、昔は台風とか大雪とかがふるとやたらお客がおおかった。非日常の胸騒ぎ。考えてみれば 30 年もやっていれば皆大人になって当たり前。11 時、妙子さんみどりちゃんの元気女性コンビの来店でにぎやかになった。胸騒ぎをわかってくれる人がいてうれしい。

■2001/08/18（土）瀬戸市

名古屋の大曽根からおよそ 30 分、瀬戸物の町瀬戸市へ。今回は土の採掘場をみる、その規模のすごさ。地元の人たちはここをグランドキャニオンとよんでいる。

■2001/08/15（水）おばの葬式

父の妹のあさこおばさんが亡くなった。小腸ガンという珍しい病気で2年まえに手術。これでなおったから、さあ元気にといきごんでいたのに「あなたはガンです」のご神託を若い主治医の信念で告げられる。いらい2年鬱状態でだれにもあいたがらず不安と苦痛の晩年をすごして逝ってしまったといとこは悔やむ。告知問題をいつも患者をぬきにあれこれ議論されているのをみるたびに、違うと思ってきた。久米浩の番組にもその点を指摘したこともある。最後のおわかれで花にうもれたおばさんを「この人はほんとうに美人だった、最後まできれいだ」「しわ一つない」と美貌でなだかかったおばには賞賛の言葉がたむけられていた。かわいがってくれたおばさんさようなら、ご冥福をいのります。合掌

■2001/08/14（火）ひしょう臨時オープン

松井、田代両監督の待ち合わせにと臨時に開店する。結果的にこなかったが、梁石日さんがいらした。

■2001/08/12（日）日本の運命をよむ

昭和 25 年におこなわれた「世界」誌上の対談。日露戦争前後を回顧 50 年でやっている。当時の対外硬を研究しているので大変興味ぶかい。主席は安倍能成、長与善老郎、荒畑寒村、長谷川如是閑、大内兵衛、鶴見祐輔、中島万吉、司会を丸山真男と吉野源三郎。

■2001/08/11（土）お盆

昨日はお盆前ですでに休みモードで静かな新宿になるだろうとおもっていました。ところがこの夏で一番にぎやかなばんになり午前4じまで。ありがとうございました。今日は少々疲れてお休みにしました。

■2001/08/08（水）退官記念会うちあげ

広尾のプチポアンでうちあげ。ここは幾多のフランス料理店のなかでいちばんのお勧めの店です。みなたいへんよろくんでくれたのはいいけれど、たかいのなんのといってけちをつける人がいて自己負担ぶんの徴収となった。私はそれではなっとくできず全額はらっておさめた。会場費を日本女子大の松井課長をとおしたおかげで安くできたので大幅な黒字がでていたし、前にも書いたけれど本当に献身的にがんばるのがお茶大生です。当日ものまずくわず、だからせめて1万円程度のご苦労さん会は当然とおもったんですが、さすが堅実？もったいないと。でのこった70万はどうなるのかといえば史学科と退官された教授の記念品の追加として処理。女子大的常識からはずれていてうまくいかないことを実感。

■2001/07/29（日）やっと参院選おわった

知り合いがたくさんでているのであっちこっちに陣中見舞いでふー。いろいろいいたいことはあったが、幸い？パソコンがこわれていてそうしなくてすんだ。タレントの人気ランキングはいかに、組織団体票の歩留まりはどれくらいか小泉人気と議席の相関はどれくらいかなどに関心あり。

■2001/07/28（土）ひしょう倶楽部準備会

ひしょう開店から30年を記念してひしょう倶楽部をつくります。おたがい仲良く元気よくこれからもやっていきましょうね。それが願いです。

■2001/07/24（火）パソコンを買いにいく

とにかく特殊な言葉が多くわかりずらい。そこで指南が必要となります。私の場合萩原さんにお願いしているのですが、そのアドバイスの理解も大変、いったいどこが違っているのかさっぱり。とまれ、これにしようと決めてでかけるもそのカタログのものはすでに展示されていない。「春のモデルです」というけれど、まだ2，3月しかたっていないというのに。というわけで、またあれこれの性能とか違いとかきくのだけれど、頭がガンガンしてきてもうどうでもいい。というわけでまだかえていない。なんというエイリアンになってしまったのだろう。時代についていけないこれでは。

■2001/07/19（木）井崎正敏さんを囲む会

筑摩書房副社長を辞し作家業に転身か。パレスホテルにて130名余の編集者、作家評論家、学者をあつめて術に華やかに囲む会がひらかれた。昔からの知り合いの副島隆彦氏は貫禄が体にも出ていた。お茶ノ水大かんけいでは一級上の荒このみ氏、森田さん。荒さんは荒正人氏のお嬢さんでいまは外語大の教授、森田さんは井崎さんと学芸大付属中での同級生。

■2001/07/08（日）青山一丁目地下のイタリアン

5時に昨日のメンバーの残りの人たちで三千綱さんの事務所を訪問、しかし、いってみたら事務所はだれもいないので、ひさびさでみなでビールをのむ。あのころがくせいだった、小関さんは立派な社会人として活躍している。話題にのぼった関係者もみな元気。日曜日のサービスで生ビールがなんと200円、「やすい、しかしデフレだ」とびっくり。

■2001/07/07（土）七夕ははせゆり子を支えるかいの再会

函館にある唐牛健太郎さんの墓参を予定していたところ三千綱さんの選挙になり中止喜多さんに紹介してもらっていた雷門いきも延期。支えるかい中心メンバーだっためんめんのひさびさの会合になった。事前の親書の発送をするよう手配したものの、自由連合からきている菊池氏が「選挙中シールをはってあるビラに親書を同封しても違反にならない」ということなのであせらず本選挙中にということにした。しかし、違反をするわけにいかないので、もいいちど確認の必要あり。

■2001/07/06（金）猫のケン太が風邪？

このところの梅雨の合間だというのにすごい暑さである。夜中もクーラーかけっぱなしてしまったせいか猫が体調をわるくしている。はき下しているので心配で獣医さんのところへつれていった。しかし、気が荒く選択ネットをかけていたけれど、私は指をかまれ、お医者さんは足でけられてそれぞれ怪我をした。「こんな猫もいるんですね」と先生もびっくり。私はぬけた注射針が猫に刺さっていないかそればかりが心配だったがこんなに力がでるうちは心配ないでしょうね。

■2001/07/04（水）高橋選対

昨日は1時にになってひしょうに高橋さんがやってきて3時まで打ち合わせ。

■2001/07/01（日）新潟県安塚町

蛍を見に行こうというのでとなりの大島町まででかけてみた。蛍まつりで町おこしをやろうとがんばっているのですが、まだちらほらというところでしょうか。でもそのはかない輝きには感じるものがあります。花火、桜、蛍。はかないものは美しい。帰りは十日まちへたちより、呉服の宮沢さんうまい豆腐屋さんで宅配をたのみ地元の食材をだしてくれる割烹と楽しんできました。筒井、白川両代議士の死闘の中心地ということに興味があったのですが、町は静かでありました。

■2001/06/27（水）自由連合

わがはせゆり子ヲ支える会の会長ダッタ、高橋みちつなさんが自由連合から出馬。タレント有名人の票をたして積み上げれば何名か当選するのでしょうが何番めに多く票ががとれるのかが勝負。

■2001/06/26（火）ブント私史

喜多さんから「島さんの本が品切れ」ということであちこちあたってみましたが、やはり奥様のところにありました。3冊おくっていただいたら即日うれた。

■2001/06/25（月）給料日らしい

25日といえば夜の町は活況をおびるというのが一般的だがひしょうはいつも静かなことが多い。アルバイトの丸木恵里子さんに電話しても「だれもいな」というし先週らいの疲れもあるので彼女にまかせて私は休むつもりだったが、用あって12時出勤。持田、大畑両棋士がでくわし、対局となるなどしてなんと朝がえりになってしまった。それにしても月曜日からなんと元気なことでしょう。うらやましい。

■2001/06/23（土）会合

プロジェクト猪の総会。講演はインターネット協会の副会長高橋徹氏。夜は旭丘18期の同期かい、銀座。猪の2次会のながれで盛況となり、柴垣和夫せんせいらの経済学者グループをひしょう3階に座ってもらう。暑いのにもうしわけありませんでした。深夜中公の三木さんが編集者や作家の赤坂真理さんらと来店。

■2001/06/22（金）白川勝彦さん

参院選に出馬の白川勝彦氏にその抱負をかたってもらった。友人の田中良太さんも同党から出馬。

■2001/06/17（日）清内路村にて講演

長野県の飯田近くの清内路で講演。成功裡におわってほっとした。イノシシの会員の桜井さんはここで村議。奇遇。

■2001/06/13（水）筒井代議士

ニューウエイブ時代の同僚だった、新潟4区筒井信隆さんが農水の質問で林政改革の質問。やっと森林も環境と資源の両面が基本方針としてうたいこまれた。氏の主張はバイオマスつまり生物エネルギーによる循環型社会の創造であるが私も賛成。本日会食。相変わらずいい男、がんばって欲しい。

■2001/06/10（日）サッカー

5大陸カップの決勝戦はおしくもフランスにやぶれたが、日本人チームはなかなかいい。男前度でもあきらかにめちゃいい。ほんとうにつよくなってうれしいかぎり。

■2001/06/09（土）猪オフ会

神田の［大連飯店」出席は幹事の萩原、藤井、杉浦の各氏と私。人数は少ないけれど濃密な仲良しタイムだった。ひしょうに場所を移す。そこには旭丘の同級生富野グループ、経済学のせんせいグループ。立川高校同窓の横山、原田氏らのグループなどなどでにぎわう。経済学者グループの清水先生と立川グループの横山さんの知り合いだったりと発展的になかよくなれる、ひしょうのカラーが生きた日だった。いずれにしても、飲み会はほんとうにすばらしい。飲み会を意味するオフ会のはってんのため、萩原さんを連合会長になってもらおう。

■2001/06/08（金）大阪で凶悪犯罪

毎日のように人殺しが伝えられるのでかなり感性まひ。しかし今日の事件は小学生の１、２年のおさなごを8人刺し殺した。評論以前に犯人を絶対位に許せない。

■2001/05/31（木）高齢社会

読売新聞の夕刊の一面は「95歳ひとり芝居」で島田正吾さんの舞台挨拶の写真をのせていた。新作は100歳をすぎてと意気軒昂。とても95歳とはおもえない。介護や年金など老後の不安対策が進められています。それは大切でしょう。が本当は島田正吾や、宇野千代やのように老いてなお元気これですね。

■2001/05/30（水）ナイス事務所訪問

新宿御苑にあるワークキャンプを主催するナイスを訪問。開沢、塚本両氏と懇談。

■2001/05/29（火）飯田の友人

ん小屋時代からの浅野茂穂さん上京。入管に申請のため。原宿の「ザッカ」へ。夜ひしょうで彼女の長女春奈さんと落ち合う。

■2001/05/20（日）退官記念会

35年お茶の水大で教鞭をとられた大口先生の退官記念会。椿山荘のさくらの間を昨年からおさえ準備してきたかいがあって、盛大かつ華やかな会となって一安心。

■2001/05/15（火）宇沢先生が

久しぶりにひしょうに。「10年ぶりでspがとれたんで」と珍しくお一人で。ランニングシャツと短パン姿。力のみなぎるそのお姿に圧倒されました。

■2001/05/14（月）大学へ

小風先生は昨日まで九州でで学会。本日休講。大口先生の退官記念会はもう次の日曜なので、最後の詰め作業。幹事の全員が有能で何の憂いもありません。つくずく女性の誠実さ、熱心さを思います。小風せんせいの学部の講義を森田朋子さんが代講。近代ではんく江戸の食物文化史でこれもおもしろかった。

■2001/05/12（土）名古屋の友人上京

旭丘の同期生塚田さんと4年ぶり？星座館にある館国風居酒屋「ぱらんせ」に。バイトの丸ちゃんがフラメンコの発表会でおやすもなので、ひしょうもお休みにしようかと思ったのですが、塚田さんともっと話をしたくてあけました。するとしばらくだった和歌山大学の加藤さんが山口せんせいや経済学者のみなさんをつれていらして話がもりあがいました。おそくには「かなぶん」のママさんが西井さんをつれていらしたので、西井さんに焦国瑞先生の気功［大極15勢」のビデオをお送りすることを約す。

■2001/05/11（金）西尾さんの通夜

西尾一夫さんの通夜。四谷たちばな会館にて。西尾さんは旭丘高校の同期生、1年生の時同じ水泳部にいた。紅顔の美少年で平泳ぎがとくいだったことなど、あの時の顔が目に浮かぶのです。葬儀場の写真は立派な商社マン、エリートサラリマンの

貫禄がありましたが、むかしのあどけなさもきちんと残っていました。商社の仕事はきついと聞いています。世界中を駆け回って日本国民のあらゆる分野の生活をなりたたせてくれているのですから。お疲れ様でした。ご冥福を祈ります。

■2001/05/10（木）今日もありがとう

なんといっても、慶子ちゃんの献身で今日もひしょうはにぎやかに展開しました。皆さんこれからもよろしくお願いします。

■2001/05/09（水）日比谷焼き討ち事件

１９０５年９月５日におきた日露戦争講和反対の日比谷焼き討ち事件の調書がみつかりました。もつべきは友達かなりさがせなくて苦労していたのですが、おかげさまです。ありがとうございました。

■2001/04/30（月）訃報

大崎弥枝子さんから調布の井上慈雨さんが亡くなられたと連絡ある。享年９０歳、調布の地ではせを最も熱心に応援して下さった一人です。京城帝大出身、エスペランチスト。私の政治的失脚を嘆いて下さった。ご冥福をお祈りします。

■2001/04/29（日）天皇賞

細川内閣以上の支持率になるにちがいないとの予想どうり小泉内閣は歴代最高の８７パーセントで出発。この１０年の国民の期待と失望を繰り返さないで欲しい。小泉さんここは男の正念場、お願いします。天皇賞はテイエムオペラオーがヤッパリ勝った。桁違いの馬だけれど前回のまけや、「やる気ナクナッタカネ」というプロの言葉でやや人気をおとしたかもしれない。（といっても単勝２倍ですけど）相手はメイショウドトウとかるく１点で予想が的中、もっとも配当４倍では馬券師
としてはもちろん買いませんけれど。得意は実力と人気がずれたとき、一点ないし２点でとるんです。女の感もばかにできませんよ。ずいぶん飲み屋を泣かしましたから。

■2001/04/27（金）ネットラーニング社訪問

新宿のネットラーニング社訪問。インターネットをつかった教育のトップランナー会社。社長、副社長と懇談、会食。

■2001/04/26（木）西井一夫さん退院おめでとう

１月から慶応病院に入院していた毎日新聞の西井さんが２１日退院。今日は元気沿うな顔を見せてくださいました。蓄積疲労がなせる病ですから、せいぜいわがままにご自愛下さい。

■2001/04/26（木）誕生日

昨日誕生日を二日酔いで迎えた。やれやれこんなことでは今年も思いやられます。朝義姉の大崎文子さんから「おめでとう」の電話でおこされたのですが、自分で「あっそうだ」と思い出したのでした。ひしょうではワインで祝っていただきました。お花もありがとうございました。コレクションしている時計と小箱がひとつになったクリスタルを近藤さんにいただき感激、皆さんに感謝であります。これからも仲良く、楽しく元気にやってゆきましょうね。

■2001/04/24（火）いや皆さんご苦労さまです

昨日は大口先生退官記念会の打ち合わせで椿山荘へ。部屋はおもったとおり広々と明るくすばらしい。その後６人の幹事で細かい打ち合わせ。それにしても学者系のみなさんのちみつなことに感心しましたよ。ふーくたびれた。お疲れ様。夜は高校の全体の同窓会の幹事会、しかし、どうして私がやることになっているのだろう。「今日だけ変わって」と現幹事はいっていたのに。

■2001/04/21（土）４月は早く過ぎ行く

３月末に満開になった桜はその後雪がふったりして４月の例年のお花見ができたようです。吉野の桜をみにいった。６日の情報では「まだまだ１５日ころかな」だったのにその後暑い日になり、１５日は上千本もすでに盛りをすぎていた。でも全山花吹雪もすばらしい。桜に浮かれているうちにすでに４月の半分をすぎてしまって。「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」のとおりです。大学もはじまり、昨年の単位はノルマの単位３０単位全部クリアできほっとしています。もう外は初夏の緑がいっぱいになりましたね。

■2001/03/29（木）花に嵐の

花に嵐のたとえもあるさ。まさにきょうの寒さ、みぞれ。だいせんじがけだらなよさ。

■2001/03/28（水）桜満開に

例年よりかなりはやく桜がまんかいになったので、千鳥が淵ではライトアップがまにあっていないそうです。

■2001/03/17（土）大口先生最終講義

演題は「消費者としての江戸城」講演のあと懇親会。途中ひしょうの石川慶子さんのフラメンコの卒業発表会にいく。早稲田のアバコブライダルホールというので、どこなのか全くわからなかったが、早稲田奉仕園。ここは、９０年の選挙にでたとき、市民が何度も集会を準備してくれた思い出の多いところ。慶子さんのフラメンコは圧倒的。歌舞伎と共通する見栄がきまって、なかなかたいした物だった。懇親会にもどってみるが、恐るべきというか信じられないくらいお酒をのまない。ワインやビールが何本も手もつかずのこっていた。むろんたばこをすう人は一人もいない。ちかごろ女子学生もなかなかの酒豪がおおいのに、お茶大生はこのあたりは昔とかわらない。

■2001/03/17（土）小河朋次さんの個展

新作は木製から、アクリルへと進化をしていました。光の反射を利用した面白いもので是費多くの人に見てもらいたいです。ひしょうに作品あります。

■2001/03/15（木）プール

いくら温水といっても、どういうわけか冬の間はプールにはいりたくなかったのですが、春のきざしで、今日は久しぶりに泳ぐ。２５メートルのインターバルを１０往復が疲れも残らずちょうどいいのです。２５メートルを４５秒くらいのゆっくりと、なんと、昔水泳部のころの４倍近い遅さです。でもおよげるうちはいいということにしてとにかく楽しんで泳ぎます。

■2001/03/14（水）猫の絵

色鉛筆をつかって猫の絵を書いています。かなりうまくなったと自分では思っています。書いているときとても心が穏やかな気持ちになれます。今日は特に我が家の愛猫によくにたアメショーなので特に力がはいりました。よころで、長年の肩凝りになやみ、ついに小型のオムロンのマッサージ機楽椅子座がとどきましたが、とてもグッドです。でも猫のケンタのほうがもっと気に入ったらしくいつもその上にのっているので、つかえません。残念です。

■2001/03/13（火）寒いです

一時期暖かい日がつずくいていましたが、今日も昨日も寒い。ひしょうもガランとして寂しい。でも明日は暖かくなるでしょう。「江戸の悪所」の講義。岡場所が寺社地より武家地のなかにより多く作られていました。この事実は下級武士は充分な俸禄があたえられず、土地を町人にかしてその上がりで生活をしてたということらしい。でも時々取締まりが行われ、その実行部隊は公認遊郭吉原が請け負っていたそうです。

■2001/03/09（金）ベランダの桜

桜の鉢植えが咲き始めました。昨年の美しい姿がことしはどうかと危ぶまれていました。というのは、ベランダにいるピーちゃんぺーちゃんの２羽のひない鳥が花という花、いやそればかりか、草木の一本まで食べつくし、掘り尽くしてしまったのです。

だから、咲いてくれてうれし。なにしろ椿は網をはっておいたのに、片側の花めをたべてしまって半分しか咲かなかったんですから。今日は近藤さんにお花をいただいたしお花の日。ありがとうございます。

■2001/03/08（木）雪

３月は春のイメージですが、東京ではよく3月に雪が降ります。夜になって雪。まっすぐ新宿にいかず道草。六本木浜藤へ。フグのぶつぎりが食べられます。大阪黒門のこの店はなんといってもいいです。北海道の牧田さんがやってきて、「梁石日さんくる。しばらくあっていないけど。おりゅうさんにほれてるんだよね。」なんていうものだから、ついつい調子にのって、梁さんにホットライン。ちょうどこの日は新宿でのんでいたらしく。「すぐ行く」ということになりました。「血と骨はよかったと皆さんほめていた。なるほどそれはまちがいないけれどそりゃふるいよいまは「死は炎のごとく」ですよっていいたかったけどまっいいか。

■2001/03/08（木）東京オークション一

麻布十番のオークションはエキサイティング、スージークーパーのカップを5000円でせりおとす。正直なところ安いか高いかわからない。でも参加するのが面白い。

■2001/02/28（水）２月も終わり

大学院のゼミ最後になった小風教授の　レポートを提出。これで前期必要単位を全部とったことになる。一段落は映画それも喜劇。「馬鹿が戦車でやってくる」と「拝啓天皇陛下様」をツタヤで。それはそうと山田洋次の「馬鹿シリーズ」は「フーテンの虎さん」のようにはヒットしなかった。私は馬鹿派だけれど、たぶん馬鹿のほうは、大衆がいじわるく表現されている、そのあたりがうけなかったのだろう。

■2001/02/27（火）牧野さん

飛行機のエコノミー座席でおきるエコノミー症候群なる危険をあきらかにし話題をよんでいる牧野俊朗医師が今日はテレビに。何年か前よくひしょうにきてくれた。あいかわらず若々しくてカッコイ、ますますがんばって。

■2001/02/26（月）ベルリンから松井さんかえる

日本鬼子でベルリン映画祭に正式な招待をうけた松井稔監督が帰国し、ひしょうに。「ナニシロ文化がちがうよ」と感想。

■2001/02/26（月）銀座松屋へ

松屋のトクコブランドのコート修理あがる。２月３日荷白河の寂れた蕎麦やでこがしたもの。なんてついていないとなげきつつ、しかし、プロのわざで、ほぼもとどうりになった。やなことは、早く忘れよう。伊東やで買い物。

■2001/02/23（金）疲れた

いろいろがんばりすぎないようにしなくてはとおもいつうも、モーレツ世代はがんばってしまうのだろう。そんなときに、ひしょうに北若い女性に「やせました？」なんていわれた日には。年をとると若いころと違って、やせることはいいことではないのです。やせるイコール年を取ったイコール衰えるイコール「生老病死」にいっきに連想。これで3日くらい落ち込むことになる。だからお願いやめて。

■2001/02/22（木）クスクスってしってますか

フレンチのなかでもモロッコ、チュニジアなどマグレブの料理。欧風かれーの原点を思わせる味。一番町のオーバトーイーブルがとてもおいしい。その他もここはおいしい。一番すきな広尾のプチポアンの次かな。

■2001/02/17（土）ふじこさん初日

ゴールデン街のアイドル？のふじこさんがひしょうの土曜日を担当することになりました。初日寂しいといけないということで、さくらさん数名。おかげで今日はまずまず楽しい一日となりました。

■2001/02/15（木） ケンタひどいよ

不幸なことにかいねこのケンタに目にしたをひっかかれて重傷？をおう。めげてここ数日ブルーな日をおくる。眼球に傷つかず不幸のなかではましではありますが。むろんケンタはわるぎがあったわけではありませんが、臆病なため、乳母車におびえ事故になりました。今日はここまでです。

■2001/02/14（水） バレンタインディ

チョコレートを送るといっても、なんだかピンとこないので、とりあえず予約をいれる。この日はどうしても、お客は少なくなる。いろいろ複雑な心理がはたらくだろうからとかってに、推測。娘の真紅がまえ前から行こうといっていた築地の大和寿司へいく。いつもならんでいるというので、11時ならといってみるが、すでに、20人。娘に「情報はあてにならい。私は期待しない。などとほんねをつげながらも、まあとにかく、経験させなくてはと思いたえてならぶ。気が短いのでいまだかってならんで何かをたべたことはないが、娘の頼みだとがまんできる。で、やっぱりはずれ。切腹したのり巻きに凡庸なねた、無骨なにぎり。おいしくない。それにもまして、値段がたかい。お決まりで（このような食べかたも私は好まない）に酒2本とビール1本でなんと1万円をこえる。青山の満月、新宿のキラク寿司、松屋の福寿司、八千代どこだって、ここよりはおいしくて、安い。食べ物の話のついでに、有楽町のレバンテ。ここの生がきは今年はゴオドとおもっていたg、どうも一階と二階ではちがうようである。絶対に2階のレストランへ。1階はだしかたもかきも別物と見た。

■2001/02/13（火） ブックオフ

明治通りゾイのブックオフ原宿店へ。なにしろ本のきれいさだけを評価するというので、できるだけ新しいものを10数冊もちこむ。新品に近い単稿本が150円、新書だと50円。それでも1650円になったので、それで店にあった新書「武家と天皇」「墓と埋葬の歴史」「血圧の話」の3冊を買う。1冊250円。とにかくおいてある本が新しくきれい。とても古書店とはおもえない。ちょっと読んですぐにかいとってもらうそのような本捜しには最適である。

■2001/01/30（火） 雪の重みで

27日の雪の日、家の真ん前の気が雪の重みと強風で、折れました。外出からかえると、家につずく小道の入り口に進入禁止。米屋さんの一家が総出。こんばんわといつものように。それで、はじめて目の前の事態にきずいたのでした。「奥さんのところの窓にひっかかるんじゃないかって」と米屋さん。なるほど折れた木は路をふさぎ駐車場にかかっていた。直に外苑の管理の人が来てついいでに街路等をひきたおしていたため、消防庁まで出動し大騒ぎでした。それがために他の木の剪定が今日行われ眼前の風景がかわってしまったのです。日当たりはよくなったが、やたらみとおしがよくなって、いちょう並木を行く人の姿がよくみえる。ということは、歩いている人からもここがよく見える。だらしなく窓辺で居眠りは注意ですね。でも、折れた木は残しておけばそこからまた枝がでるのに根元からきられてしまってかわいそう。

■2001/01/27（土） 西井一夫さん入院

1月6日に毎日新聞社退社とこれから吉野での新生活の門出をお祝いした西井一夫さんから、入院の連絡。食道癌でかなり進行しているので生存の可能性は20と分析されています。いつもの、たんたんとした、語り口ですが本当に大変です。慶応病院。

■2001/01/24（水） 今日って

ひしょうでは10年ぶりにトラブル。完全に酩酊した00さん。全部のお客さんの頭をたたいてまわって、もうたいへん。アルバイトの慶子さんに「かなしくなった。」いわれたが、ほんと私たち中高年、いろいろ精神的においつめられていることが多いんですよね。たたかれた人たちごめんなさい。私も大声でどなって、ほんとに、なさけなかった。本日はブルー。

■2001/01/23（火） 風邪

昨夜から風邪。ひしょうにいるときから喉が痛みだし、声がかすれてしまった。清井さんに「ずいぶんセクシな声になったじゃないか」といわれても、本人はつらい。いつもなら、風邪薬はのまないのだけれど今週はゼミの発表を木、金とかかえていて、とても、寝込んでいられない。やむなく「アスゲン」をのんでねむった。茗荷谷駅前の薬局かお医者さんより信頼感あるようなおじさんがいてその人にすすめられた薬ななるほどよくきいた。朝から、ゼミレポートをつくる。テーマは琉球処分。副島種臣と大

久保利通との違いや、清側の認識と日本の解釈のずれなどについてです。外交文書や琉球処分の文書、大久保文書などをつかいます。この問題は最終的に日清戦争まで縺れ込むのですが、現代日本の出発点を知る事はとても面白いものです。

■2001/01/22（月）高橋徹さん祝う会

インターネット協会の会長で、現在多摩美術大の教授、高橋徹さんの還暦と出版を祝う会が大久保のホテルで開かれた。出席したものの、知り合いが誰も見当たらず、そうそうに失礼した。昔からの飲み仲間にすぎない私としては、寂しくあるが、新しい世界がひろがったいることの証として祝福すべきことだろう。これからもますます元気でがんばってもらいたいものです。

■2001/01/20（土）サンドリア閉店

青山一町目の交差点のランドマーク？サンドリア閉店。35年まえにオープン、私もそのわかりやすい場所がよくて、いろいろな人とここで待ち合わせた。ところでこのビルは日東紅茶のビルですが、サンドリアいがいはもう1年もまえにあけわたしていたので、サンドリもついに立ち退かざるをえなかったのでしょう。それにしても、ビルはいっけんしてなぜ立て替える必要があるのかなとおもわせるものです。ところで、ここから、いちょう並木までのわずか150メートルのあいだにこの一年で4つビルがたちます。バブルのときもっとも、其の影響が大きくてその4個所がずっと空き地で駐車場になっていたところです。さらにこのあいだに6ペンスの宇宙とその前身のスペインレストラン、焼き肉や桜らん、すきやき店と次々なくなってしまった。

■2001/01/20（土）サンドリア閉店

青山一町目の交差点のランドマーク？サンドリア閉店。35年まえにオープン、私もそのわかりやすい場所がよくて、いろいろな人とここで待ち合わせた。ところでこのビルは日東紅茶のビルですが、サンドリアいがいはもう1年もまえにあけわたしていたので、サンドリもついに立ち退かざるをえなかったのでしょう。それにしても、ビルはいっけんしてなぜ立て替える必要があるのかなとおもわせるものです。ところで、ここから、いちょう並木までのわずか150メートルのあいだにこの一年で4つビルがたちます。バブルのときもっとも、其の影響が大きくてその4個所がずっと空き地で駐車場になっていたところです。さらにこのあいだに6ペンスの宇宙とその前身のスペインレストラン、焼き肉や桜らん、すきやkい

■2001/01/15（月）遠藤弁護士パアーティ

遠藤誠弁護士の出版記念パーティが池袋の東方飯店でひらかれました。200名をこえる参加者、しかも各界の個性あふれる人たちがあつまり、挨拶は26にん。司会は反軍兵士で有名な小西誠さん。参議院議員の佐藤先生や救援連絡センターの山中さん。一水会の鈴木さんらの顔も。元気でますますご活躍を遠藤先生、リベラルとはこのかたのようなかたをいうのでしょうね。

■2001/01/07（日）小風ゼミ新年会情報

小風ゼミ新年会で辻堂の先生のお宅を訪問。今年は院生だけ。夜雪

2000

■2000/12/16（土） 20世紀をよむ

毎日新聞のクロニクルによる写真集「20世紀の記憶」が全巻刊行。記念シンポジウムが同ホールでおこなわれた。編集長西井一夫氏の基本構想と編集、港千尋氏の記憶と写真などの講演がおこなわれた。

■2000/12/13（水） 高橋三千綱さん53冊

三千綱さんが53冊めの著書「恋わずらい」をだした。今日銀座のマンクマでアフタヌーンパーテイがおこなわれた。私は作家志望の宇野雅子さんを連れて行く。彼女はお茶の水女子大付属高校で私の大学時代の教育実習に突き合わされたひとである。モーニング姿の三千綱さんはほんとうに、ダンデイでステキであった。かれは、私の落選後の後援会長をひく受けてくれるようなやさしいひとで、剣道、ゴルフなどのスポーツにたけているのはもちろん、そのすっきりとした心には、いつも感動させられる。ようするに、かっこいいのである。53歳で53冊にあわせてのパーテイだったがこれからもますますがんばってもらいたい。90のお母さん、女優デビューしたお嬢、妹さんも出席、おおいに盛り上がった。
7時一水会で「高畠素之を研究するようになったわけ」の講演。大勢の人に熱心に聞いてもらえてよかった。

■2000/12/11（月） この2週間

明治7年8年の日、清、朝の国際関係をしらべていました。大久保と副島の蛾外交のちがいとか、日本の外交文書にはないけれど中国の史料にあったり、歴史の書き直しがすすみつつあります。教条主義よさようなら。充実しています。高畠は大衆に追随し、やぶれたが、東条は成果をあげることができました。そのっ違いや、時代についても調査がすすんでいます。

■2000/11/29（水） 外苑のいちょう並木今年は

今年はなかなか寒くならないので全国的に紅葉が遅れています。ここ外苑のいちょう並木も、12月になろうというのに、2列のうち1列は紅葉したのみ、半分はぼちぼちです。斑になっている上に、さきに黄色句なった方はちりはじめて、なんとも、ちぐはぐです。

■2000/11/26（日） 毎日めまぐるしくすぎていきます。

あまりにめまぐるしく日々がすぎ昨日のことかおとといのことかもさだかではありません。しかし、この日記帳はとにもかくにも、ページを確保しておかないと、あとから書き込むことができませんね。きょうも、何日か思い出せることだけを記しておきます。
24日、大口せんせいの退官きねんパーテイの世話人会。新宿マイシテイ9階のプチモンドで。ここは、わかりやすいいし、新宿では静かな方で待ち合わせには都合がいいですよ。外語大学の助教授の吉田さん、2年先輩の鈴木さんで日程と会場の候補を確認。
25日、憂国忌、九段会館。6時パレスホテルで秋田市長石川さんの出版記念会。
26日都立中央図書館。土日は5時で閉館がつらい。コピィも超混むしむしろ土日のほうこそ8時までひらいてほしい。右翼左翼という言い方がされるようになったのはいつからかしりたいのですが、どなたか知りませんか。夜はいつものように娘がきて、食事をともにしました。

■2000/11/24（金） 古書ネット

古書をインターネトで買うことができました。ゼミの和田さんの情報で、神田古書組合のネットでできました。「高畠素之」なのと愛知県の本屋さんにありました。1500円、高値は4000円というのもありました。

■2000/11/18（土） 昨日今日

17日、昨夜は毎日新聞N氏ら3人とゴールデン街の「かなぶん」で3時半まで。60 年代のナツメロでもりあがりました。今日は大学でゼミ、3 限は「天保上知令騒動記」の講読、上知令が撤回される直前のどたばた。次は「大久保利通文書944」台湾出兵。大口先生の退官記念パーティの幹事をおおせつかり、さっそく情報集めに着手。若い院生ともだちが、さっそく「物理力はなんでもやります。」ステキな会かいができそうです。16 時 40 分からの言語文化のゼミはさぼって、銀座へ。雲仙普賢岳の写真家西川さんの個展。92 年に噴火直後の普賢岳を視察したときにお世話になったのですが 10 月 50 歳の若さで亡くなった。合掌。有楽町レバンテで的矢かきとビール。

18 日、昨夜は金曜日にもかかわらず、静かなひしょう。提示 12 時に閉店。晴天で遠出したいのもおさえて、「所謂日比谷焼き討ち事件の研究」を読む。田中真人「高畠素之」はあちこちの古書店を捜しても見つからないので、群馬県立土屋文明文学館の石田さんに電話し、群馬県立図書館からの貸し出しを依頼する。やっぱり外出、日本橋高島屋。地下はグルメスポット「春帆楼」でふぐさしと酒、ほろよいで、はしごで寿司岩。本当にこの地下はお買い物の女性のみかたなんですよ。